

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-60910

(P2009-60910A)

(43) 公開日 平成21年3月26日(2009.3.26)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>C 1 2 N 15/09 (2006.01)</b>	C 1 2 N 15/00 Z N A A	4 B O 2 4
<b>C O 7 K 14/705 (2006.01)</b>	C O 7 K 14/705	4 C O 8 5
<b>C O 7 K 19/00 (2006.01)</b>	C O 7 K 19/00	4 H O 4 5
<b>A 6 1 K 39/00 (2006.01)</b>	A 6 1 K 39/00 H	
<b>A 6 1 P 35/00 (2006.01)</b>	A 6 1 P 35/00	
審査請求 有 請求項の数 25 O L (全 190 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2008-251482 (P2008-251482)	(71) 出願人	503208552
(22) 出願日	平成20年9月29日 (2008. 9. 29)		マンカインド コーポレーション
(62) 分割の表示	特願2002-580010 (P2002-580010)		アメリカ合衆国 カリフォルニア 9 1 3
	の分割		5 5 バレンシア ノース アベニュー
原出願日	平成14年4月4日 (2002. 4. 4)		ペイン 2 8 9 0 3
(31) 優先権主張番号	60/282, 211	(74) 代理人	100100549
(32) 優先日	平成13年4月6日 (2001. 4. 6)		弁理士 川口 嘉之
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100090516
(31) 優先権主張番号	60/337, 017		弁理士 松倉 秀実
(32) 優先日	平成13年11月7日 (2001. 11. 7)	(74) 代理人	100106622
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 和久田 純一
(31) 優先権主張番号	60/363, 210	(74) 代理人	100089244
(32) 優先日	平成14年3月7日 (2002. 3. 7)		弁理士 遠山 勉
(33) 優先権主張国	米国 (US)		
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 エピトープ配列

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 M H C クラス I に対して高親和性を有し、かつ標的特異的プロテアソームにより産生されるエピトープで、免疫学的試薬の生成に有用である核酸、ポリペプチドを提供する。

【解決手段】 腫瘍関連抗原 P R A M E の 1 つ以上のセグメント配列をコードし、それぞれのセグメントがエピトープクラスターを有し、前記クラスターは同じ M H C 受容体ペプチド結合間隙と既知のまたは予測親和性を有する少なくとも 2 つのアミノ酸配列を有するかまたはコードし、前記配列を含むリーディングフレームは、プロモーターとその制御下で連結する、単離された核酸。

【選択図】 なし

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

第 1 の配列を含むリーディングフレームを有する単離された核酸であって、

前記第 1 の配列は腫瘍関連抗原 P R A M E (配列番号：77) の 1 つ以上のセグメントをコードし、

前記第 1 の配列は完全な P R A M E 抗原をコードせず、それぞれのセグメントがエピートプクラスターを有し、前記クラスターは、同じ M H C 受容体ペプチド結合間隙と既知のまたは予測親和性を有する少なくとも 2 つのアミノ酸配列を有するか、またはコードし、

前記リーディングフレームは、プロモーターとその制御下で連結することを特徴とする単離された核酸。

10

**【請求項 2】**

前記エピートプクラスターは次のアミノ酸からなるグループから選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の核酸；

配列番号 4 に記載の P R A M E の 18 - 59、33 - 47、71 - 81、78 - 115、99 - 108、126 - 135、222 - 238、224 - 246、290 - 303、305 - 324、343 - 363、364 - 447、394 - 409、422 - 443 及び 459 - 487 塩基。

**【請求項 3】**

前記 1 つ以上のセグメントが前記エピートプクラスターからなることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の核酸。

20

**【請求項 4】**

前記第 1 の配列が P R A M E のフラグメントをコードすることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の核酸。

**【請求項 5】**

前記コードされたフラグメントが、P R A M E の長さの 90 % 以下長さのポリペプチドからなることを特徴とする、請求項 4 に記載の核酸。

**【請求項 6】**

前記コードされたフラグメントが、P R A M E の長さの 80 % 以下長さのポリペプチドからなることを特徴とする、請求項 4 に記載の核酸。

**【請求項 7】**

前記コードされたフラグメントが、P R A M E の長さの 60 % 以下長さのポリペプチドからなることを特徴とする、請求項 4 に記載の核酸。

30

**【請求項 8】**

前記コードされたフラグメントが、P R A M E の長さの 50 % 以下長さのポリペプチドからなることを特徴とする、請求項 4 に記載の核酸。

**【請求項 9】**

前記コードされたフラグメントが、P R A M E の長さの 25 % 以下長さのポリペプチドからなることを特徴とする、請求項 4 に記載の核酸。

**【請求項 10】**

前記コードされたフラグメントが、P R A M E の長さの 10 % 以下長さのポリペプチドからなることを特徴とする、請求項 4 に記載の核酸。

40

**【請求項 11】**

前記コードされたフラグメントが、基本的に、P R A M E の 18、33、71、78、99、126、222、224、290、305、343、364、394、422 及び 459 からなる群から選択されるアミノ酸の一つから始まり、P R A M E の 47、59、81、108、115、135、238、246、303、324、363、409、443、447 及び 487 からなる群から選択されるアミノ酸の一つで終わるアミノ酸配列からなるフラグメントをコードすることを特徴とする、請求項 4 に記載の核酸。

**【請求項 12】**

前記コードされたフラグメントが、基本的に、P R A M E の 18 - 47、18 - 59、

50

18 - 81、18 - 108、18 - 115、18 - 135、18 - 238、18 - 246、  
 18 - 303、18 - 324、18 - 363、18 - 409、18 - 443、18 - 4  
 47、18 - 487、33 - 47、33 - 59、33 - 81、33 - 108、33 - 11  
 5、33 - 135、33 - 238、33 - 246、33 - 303、33 - 324、33 -  
 363、33 - 409、33 - 443、33 - 447、33 - 487、71 - 81、71  
 - 108、71 - 115、71 - 135、71 - 238、71 - 246、71 - 303、  
 71 - 324、71 - 363、71 - 409、71 - 443、71 - 447、71 - 48  
 7、78 - 108、78 - 115、78 - 135、78 - 238、78 - 246、78 -  
 303、78 - 324、78 - 363、78 - 409、78 - 443、78 - 447、7  
 8 - 487、99 - 108、99 - 115、99 - 135、99 - 238、99 - 246  
 、99 - 303、99 - 324、99 - 363、99 - 409、99 - 443、99 - 4  
 47、99 - 487、126 - 135、126 - 238、126 - 246、126 - 30  
 3、126 - 324、126 - 363、126 - 409、126 - 443、126 - 44  
 7、126 - 487、222 - 238、222 - 246、222 - 303、222 - 32  
 4、222 - 363、222 - 409、222 - 443、222 - 447、222 - 48  
 7、224 - 238、224 - 246、224 - 303、224 - 324、224 - 36  
 3、224 - 409、224 - 443、224 - 447、224 - 487、290 - 30  
 3、290 - 324、290 - 363、290 - 409、290 - 443、290 - 44  
 7、290 - 487、305 - 324、305 - 363、305 - 409、305 - 44  
 3、305 - 447、305 - 487、343 - 363、343 - 409、343 - 44  
 3、343 - 447、343 - 487、364 - 409、364 - 443、364 - 44  
 7、364 - 487、394 - 409、394 - 443、394 - 447、394 - 48  
 7、422 - 443、422 - 447、422 - 487又は459 - 487からなること  
 を特徴とする請求項11に記載の核酸。

10

20

30

40

50

#### 【請求項13】

更に第2の配列を含むことを特徴とする請求項1～10のいずれか1項に記載の核酸であって、前記第2の配列が、成熟したエピトープ、または1～数個の更なるアミノ酸が隣接し、ハウスキーピングエピトープが免疫プロテアソームプロセッシングにより直接的にまたはN-末端トリミングとの組み合わせ若しくは外因性の酵素活性との組み合わせにより遊離するハウスキーピングエピトープをコードする核酸。

#### 【請求項14】

前記第1及び第2の配列が単一のリーディングフレームを構成することを特徴とする、請求項13に記載の核酸。

#### 【請求項15】

前記リーディングフレームがプロモーターとその制御下で連結することを特徴とする、請求項14に記載の核酸。

#### 【請求項16】

請求項14または15に記載の前記リーディングフレームにおいてコードされるアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチド。

#### 【請求項17】

請求項13～15のいずれか1項に記載の核酸を含む免疫原性組成物。

#### 【請求項18】

請求項16に記載のポリペプチドを含む免疫原性組成物。

#### 【請求項19】

前記リーディングフレームが更に、エピトープまたはエピトープ配列から本質的になるポリペプチド配列をコードする第2の配列を有することを特徴とする、請求項1～10のいずれか1項に記載の核酸。

#### 【請求項20】

少なくとも1つのPRAMEエピトープクラスターを有するアミノ酸配列をコードする手段にプロモーターの制御下で連結されたプロモーターを有する発現ベクターであって、

前記手段が完全な P R A M E 抗原をコードしないものである発現ベクター。

【請求項 2 1】

前記ハウスキーピングエピトープが配列番号 1 ~ 5 9 9 のいずれかで表されるポリペプチドであることを特徴とする、請求項 1 3 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の核酸。

【請求項 2 2】

M H C エピトープであり、ハウスキーピングプロテアソームが優勢に活性である細胞上に提示されるエピトープをコードする、設計されたまたは操作された核酸配列を更に有する請求項 1 ~ 1 0 のいずれか 1 項に記載の核酸であって、前記エピトープが、p A P C におけるプロセッシングによりエピトープが遊離し得る状態を提供するより大きな配列に組み込まれていることを特徴とする核酸。

10

【請求項 2 3】

前記エピトープが配列番号 1 ~ 5 9 9 のいずれかで表されるポリペプチドであることを特徴とする、請求項 2 2 に記載の核酸。

【請求項 2 4】

第 1 の配列を含むリーディングフレームを有する単離された核酸であって、

前記第 1 の配列は、腫瘍関連抗原 g p 1 0 0 (配列番号 7 0) の 1 つ以上のセグメントをコードし、

前記第 1 の配列は完全な g p 1 0 0 抗原をコードせず、それぞれのセグメントがエピトープクラスターを有し、前記クラスターは、同じ M H C 受容体ペプチド結合間隙と既知のまたは予測親和性を有する少なくとも 2 つのアミノ酸配列を有するか、またはコードし、

20

前記リーディングフレームは、プロモーターとその制御下で連結することを特徴とする単離された核酸。

【請求項 2 5】

第 1 の配列を含むリーディングフレームを有する単離された核酸であって、

前記第 1 の配列は、腫瘍関連抗原 P S A (配列番号 7 8) の 1 つ以上のセグメントをコードし、

前記第 1 の配列は完全な P S A 抗原をコードせず、それぞれのセグメントがエピトープクラスターを有し、前記クラスターは、同じ M H C 受容体ペプチド結合間隙と既知のまたは予測親和性を有する少なくとも 2 つのアミノ酸配列を有するか、またはコードし、

30

前記リーディングフレームは、プロモーターとその制御下で連結することを特徴とする単離された核酸。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本発明は概して、標的関連抗原の有用なエピトープであるペプチドおよびペプチドをコードする核酸に関する。より具体的には、本発明は、M H C クラス I に対して高親和性を有し、かつ標的的特異的プロテアソームにより産生されるエピトープに関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

[ 背景技術の説明 ]

40

新形成および免疫系

癌として一般に知られる新形成疾患状態は、一般に制御の効かない単一細胞成長に起因すると考えられる。未制御の成長状態は通常、多工程に起因し、ここでは一連の細胞系が衰え、新生細胞の発生をもたらす。生じた新生細胞はそれ自体を迅速に再生し、1 つまたは複数の腫瘍を形成し、最終的には宿主の死を招き得る。

【0 0 0 3】

新生細胞の前駆体は宿主の遺伝物質を共有するため、新生細胞は宿主免疫系により大いに攻撃されない。宿主免疫系が外来物質を監視して、局在化させるプロセスである免疫監視中、新生細胞は、宿主の免疫監視機構に対し「自己」細胞として出現する。

【0 0 0 4】

50

## ウイルスおよび免疫系

癌細胞と対比して、ウイルス感染は、明らかに非自己抗原の発現を包含する。結果として、多くのウイルス感染は、最低限の臨床的後遺症を伴って、免疫系により首尾よく対処される。さらに、重症な疾患を引き起こす多くの感染に関する効果的なワクチンを開発することが可能となっている。各種ワクチンアプローチは、様々な疾患の治療に首尾よく使用されている。これらのアプローチには、組換えDNA技術により産生される個々のタンパク質から構成されるサブユニットワクチンが包含される。これらの向上にも関わらず、ウイルスワクチンとして使用するための最小量エピトープの選択および効果的投与は依然として問題が多い。

### 【0005】

エピトープ選択に関与した難題のほかに、宿主免疫系を逃れる能力を発したウイルスの問題が存在する。多くのウイルス、特に永続的な感染を確立するウイルス（例えばヘルペスウイルスおよびポックスウイルスファミリーの成員）は、ウイルスが宿主免疫系を逃れることを可能にする免疫調節性分子を産生する。抗原提示に対するこれらの免疫調節性分子の影響は、免疫原性組成物としての投与に関する選ばれえたエピトープのターゲティングにより克服され得る。宿主免疫系との、新生細胞およびウイルス感染細胞の相互作用をより良く理解するために、系の構成成分の議論を以下に続ける。

### 【0006】

免疫系は、生物にとって内因性の分子（「自己」分子）を、生物に対する外因性または外来性の物質（「非自己分子」）と識別するように機能する。免疫系は、応答を媒介する構成成分に基づいて異物に対して2つのタイプの適応応答：体液性応答および細胞性応答を有する。体液性応答は抗体により媒介される一方で、細胞性免疫は、リンパ球として類別される細胞に関与する。最近の抗癌および抗ウイルス戦略は、抗癌もしくは抗ウイルス治療または療法の手段として、宿主免疫系を動員することに焦点を当てている。

### 【0007】

免疫系は、宿主を異物から防御するように3つの相で機能する：認識相、活性化相、およびエフェクター相。認識相では、免疫系は、身体中の外来抗原または侵入物の存在を認識し、それを知らせる。外来抗原は、例えば新生細胞またはウイルスタンパク質由来の細胞表面マーカーであり得る。いったん系が侵入物に気付くと、免疫系の抗原特異的細胞は、侵入物誘発性シグナルに応答して増殖および分化する。最終段階は、免疫系のエフェクター細胞が検出された侵入物に応答して、それを中和するエフェクター段階である。

### 【0008】

一連のエフェクター細胞は、侵入物に対する免疫応答を実行する。エフェクター細胞の1つのタイプであるB細胞は、宿主に遭遇した外来抗原に対して標的とされる抗体を生成する。補体系と組み合わせて、抗体は、標的とされる抗原を保有する細胞または生物の崩壊を誘導する。別のタイプのエフェクター細胞は、様々なウイルス感染細胞ならびに悪性細胞型を自発的に認識および破壊する能力を有するリンパ球タイプであるナチュラルキラー細胞（NK細胞）である。標的細胞を認識するためにNK細胞により使用される方法はあまり理解されていない。

### 【0009】

エフェクター細胞の別のタイプであるT細胞は、3つのサブカテゴリーに類別される成員を有し、それぞれが免疫応答において異なる役割を果たす。ヘルパーT細胞は、効果的な免疫応答を高めるのに必要な他の細胞の増殖を刺激するサイトカインを分泌する一方で、サプレッサーT細胞は免疫応答をダウンレギュレートする。T細胞の第3のカテゴリーである細胞傷害性T細胞（CTL）は、表面上に外来抗原を提示する標的とされる細胞を直接溶解することが可能である。

### 【0010】

#### 主要組織適合性複合体およびT細胞標的認識

T細胞は、特定抗原シグナルに応答して機能する抗原特異的免疫細胞である。Bリンパ球およびそれらが産生する抗体は、また抗原特異的物体である。しかしながら、Bリンパ

10

20

30

40

50

球と異なり、T細胞は、遊離型または可溶型の抗原に応答しない。T細胞が抗原に応答するためには、抗原がペプチドにプロセッシングされた後、主要組織適合性複合体(MHC)においてコードされる提示構造に結合されることを要する。この要件は「MHC拘束」と呼ばれ、それは、T細胞が「自己」細胞を「非自己」細胞と識別するメカニズムである。抗原が認識可能なMHC分子により提示されない場合、T細胞は抗原シグナルを認識せず、それに作用しない。認識可能なMHC分子に結合されたペプチドに特異的なT細胞は、これらのMHC-ペプチド複合体に結合し、免疫応答の次の段階に進む。

#### 【0011】

2つのタイプのMHC:クラスI MHC、およびクラスII MHCが存在する。Tヘルパー細胞(CD4<sup>+</sup>)はクラスII MHCタンパク質と優勢的に相互作用する一方で、細胞傷害性T細胞(CD8<sup>+</sup>)はクラスI MHCタンパク質と優勢的に相互作用する。両クラスのMHCタンパク質は、細胞の外部表面上にそれらの構造の大部分を有する膜貫通タンパク質である。さらに、両クラスのMHCタンパク質は、それらの外部にペプチド結合間隙を有する。この間隙において、内因性または外来性のタンパク質の小断片は細胞外環境に結合および提示される。

#### 【0012】

「プロフェッショナル抗原提示細胞」(pAPC)と呼ばれる細胞は、MHCタンパク質を用いてT細胞に対する抗原を提示するが、pAPCの分化/活性化の特定の状態に応じて、様々な共刺激分子をさらに発現する。認識可能なMHCタンパク質に結合されたペプチドに特異的なT細胞がpAPC上のこれらのMHC-ペプチド複合体に結合すると、T細胞に作用する特定の共刺激分子は、T細胞が取る分化/活性化の経路を誘導する。すなわち、共刺激分子は、T細胞が免疫応答の次の段階に進む際に今後の遭遇において抗原シグナルにどのように作用するかに影響を与える。

#### 【0013】

上述のように、新生細胞は免疫系により大いに無視される。宿主中で新生細胞の存在と闘うことを助長するために、宿主の免疫系を利用するための試みにおいて、今では多くの努力が費やされている。かかる研究分野の1つは、抗癌ワクチンの配合を包含する。

#### 【0014】

##### 抗癌ワクチン

癌との戦いにおいて腫瘍遺伝学者に利用可能な様々な手段には、患者の免疫系がある。免疫系をガンまたは新形成疾患と闘わせるための様々な試みにおいて研究がなされてきた。不運にも、今日までの結果は大いに期待に反するものであった。特に興味をもたれる領域の1つに、抗癌ワクチンの生成および使用が包含される。

#### 【0015】

ワクチンまたは他の免疫原性組成物を生成するために、免疫応答が高められ得る抗原またはエピトープを被験体に導入することが必要である。新生細胞は正常細胞に由来し、したがって遺伝子レベルでは正常細胞と実質的に同一であるが、多くの新生細胞は腫瘍関連抗原(TuAA)を提示することが知られている。理論的には、これらの抗原は、これらの抗原を認識して、新生細胞を攻撃するのに、被験体の免疫系により使用され得る。しかしながら、実際には、新生細胞は概して、宿主免疫系により無視されるようである。

#### 【0016】

新生細胞に対する活性を有するワクチンを生成するための試みにおいて、多数の種々の戦略が開発されてきた。これらの戦略には、腫瘍関連抗原を免疫原として使用することが包含される。例えば、米国特許第5,993,828号は、細胞表面上に泌尿器腫瘍関連抗原、ならびにGM-2、GD-2、胎児抗原、および黒色腫関連抗原からなる群から選択される少なくとも1つの腫瘍関連抗原を有する不活性化腫瘍細胞を含む組成物を有効量、被験体に投与することにより、泌尿器腫瘍関連抗原の特定のサブユニットに対する免疫応答を生じる方法について記載している。したがって、この特許は、抗癌ワクチンにおける免疫原として、不活性化腫瘍細胞全体を使用することについて記載している。

#### 【0017】

10

20

30

40

50

抗癌ワクチンを用いた別の戦略は、単離された腫瘍抗原を含有する組成物を投与することに関与する。アプローチの1つでは、MAGE-A1抗原性ペプチドを免疫原として使用した (Chaux, P., et al., 「MAGE-A1で形質導入した樹状細胞を用いて *in vitro* 刺激することにより得られる細胞傷害性Tリンパ球により認識される5つのMAGE-A1エピトープの同定 (Identification of Five MAGE-A1 Epitopes Recognized by Cytolytic T Lymphocytes Obtained by In Vitro Stimulation with Dendritic Cells Transduced with MAGE-A1)」, J. Immunol., 163 (5): 2928-2936 (1999)を参照)。ワクチン接種のためにMAGE-A1ペプチドを使用する幾つかの治療上の試みが存在するものの、ワクチンレジメンの有効性が制限された。これらの試みの幾つかの結果は、Vose, J.M., 「Tリンパ球により認識される腫瘍抗原 (Tumor Antigens Recognized by T Lymphocytes)」, 10<sup>th</sup> European Cancer Conference, Day 2, Sept. 14, 1999で考察されている。

10

#### 【0018】

ワクチンとして使用される腫瘍関連抗原の別の例では、Scheinberg等は、ヘルパーペプチドとアジュバントQS-21とともに、クラスI関連bcr-ablペプチドを5回注射することにより、すでにインターフェロン (IFN) またはヒドロキシ尿素を施した12人の慢性骨髄性白血病 (CML) 患者を治療した。Scheinberg, D.A. et al., 「BCR-ABLブレイクポイント由来癌遺伝子融合ペプチドワクチンは、慢性骨髄性白血病 (CML) の患者において特定の免疫応答を生成する (BCR-ABL Breakpoint Derived Oncogene Fusion Peptide Vaccines Generate Specific Immune Responses in Patients with Chronic Myelogenous Leukemia (CML))」, [Abstract 1665], American Society of Clinical Oncology 35<sup>th</sup> Annual Meeting, Atlanta (1999)。Tヘルパー活性を示す増殖性および遅延型過敏性 (DTH) T細胞応答が誘発されたが、細胞傷害性キラーT細胞活性は新鮮な血液試料内では観察されなかった。

20

#### 【0019】

ワクチンとして使用するためのTuAAを同定する試みのさらなる例は、Cebon等およびScheibenbogen等の最近の研究に見られる。Cebon等は、皮下、または静脈内のいずれかで付与した増加用量のIL-12とともに、皮内投与したMART-1<sub>26~35</sub>ペプチドを使用して、転移性黒色腫の患者を免疫した。最初の15人の患者のうち、1人が完全な寛解、1人が部分的寛解、1人が混合応答を示した。T細胞生成に関する免疫アッセイはDTHを包含し、それはIL-12ありまたはなしの患者で施された。CTLアッセイは、臨床的有益性 (benefit) の徴候を有する患者で陽性であったが、腫瘍後退のない患者ではそのような結果は得られなかった。Cebon, et al. 「第III期および第IV期の悪性黒色腫のHLA A2+陽性患者におけるMelan-AおよびIL-12による免疫のフェーズI研究 (Phase I Studies of Immunization with Melan-A and IL-12 in HLA A2+ Positive Patients with Stage III and IV Malignant Melanoma)」, [Abstract 1671], American Society of Clinical Oncology 35<sup>th</sup> Annual Meeting, Atlanta (1999)。

30

#### 【0020】

Scheibenbogen等は、転移性黒色腫の16人とアジュバント患者2人の18人の患者を、4HLAクラスI制限チロシナーゼペプチドで免疫した。Scheibenbogen, et al., 「転移性黒色腫におけるチロシナーゼペプチドおよびGM-CSFによるワクチン接種：臨床試験フェーズII (Vaccination with Tyrosinase peptides and GM-CSF in Metastatic Melanoma: a Phase II Trial)」, [Abstract 1680], American Society of Clinical Oncology 35<sup>th</sup> Annual Meeting, Atlanta (1999)。CTL活性の増加は、15人のうち4人の患者、すなわち2人のアジュバント患者、および腫瘍後退の徴候を有する2人の患者で観察された。Cebon等による臨床試験と同様に、進行性疾患の患者は追加免疫された免疫性を示さなかった。有効な抗癌ワクチンを作製するために今日まで様々な努力が費やされてきたにもかかわらず、かかる組成物はいまだ開発されていない。

40

#### 【0021】

抗ウイルスワクチン

50

ウイルス疾患に対して防御するためのワクチン戦略は多くの成功を収めている。おそらく、これらのうちで最も注目になるのが、天然痘疾患に対してなされた発展であり、天然痘は撲滅に至った。ポリオワクチンの成功は同様に偉大である。

#### 【 0 0 2 2 】

ウイルスワクチンは、3つの区分に類別することができる：生弱毒ウイルスワクチン（例えば、天然痘用の完全痘疱、セービンポリオウイルスワクチン、ならびに麻疹、おたふくおよび風疹）、全死滅または不活化ウイルスワクチン（例えば、サーク（Salk）ポリオウイルスワクチン、A型肝炎ウイルスワクチンおよび典型的なインフルエンザウイルスワクチン）、およびサブユニットワクチン（例えば、B型肝炎）。完全ウイルスゲノムの欠如により、サブユニットワクチンは、ウイルス全体に基づいたワクチンよりも高い安全性を提供する。

10

#### 【 0 0 2 3 】

成功したサブユニットワクチンの実例は、ウイルスのエンベロープタンパク質に基づいた組換えB型肝炎ワクチンである。個々のエピトープに対する単一タンパク質を超える還元主義者（reductionist）のサブユニット概念を強調する際のかかなりの学問的な興味にもかかわらず、努力はいまだにかなりの成果を生み出していない。細胞応答も行われるものの、ウイルスワクチン研究はまた抗体応答の誘発に集中している。しかしながら、サブユニット配合物の多くはCTL応答を生じる際に特に不足している。

#### 【 発明の開示 】

#### 【 0 0 2 4 】

20

#### [ 発明の概要 ]

標的細胞エピトープを提示するためにプロフェッショナル抗原提示細胞（pAPC）を一次刺激する従来の方法は、単にpAPCに、標的関連抗原（TAA）、またはMHC I分子に対して高親和性を有すると考えられる抗原のエピトープを発現させることに依存している。しかしながら、かかる抗原のプロテアソームプロセッシングは、標的細胞上に存在するエピトープに相当しないpAPC上のエピトープの提示をもたらす。

#### 【 0 0 2 5 】

効果的な細胞免疫応答は、pAPCが標的細胞により提示される同じエピトープを提示することを必要とするという知見を用いて、本発明は、MHC Iに対して高親和性を有し、末梢細胞で活性であるハウスキーピングプロテアソームのプロセッシング特異性に相当するエピトープを提供する。したがって、これらのエピトープは、標的細胞上に提示されるエピトープに相応する。ワクチンにおけるかかるエピトープの使用は、細胞免疫応答を活性化して、正確にプロセッシングされたTAAを認識することができ、かかるエピトープを提示する標的細胞の除去をもたらす。幾つかの実施形態では、本明細書中に提供されるハウスキーピングエピトープは免疫性エピトープと組み合わせて使用することができ、適合性である細胞免疫応答を生成して、インターフェロン導入前および後の両方で、標的細胞を攻撃する。他の実施形態では、エピトープは、標的関連疾患の診断およびモニタリングにおいて、ならびにかかる目的のための免疫学的試薬の生成において有用である。

30

#### 【 0 0 2 6 】

本発明の実施形態では、単離されたエピトープ、および上記エピトープを含む抗原またはポリペプチドに関する。好ましい実施形態として、表1に記載の配列を有するエピトープまたは抗原が挙げられる。他の実施形態としては、表1由来のポリペプチドを含むエピトープクラスターを挙げることができる。さらに、実施形態としては、上述のエピトープ、ポリペプチド、抗原、またはクラスターに対して実質的類似性を有するポリペプチドが挙げられる。他の好ましい実施形態としては、上記のいずれかに対して機能的類似性を有するポリペプチドが挙げられる。さらなる実施形態は、表1および本明細書に記載されるエピトープ、クラスター、抗原のいずれかのポリペプチドをコードする核酸およびポリペプチドに関する。以下の概要のために、「エピトープ（単数または複数）」を参照する場合、本発明の他の実施形態の議論は、エピトープの上述の形態のすべてに制限されることがなく言及し得る。

40

50



## 【 0 0 2 7 】

エピトープは免疫学的に活性であり得る。エピトープを含むポリペプチドは、約 30 未満のアミノ酸長であり得て、より好ましくは、ポリペプチドは例えば 8 ~ 10 アミノ酸長である。実質的類似性または機能的類似性は、例えば少なくとも 1 つのアミノ酸の付加を含むことができ、少なくとも 1 つの付加されたアミノ酸は、ポリペプチドの N 末端にあり得る。実質的類似性または機能的類似性は、少なくとも 1 つのアミノ酸の置換を含むことができる。

## 【 0 0 2 8 】

エピトープ、クラスターまたはそれらを含むポリペプチドは、HLA - A 2 分子に対して親和性を有することができる。親和性は、結合アッセイ、エピトープ認識の制限アッセイ、予測アルゴリズム等により決定することができる。エピトープ、クラスターまたはそれらを含むポリペプチドは、HLA - B 7、HLA - B 5 1 分子等に対して親和性を有することができる。

10

## 【 0 0 2 9 】

好ましい実施形態では、ポリペプチドは、ハウスキーピングエピトープであり得る。エピトープまたはポリペプチドは、腫瘍細胞上に提示されるエピトープ、新生血管系細胞上に提示されるエピトープ等に相当することができる。エピトープまたはポリペプチドは免疫性エピトープであり得る。エピトープ、クラスターおよび / またはポリペプチドは核酸であり得る。

## 【 0 0 3 0 】

他の実施形態は、表 1 由来のエピトープ、それらを含むクラスターまたはポリペプチドを包含するポリペプチド、および薬学的に許容可能なアジュバント、キャリア、希釈剤、賦形剤等を含む薬学的組成物に関する。アジュバントはポリヌクレオチドであり得る。ポリヌクレオチドはジヌレオチドを含むことができ、例えば CpG であり得る。アジュバントは、ポリヌクレオチドによりコードされ得る。アジュバントはサイトカインであり得て、サイトカインは例えば GM - CSF であり得る。

20

## 【 0 0 3 1 】

薬学的組成物は、プロフェッショナル抗原提示細胞 ( p A P C ) をさらに含むことができる。p A P C は例えば樹状細胞であり得る。薬学的組成物は第 2 のエピトープをさらに含むことができる。第 2 のエピトープはポリペプチド、核酸、ハウスキーピングエピトープ、免疫性エピトープ等であり得る。

30

## 【 0 0 3 2 】

さらなる実施形態は、表 1 由来のエピトープまたは抗原を含むポリペプチドをコードする核酸を含む本明細書中に記載する核酸のいずれかを含む薬学的組成物に関する。かかる組成物は、薬学的に許容可能なアジュバント、キャリア、希釈剤、賦形剤等を含むことができる。

## 【 0 0 3 3 】

他の実施形態は、表 1 由来のエピトープまたは抗原を含むポリペプチドをコードする核酸を含む、本明細書中に記載するような核酸を含む組換え構築物に関する。構築物は、プラスミド、ウイルスベクター、人工染色体等をさらに含むことができる。構築物は、例えば、第 2 のエピトープ、IRES、ISS、NIS、およびユビキチンのような少なくとも 1 つの形質をコードする配列をさらに含むことができる。

40

## 【 0 0 3 4 】

さらなる実施形態は、表 1 のエピトープの少なくとも 1 つに特異的に結合する精製抗体に関する。他の実施形態は、表 1 に開示するエピトープまたは任意の他の適切なエピトープを含むペプチド - MHC タンパク質複合体に特異的に結合する精製抗体に関する。いずれかの実施形態からの抗体はモノクローナル抗体またはポリクローナル抗体であり得る。

## 【 0 0 3 5 】

さらに他の実施形態は、例えば表 1 に開示するエピトープのようなエピトープを含む多量体 MHC - ペプチド複合体に関する。また、上記複合体に特異的な抗体も意図される。

50

## 【 0 0 3 6 】

実施形態は、MHC - ペプチド複合体に特異的なT細胞受容体を発現する単離されたT細胞に関する。上記複合体は、例えば表1に開示するエピトープのようなエピトープを含むことができる。T細胞は、*in vitro*免疫により產生することができ、免疫された動物から単離することができる。実施形態は、上述のT細胞のようなクローニングしたT細胞を含むT細胞クローンに関する。実施形態はまたT細胞のポリクローナル集団に関する。かかる集団は、例えば上述のようなT細胞を含むことができる。

## 【 0 0 3 7 】

さらなる実施形態は、例えば上述に記載するT細胞のようなT細胞、および薬学的に許容可能なアジュバント、キャリア、希釈剤、賦形剤等を含む薬学的組成物に関する。

10

## 【 0 0 3 8 】

本発明の実施形態は、MHC - ペプチド複合体に特異的なT細胞受容体の結合ドメインを含む単離されたタンパク質分子に関する。上記複合体は表1に開示されるようなエピトープを含むことができる。タンパク質は多価であり得る。他の実施形態は、かかるタンパク質をコードする単離された核酸に関する。さらなる実施形態はかかる核酸を含む組換え構築物に関する。

## 【 0 0 3 9 】

本発明の他の実施形態は、例えば表1に開示するエピトープ、クラスターまたはそれらを含むポリペプチドをコードする構築物を含む本明細書中に記載する組換え構築物を発現する宿主細胞に関する。宿主細胞は樹状細胞、マクロファージ、腫瘍細胞、腫瘍由来細胞、細菌、真菌、原生動物等であり得る。実施形態はまた、本明細書中に記載の宿主細胞のような宿主細胞、および薬学的に許容可能なアジュバント、キャリア、希釈剤、賦形剤等を含む薬学的組成物に関する。

20

## 【 0 0 4 0 】

さらに他の実施形態は、例えば、表1に開示されるか、あるいは本明細書中に記載されるエピトープ、かかるエピトープを含むクラスター、かかるエピトープを含む抗原またはポリペプチド、上記および本明細書中に記載の組成物、上記および本明細書中に記載の構築物、上記および本明細書中に記載のT細胞または宿主細胞のような少なくとも1つの構成成分を含むワクチンまたは免疫治療用組成物に関する。

## 【 0 0 4 1 】

さらなる実施形態は、動物の治療方法に関する。上記方法は、上記および本明細書中に開示するものを含むワクチンまたは免疫治療用組成物のような薬学的組成物を動物に投与することを含むことができる。投与工程は、例えば、経皮、結節内、結節周囲、経口、静脈内、皮内、筋内、腹腔内、粘膜、エロゾル吸入、滴注等のよう送達様式を含むことができる。上記方法は、アッセイする工程であって、それにれより標的細胞（単数または複数）の状態を示す特徴を決定する、アッセイする工程をさらに含むことができる。上記方法は、第1のアッセイ工程、および第2のアッセイ工程をさらに含むことができ、ここで第1のアッセイ工程は上記投与工程前に行われ、該第2のアッセイ工程は上記投与工程後に行われる。上記方法は、第1のアッセイ工程で決定される特徴を、第2のアッセイ工程で決定される特徴と比較する工程であって、それにより結果を得る、比較する工程をさらに含むことができる。結果は、例えば、免疫応答の徴候、標的細胞数の減少、標的細胞を含む腫瘍の質量またはサイズの低下、細胞内寄生生物感染標的細胞の数または濃度の低減等であり得る。

30

40

## 【 0 0 4 2 】

実施形態は、ワクチンまたは免疫治療用組成物の免疫原性を評価する方法に関する。上記方法は、上記および本明細書中の他の箇所に記載するもののようなワクチンまたは免疫治療薬を動物に投与すること、および上記動物の特徴に基づいて免疫原性を評価することを含むことができる。動物はHLAトランスジェニックであり得る。

## 【 0 0 4 3 】

他の実施形態は、免疫原性を評価する方法であって、上記および本明細書中の他の箇所

50

に記載するもののようなワクチンまたは免疫治療用組成物によるT細胞の*in vitro*刺激、および上記T細胞の特徴に基づいて免疫原性を評価することを含む方法に関する。刺激は一次刺激であり得る。

【0044】

さらなる実施形態は、受動/養子免疫治療薬を作製する方法に関する。上記方法は、上記および本明細書中の他の箇所に記載するもののようなT細胞または宿主細胞を、薬学的に許容可能なアジュバント、キャリア、希釈剤、賦形剤等と組み合わせることを含むことができる。

【0045】

他の実施形態は、特異的T細胞頻度を決定する方法に関し、T細胞を、表1に開示するエピトープを含むMHC-ペプチド複合体、またはかかるエピトープを含むクラスターまたは抗原を含む複合体と接触させる工程を含むことができる。接触工程は、例えば、免疫、再刺激、検出、計数等のよう少なくとも1つの形質を含むことができる。上記方法は、ELISPOT解析、限界希釈解析、フローサイトメトリー、*in situ*ハイブリダイゼーション、ポリメラーゼ連鎖反応、それらの任意の組合せ等をさらに含むことができる。

10

【0046】

実施形態は、免疫学的応答を評価する方法に関する。上記方法は、免疫工程の前および後に実施される特異的T細胞頻度を決定する上記方法を含むことができる。

【0047】

他の実施形態は、免疫学的応答を評価する方法に関する。上記方法は、例えば表1由来のエピトープ、かかるエピトープを含むクラスターまたはポリペプチドのようなエピトープを含むMHC-ペプチド複合体による刺激工程の前および後に、T細胞の頻度、サイトカイン産生、または細胞溶解活性を決定することを含むことができる。

20

【0048】

さらなる実施形態は、疾患を診断する方法に関する。上記方法は、被験体組織を、上記および本明細書中の他の箇所に記載するもののいずれかを含む、例えばT細胞、宿主細胞、抗体、タンパク質を含む少なくとも1つの構成成分と接触させること、および上記組織または該構成成分の特徴に基づいて疾患を診断することを含むことができる。接触工程は、例えば*in vivo*または*in vitro*で行われ得る。

30

【0049】

さらに他の実施形態は、ワクチンを作製する方法に関する。上記方法は、上記および本明細書中の他の箇所に記載するもののいずれかを含むエピトープ、組成物、構築物、T細胞、宿主細胞を含めた少なくとも1つの構成成分を、薬学的に許容可能なアジュバント、キャリア、希釈剤、賦形剤等と組み合わせることを含むことができる。

【0050】

実施形態は、配列番号1~602のいずれか1つの配列を包含する分子の物理学的、生化学的、免疫学的、または分子遺伝学的特性を算出するハードウェアまたはソフトウェアを有するマシン等において、上記配列を記録したコンピュータ可読媒体に関する。

【0051】

さらに他の実施形態は動物を治療する方法に関する。上記方法は、上記および本明細書中の他の箇所に記載するもののようなワクチンまたは免疫治療用組成物を動物に投与することを含む動物の治療方法を、例えば放射線療法、化学療法、生化学療法、手術を含む少なくとも1つの治療様式と組み合わせることを含むことができる。

40

【0052】

さらなる実施形態は、エピトープクラスターを含む単離されたポリペプチドに関する。好ましい実施形態では、クラスターは、表25~44のいずれか1つに開示されるような配列を有する標的関連抗原由来であり得て、ここでアミノ酸配列は約80%以下の抗原のアミノ酸配列を含む。

【0053】

50

他の実施形態は、上記および本明細書中の他の箇所に記載する単離されたペプチドを含むワクチンまたは免疫治療用生成物に関する。さらに他の実施形態は、上記および本明細書中の他の箇所に記載するポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチドに関する。他の実施形態は、これらのポリヌクレオチドを含むワクチンまたは免疫治療用生成物に関する。ポリヌクレオチドは、DNA、RNA等であり得る。

【0054】

さらなる実施形態は、送達デバイス、および上記および本明細書中の他の箇所に記述した実施形態のいずれかを含むキットに関する。送達デバイスは、カテーテル、シリンジ、内部または外部ポンプ、リザーバ、吸入器、マイクロインジェクター、パッチ、および送達の任意の経路に適した任意の他の同様のデバイスであり得る。上述のように、送達デバイスに加えて、キットはまた、本明細書中に開示する実施形態のいずれかを含むことができる。例えば、キットは、単離されたエピトープ、ポリペプチド、クラスター、核酸、抗原、上述のいずれかを含む薬学的組成物、抗体、T細胞、T細胞受容体、エピトープ-MHC複合体、ワクチン、免疫治療薬等を含むことができるが、これらに限定されない。キットはまた、使用のための詳細な説明書および任意の他の同様の品目のような品目を含むことができる。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0055】

[ 好適な実施形態の詳細な説明 ]

定義

20

本明細書中の用語の使用の状況から別の状況が明らかでない限り、以下に列挙した用語は概して、この説明の目的で示した意味を有する。

【0056】

プロフェッショナル抗原提示細胞 ( p A P C ) : T細胞共刺激分子を保有し、T細胞応答を誘発することが可能である細胞である。十分に特性化された p A P C としては、樹状細胞、B細胞、およびマクロファージが挙げられる。

【0057】

末梢細胞 : p A P C ではない細胞である。

【0058】

ハウスキーピングプロテアソーム : 一般に末梢細胞で活性であり、p A P C に通常存在しないか、または強力に活性でないプロテアソームである。

30

【0059】

免疫プロテアソーム : p A P C において一般に活性なプロテアソームであり、免疫プロテアソームはまた、感染組織における幾つかの末梢細胞で活性である。

【0060】

エピトープ : 免疫応答を刺激することが可能な分子または物質である。好ましい実施形態では、この定義に従ったエピトープとしては、ポリペプチドおよびポリペプチドをコードする核酸 ( ここで、ポリペプチドは免疫応答を刺激することが可能である ) が挙げられるが、必ずしもこれらに限定されない。他の好ましい実施形態では、この定義に従ったエピトープとしては、細胞の表面上に提示されるペプチドが挙げられるが、必ずしもこれに限定されず、ペプチドは、クラス I M H C の結合間隙に非共有結合的に結合され、その結果、ペプチドはT細胞受容体と相互作用することができる。

40

【0061】

M H C エピトープ : 哺乳動物クラス I またはクラス I I 主要組織適合性複合体 ( M H C ) 分子に対して既知または予測結合親和性を有するポリペプチドである。

【0062】

ハウスキーピングエピトープ : 好ましい実施形態では、ハウスキーピングエピトープは、M H C エピトープであり、かつハウスキーピングプロテアソームが優勢に活性である細胞上に提示されるポリペプチド断片として定義される。別の好ましい実施形態では、ハウスキーピングエピトープは、1個~数個のさらなるアミノ酸が隣接した、先述の定義に従

50

ったハウスキーピングエピトープを含有するポリペプチドとして定義される。別の好ましい実施形態では、ハウスキーピングエピトープは、先述の定義に従ったハウスキーピングエピトープをコードする核酸として定義される。

【0063】

免疫性エピトープ：好ましい実施形態では、免疫性エピトープは、MHCエピトープであり、かつ免疫プロテアソームが優勢に活性である細胞上に提示されるポリペプチド断片として定義される。別の好ましい実施形態では、免疫性エピトープは、1個～数個のさらなるアミノ酸が隣接した、先述の定義に従った免疫性エピトープを含有するポリペプチドとして定義される。別の好ましい実施形態では、免疫性エピトープは、クラスI MHCに対して既知または予測親和性を有する少なくとも2つのポリペプチド配列を有する、エ

10

【0064】

標的細胞：本発明のワクチンおよび方法により標的とされる細胞である。この定義に従った標的細胞の例としては、新生細胞、および細胞内寄生生物（例えばウイルス、細菌、または原生動物のような）を保有する細胞が挙げられるが、必ずしもこれらに限定されない。

【0065】

標的関連抗原（TAA）：標的細胞に存在するタンパク質またはポリペプチドである。

20

【0066】

腫瘍関連抗原（TuAA）：標的細胞が新生細胞であるTAAである。

【0067】

HLAエピトープ：ヒトクラスIまたはクラスII HLA複合体分子に対して既知または予測された結合親和性を有するポリペプチドである。

【0068】

抗体：生化学的に得られようと、または組換えDNAを用いて得られようと、天然免疫グロブリン（Ig）（ポリまたはモノクローナル）、またはIg結合ドメインの全体もしくは部分で構成される任意の分子である。例としては、とりわけF(ab)、単鎖Fv、およびIg可変領域相コートタンパク質融合物が挙げられる。

30

【0069】

コード：特定のアミノ酸配列をコードする核酸はその（ポリ）ペプチドを指定するコドンから構成され得るが、また翻訳可能であるか、または転写、翻訳もしくは複製の制御のための、または幾つかの宿主核酸構築物の操作を容易にするためのさらなる配列を含むことができるような制限のない用語である。

【0070】

実質的類似性：この用語は、配列試験により判断される場合に、重要でない様式で参照配列と異なる配列を指すのに使用される。同じアミノ酸配列をコードする核酸配列は、縮重位置の違い、または任意の非コード領域の長さもしくは組成の中程度の違いにもかかわらず実質的に類似している。保存的置換またはわずかな長さの変動のみが異なるアミノ酸配列は、実質的に類似している。さらに、N末端フランキング残基の数が異なるハウスキーピングエピトープ、またはいずれかの末端のフランキング残基の数が異なる免疫性エピトープまたはエピトープクラスターを含むアミノ酸配列は、実質的に類似している。実質的に類似性のアミノ酸配列をコードする核酸自体もまた、実質的に類似している。

40

【0071】

機能的類似性：この用語は、生物学的特性または生化学的特性試験により判断される場合に、重要でない様式で参照配列と異なる配列を指すのに使用されるが、配列は実質的に類似していない場合がある。例えば、2つの核酸は、同じ配列用のハイブリダイゼーションプローブとして有用であり得るが、異なるアミノ酸配列をコードする。交差反応性CTL応答を誘導する2つのペプチドは、それらが非保存的アミノ酸置換だけ異なる（したが

50

って、実質的類似性の定義を満たさない) 場合でも、機能的に類似している。同じエピトープを認識する抗体対、またはTCRは、どんな構造的差異が存在しようとも、互いに機能的に類似し得る。免疫原性の機能的類似性に関して試験する際に、一般に「変性(altered)」抗原で免疫して、誘発される応答(Ab、CTL、サイトカイン産生等)の標的抗原を認識する能力を試験する。したがって、2つの配列は、同じ機能を保持しながら、ある特定の点で異なるように設計され得る。このように設計された配列変異体は、本発明の実施形態中にある。

【0072】

【表 1 A - 1】

表 1 A 配列番号 \*実施例 1～7, 13 のエピトープを含む

配列番号	性質	配列
1	チロシン 207-216	FLPWHRLFLL
2	チロシナーゼタンパク質	アクセッション番号*: P14679
3	SSX-2 タンパク質	アクセッション番号: NP_003138
4	PSMA タンパク質	アクセッション番号: NP_004467
5	チロシナーゼ cDNA	アクセッション番号: NM_000372
6	SSX-2 cDNA	アクセッション番号: NM_003147
7	PSMA cDNA	アクセッション番号: NM_004476
8	チロシン 207-215	FLPWHRLFL
9	チロシン 208-216	LPWHRLFLL
10	SSX-2 31-68	YFSKEEWEKMKASEKIFYVYMKRKYEAMTKLGFKATLP
11	SSX-2 32-40	FSKEEWEKM
12	SSX-2 39-47	KMKASEKIF
13	SSX-2 40-48	MKASEKIFY
14	SSX-2 39-48	KMKASEKIFY
15	SSX-2 41-49	KASEKIFYV
16	SSX-2 40-49	MKASEKIFYV
17	SSX-2 41-50	KASEKIFYVY
18	SSX-2 42-49	ASEKIFYVY
19	SSX-2 53-61	RKYEAMTKL
20	SSX-2 52-61	KRKYEAMTKL
21	SSX-2 54-63	KYEAMTKLGF
22	SSX-2 55-63	YEAMTKLGF
23	SSX-2 56-63	EAMTKLGF
24	HBV18-27	FLPSDYFPSV
25	HLA-B44 バインダー	AEMGKYSFY
26	SSX-1 41-49	KYSEKISYV
27	SSX-3 41-49	KVSEKIVYV
28	SSX-4 41-49	KSSEKIVYV
29	SSX-5 41-49	KASEKIIYV

10

20

30

40

【表 1 A - 2】

30	PSMA163-192	AFSPQGMPEGDLVYVNYARTEDFFKLERDM
31	PSMA 168-190	GMPEGDLVYVNYARTEDFFKLER
32	PSMA 169-177	MPEGDLVYV
33	PSMA 168-177	GMPEGDLVYV
34	PSMA 168-176	GMPEGDLVY
35	PSMA 167-176	QGMPEGDLVY
36	PSMA 169-176	MPEGDLVY
37	PSMA 171-179	EGDLVYVNY
38	PSMA 170-179	PEGDLVYVNY
39	PSMA 174-183	LVYVNYARTE
40	PSMA 177-185	VNYARTEDF
41	PSMA 176-185	YVNYARTEDF
42	PSMA 178-186	NYARTEDFF
43	PSMA 179-186	YARTEDFF
44	PSMA 181-189	RTEDFFKLE
45	PSMA 281-310	RGIAEAVGLPSIPVHPIGYYDAQKLEKMG
46	PSMA 283-307	IAEAVGLPSIPVHPIGYYDAQKLE
47	PSMA 289-297	LPSIPVHPI
48	PSMA 288-297	GLPSIPVHPI
49	PSMA 297-305	IGYYDAQKL
50	PSMA 296-305	PIGYYDAQKL
51	PSMA 291-299	SIPVHPIGY
52	PSMA 290-299	PSIPVHPIGY
53	PSMA 292-299	IPVHPIGY
54	PSMA 299-307	YYDAQKLE
55	PSMA454-481	SSIEGNYTLRVDCTPLMYSLVHLTKEL
56	PSMA 456-464	IEGNYTLRV
57	PSMA 455-464	SIEGNYTLRV
58	PSMA 457-464	EGNYTLRV
59	PSMA 461-469	TLRVDCTPL
60	PSMA 460-469	YTLRVDCTPL
61	PSMA 462-470	LRVDCTPLM
62	PSMA 463-471	RVDCTPLMY
63	PSMA 462-471	LRVDCTPLMY
64	PSMA653-687	FDKSNPIVLRMMNDQLMFLERAFIDPLGLPDRPFY

10

20

30

40



【表 1 A - 3】

65	PSMA 660-681	VLRMMNDQLMFLEAFIDPLGL
66	PSMA 663-671	MMNDQLMFL
67	PSMA 662-671	RMMNDQLMFL
68	PSMA 662-670	RMMNDQLMF
69	チロシン 1-17	MLLAVLYCLLWSFQTSA

【 0 0 7 3 】

## 【表 1 B - 1】

表 1 B 配列番号\* 実施例 1 4 及び 1 5 のエピトープを含む

配列番号	性質	配列
70	GP100 タンパク質	**アクセッション番号: P40967
71	MAGE-1 タンパク質	アクセッション番号: P43355
72	MAGE-2 タンパク質	アクセッション番号: P43356
73	MAGE-3 タンパク質	アクセッション番号: P43357
74	NY-ESO- タンパク質	アクセッション番号: P78358
75	LAGE-1a タンパク質	アクセッション番号: CAA11116
76	LAGE-1b タンパク質	アクセッション番号: CAA11117
77	PRAME タンパク質	アクセッション番号: NP 006106
78	PSA タンパク質	アクセッション番号: P07288
79	PSCA タンパク質	アクセッション番号: O43653
80	GP100 cds	アクセッション番号: U20093
81	MAGE-1 cds	アクセッション番号: M77481
82	MAGE-2 cds	アクセッション番号: L18920
83	MAGE-3 cds	アクセッション番号: U03735
84	NY-ESO-1 cDNA	アクセッション番号: U87459
85	PRAME cDNA	アクセッション番号: NM_006115
86	PSA cDNA	アクセッション番号: NM_001648
87	PSCA cDNA	アクセッション番号: AF043498
88	GP100 630-638	LPHSSSHWL
89	GP100 629-638	QLPHSSSHWL
90	GP100 614-622	LIYRRRLMK
91	GP100 613-622	SLIYRRRLMK
92	GP100 615-622	IYRRRLMK
93	GP100 630-638	LPHSSSHWL
94	GP100 629-638	QLPHSSSHWL
95	MAGE-1 95-102	ESLFRAVI
96	MAGE-1 93-102	ILESLEFRAVI
97	MAGE-1 93-101	ILESLEFRAV
98	MAGE-1 92-101	CILESLEFRAV
99	MAGE-1 92-100	CILESLEFRA

10

20

30

40

【表 1 B - 2】

100	MAGE-1 263-271	EFLWGPRAL
101	MAGE-1 264-271	FLWGPRAL
102	MAGE-1 264-273	FLWGPRALAE
103	MAGE-1 265-274	LWGPRALAET
104	MAGE-1 268-276	PRALAETSY
105	MAGE-1 267-276	GPRALAETSY
106	MAGE-1 269-277	RALAETSYV
107	MAGE-1 271-279	LAETSYVKV
108	MAGE-1 270-279	ALAETSYVKV
109	MAGE-1 272-280	AETSYVKVL
110	MAGE-1 271-280	LAETSYVKVL
111	MAGE-1 274-282	TSYVKVLEY
112	MAGE-1 273-282	ETSYVKVLEY
113	MAGE-1 278-286	KVLEYVIKV
114	MAGE-1 168-177	SYVLVTCLGL
115	MAGE-1 169-177	YVLVTCLGL
116	MAGE-1 170-177	VLVTCLGL
117	MAGE-1 240-248	TQDLVQEKY
118	MAGE-1 239-248	LTQDLVQEKY
119	MAGE-1 232-240	YGEPRKLLT
120	MAGE-1 243-251	LVQEKYLEY
121	MAGE-1 242-251	DLVQEKYLEY
122	MAGE-1 230-238	SAYGEPRKL
123	MAGE-1 278-286	KVLEYVIKV
124	MAGE-1 277-286	VKVLEYVIKV
125	MAGE-1 276-284	YVKVLEYVI
126	MAGE-1 274-282	TSYVKVLEY
127	MAGE-1 273-282	ETSYVKVLEY
128	MAGE-1 283-291	VIKVSARVR
129	MAGE-1 282-291	YVIKVSARVR
130	MAGE-2 115-122	ELVHFLLL
131	MAGE-2 113-122	MVELVHFLLL
132	MAGE-2 109-116	ISRKMVEL
133	MAGE-2 108-116	AISRKMVEL
134	MAGE-2 107-116	AAISRKMVEL

10

20

30

40

【表 1 B - 3】

135	MAGE-2 112-120	KMVFLVHFL
136	MAGE-2 109-117	ISRKMVELV
137	MAGE-2 108-117	ISRKMVELV
138	MAGE-2 116-124	LVHFLLLKY
139	MAGE-2 115-124	ELVHFLLLKY
140	MAGE-2 111-119	RKMVELVHF
141	MAGE-2 158-166	LQLVFGIEV
142	MAGE-2 157-166	YLQLVFGIEV
143	MAGE-2 159-167	QLVFGIEVV
144	MAGE-2 158-167	LQLVFGIEVV
145	MAGE-2 164-172	IEVVEVPI
146	MAGE-2 163-172	GIEVVEVPI
147	MAGE-2 162-170	FGIEVVEVV
148	MAGE-2 154-162	ASEYLQLVF
149	MAGE-2 153-162	KASEYLQLVF
150	MAGE-2 218-225	EEKIWEEL
151	MAGE-2 216-225	APEEKIWEEL
152	MAGE-2 216-223	APEEKIWE
153	MAGE-2 220-228	KIWEELSML
154	MAGE-2 219-228	EKIWEELSML
155	MAGE-2 271-278	FLWGPRAL
156	MAGE-2 271-279	FLWGPRALI
157	MAGE-2 278-286	LIETSYVKV
158	MAGE-2 277-286	ALIETSYVKV
159	MAGE-2 276-284	RALIETSYV
160	MAGE-2 279-287	IETSYVKVL
161	MAGE-2 278-287	LIETSYVKVL
162	MAGE-3 271-278	FLWGPRAL
163	MAGE-3 270-278	EFLWGPRAL
164	MAGE-3 271-279	FLWGPRALV
165	MAGE-3 276-284	RALVETSYV
166	MAGE-3 272-280	LWGPRALVE
167	MAGE-3 271-280	FLWGPRALVE
168	MAGE-3 272-281	LWGPRALVET
169	NY-ESO-1 82-90	GPESRLLEF

10

20

30

40

【表 1 B - 4】

170	NY-ESO-1 83-91	PESRLLEFY
171	NY-ESO-1 82-91	GPESRLLEFY
172	NY-ESO-1 84-92	ESRLLEFYL
173	NY-ESO-1 86-94	RLLEFYLAM
174	NY-ESO-1 88-96	LEFYLAMPF
175	NY-ESO-1 87-96	LLEFYLAMPF
176	NY-ESO-1 93-102	AMPFATPMEA
177	NY-ESO-1 94-102	MPFATPMEA
178	NY-ESO-1 115-123	PLPVPGVLL
179	NY-ESO-1 114-123	PPLPVPGVLL
180	NY-ESO-1 116-123	LPVPGVLL
181	NY-ESO-1 103-112	ELARRSLAQD
182	NY-ESO-1 118-126	VPGVLLKEF
183	NY-ESO-1 117-126	PVPGVLLKEF
184	NY-ESO-1 116-123	LPVPGVLL
185	NY-ESO-1 127-135	TVSGNILTI
186	NY-ESO-1 126-135	FTVSGNILTI
187	NY-ESO-1 120-128	GVLLKEFTV
188	NY-ESO-1 121-130	VLLKEFTVSG
189	NY-ESO-1 122-130	LLKEFTVSG
190	NY-ESO-1 118-126	VPGVLLKEF
191	NY-ESO-1 117-126	PVPGVLLKEF
192	NY-ESO-1 139-147	AADHRQLQL
193	NY-ESO-1 148-156	SISSCLQQL
194	NY-ESO-1 147-156	LSISSCLQQL
195	NY-ESO-1 138-147	TAADHRQLQL
196	NY-ESO-1 161-169	WITQCFLPV
197	NY-ESO-1 157-165	SLLMWITQC
198	NY-ESO-1 150-158	SSCLQQLSL
199	NY-ESO-1 154-162	QQLSLLMWI
200	NY-ESO-1 151-159	SCLQQLSLL
201	NY-ESO-1 150-159	SSCLQQLSLL
202	NY-ESO-1 163-171	TQCFLPVFL
203	NY-ESO-1 162-171	ITQCFLPVFL
204	PRAME 219-227	PMQDIKMIL

10

20

30

40

【表 1 B - 5】

205	PRAME 218-227	MPMQDIKMIL
206	PRAME 428-436	QHLIGLSNL
207	PRAME 427-436	LQHLIGLSNL
208	PRAME 429-436	HLIGLSNL
209	PRAME 431-439	IGLSNLTHV
210	PRAME 430-439	LIGLSNLTHV
211	PSA 53-61	VLVHPQWVL
212	PSA 52-61	GVLVHPQWVL
213	PSA 52-60	GVLVHPQWV
214	PSA 59-67	WVLTAAHCI
215	PSA 54-63	LVHPQWVLTA
216	PSA 53-62	VLVHPQWVLT
217	PSA 54-62	LVHPQWVLT
218	PSA 66-73	CIRNKSVI
219	PSA 65-73	HCIRNKSVI
220	PSA 56-64	HPQWVLTA
221	PSA 63-72	AAHCIRNKSV
222	PSCA 116-123	LLWGPQQL
223	PSCA 115-123	LLLWGPQQL
224	PSCA 114-123	GLLLWGPQQL
225	PSCA 99-107	ALQPAAAIL
226	PSCA 98-107	HALQPAAAIL
227	チロシン 128-137	APEKDKFFAY
228	チロシン 129-137	PEKDKFFAY
229	チロシン 130-138	EKDKFFAYL
230	チロシン 131-138	KDKFFAYL
231	チロシン 205-213	PAFLPWHRL
232	チロシン 204-213	APAFLPWHRL
233	チロシン 214-223	FLLRWEQEIQ
234	チロシン 212-220	RLFLLRWEQ
235	チロシン 191-200	GSEIWRDIDF
236	チロシン 192-200	SEIWRDIDF
237	チロシン 473-481	RIWSWLLGA
238	チロシン 476-484	SWLLGAAMV
239	チロシン 477-486	WLLGAAMVGA

10

20

30

40

【表 1 B - 6】

240	チロシン 478-486	LLGAAMVGA
241	PSMA 4-12	LLHETDSAV
242	PSMA 13-21	ATARRPRWL
243	PSMA 53-61	TPKHNMKAF
244	PSMA 64-73	ELKAENIKKF
245	PSMA 69-77	NIKKFLH <sup>1</sup> NF
246	PSMA 68-77	ENIKKFLH <sup>1</sup> NF
247	PSMA 220-228	AGAKGVILY
248	PSMA 468-477	PLMYSLVHNL
249	PSMA 469-477	LMYSLVHNL
250	PSMA 463-471	RVDCTPLMY
251	PSMA 465-473	DCTPLMYSL
252	PSMA 507-515	SGMPRISKL
253	PSMA 506-515	FSGMPRISKL
254	NY-ESO-1 136-163	RLTAADHRQLQLSISSCLQQLSLLMWIT
255	NY-ESO-1 150-177	SSCLQQLSLLMWITQCFLPVFLAQPPSG

<sup>1</sup>このHは、SWISSPROTデータベースではYとして報告されていた。

<sup>2</sup>274位のアミノ酸は、データベースに依存してProまたはLeuであり得る。本明細書中で提示される特定の解析はProを使用した。

【0074】

10

20

【表 1 C - 1】

表 1 C

配列番号\* 実施例 1 4 のエピトープを含む

配列番号	性質	配列
256	Mage-1 125-132	KAEMLESV
257	Mage-1 124-132	TKAEMLESV
258	Mage-1 123-132	VTKAEMLESV
259	Mage-1 128-136	MLESVIKNY
260	Mage-1 127-136	EMLESVIKNY
261	Mage-1 125-133	KAEMLESVI
262	Mage-1 146-153	KASESLQL
263	Mage-1 145-153	GKASESLQL
264	Mage-1 147-155	ASESLQLVF
265	Mage-1 153-161	LVFGIDVKE
266	Mage-1 114-121	LLKYRARE
267	Mage-1 106-113	VADLVGFL
268	Mage-1 105-113	KVADLVGFL
269	Mage-1 107-115	ADLVGFLLL
270	Mage-1 106-115	VADLVGFLLL
271	Mage-1 114-123	LLKYRAREPV
272	Mage-3 278-286	LVETSYVKV
273	Mage-3 277-286	ALVETSYVKV
274	Mage-3 285-293	KVLHHMVKI
275	Mage-3 283-291	YVKVLHHMV
276	Mage-3 275-283	PRALVETSY
277	Mage-3 274-283	GPRALVETSY
278	Mage-3 278-287	LVETSYVKVL
279	ED-B 4'-5	TIIEVPQL
280	ED-B 5'-5	DTIIEVPQL
281	ED-B 1-10	EVPQLTDLSE
282	ED-B 23-30	TPLNSSTI
283	ED-B 18-25	IGLRWTPL
284	ED-B 17-25	SIGLRWTPL
285	ED-B 25-33	LNSSTIIGY
286	ED-B 24-33	PLNSSTIIGY
287	ED-B 23-31	TPLNSSTII

10

20

30

40



【表 1 C - 2】

288	ED-B 31-38	IGYRITVV
289	ED-B 30-38	IIGYRITVV
290	ED-B 29-38	TIIGYRITVV
291	ED-B 31-39	IGYRITVVA
292	ED-B 30-39	IIGYRITVVA
293	CEA 184-191	SLPVSPRL
294	CEA 183-191	QSLPVSPRL
295	CEA 186-193	PVSPRLQL
296	CEA 185-193	LPVSPRLQL
297	CEA 184-193	SLPVSPRLQL
298	CEA 185-192	LPVSPRLQ
299	CEA 192-200	QLSNGNRTL
300	CEA 191-200	LQLSNGNRTL
301	CEA 179-187	WVNNQSLPV
302	CEA 186-194	PVSPRLQLS
303	CEA 362-369	SLPVSPRL
304	CEA 361-369	QSLPVSPRL
305	CEA 364-371	PVSPRLQL
306	CEA 363-371	LPVSPRLQL
307	CEA 362-371	SLPVSPRLQL
308	CEA 363-370	LPVSPRLQ
309	CEA 370-378	QLSNDNRTL
310	CEA 369-378	LQLSNDNRTL
311	CEA 357-365	WVNNQSLPV
312	CEA 360-368	NQSLPVSPR
313	CEA 540-547	SLPVSPRL
314	CEA 539-547	QSLPVSPRL
315	CEA 542-549	PVSPRLQL
316	CEA 541-549	LPVSPRLQL
317	CEA 540-549	SLPVSPRLQL
318	CEA 541-548	LPVSPRLQ
319	CEA 548-556	QLSNGNRTL
320	CEA 547-556	LQLSNGNRTL
321	CEA 535-543	WVNGQSLPV
322	CEA 533-541	LWWVNGQSL

10

20

30

40

【表 1 C - 3】

323	CEA 532-541	YLWWVNGQSL
324	CEA 538-546	GQSLPVSPR
325	Her-2 30-37	DMKLRLPA
326	Her-2 28-37	GTDMLRLPA
327	Her-2 42-49	HLDMLRHL
328	Her-2 41-49	THLDMLRHL
329	Her-2 40-49	ETHLDMLRHL
330	Her-2 36-43	PASPETHL
331	Her-2 35-43	LPASPETHL
332	Her-2 34-43	RLPASPETHL
333	Her-2 38-46	SPETHLDML
334	Her-2 37-46	ASPETHLDML
335	Her-2 42-50	HLDMLRHLY
336	Her-2 41-50	THLDMLRHLY
337	Her-2 719-726	ELRKVKVL
338	Her-2 718-726	TELRKVKVL
339	Her-2 717-726	ETELRKVKVL
340	Her-2 715-723	LKETELRKV
341	Her-2 714-723	ILKETELRKV
342	Her-2 712-720	MRILKETEL
343	Her-2 711-720	QMRILKETEL
344	Her-2 717-725	ETELRKVKV
345	Her-2 716-725	KETELRKVKV
346	Her-2 706-714	MPNQAQMRI
347	Her-2 705-714	AMPNQAQMRI
348	Her-2 706-715	MPNQAQMRIL
349	HER-2 966-973	RPRFRELV
350	HER-2 965-973	CRPRFRELV
351	HER-2 968-976	RFRELVSEF
352	HER-2 967-976	PRFRELVSEF
353	HER-2 964-972	ECRPRFREL
354	NY-ESO-1 67-75	GAASGLNGC
355	NY-ESO-1 52-60	RASGPGGGA
356	NY-ESO-1 64-72	PHGGAASGL
357	NY-ESO-1 63-72	GPHGGAASGL

10

20

30

40

【表 1 C - 4】

358	NY-ESO-1 60-69	APRGPHGGAA
359	PRAME 112-119	VRPRRWKL
360	PRAME 111-119	EVRPRRWKL
361	PRAME 113-121	RPRRWKLQV
362	PRAME 114-122	PRRWKLQVL
363	PRAME 113-122	RPRRWKLQVL
364	PRAME 116-124	RWKLQVLDL
365	PRAME 115-124	RRWKLQVLDL
366	PRAME 174-182	PVEVLVDLF
367	PRAME 199-206	VKRKKNVL
368	PRAME 198-206	KVKRKKNVL
369	PRAME 197-206	EKKRKKNVL
370	PRAME 198-205	KVKRKKNV
371	PRAME 201-208	RKKNVLR
372	PRAME 200-208	KRKKNVLR
373	PRAME 199-208	VKRKKNVLR
374	PRAME 189-196	DELFSLI
375	PRAME 205-213	VLRLCCKKL
376	PRAME 204-213	NVLRLCCKKL
377	PRAME 194-202	YLIEKVKRK
378	PRAME 74-81	QAWPFTCL
379	PRAME 73-81	VQAWPFTCL
380	PRAME 72-81	MVQAWPFTCL
381	PRAME 81-88	LPLGVLMK
382	PRAME 80-88	CLPLGVLMK
383	PRAME 79-88	TCLPLGVLMK
384	PRAME 84-92	GVLKMGQHL
385	PRAME 81-89	LPLGVLMKG
386	PRAME 80-89	CLPLGVLMKG
387	PRAME 76-85	WPFTCLPLGV
388	PRAME 51-59	ELFPPLFMA
389	PRAME 49-57	PRELFPPLF
390	PRAME 48-57	LPRELFPPLF
391	PRAME 50-58	RELFPPLFM
392	PRAME 49-58	PRELFPPLFM

10

20

30

40

【表 1 C - 5】

393	PSA 239-246	RPSLYTKV
394	PSA 238-246	ERPSLYTKV
395	PSA 236-243	LPERPSLY
396	PSA 235-243	ALPERPSLY
397	PSA 241-249	SLYTKVVHY
398	PSA 240-249	PSLYTKVVHY
399	PSA 239-247	RPSLYTKVV
400	PSMA 211-218	GNKVKNAQ
401	PSMA 202-209	IARYGKVF
402	PSMA 217-225	AQLAGAKGV
403	PSMA 207-215	KVFRGNKVK
404	PSMA 211-219	GNKVKNAQL
405	PSMA 269-277	TPGYPANEY
406	PSMA 268-277	LTPGYPANEY
407	PSMA 271-279	GYPANEYAY
408	PSMA 270-279	PGYPANEYAY
409	PSMA 266-274	DPLTPGYPA
410	PSMA 492-500	SLYESWTKK
411	PSMA 491-500	KSLYESWTKK
412	PSMA 486-494	EGFEGKSLY
413	PSMA 485-494	DEGFEGKSLY
414	PSMA 498-506	TKKSPSPEF
415	PSMA 497-506	WTKKSPSPEF
416	PSMA 492-501	SLYESWTKKS
417	PSMA 725-732	WGEVKRQI
418	PSMA 724-732	AWGEVKRQI
419	PSMA 723-732	KAWGEVKRQI
420	PSMA 723-730	KAWGEVKR
421	PSMA 722-730	SKAWGEVKR
422	PSMA 731-739	QIYVAAFTV
423	PSMA 733-741	YVAAFTVQA
424	PSMA 725-733	WGEVKRQIY
425	PSMA 727-735	EVKRQIYVA
426	PSMA 738-746	TVQAAAETL
427	PSMA 737-746	FTVQAAAETL

10

20

30

40

【表 1 C - 6】

428	PSMA 729-737	KRQIYVAAF
429	PSMA 721-729	PSKAWGEVK
430	PSMA 723-731	KAWGEVKRQ
431	PSMA 100-108	WKEFGLDSV
432	PSMA 99-108	QWKEFGLDSV
433	PSMA 102-111	EFGLDSVELA
434	SCP-1 126-134	ELRQKESKL
435	SCP-1 125-134	AELRQKESKL
436	SCP-1 133-141	KLQENRKII
437	SCP-1 298-305	QLEEKTKL
438	SCP-1 297-305	NQLEEKTKL
439	SCP-1 288-296	LLEESRDKV
440	SCP-1 287-296	FLLEESRDKV
441	SCP-1 291-299	ESRDKVNQL
442	SCP-1 290-299	EESRDKVNQL
443	SCP-1 475-483	EKEVHDLEY
444	SCP-1 474-483	REKEVHDLEY
445	SCP-1 480-488	DLEYSYCHY
446	SCP-1 477-485	EVHDLEYSY
447	SCP-1 477-486	EVHDLEYSYC
448	SCP-1 502-509	KLSSKREL
449	SCP-1 508-515	ELKNTEYF
450	SCP-1 507-515	RELKNTEYF
451	SCP-1 496-503	KRGQRPKL
452	SCP-1 494-503	LPKRGQRPKL
453	SCP-1 509-517	LKNTEYFTL
454	SCP-1 508-517	ELKNTEYFTL
455	SCP-1 506-514	KRELKNTEY
456	SCP-1 502-510	KLSSKRELK
457	SCP-1 498-506	GQRPKLSSK
458	SCP-1 497-506	RGQRPKLSSK
459	SCP-1 500-508	RPKLSSKRE
460	SCP-1 573-580	LEYVREEL
461	SCP-1 572-580	ELEYVREEL
462	SCP-1 571-580	NELEYVREEL

10

20

30

40

【表 1 C - 7】

463	SCP-1 579-587	ELKQKREDEV
464	SCP-1 575-583	YVREELKQK
465	SCP-1 632-640	QLNVYEIKV
466	SCP-1 630-638	SKQLNVYEI
467	SCP-1 628-636	AESKQLNVY
468	SCP-1 627-636	TAESKQLNVY
469	SCP-1 638-645	IKV NKLEL
470	SCP-1 637-645	EIKV NKLEL
471	SCP-1 636-645	YEIKV NKLEL
472	SCP-1 642-650	KLELELESA
473	SCP-1 635-643	VYEIKV NKL
474	SCP-1 634-643	NVYEIKV NKL
475	SCP-1 646-654	ELESAKQKF
476	SCP-1 642-650	KLELELESA
477	SCP-1 646-654	ELESAKQKF
478	SCP-1 771-778	KEKLKREA
479	SCP-1 777-785	EAKENTATL
480	SCP-1 776-785	REAKENTATL
481	SCP-1 773-782	KLKREAKENT
482	SCP-1 112-119	EAEKIKKW
483	SCP-1 101-109	GLSRVYSKL
484	SCP-1 100-109	EGLSRVYSKL
485	SCP-1 108-116	KLYKEAEKI
486	SCP-1 98-106	NSEGLSRVY
487	SCP-1 97-106	ENSEGLSRVY
488	SCP-1 102-110	LSRVYSKLY
489	SCP-1 101-110	GLSRVYSKLY
490	SCP-1 96-105	LENSEGLSRV
491	SCP-1 108-117	KLYKEAEKIK
492	SCP-1 949-956	REDRWAVI
493	SCP-1 948-956	MREDRWAVI
494	SCP-1 947-956	KMREDRWAVI
495	SCP-1 947-955	KMREDRWAV
496	SCP-1 934-942	TTPGSTLKF
497	SCP-1 933-942	LTPGSTLKF

10

20

30

40

【表 1 C - 8】

498	SCP-1 937-945	GSTLKGAI
499	SCP-1 945-953	IRKMREDRW
500	SCP-1 236-243	RLEMHFKL
501	SCP-1 235-243	SRLEMHFKL
502	SCP-1 242-250	KLKEDYEKI
503	SCP-1 249-257	KIQHLEQEY
504	SCP-1 248-257	EKIQHLEQEY
505	SCP-1 233-242	ENSRLEMHF
506	SCP-1 236-245	RLEMHFKLKE
507	SCP-1 324-331	LEDIKVSL
508	SCP-1 323-331	ELEDIKVSL
509	SCP-1 322-331	KELEDIKVSL
510	SCP-1 320-327	LTKELEDI
511	SCP-1 319-327	HLTKELEDI
512	SCP-1 330-338	SLQRSVSTQ
513	SCP-1 321-329	TKELEDIKV
514	SCP-1 320-329	LTKELEDIKV
515	SCP-1 326-335	DIKVSQRSV
516	SCP-1 281-288	KMKDLTFL
517	SCP-1 280-288	NKMKDLTFL
518	SCP-1 279-288	ENKMKDLTFL
519	SCP-1 288-296	LLEESRDKV
520	SCP-1 287-296	FLLEESRDKV
521	SCP-1 291-299	ESRDKVNQL
522	SCP-1 290-299	EESRDKVNQL
523	SCP-1 277-285	EKENKMKDL
524	SCP-1 276-285	TEKENKMKDL
525	SCP-1 279-287	ENKMKDLTF
526	SCP-1 218-225	IEKMITAF
527	SCP-1 217-225	NIEKMITAF
528	SCP-1 216-225	SNIEKMITAF
529	SCP-1 223-230	TAFEELRV
530	SCP-1 222-230	ITAFEELRV
531	SCP-1 221-230	MITAFEELRV
532	SCP-1 220-228	KMITAFEEL

10

20

30

40

【表 1 C - 9】

533	SCP-1 219-228	EKMITAFEEL
534	SCP-1 227-235	ELRVQAENS
535	SCP-1 213-222	DLNSNIEKMI
536	SCP-1 837-844	WTSAKNTL
537	SCP-1 846-854	TPLPKAYTV
538	SCP-1 845-854	STPLPKAYTV
539	SCP-1 844-852	LSTPLPKAY
540	SCP-1 843-852	TLSTPLPKAY
541	SCP-1 842-850	NTLSTPLPK
542	SCP-1 841-850	KNTLSTPLPK
543	SCP-1 828-835	ISKDKRDY
544	SCP-1 826-835	HGISDKDKRDY
545	SCP-1 832-840	KRDYLWTS
546	SCP-1 829-838	SKDKRDYLWT
547	SCP-1 279-286	ENKMKDLT
548	SCP-1 260-268	EINDKEKQV
549	SCP-1 274-282	QITEKENKM
550	SCP-1 269-277	SLLLIQITE
551	SCP-1 453-460	FEKIAEEL
552	SCP-1 452-460	QFEKIAEEL
553	SCP-1 451-460	KQFEKIAEEL
554	SCP-1 449-456	DNKQFEKI
555	SCP-1 448-456	YDNKQFEKI
556	SCP-1 447-456	LYDNKQFEKI
557	SCP-1 440-447	LGEKETLL
558	SCP-1 439-447	VLGEKETLL
559	SCP-1 438-447	KVLGEKETLL
560	SCP-1 390-398	LLRTEQQRL
561	SCP-1 389-398	ELLRTEQQRL
562	SCP-1 393-401	TEQQRL
563	SCP-1 392-401	RTEQQRL
564	SCP-1 402-410	EDQLILTM
565	SCP-1 397-406	RLENYEDQLI
566	SCP-1 368-375	KARAAHSF
567	SCP-1 376-384	VVTEFETTV

10

20

30

40



【表 1 C - 1 0】

568	SCP-1 375-384	FVVTEFETTV
569	SCP-1 377-385	VTEFETTV
570	SCP-1 376-385	VVTEFETTV
571	SCP-1 344-352	DLQIATNTI
572	SCP-1 347-355	IATNTICQL
573	SCP-1 346-355	QIATNTICQL
574	SSX4 57-65	VMTKLGFKY
575	SSX4 53-61	LNVEVMTKL
576	SSX4 52-61	KLNVEVMTKL
577	SSX4 66-74	TLPPFMRSK
578	SSX4 110-118	KIMPKKPAE
579	SSX4 103-112	SLQRIFPKIM
580	チロシン 463-471	YIKSYLEQA
581	チロシン 459-467	SFQDYIKSY
582	チロシン 458-467	DSFQDYIKSY
583	チロシン 507-514	LPEEKQPL
584	チロシン 506-514	QLPEEKQPL
585	チロシン 505-514	KQLPEEKQPL
586	チロシン 507-515	LPEEKQPLL
587	チロシン 506-515	QLPEEKQPLL
588	チロシン 497-505	SLLCRHKRK
589	フィブロネクチン の ED-B ドメイン	EVVQLTDLSEFVDITDSSIGLRWTPNLSSTIIGYRI TVVAAGEGIPIFEDFVDSSVGYYTGTGLEPGID YDISVITLINGGESAPTTLTQQT
590	フィブロネクチン 由来のフランキン グ配列を有するフ ィブロネクチンの ED-B ドメイン	CTFDNLSPGLEYNVSVYTVKDDKESVPISDTIIP EVVQLTDLSEFVDITDSSIGLRWTPNLSSTIIGYRI TVVAAGEGIPIFEDFVDSSVGYYTGTGLEPGID YDISVITLINGGESAPTTLTQQT AVPPPTDLRFTNIGPDTMRVTW
591	フィブロネクチン の ED-B ドメイン	アクセッション番号: X07717
592	CEA タンパク質	アクセッション番号: P06731
593	CEA cDNA	アクセッション番号: NM_004363
594	Her2/Neu タンパ ク質	アクセッション番号: P04626

10

20

30

40

【表 1 C - 1 1】

595	Her2/Neu cDNA	アクセッション番号: M11730
596	SCP-1 タンパク質	アクセッション番号: Q15431
597	SCP-1 cDNA	アクセッション番号: X95654
598	SSX-4 タンパク質	アクセッション番号: O60224
599	SSX-4 cDNA	アクセッション番号: NM_005636

\*配列番号 1、8、9、11～23、26～29、32～44、47～54、56～63、66～68、88～253、および 256～588 のいずれかは、本発明の様々な実施形態のいずれかにおいてエピトープとして有用であり得る。配列番号 10、30、31、45、46、55、64、65、69、254、および 255 のいずれかは、本発明の様々な実施形態に記載されるように、エピトープまたはエピトープクラスターを含有する配列として有用であり得る。

\*\*ここでおおよび全体にわたって使用するアクセッション番号はすべて、NCBI データベースを通じて、例えばワールドワイドウェブ上の the Entrez seek and retrieval システムを通じてアクセスすることができる。

## 【0075】

以下の論考は本発明の操作の本発明者等の理解について記載していることに留意されたい。しかしながら、この論考が、本特許を特許請求の範囲に記載しない操作の任意の特定の理論に限定することを意図しない。

## 【0076】

エピトープワクチンの開発を遂行する際に、他者等が MHC 結合モチーフに基づいた予測エピトープのリストを作成した。かかるペプチドは免疫原性であり得るが、任意の天然で産生される抗原性断片に相当しない場合がある。したがって、全抗原が類似の応答を誘発しないか、または CTL による細胞溶解に対して標的細胞を敏感にしない。したがって、かかるリストは、ワクチンとして有用であり得る配列と、有用であり得ない配列とを識別しない。これらの予測エピトープのいずれが実際に天然で産生されるかを決定するための努力は、腫瘍浸潤リンパ球 (TIL) とそれらの反応性をスクリーニングすることに依存する場合が多い。しかしながら、TIL は強力に免疫性エピトープを認識する傾向にあるのに対して、腫瘍 (および慢性感染細胞) は一般にハウスキーピングエピトープを提示する。したがって、エピトープはハウスキーピングプロテアソームおよび免疫プロテアソームの両方により産生される場合を除いて、標的細胞は概して、TIL 同定エピトープにより誘発される CTL に認識されない。対照的に、本発明のエピトープは、特定のプロテアソームの作用により生成され、それらが天然で産生され得ることを示し、それらの適切な使用を可能にする。ワクチン設計に対するハウスキーピングエピトープと免疫性エピトープとの間の区別の重要性は、PCT 国際公開第 01/82963 A 2 号により詳細に記載されている。

## 【0077】

本発明のエピトープは、ハウスキーピングまたは免疫プロテアソームによるプロテアソーム切断の前駆体または生成物であり、MHC I の少なくとも 1 つの対立遺伝子に関して既知または予測親和性を有する配列を含有するか、またはそれから構成される TAA のポリペプチド断片を包含するか、またはそれらをコードする。幾つかの実施形態では、エピトープは、約 6～25 アミノ酸長、好ましくは約 7～20 アミノ酸長、より好ましくは約 8～15 アミノ酸長、さらに好ましくは 9 または 10 アミノ酸長のポリペプチドを包含するか、またはそれをコードする。しかしながら、ポリペプチドは、N 末端トリミングが MHC エピトープを産生することができる限りより長くてもよく、またポリペプチドは、ポリペプチドをプロテアソームから離れて誘導させるか、もしくはプロテアソームに破壊

10

20

30

40

50

させる配列を含有しないことが理解されよう。免疫性エピトープに関して、より大きなペプチドがかかる配列を含有しない場合、それらは免疫性プロテアソームにより p A P C においてプロセッシングされ得る。ハウスキーピングエピトープはまた、配列が免疫プロテアソームの作用によりエピトープの C 末端の遊離を促進するように適応される場合には、より長い配列に包埋され得る。先述の論考は、より長いエピトープのプロセッシングが p A P C の免疫プロテアソームの作用により進行すると仮定している。しかしながら、プロセッシングはまた、プロテアーゼの作用が M H C エピトープを遊離するように適応させた外因性プロテアーゼ活性および配列を提供するなど、幾つかの他のメカニズムの工夫により達成することができる。物理学的、生化学的、免疫学的、または分子遺伝学的特性（例えば、質量、等電点、電気泳動における予測移動度、他の M H C 分子に対する予測結合、核酸プローブの融点、逆翻訳、他の配列に対する類似性または相同性等）を算出するために、これらのエピトープ配列はコンピュータ解析に付すことができる。

10

20

30

40

50

#### 【0078】

本発明のポリペプチドエピトープをコードするポリヌクレオチドを構築する際、関連 T A A の遺伝子配列を使用することができるか、またはポリヌクレオチドを、相当するコドンのいずれかから構築することができる。10 アミノ酸エピトープに関して、これは、特定のアミノ酸組成に応じて、およそ  $10^6$  個オーダーの異なる配列を構成することができる。大きい一方で、これは、この長さを有する  $10^{18}$  個を超える考え得るポリヌクレオチドの非常に少ない割合を示す別個でのかつ容易に限定可能な組であり、したがって幾つかの実施形態では、本明細書中に開示する特定の配列の等価物は、列挙した配列上にかかる別個のかつ容易に限定可能な変動を包含する。ワクチンにおいて使用するためにこれらの配列のうちの特定の1つを選択する場合、コドン使用、自己相補性、制限部位、化学的安定性等のような考慮すべき事柄を、当業者に明らかなように使用することができる。

#### 【0079】

本発明は、ペプチドエピトープを産生することを意図する。具体的には、これらのエピトープは、T A A の配列に由来し、M H C I の少なくとも1つの対立遺伝子に対して既知または予測親和性を有する。かかるエピトープは通常、標的細胞または p A P C 上で産生されるエピトープと同一である。

#### 【0080】

活性エピトープを含有する組成物

本発明の実施形態は、ワクチン、治療薬、診断薬、薬理学的組成物および薬学的組成物を含むポリペプチド組成物を提供する。様々な組成物は、T A A の新たに同定されたエピトープ、ならびにこれらのエピトープの変異体を含む。本発明の他の実施形態は、本発明のポリペプチドエピトープをコードするポリヌクレオチドを提供する。本発明はさらに、精製のためのポリペプチドエピトープの発現用ベクターを提供する。さらに、本発明は、抗腫瘍ワクチンとして使用するための A P C におけるポリペプチドエピトープの発現用のベクターを提供する。表1のエピトープまたは抗原のいずれか、あるいはそれらをコードする核酸を使用することができる。他の実施形態は、様々な組成物の作製方法および使用方法に関する。

#### 【0081】

クラス I M H C 結合エピトープに関する一般的構造を記載することができ、Madden, D.R. Annu. Rev. Immunol. 13:587-622, 1995により詳細に概説されている。結合エネルギーの多くは、M H C 分子中の保存残基とペプチドの N 末端および C 末端との間の主鎖接触から生じる。さらなる主鎖接触がなされるが、M H C 対立遺伝子間で変化する。配列特異性は、ポケットとのいわゆるアンカー残基の側鎖接触により付与され、それもまた M H C 対立遺伝子間で変化する。アンカー残基は、一次と二次とに分けることができる。一次アンカー位置は、アミノ酸残基の比較的明確な組に関して強力な優先を示す。二次位置は、より好まれる残基というよりはあまり好まれない残基という観点で良好に記載され得ることが多い、より弱いおよび/またはあまり明確でない優勢を示す。さらに、幾つかの二次アンカー位置の残基は、必ずしも M H C 分子上のポケットと接触する位置にあるとは限

らない。したがって、特定のMHC分子に結合し、問題となっている位置での側鎖 - ポケット接触を有するペプチドのサブセットが存在し、ペプチドがMHC分子のペプチド結合溝中で取るコンホメーションに依存しない同じMHC分子への結合を示す別のサブセットが存在する。C末端残基(P; )は好ましくは一次アンカー残基である。よりよく研究されたHLA分子(例えば、A2、A68、B27、B7、B35、およびB53)の多くに関して、第2の位置(P2)もまたアンカー残基である。しかしながら、HLA-B8中のP3およびP5、ならびにそれぞれマウスMHC分子H-2D<sup>b</sup>およびH-2K<sup>b</sup>中のP5およびP( )-3を含む中心アンカー残基もまた観察されている。より安定な結合は一般的に免疫原性を改善するため、アンカー残基は好ましくは、それらの位置に関わらず、変異体の設計において保存または最適化される。

10

#### 【0082】

アンカー残基は概してエピトープの末端付近に位置されるため、ペプチドはペプチド結合溝から上方にねじれて、長さを幾らか変化させることができる。8~11個のアミノ酸の範囲のエピトープがHLA-A68に関して見出され、最大13個のアミノ酸のエピトープがHLA-A2に関して見出された。アンカー位置間の長さ変動のほかに、単一残基切断および伸長が、それぞれN末端およびC末端で報告されている。非アンカー残基のうち幾つかが溝から際立ち、MHC分子との接触を起こさないが、HLA-A2に関するTCR、非常に多くの場合P1、P4およびP( )-1と接触させるのに利用可能である。非アンカー残基のうち他のものは、ペプチド結合溝の上部縁とTCRとの間に介在するようになり、両方と接触することができる。これらの側鎖残基の正確な位置付け、したがって結合、MHCの繊細なコンホメーション、および最終的には免疫原性に対する影響は非常に配列依存性である。エピトープが高度に免疫原性であるために、活性化が起こるのに十分に安定なTCR結合を促進しなくてはならないだけでなく、TCRはまた、多量体TCR分子が同じペプチド-MHC複合体と順次接触することができるのに十分高いオフレート(off-rate)を有さなくてはならない(Kalergis, A.M. et al., Nature Immunol. 2: 229-234, 2001)。したがって、変異体を設計する際に、三元複合体に関するさらなる情報なしで、これらの位置での保存的置換および非保存的置換の両方が熟考に値する。

20

#### 【0083】

ポリペプチドエピトープ変異体は、例えば保存的および非保存的突然変異に関する技法およびガイドラインのいずれかを用いて作製することができる。変異体は、自然配列と比較した場合に1つまたは複数のアミノ酸の置換、欠失または挿入に由来し得る。アミノ酸置換は、例えばスレオニンをセリンで置換するように、あるアミノ酸を類似の構造特性および/または化学特性を有する別のアミノ酸で置換することの結果であり得る。かかる置換は、保存的アミノ酸置換と称され、適切な保存的アミノ酸置換はすべて本発明の実施形態とみなされる。挿入または欠失は任意に、約1~4、好ましくは1~2個のアミノ酸範囲であり得る。問題となっているMHC分子への結合を招くペプチドの「アンカー位置」を維持することが一般に好ましい。実際に、ペプチドの免疫原性は、多くの場合、アンカー位置でより好ましい残基を置換することにより改善され得る(Franco, et al., Nature Immunology, 1(2):145-150, 2000)。ペプチドの免疫原性はまた、有用なワクチンを構成するための本来のエピトープとの十分な交差反応性を維持しながら、非アンカー位置に見出される小アミノ酸をより嵩高いアミノ酸で置換することにより改善され得ることが多い。可能とされる変動は、配列中にアミノ酸をルーチンに挿入、欠失または置換すること、および得られた変異体を、ポリペプチドエピトープにより示される活性に関して試験することにより決定され得る。ポリペプチドエピトープは9個のアミノ酸である場合が多いため、置換は好ましくは、最短の活性エピトープ、例えば9個のアミノ酸のエピトープになされる。

30

40

#### 【0084】

変異体はまた、ポリペプチドエピトープ変異体のN末端上に任意の配列を付加することにより作製され得る。かかるN末端付加は、1個のアミノ酸から少なくとも25個のアミノ酸であり得る。ペプチドエピトープはpAPCにおいて活性なN末端エキソペプチダー

50

ゼによりトリミングされることが多いため、付加された配列における変異体は、エピトープの活性に影響を与えないことが理解される。好ましい実施形態では、最終の上流プロテアソーム切断部位とMHCエピトープのN末端との間のアミノ酸残基はプロリン残基を含まない。Serwold, T. et al., Nature Immunol. 2:644-651, 2001。したがって、有効なエピトープは、好ましい9量体クラスIモチーフより大きな前駆体から生成され得る。

【0085】

一般に、ペプチドは、それらが標的細胞またはpAPCの表面上でMHC Iにより実際に提示されるエピトープに相当する範囲で有用である。単一ペプチドは種々のMHC分子に対し様々な親和性を有することができ、良好に結合するものもあれば、十分に結合するものもあり、感知できるほどには結合しないものもある(表2)。MHC対立遺伝子は伝統的に、同じタイプの異なる対立遺伝子が異なり得る、ペプチド結合溝の構造を反映しない血清学的反応性に従って類別することができる。同様に、結合特性は、タイプを超えて共有され得て、共有結合特性に基づいた群はスーパータイプと呼ばれている。ヒト集団にはMHC Iの無数の対立遺伝子が存在し、ある特定の対立遺伝子に特異的なエピトープは、患者の遺伝子型に基づいて選択され得る。

【0086】

【表2】

表2

様々なMHCタイプに対するチロシナーゼ<sub>207~216</sub> (配列番号1)の予測結合

MHC I タイプ	*解離の半減期 (min)
A1	0.05
A*0201	1311.
A*0205	50.4
A3	2.7
A*1101 (A3 スーパータイプの一部)	0.012
A24	6.0
B7	4.0
B8	8.0
B14 (B27 スーパータイプの一部)	60.0
B*2702	0.9
B*2705	30.0
B*3501 (B7 スーパータイプの一部)	2.0
B*4403	0.1
B*5101 (B7 スーパータイプの一部)	26.0
B*5102	55.0
B*5801	0.20
B60	0.40
B62	2.0

\*HLAペプチド結合予測 (ワールドワイドウェブ [hypertext tranfer protocol](http://bimas.dcrt.nih.gov/molbio/hla_bin)  
「access at bimas. dcrt. nih. gov/molbio/hla\_bin」)

【0087】

本発明のさらなる実施形態では、ペプチドまたはコードポリヌクレオチドとしてのエピトープは、例えばワクチンまたは免疫治療用組成物のような薬学的組成物として、単独で、または様々なアジュバント、キャリア、または賦形剤と組み合わせて投与され得る。ワクチンという用語は本明細書中の説明全体にわたって使用され得るが、その概念は本明細書中に記載するものを含む任意の他の薬学的組成物とともに適用および使用され得ることに留意されたい。特に好適なアジュバントとしては、様々なサイトカインおよび免疫刺激配列を含有するオリゴヌクレオチド（本明細書中で引用される同時係属中出願により詳細に記載されているような）が挙げられる。さらに、ポリヌクレオチドコードエピトープは、後にポリヌクレオチド用のベクターと使用されるウイルス（例えば、ワクシニアまたはアデノウイルス）、または微生物宿主細胞（例えば、サルモネラ属(*Salmonella*)またはリステリア菌(*Listeria monocytogenes*))中に含ませることができる(Dietrich, G. et al. Nat. Biotech. 16:181-185, 1998)。あるいは、p A P Cは *e x v i v o* で形質転換されて、エピトープを発現することができるかあるいはペプチドエピトープでパルス標識されて、それ自体ワクチンとして投与され得る。これらのプロセス効率を増大するために、コードされたエピトープは、ウイルスまたは細菌ベクターにより運搬され得るか、または p A P C 上に見出される受容体のリガンドと複合体形成され得る。同様に、ペプチドエピトープは、p A P C リガンドと複合体形成され得るかまたはそれに結合され得る。ワクチンは、単一を越えるエピトープから構成することができる。

10

#### 【0088】

エピトープおよび/またはエピトープクラスターをワクチンまたは薬学的組成物に組み込むための特に好適な戦略は、2000年4月28日に出願された「抗原提示細胞におけるエピトープ同調(EPI TOPE SYNCHRONIZATION IN ANTIGEN PRESENTING CELLS)」という表題の米国特許出願第09/560,465号に開示されている。本発明に関連して使用するためのエピトープクラスターは、2000年4月28日に出願された「エピトープクラスター(EPI TOPE CLUSTER)」という表題の米国特許出願第09/561,571号に開示されている。

20

#### 【0089】

本発明の好ましい実施形態は、p A P C または p A P C 集団に、特定の標的細胞上に提示されるエピトープに相当するハウスキーピングエピトープを提示させるためのワクチンおよび方法に関する。例えば、表1のエピトープまたは抗原のいずれかを使用することができる。一実施形態では、ハウスキーピングエピトープは、特定の腫瘍型のハウスキーピングプロテアソームによりプロセッシングされる T u A A エピトープである。別の実施形態では、ハウスキーピングエピトープは、ウイルスに感染した細胞のハウスキーピングプロテアソームによりプロセッシングされるウイルス関連エピトープである。これは、標的細胞に対する特異的 T 細胞応答を促進する。種々の誘導状態（攻撃前および攻撃後）に相当する複数のエピトープの p A P C による同時発現は、それらがハウスキーピングエピトープまたは免疫性エピトープのいずれかを示す場合に、標的細胞に対して有効な C T L 応答を駆動することができる。

30

#### 【0090】

p A P C 上にハウスキーピングエピトープおよび免疫性エピトープの両方を提示させることにより、この実施形態は、標的細胞に対する細胞傷害性 T 細胞応答を最適化することができる。二重のエピトープ発現を用いた場合、腫瘍細胞が例えば腫瘍浸潤 C T L により産生され得る I F N の誘導により、ハウスキーピングプロテアソームから免疫プロテアソームに切り換える場合に、p A P C は免疫性エピトープに対する C T L 応答を持続し続けることができる。

40

#### 【0091】

好ましい実施形態では、患者の免疫は、ハウスキーピングエピトープを含むワクチンを用いて行われる。多くの好ましい T A A は、特に感染細胞の場合に、標的細胞と独占的に関連される。別の実施形態では、多くの好ましい T A A は、形質転換細胞において調節解除された (deregulated) 遺伝子発現の結果であるが、精巣、卵巣および胎児の組織でも

50

見出される。別の実施形態では、有用な T A A は、他の細胞中よりも標的細胞中でより高いレベルで発現される。さらに他の実施形態では、T A A は他の細胞と比較して標的細胞上で差次的に発現されないが、T A A は細胞の特定の機能に関連し、ほとんどの他の末梢細胞と標的細胞を識別するため依然として有用である。かかる実施形態では、同様に T A A を示す健全な細胞は、誘導される T 細胞応答により副次的に攻撃され得るが、かかる副次的損傷は、標的細胞により引き起こされる状態に対してかなり好ましいとみなされる。

#### 【0092】

ワクチンは、p A P C または p A P C 集団にハウスキーピングエピトープを提示させるのに有効な濃度でハウスキーピングエピトープを含有する。好適には、ワクチンは、任意に 1 つまたは複数の免疫性エピトープと組み合わせて、複数のハウスキーピングエピトープあるいは 1 つまたは複数のハウスキーピングエピトープを含むことができる。ワクチン配合物は、p A P C にエピトープを提示させるのに十分な濃度でペプチドおよび / または核酸を含有する。配合物は好ましくは、約  $1 \mu\text{g} \sim 1 \text{mg}$  / (ワクチン調製物  $100 \mu\text{l}$ ) の総濃度でエピトープを含有する。ペプチドワクチンおよび / または核酸ワクチンに関する従来の投与量および投薬を本発明とともに使用することができ、かかる投薬レジメンは当該技術分野で十分に理解されている。一実施形態では、成人に関する一回の投与量はかかる組成物約  $1 \sim 5000 \mu\text{l}$  であることが好適であり、一回または複数回で、例えば 1 週間、2 週間、1 ヶ月、またはそれ以上に分けた 2 回、3 回、4 回またはそれ以上の投与量で投与される。インスリンポンプは、結節内方法の特許を参照して、1 時間あたり  $1 \mu\text{l}$  (最低頻度) を送達する。

10

20

#### 【0093】

本明細書中に開示する本発明の組成物および方法はさらに、ワクチンの性能を増強するために、配合物にアジュバントを配合することを意図する。具体的には、配合物へのアジュバントの添加は、p A P C によるエピトープの送達および取り込みを増強するように設計される。本発明により意図されるアジュバントは、当業者に既知であり、例えば G M C S F、G C S F、I L - 2、I L - 12、B C G、破傷風トキソイド、オステオポンチン、および E T A - 1 が挙げられる。

#### 【0094】

本発明の幾つかの実施形態では、ワクチンは、遺伝的に宿主中でエピトープを発現するように操作されたウイルス、細菌または原生動物のような組換え生物を含むことができる。例えば、グラム陽性の条件的細胞内細菌であるリステリア菌は、免疫系に対して T u A A を標的とするための強力なベクターである。好ましい実施形態では、このベクターは、治療上の応答を誘導するために、ハウスキーピングエピトープを発現するように操作することができる。この生物の正常な感染経路は消化管を通るものであり、経口送達することができる。別の実施形態では、T u A A に関するハウスキーピングエピトープをコードするアデノウイルス (A d) ベクターを使用して、抗ウイルスまたは抗腫瘍応答を誘発することができる。骨髄由来樹状細胞をウイルス構築物で形質転換した後注射する、あるいはウイルスを皮下注射により動物に直接送達して、強力な T 細胞応答を誘発することができる。別の実施形態は、T A A に関するハウスキーピングエピトープに相当するアミノ酸配列をコードするように操作した組換えワクシニアウイルスを使用する。ミニ遺伝子構築物の形態で適切なヌクレオチド置換を有する構築物を有するワクシニアウイルスは、ハウスキーピングエピトープの発現を誘導することができ、エピトープに対する治療上の T 細胞応答を招く。

30

40

#### 【0095】

D N A による免疫には、A P C が D N A を採取し、コードタンパク質またはペプチドを発現することが必要である。D N A 上で別個のクラス I ペプチドをコードすることが可能である。この構築物で免疫することにより、A P C にハウスキーピングエピトープを発現させることができ、続いて適切な C T L 応答を刺激するために細胞表面上のクラス I M H C 上に提示される。ハウスキーピングエピトープの適正な末端の生成のための翻訳の終結または非プロテアソームプロテアーゼに概して依存する構築物は、2000 年 4 月 28

50

日に出願された標的関連抗原のエピトープをコードする発現ベクター (EXPRESSION VECTOR S ENCODING EPITOPES OF TARGET-ASSOCIATED ANTIGENS) という表題の米国特許出願第 0 9 / 5 6 1 , 5 7 2 号に記載されている。

【 0 0 9 6 】

上述のように、より大きなタンパク質の状況でハウスキーピングエピトープを発現することが望ましくあり得る。少数のアミノ酸がエピトープ末端を超えて存在する場合でさえ、プロセッシングは検出され得る。小さなペプチドホルモンは通常、多くの場合およそ 6 0 から 1 2 0 個のアミノ酸のサイズ範囲にあるより大きな翻訳産物からタンパク質分解的にプロセッシングされる。この事実は、これが効率的に翻訳されうる最小サイズであるという仮定に幾らか結びついている。幾つかの実施形態では、ハウスキーピングエピトープは、

10

【 0 0 9 7 】

差次的プロテアソームプロセッシングに起因して、p A P C の免疫プロテアソームは、末梢身体細胞中のハウスキーピングプロテアソームにより産生されるペプチドとは異なるペプチドを産生する。したがって、より大きなタンパク質の状況でハウスキーピングエピトープを発現する際には、ハウスキーピングエピトープとして、より大きなタンパク質は一般に A P C で活性でないハウスキーピングプロテアソームにより自然タンパク質から単に効率的にプロセッシングされるため、その完全長自然配列以外の状況で A P C において発現

20

【 0 0 9 8 】

あるいは、別の戦略は、A P C におけるハウスキーピングエピトープの産生を可能にする配列を同定するのに非常に有効である。アミノ酸の近接配列は、1 つまたは複数のハウスキーピングエピトープの頭尾の配列から生成され得る。この配列を発現する構築物を用いて動物を免疫して、生じた T 細胞応答を評価して、アレイ中の 1 つまたは複数のエピトープに対する特異性を決定する。定義により、これらの免疫応答は、p A P C において効率的にプロセッシングされるハウスキーピングエピトープを示す。このエピトープ周辺の必要なフランキング領域はそれにより規定される。所望のペプチドの片側上の約 4 ~ 6 個のアミノ酸のフランキング領域を使用することにより、免疫プロテアソームによるハウスキーピングエピトープのプロテアソームプロセッシングを促進するための必要な情報を提供することができる。したがって、およそ 1 6 ~ 2 2 個のアミノ酸エピトープの同調を請け負う (ensure) 配列は、有効に任意のタンパク質配列に挿入することができるか、またはそれらに融合させることができ、A P C において産生されるハウスキーピングエピトープを生じる。代替的实施形態では、エピトープの全ての頭尾のアレイ、または正確にプロセッシングされるハウスキーピングエピトープにまさにすぐ隣のエピトープは、同様に試験構築物からワクチンベクターに移入することができる。

30

40

【 0 0 9 9 】

好ましい実施形態では、ハウスキーピングエピトープは、既知の免疫性エピトープ、またはかかるセグメント間に配置させることができ、それによりプロセッシングに適切な状況を提供する。ハウスキーピングエピトープおよび免疫性エピトープの隣接 (abutment) は、免疫プロテアソームが、ハウスキーピングエピトープ、または好ましくは正確な C 末端

50



を含むより大きな断片を遊離させることが可能となるのに必要な状況を作り出すことができる。所望のエピトープが産生されることを確認するために構築物をスクリーニングすることが有用であり得る。ハウスキーピングエピトープの隣接は、免疫プロテアソームにより切断可能な部位を生成することができる。本発明の幾つかの実施形態は、試験基質においてハウスキーピングエピトープに隣接するために既知のエピトープを使用し、他の実施形態では、フランキング領域が天然フランキング配列の任意の配列であろうとあるいは突然変異であろうと、またプロテアソーム切断の優先の知見が基質を設計するのに使用されようとして使用されまいと、以下に記載するようなスクリーニングが使用される。

#### 【0100】

エピトープの成熟N末端での切断は、様々なN末端トリミング活性が、プロテアソームプロセッシング後にエピトープの成熟N末端を生成することができる細胞において存在するため、好適であるが必要とされない。かかるN末端伸長は約25未満のアミノ酸長であることが好ましく、伸長はより少ない残基を有するか、またはプロリン残基を有さないことがさらに好ましい。好ましくは、スクリーニングにおいて、エピトープの末端での（または少なくともそのC末端での）切断に対してのみ考慮がなされるだけでなく、エピトープ内での限定された切断を確実にするための考慮もなされ得る。

#### 【0101】

ショットガンアプローチは、試験基質を設計するのに使用することができ、スクリーニングの効率を上げることができる。一実施形態では、複数のエピトープを、あるものを他のものの後に構築することができ、個々のエピトープは一度以上出現する可能性があると思われる。基質は、どのエピトープが産生され得るかを決定するためにスクリーニングされ得る。特定のエピトープが重要である場合には、特定のエピトープが複数の異なる状況で出現する基質を設計することができる。1つ以上の状況で出現する単一エピトープが基質から遊離される場合、どれが遊離され、エピトープ同調を確実にする配列を真に構成するかを決定するために、エピトープの個々の場合が除去されるか、無能とされるか、または特有であるさらなる二次試験基質が使用され得る。

#### 【0102】

幾つかの容易に実施可能なスクリーニングが存在する。好ましい*in vitro*スクリーニングは、精製免疫プロテアソームを用いて、所望のハウスキーピングエピトープが問題となっている配列を包含する合成ペプチドから遊離され得るかどうかを決定するために、プロテアソーム消化解析を利用する。得られる切断位置は、エピトープの発見方法、抗原提示細胞におけるエピトープ同調(METHOD OF EPITOPE DISCOVERY, EPITOPE SYNCHRONIZATION IN ANTIGEN PRESENTING CELLS)という表題の米国特許出願、エピトープ配列(EPITOPE SEQUENCES)という表題の2つの米国特許仮出願に詳述されるように、質量分析、HPLC、およびN末端プールシーケンシングのような技法により決定することができる。

#### 【0103】

あるいは、免疫または標的感作のような*in vivo*スクリーンを使用することができる。免疫に関しては、問題となっている配列を発現することが可能な核酸構築物が使用される。回収したCTLは、問題となっているハウスキーピングエピトープを提示する標的細胞を認識するそれらの能力に関して試験することができる。かかる標的細胞は、成熟ハウスキーピングエピトープを包含する合成ペプチドを有する適切なMHC分子を発現する細胞をパルス標識することにより最も容易に獲得される。あるいは、内因的にもしくは遺伝子操作により、ハウスキーピングプロテアソーム、およびハウスキーピングエピトープが由来する抗原を発現することが知られている細胞を使用することができる。スクリーンとして標的感作を使用するために、ハウスキーピングエピトープを認識するCTL、または好ましくはCTLクローンを使用することができる。この場合、（免疫中のpAPCの代わりに）配置されたハウスキーピングエピトープを発現するのが標的細胞であり、標的細胞は免疫プロテアソームを発現しなくてはならない。一般に、標的細胞は包埋されたハウスキーピングエピトープの発現を付与するために、適切な核酸構築物で形質転換され得る。ペプチド負荷リボソームまたはBIOPORTER（商標）(Gene Therapy System

10

20

30

40

50

s, Sna Diegom CA)のようなタンパク質移入試薬を用いて包埋されたエピトープを包含する合成ペプチドを負荷することは代替法を示す。

#### 【0104】

本発明によるワクチンとして有用なさらなる核酸構築物へのガイダンスは、2000年4月28日に出願された「標的関連抗原のエピトープをコードする発現ベクター (EXPRESSION VECTORS ENCODING EPITOPES OF TARGET-ASSOCIATED ANTIGENS)」という表題の米国特許出願第09/561,572号に開示されている。さらに、本発明により有用な発現ベクターの発現およびそれらの設計方法は、2001年7月11日に出願された「標的関連抗原のエピトープをコードする発現ベクター、およびそれらの設計方法 (EXPRESSION VECTORS ENCODING EPITOPES OF TARGET-ASSOCIATED ANTIGENS AND METHODS FOR THEIR DESIGN)」という表題の米国特許出願第60/336,968号 (代理人整理番号 C T L I M M , 0 2 2 P R ) に開示されている。

10

#### 【0105】

本発明の好ましい実施形態は、治療上の免疫応答を誘発するために、エピトープ (単数または複数) を含むワクチンを投与する方法を包含する。ワクチンは、当該技術分野で既知である標準的なワクチン送達プロトコルと一致した様式で患者に投与される。T A A のエピトープ送達方法としては、注射、滴注、または吸入による送達を含む、経皮、結節内、結節周辺、経口、静脈内、皮内、筋内、腹腔内、および粘膜投与を挙げられるが、これらに限定されない。C T L 応答を誘発するためのワクチン送達の特に有用な方法は、2002年1月17日に発行されたオーストラリア特許第739189号、ともに「C T L 応答を誘発する方法 (A METHOD OF INDUCING A CTL RESPONSE)」という表題の1999年9月1日に出願された米国特許出願第09/380,534号、および2001年2月2日に出願されたその一部同時継続の米国特許出願第09/776,232号に開示されている。

20

#### 【0106】

##### エピトープ認識試薬

本発明の別の態様では、エピトープおよび/またはエピトープ-M H C 分子複合体に関する結合特異性を有するタンパク質、ならびにそれらが発現され得る単離された細胞が意図される。実施形態の一組では、これらの試薬は、免疫グロブリン、すなわちその生成方法が当該技術分野で周知であるポリクローナル血清またはモノクローナル抗体 (m A b ) の形態をとる。ペプチド-M H C 分子複合体に関する特異性を有するm A b の生成は当該技術分野で既知である。例えば、Aharoni et al. Nature 351:147-150, 1991、Andersen et al. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 93:1820-1824, 1996、Dadaglio et al. Immunity 6:727-738, 1997、Duc et al. Int. Immunol. 5:427-431, 1993、Eastman et al. Eur. J. Immunol. 26:385-393, 1996、Engberg et al. Immunotechnology 4:273-278, 1999、Porgdor et al. Immunity 6:715-726, 1997、Puri et al. J. Immunol. 158:2471-2476, 1997、およびPolakova, K., et al. J. Immunol. 165 342-348, 2000を参照されたい。

30

#### 【0107】

他の実施形態では、エピトープおよび/またはエピトープ-M H C 複合体のいずれかに特異的なT細胞を、*in vivo*および*in vitro*で誘発および生成するのに組成物を使用することができる。好ましい実施形態では、エピトープは、例えば、表1に列挙した任意の1つまたは複数のエピトープであり得る。したがって、実施形態はまた、単離されたT細胞、T細胞クローン、T細胞ハイブリドーマ、またはクローニングした遺伝子に由来するT細胞受容体 (T C R ) 結合ドメインを含有するタンパク質、ならびにかかるタンパク質を発現する組換え細胞に関し、かつそれらを包含する。かかるT C R 由来タンパク質は、単にT C R の細胞外ドメインであり得るか、または所望の特性および機能を付与するための別のタンパク質の一部との融合物であり得る。かかる融合物の一例は、二価の分子を創出するために、抗体分子の定常領域に、T C R 結合ドメインを結合することである。この一般的パターンに従った分子の構築および活性は、例えば、Plaksin, D. et al. J. Immunol. 158:2218-2227, 1997、およびLebowitz, M.S. et al. Cell Immunol.

40

50

192:175-184, 1999に報告されている。かかる分子のより一般的な構築および使用は、T細胞受容体、ならびに治療方法および診断方法におけるそれらの使用(T CELL RECEPTORS AND THEIR USE IN THERAPEUTIC AND DIAGNOSTIC METHODS)という表題の米国特許第5, 830, 755号でも取り扱われている。

#### 【0108】

かかるT細胞の生成は、実験室動物の標準的な免疫により容易に達成することができ、ヒト標的細胞に対する反応性は、ヒト標的細胞を用いて免疫することにより、あるいはHLAトランスジェニック動物を抗原/エピトープで免疫することにより獲得することができる。幾つかの治療上のアプローチに関して、同種に由来するT細胞が望ましい。かかる細胞は、例えば上述に意図するようにマウスTCRをヒトT細胞にクローニングすることにより創出することができる一方で、ヒト細胞の*in vitro*免疫は潜在的により迅速な選択を付与する。ナイーブドナーを用いた場合でさえ*in vitro*免疫に関する技法はこの分野で既知であり、例えば、Stauss et al., Proc. Natl. Acad. Sci. USA 89:7871-7875, 1992、Salgaller et al. Cancer Res. 55:4972-4979, 1995、Tsai et al., J. Immunol. 158:1796-1802, 1997、およびChung et al., J. Immunother. 22:279-287, 1999を参照されたい。

#### 【0109】

これらの分子のいずれかを、エピトープに関連した病原状態の診断(イメージング、または他の検出)、モニタリング、および治療で使用するために、酵素、放射化学物質、蛍光タグ、および毒素と結合させることができる。したがって、毒素結合体は、腫瘍細胞を死滅させるのに投与することができ、放射標識は、エピトープ陽性腫瘍のイメージングを容易にすることができ、酵素結合体は、癌を診断し生検組織におけるエピトープ発現を確認するために、ELISA様アッセイで使用する事ができる。さらなる実施形態では、上述に記載するようなT細胞は、エピトープおよび/またはサイトカインによる刺激により達成される増殖後に、養子免疫療法として患者に投与することができる。

#### 【0110】

##### エピトープ含有試薬

本発明のさらなる態様は、単離されたエピトープ-MHC複合体を提供する。本発明のこの態様の特に好適な実施形態では、複合体は、米国特許第5, 635, 363号(四量体)、または米国特許第6, 015, 884号(Ig-二量体)に記載されるもののような可溶性の多量体タンパク質であり得る。かかる試薬は、特定のT細胞応答を検出およびモニタリングする際に、ならびにかかるT細胞を精製する際に有用である。

#### 【0111】

エピトープペプチドと複合体を形成した単離されたMHC分子はまた、平面状脂質二重層またはリポソームに組み込むことができる。かかる組成物は、*in vitro*またはリポソームの場合には、*in vivo*でT細胞を刺激するのに使用することができる。共刺激分子(例えば、B7、CD40、LFA-3)を同じ組成物に組み込むことができ、あるいは特に*in vitro*の研究に関して、同時刺激は、抗補助受容体抗体(例えば、抗CD28、抗CD154、抗CD2)、またはサイトカイン(例えば、IL-2、IL-12)により提供され得る。かかるT細胞の刺激は、ワクチン接種を構成することができるか、免疫療法における続く注入のための*in vitro*でのT細胞の増殖を駆動することができるか、またはT細胞機能のアッセイにおける工程を構成することができる。

#### 【0112】

エピトープ、またはより直接的にはMHC分子とのその複合体は、活性化工程もしくは読み取り工程、またはその両方での抗原特異的T細胞の機能的アッセイの重要な成分であり得る。当該技術分野で知られるT細胞機能の多くのアッセイ(詳細な手順は、Current Protocols in Immunology 1999 John Wiley & Sons Inc., N.Y.のような標準的な免疫学的参照文献に見出すことができる)のうち、細胞プールの応答を測定するアッセイと個々の細胞の応答を測定するアッセイの2つの広い部類を定義することができる。前者が応答強

度の全体的な測定を伝えるのに対して、後者は、応答細胞の相対的頻度の決定が可能である。全体的な応答を測定するアッセイの例は、細胞傷害性アッセイ、E L I S A、およびサイトカイン分泌を検出する増殖アッセイである。個々の細胞（またはそれらに由来する小クローン）の応答を測定するアッセイとしては、限界希釈解析（L D A）、E L I S P O T、未分泌サイトカインのフローサイトメトリー検出（「単球リンパ球免疫系の評価方法(METHOD FOR THE ASSESSMENT OF THE MONONUCLEAR LEUKOCYTE IMMUNE SYSTEM)」という表題の米国特許第5,445,939号、ならびにともに「単球リンパ球免疫系の評価方法(METHOD FOR ASSESSMENT OF THE MONONUCLEAR LEUKOCYTE IMMUNE SYSTEM)」という表題の米国特許第5,656,446号および同第5,843,689号に記載されており、それらのための試薬は、商品名「F A S T I M M U N E」でBecton, Dickinson & Companyで販売されている）、および上述のように、かつ上記に引用するように四量体またはI g - 二量体により特異的T C Rの検出が挙げられる。これらの技法の他と比較した場合の長所は、Yee, C. et al. Current Opinion in Immunology, 13:141-146, 2001に概説されている。さらに、特異的T C R再配列または発現の検出は、当業者に明らかなように、様々な確立された核酸ベースの技法により、特に*i n s i t u*および単一細胞P C R技法において達成され得る。

#### 【0113】

これらの機能アッセイは、免疫性の内因性レベル、免疫学的刺激（例えば、ワクチン）に対する応答を評価し、疾患と治療の進路による免疫状態をモニタリングするのに使用される。免疫性の内因性レベルを測定する場合を除いて、これらのアッセイのいずれも、対処される問題の性質に応じて、*i n v i v o*であろうと*i n v i t r o*であろうと、免疫の予備工程を前提とする。かかる免疫は、上述の本発明の様々な実施形態を用いて、あるいは同様の免疫性を誘起することができる他の形態の免疫原（例えば、p A P C - 腫瘍細胞融合物）を用いて実施することができる。同族T C Rの発現を検出することができるP C Rおよび四量体/I g - 二量体型解析を除いて、これらのアッセイは概して、特定の機能活性を検出するために、上述のような本発明の様々な実施形態を好適に使用することができる*i n v i t r o*抗原性刺激の工程から利益を得る（高細胞溶解性応答はときには直接検出され得る）。最終的に、細胞溶解活性の検出はエピトープ提示標的細胞を必要とし、それは本発明の様々な実施形態を用いて生成することができる。任意の特定の工程に関して選択される特定の実施形態は、対処されるべき問題、使用の容易性、コスト等に依存するが、任意の特定組の状況に関する別の実施形態を上回る一実施形態の利点は当業者に明らかである。

#### 【0114】

この節に記載されるペプチドM H C複合体は伝統的に、非共有結合であると理解されている。しかしながら、例えば単一タンパク質として、エピトープおよびM H C重鎖、またはエピトープ、 $\alpha$ 2 - ミクログロブリンおよびM H C重鎖をコードすることにより、共有結合を創出することが可能であり、かつ好適であり得る（Yu, Y.L.Y., et al., J. Immunol. 168:3145-3149, 2002、Mottez, E., et al., J. Exp. Med. 181:493, 1995、Dela Cruz, C.S., et al., Int. Immunol. 12:1293, 2000、Mage, M.G., et al., Proc. Natl. Acad. Sci. USA 89:10658, 1992、Toshitani, K., et al., Proc. Natl. Acad. Sci. USA 93:236, 1996、Lee, L., et al., Eur. J. Immunol. 24:2633, 1994、Chung, D.H., et al., J. Immunol. 163:3699, 1999、Uger, R.A. and B.H.Barber, J. Immunol. 160:1598, 1998、Uger, R.A., et al., J. Immunol. 162:6024, 1999、およびWhite, J., et al., J. Immunol. 162:2671, 1999）。かかる構築物は、優れた安定性を有することができ、プロセッシング - 提示経路における障害を克服することができる。かかる構築物は、上述のワクチン、試薬、および類似の様式のアッセイで使用することができる。

#### 【0115】

##### 腫瘍関連抗原

本発明のエピトープは、T u A Aチロシナーゼ（配列番号2）、S S X - 2（配列番号3）、P S M A（前立腺特異的膜抗原）（配列番号4）、G P 1 0 0（配列番号70）、

MAGE - 1 (配列番号 71)、MAGE - 2 (配列番号 72)、MAGE - 3 (配列番号 73)、NY - ESO - 1 (配列番号 74)、PRAME (配列番号 77)、PSA (配列番号 78)、PSCA (配列番号 79)、フィブロネクチンのED - Bドメイン (配列番号 589 および 590)、CEA (癌胎児性抗原) (配列番号 592)、Her2 / Neu (配列番号 594)、SCP - 1 (配列番号 596)、および SSX - 4 (配列番号 598) に由来する。これらの 11 個のタンパク質に関する天然コード配列、またはそれら内の任意のセグメントは、それらの cDNA または完全コード (cds) 配列、すなわちそれぞれ配列番号 5 ~ 7、80 ~ 87、591、593、595、597 および 599 から決定され得る。

#### 【0116】

チロシナーゼは、メラニン細胞分化の最も特異的なマーカーの 1 つであるとみなされる。チロシナーゼは、数種の細胞型、主にメラニン細胞で発現され、黒色腫において高レベルが見出される場合が多い。TuAA としてのチロシナーゼの有用性は、「異常細胞の幾つかは HLA - A2 / チロシナーゼ由来ペプチドの複合体を提示する細胞異常性を受けている個体を同定する方法、および上記個体を治療する方法 (METHOD FOR IDENTIFYING INDIVIDUALS SUFFERING FROM A CELLULAR ABNORMALITY SOME OF WHOSE ABNORMAL CELLS PRESENT COMPLEXES OF HLA-A2/TYROSINASE DERIVED PEPTIDES, AND METHODS FOR TREATING SAID INDIVIDUALS)」という表題の米国特許第 5,747,271 号に教示されている。

#### 【0117】

PMe117 としても既知の GP100 もまた、黒色腫において高レベルで発現されるメラニン生合成タンパク質である。TuAA としての GP100 は、「黒色腫抗原、ならびに診断方法および治療方法におけるそれらの使用 (MELANOMA ANTIGENS AND THEIR USE IN DIAGNOSTIC AND THERAPEUTIC METHODS)」という表題の米国特許第 5,844,075 号に開示されている。

#### 【0118】

Hom-Mel-40 としても既知の SSX - 2 は、高度の保存された癌精巢抗原ファミリーの成員である (Gure, A.O. et al. Int. J. Cancer 72:965-971, 1997)。TuAA としてのその同定は、「黒色腫特異的抗原をコードする単離された核酸分子、およびそれらの使用 (ISOLATED NUCLEIC ACID MOLECULES WHICH ENCODE A MELANOMA SPECIFIC ANTIGEN AND USES THEREOF)」という表題の米国特許第 6,025,191 号に教示されている。癌精巢抗原は、様々な腫瘍に見出されるが、一般に正常な成人の精巢を除く組織には欠如している。SSX ファミリーの種々の成員の発現は、腫瘍細胞系において様々な見出されている。SSX ファミリー成員間の高度の配列同一性に起因して、ファミリーの 1 つを超える成員から類似のエピトープが生成され、MHC 分子に結合することが可能であり、その結果、このファミリーの一成員に対する幾つかのワクチンがこのファミリーの他の成員と交差反応することができ、それらに対して効果的であり得る (以下の実施例 3 を参照)。

#### 【0119】

MAGE - 1、MAGE - 2 および MAGE - 3 は、本来黒色腫において発見された癌精巢抗原の別のファミリーの成員である (MAGE は、黒色腫関連抗原の短縮形である) が、様々な腫瘍に見出される。TuAA としての MAGE タンパク質の同定は、腫瘍拒絶抗原前駆体である MAGE - 1 をコードするヌクレオチド配列 (NUCLEOTIDE SEQUENCE ENCODING THE TUMOR REJECTION ANTIGEN PRECURSOR, MAGE-1) という表題の米国特許第 5,342,774 号、および多くの続く特許において教示されている。現在、SWISS タンパク質データベースに (ヒト) MAGE に関して 17 個の記入が存在する。多くの場合、同様にこれらのタンパク質間に広範な類似性が存在し、1 つ由来のエピトープは、ファミリーの他の成員に対する交差反応性応答を誘発することができる。これらの数種、最も顕著には MAGE - H1 および MAGE - D1 が腫瘍で観察されず、それらはそれぞれ、精巢および脳、ならびに骨髄間質細胞で発現される。正常組織での交差反応性の可能性は、それらが他の MAGE タンパク質に最も類似していないという事実により改善される。

10

20

30

40

50

## 【 0 1 2 0 】

NY - ESO - 1 は、広範囲の腫瘍において見出される癌精巢抗原であり、CTAG - 1 (癌精巢抗原 - 1) およびCAG - 3 (癌抗原 - 3) としても既知である。TuAAとしてのNY - ESO - 1 は、食道癌関連抗原をコードする単離された核酸分子、それらの抗原、およびそれらの使用 (ISOLATED NUCLEIC ACID MOLECULE ENCODING AN ESOPHAGEAL CANCER ASSOCIATED ANTIGEN, THE ANTIGEN ITSELF, AND USES THEREOF) という表題の米国特許第 5, 804, 381 号に開示されている。広範な配列同一性をコードする抗原を有するパラログスな遺伝子座であるLAGE - 1a / s (配列番号 75) およびLAGE - 1b / L (配列番号 76) は、ヒトゲノムの公的に利用可能なアセンブリにおいて開示され、選択的スプライシングにより生じると結論付けられている。さらに、CT - 2 (またはCTAG - 2、癌精巢抗原 - 2) は、LAGE - 1b / L の対立遺伝子、突然変異体、またはシーケンシング不一致のようである。広範な配列同一性に起因して、NY - ESO - 1 由来の多くのエピトープも、これらの他の抗原を発現する腫瘍に対する免疫性を誘発することができる。図 1 を参照されたい。タンパク質はアミノ酸 70 まで事実上同一である。71 から 134 まで、NY - ESO - 1 とLAGE との間の最長の同一性の行程は 6 残基であるが、潜在的交差反応性配列が存在する。また、135 から 180 まで、NY - ESO およびLAGE - 1a / s はたった一つの残基を除いて同一であるが、LAGE - 1b / L は選択的スプライスにより未関連である。CAMEL およびLAGE - 2 抗原は、LAGE - 1 mRNA に由来するようであるが、交互のリーディングフレームに由来し、したがって未関連タンパク質配列を生じる。より最近では、GenBank のアクセッション番号 AF277315.5 であるホモサピエンスの染色体 X クローン RP5 - 865E18、RP5 - 1087L19 の完全配列は、LAGE 1 (ゲノム構築物中のCTAG - 2 に相当する)、さらにLAGE 2 - A およびLAGE 2 - B (ともにゲノム構築物中のCTAG - 1 に相当する) として呼ばれるこの領域での 3 つの別個の遺伝子座を報告する。

10

20

## 【 0 1 2 1 】

「前立腺特異的膜抗原 (PROSTATE-SPECIFIC MEMBRANES ANTIGEN)」という表題の米国特許第 5, 538, 866 号に記載されるTuAAであるPSMA (前立腺特異的膜抗原) は、正常な前立腺上皮により、および前立腺癌中で高レベルで発現される。PSMA は、非前立腺腫瘍の新生血管系でも見出されている。したがって、PSMA は、前立腺癌および他の腫瘍の新生血管系の両方に対して誘導されるワクチンに関する基礎を形成することができる。この後者の概念は、2001 年 3 月 7 日に出願された癌用の抗新生血管ワクチン (ANTI-NEOVASCULAR VACCINES FOR CANCER) という表題の米国特許仮出願第 60 / 274, 063 号、および「癌用の抗新生血管調製物 (ANTI-NEOVASCULAR PREPARATIONS FOR CANCER)」という表題の 2002 年 3 月 7 日に出願された米国出願第 10 / 094, 699 号 (代理人整理番号 CTL IMM. 015A) により詳細に記載されている。すなわち、腫瘍が成長するにつれ、腫瘍が新規血管の内殖を強化する。これは、非血管化腫瘍の中心が概して壊死状態にある場合、成長を持続するのに必要であると理解され、血管新生阻害剤は腫瘍後退を引き起こすことが報告されている。かかる新規血管、すなわち新生血管系は、樹立血管において見出されない抗原を発現し、したがってそれらを特異的に標的とすることができる。新血管抗原に対するCTLを誘発することにより、血管を崩壊することができ、腫瘍に対する栄養の流れ (および腫瘍からの廃棄物の除去) を妨げ、後退を招く。

30

40

## 【 0 1 2 2 】

PSMA mRNA の選択的スプライシングはまた、Met<sub>58</sub> に見かけの開始を有するタンパク質を導き、それにより「選択的にスプライシングされた前立腺特異的膜抗原をコードする単離された核酸分子、およびそれらの使用 (ISOLATED NUCLEIC ACID MOLECULE ENCODING ALTERNATIVELY SPLICED PROSTATE-SPECIFIC MEMBRANES ANTIGEN AND USES THEREOF)」という表題の米国特許第 5, 935, 818 号に記載されるように、PSMA の推定膜アンカー領域を欠失させる。PSMA 様タンパク質と称されるタンパク質である Genbank アクセッション番号 AF261715 は、PSMA のアミノ酸 309 ~ 750 に

50

ほぼ同一であり、異なる発現プロフィールを有する。したがって、最も好ましいエピトープは、アミノ酸 58 ~ 308 に位置される N 末端を有するものである。

#### 【0123】

MAPE、DAGE および OIP4 としても既知の PRAME は、最初は黒色腫抗原として観察された。続いて、PRAME は CT 抗原として認識されたが、多くの CT 抗原（例えば、MAGE、GAGE および BAGE）と異なり、急性骨髄性白血病において発現される。PRAME は、それが限定された配列類似性を共有する仮説のタンパク質から大部分が構成される MAPE ファミリーの成員である。TuAA としての PRAME の有用性は、腫瘍拒絶抗原前駆体 DAGE をコードする単離された核酸分子、およびそれらの使用 (ISOLATED NUCLEIC ACID MOLECULES CODING FOR TUMOR REJECTION ANTIGEN PRECURSOR DAGE AND USES THEREOF)」という表題の米国特許第 5,830,753 号に教示されている。

10

#### 【0124】

PSA、すなわち前立腺特異的抗原は、カリクレインファミリーのペプチダーゼ、および前立腺の分化抗原である。胸部組織での発現も報告されている。代替りの名称としては、セミノプロテイン、カリクレイン 3、セミノゲラーゼ (seminogelase)、セニン、および P-30 抗原が挙げられる。PSA は、様々な選択的スプライシング産物である前立腺 / 腺のカリクレイン-1 および -2、ならびにカリクレイン 4 と、高度の配列同一性を有し、これは前立腺および胸部組織でも発現される。他のカリクレインは概して、より小さな配列同一性を共有し、異なる発現プロフィールを有する。それにもかかわらず、任意の特定エピトープが非標的組織をプロセッシングすることにより（最も一般的にはハウスキーパープロテアソームにより）遊離される可能性とともに、そのエピトープにより誘起され得る交差反応性が、ワクチンを設計する際に考慮されるべきである。

20

#### 【0125】

SCAH-2 としても既知の PSCA、すなわち前立腺幹細胞抗原は、前立腺上皮細胞において優先的に発現される分化抗原であり、前立腺癌で過剰発現される。より低レベルの発現が、消化管および腎臓の集合管の神経内分泌細胞を含む幾つかの正常組織で見られる。PSCA は、「ヒト幹細胞抗原 (HUMAN STEM CELL ANTIGENS)」という表題の米国特許第 5,856,136 号に記載されている。

#### 【0126】

HOM-TESS-14 としても既知のシナプトネマ構造タンパク質 1 (SCP-1) は、減数分裂関連タンパク質、および癌精巢抗原である (Tureci, O., et al. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 95:5211-5216, 1998)。癌抗原として、その発現は細胞周期調節性でなく、SCP-1 は、神経膠腫、胸部、腎細胞および卵巣癌腫において頻繁に見出される。SCP-1 は、ミオシンに対していくらかの類似性を有するが、数個の十分な同一性を有する場合、その交差反応性エピトープは目下の期待ではない。

30

#### 【0127】

フィブロネクチンの ED-B ドメインもまた、潜在的な標的である。フィブロネクチンは、発達上調節される選択的スプライシングの対象であり、ED-B は、主として腫瘍胎児組織で使用する単一エクソンによりコードされる (Matsuura, H. and S. Hakomori Proc. Natl. Acad. Sci. USA 82:6517-6521, 1985、Carnemolla, B. et al. J. Cell Biol. 108:1139-1148, 1989、Loridon-Rosa, B. et al. Cancer Res. 50:1608-1612, 1990、Nicolò, G. et al. Cell Differ. Dev. 32:401-408, 1990、Borsi, L. et al. Exp. Cell Res. 199:98-105, 1992、Oyama, F. et al. Cancer Res. 53:2005-2011, 1993、Mandel, U. et al. APMIS 102:695-702, 1994、Farnoud, M.R. et al. Int. J. Cancer 61:27-34, 1995、Pujuguet, P. et al. Am. J. Pathol. 148:579-592, 1996、Gabler, U. et al. Heart 75:358-362, 1996、Chevalier, X. Br. Rheumatol. 35:407-415, 1996、Midulla, M. Cancer Res. 60:164-169, 2000)。

40

#### 【0128】

ED-B ドメインはまた、新生血管系のフィブロネクチンでも発現される (Kaczmarek,

50

J. et al. Int. J. Cancer 59:11-16, 1994、Castellani, P. et al. Int. J. Cancer 59:612-618, 1994、Neri, D. et al. Nat. Biotech. 15:1271-1275, 1997、Karelina, T.V. and A.Z.Eisen Cancer Detect. Prev. 22:438-444, 1998、Tarli, L. et al. Blood 94:192-198, 1999、Castellani, P. et al. Acta Neurochir. (Wien) 142:277-282, 2000)。腫瘍胎児ドメインとして、E D - B ドメインは、新生血管系で発現されるほかに、新生細胞により発現されるフィブロネクチンにおいて一般に見出される。したがって、E D - B ドメインを標的とするC T L 誘発性ワクチンは、2つの作用メカニズム：腫瘍細胞の直接溶解、および腫瘍関連新生血管系の破壊による腫瘍血液供給の崩壊を示すことができる。C T L 活性はワクチン使用中止後に迅速に遅延することができるため、正常血管新生による妨害は最小限であり得る。新生血管系を標的とするワクチンの設計および試験は、「癌用の抗新生血管系ワクチン(ANTI-NEOVASCULATURE VACCINES FOR CANCER)」という表題の米国特許仮出願第60/274,063号、およびこの出願と同日(2002年3月7日)に出願された「癌用の抗新生血管系調製物(ANTI-NEOVASCULATURE PREPARATIONS FOR CANCER)」という表題の米国特許出願第10/094,699号(代理人整理番号C T L I M M . 0 . 1 5 A ) に記載されている。腫瘍細胞系は、「H L A トランスジェニックマウス腫瘍細胞系(HLA-TRANSGENIC MURINE TUMOR CELL LINE)」という表題の2002年3月7日出願された米国特許仮出願第60/363,131号(代理人整理番号C T L I M M . 0 2 8 P R ) に開示されている。

10

#### 【0129】

癌胎児性抗原(C E A ) は、1965年に最初に記載された典型的な腫瘍胎児タンパク質である(Gold and Freedman, J. Exp. Med. 121:439-462, 1965。より完全な参考文献は、Online Medelian Inheritance in Man; record \*114890に見出すことができる)。C E A は、癌胎児性抗原関連細胞接着分子5(C E A C A M 5 ) と公式に解明された。その発現は、消化管の上皮内層の腺癌および胎児結腸と最も強力に関連している。C E A は、免疫グロブリンスーパー遺伝子ファミリーの成員、およびC E A サブファミリーの特徴的な成員である。

20

#### 【0130】

H E R 2 / N E U は、上皮成長因子受容体に関連し(van de Vijver, et al., New Eng. J. Med. 319:1239-1245, 1988)、かつc - E R B B 2 癌遺伝子に外見上同一である(Di Fiore, et al., Science 237: 178-182, 1987)癌遺伝子である。E R B B 2 の過剰発現は、前立腺癌の悪性形質転換に関与される。H E R 2 として、E R B B 2 は、他の腫瘍の中でも乳癌の25~30%で増幅および過剰発現され、ここで発現レベルは、腫瘍の攻撃性と相関している(Slamon, et al., New Eng. J. Med. 344:783-792, 2001)。より詳細な説明が、Online Medelian Inheritance in Man, record \*164870で入手可能である。

30

#### 【0131】

本発明の実施形態に関連したさらなる開示は、2001年11月7日出願された「抗原提示細胞におけるエピトープ同調(EPITOPE SYNCHRONIZATION IN ANTIGEN PRESENTING CELLS)」という表題の米国特許出願第10/005,905号(代理人整理番号C T L I M M . 0 2 1 C P 1 ) 、およびその継続出願である同様に「抗原提示細胞におけるエピトープ同調(EPITOPE SYNCHRONIZATION IN ANTIGEN PRESENTING CELLS)」という表題の2000年12月7日出願された米国出願第 / 号に見出される。

40

#### 【0132】

有用なエピトープを、以下の実施例で記載されるように同定および試験した。しかしながら、これらの実施例は、単なる説明の目的のために意図され、いかなる場合においても本発明の範囲を限定するものと解釈されるべきではない。

#### 【実施例】

#### 【0133】

特定の好ましいエピトープの配列

実施例 1

エピトープの製造

50



## A. エピトープの合成的生産

配列番号 1、8、9、11～23、26～29、32～44、47～54、56～63、66～68、88～253、または256～588のいずれかのアミノ酸配列を有するペプチドを、F M O C 固相合成方法または t B O C 固相合成方法のいずれかを用いて合成する。合成後、適切な保護スカベンジャーの存在下で、それぞれトリフルオロ酢酸またはフッ化水素のいずれかを用いて、ペプチドをそれらの支持体から切り出す。蒸発により酸を除去した後、ペプチドをエーテルで抽出して、スカベンジャーおよび粗原料を除去して、続いて沈殿したペプチドを凍結乾燥する。粗製ペプチドの純度を H P L C、配列解析、アミノ酸解析、対イオン含有量解析、および他の適切な手段により測定する。粗製ペプチドが十分に純粋（約90%以上純粋）である場合、粗製ペプチドをそのまま使用することができる。薬剤物質規格を満たすのに精製が必要とされる場合、以下の：再沈殿、逆相クロマトグラフィ、イオン交換クロマトグラフィ、サイズ排除クロマトグラフィもしくは疎水性相互作用クロマトグラフィ、または向流分配のうちの1つあるいは組合せを用いて、ペプチドを精製する。

10

## 【0134】

## 薬剤製品配合物

G M P グレードのペプチドを、非経口的に許容可能な水性、有機性もしくは水性 - 有機性緩衝液または溶媒系中に配合し、その中ではペプチドは、依然として物理学および化学的に安定性であり、生物学的に強力のものである。一般に、緩衝液、または緩衝液の組合せ、または緩衝液および有機溶媒の組合せが適切である。p H 範囲は通常、6～9である。有機改質剤または他の賦形剤を添加して、ペプチドを可溶化し、かつそれを安定化するのを助長することができる。これらとしては、界面活性剤、脂質、補助溶媒、酸化防止剤、キレート化剤、および還元剤が挙げられる。凍結乾燥製品の場合には、ショ糖またはマンニトール、あるいは他の凍結乾燥助剤を添加することができる。ペプチド溶液を、それらの最終的な容器施栓系へと膜濾過することにより滅菌し、診療所で溶解するために凍結乾燥するか、または使用するまで保管する。

20

## 【0135】

## B. 核酸ワクチンとして使用するための発現ベクターの構築

3つの一般的なエピトープ発現ベクターの構築を以下に提示する。これらの設計の特定の利点は、「標的関連抗原のエピトープをコードする発現ベクター (EXPRESSION VECTORS ENCODING EPITOPES OF TARGET-ASSOCIATED ANTIGENS)」という表題の米国特許出願第09 / 561, 572号に記載されている。

30

## 【0136】

次に、適切な大腸菌をプラスミドでトランスフェクトし、選択培地に添加した。幾つかのコロニーが、懸濁培養液中で成長し、制限マッピングにより陽性クローンを同定した。次に、陽性クローンを成長させて、保管バイアル中に分取して、-70℃で保管した。

## 【0137】

次に、プラスミドのミニプレップ (Q I A p r e p S p i n M i n i - p r e p : Qiagen, Valencia, CA) をこれらの細胞の試料から作製し、自動蛍光ジデオキシ配列解析を用いて、構築物が所望の配列を有するかを確認した。

40

## 【0138】

## B. 1 p V A X - E P 1 - I R E S - E P 2 の構築

概要：

この構築物用の開始プラスミドは、Invitrogen(Carlsbad, CA)から購入される p V A X 1 である。エピトープ E P 1 および E P 2 は、GIBCO BRL(Rockville, MD)により合成された。I R E S は、Clontech(Palo Alto, CA)から購入される p I R E S から切除された。

## 【0139】

手順：

1 p I R E S を、E c o R I および N o t I で消化した。消化した断片を、アガロースゲル電気泳動で分離し、切り出したバンドから I R E S 断片を精製した。

50

2 p V A X 1 を、E c o R I および N o t I で消化し、p V A X 1 断片をゲル精製した。

3 精製した p V A X 1 および I R E S 断片をともに連結させた。

4 株 D H 5 のコンピテント大腸菌を、連結混合物で形質転換した。

5 得られたコロニーのうちの4つからミニプレップを作製した。

6 制限酵素消化解析を、ミニプレップ D N A に実施した。I R E S 挿入物を有する1つの組換えコロニーを、E P 1 および E P 2 のさらなる挿入に使用した。この中間体構築物を p V A X - I R E S と呼んだ。

7 E P 1 および E P 2 をコードするオリゴヌクレオチドを合成した。

8 E P 1 を、A f l I I 部位と E c o R I 部位との間で p V A X - I R E S にサブクローニングして、p V A X - E P 1 - I R E S を作製した。

9 E P 2 を、S a l I 部位と N o t I 部位との間で p V A X - E P 1 - I R E S にサブクローニングして、最終構築物 p V A X - E P 1 - I R E S - E P 2 を作製した。

10 E P 1 - I R E S - E P 2 挿入物の配列を D N A シーケンシングにより確認した。

#### 【0140】

B 2 . p V A X - E P 1 - I R E S - I S S - N I S の構築

概要：

この構築物用の開始プラスミドは、p V A X - E P 1 - I R E S - E P 2 (実施例1)であった。この構築物に導入される I S S (免疫刺激配列)は A A C G T T であり、使用される N I S (核内移行配列を意味する)は、S V 4 0 7 2 b p 反復配列である。I S S - N I S は、G I B C O B R L により合成された。図2を参照されたい。

#### 【0141】

手順：

1 p V A X - E P 1 - I R E S - E P 2 を N r u I で消化し、直線化プラスミドをゲル精製した。

2 I S S - N I S オリゴヌクレオチドを合成した。

3 精製した直線化 p V A X - E P 1 - I R E S - E P 2 および合成 I S S - N I S をともに連結させた。

4 株 D H 5 のコンピテント大腸菌を、連結産物で形質転換した。

5 得られたコロニーからミニプレップを作製した。

6 ミニプレップの制限酵素消化を実施した。

7 挿入物を有するプラスミドをシーケンシングした。

#### 【0142】

B 3 . p V A X - E P 2 - U B - E P 1 の構築

概要：この構築物用の開始プラスミドは、p V A X 1 (Invitrogen)であった。E P 2 および E P 1 は、G I B C O B R L により合成された。構築物における76個のアミノ酸をコードする野生型ユビキチン c D N A は、酵母からクローニングされた。

#### 【0143】

手順：

1 酵母 m R N A を用いて、R T - P C R を実施した。プライマーは、酵母ユビキチンの完全コード配列を増幅するように設計した。

2 R T - P C R 産物を、アガロースゲル電気泳動を用いて解析した。予測サイズを有するバンドをゲル精製した。

3 精製した D N A バンドを、E c o R V 部位で p Z E R O 1 にサブクローニングした。得られたクローンを p Z E R O - U B と称した。

4 p Z E R O - U B の幾つかのクローンをシーケンシングして、さらに操作する前にユビキチン配列を確認した。

5 E P 1 および E P 2 を合成した。

6 E P 2、ユビキチン、および E P 1 を連結させて、挿入物を、B a m H I と E c o

10

20

30

40

50

R I との間で p V A X 1 にクローニングして、それを C M V プロモーターの制御下に置いた。

7 挿入物 E P 2 - U B - E P 1 の配列を D N A シーケンシングにより確認した。

#### 【0144】

##### 実施例 2

##### 有用なエピトープ変異体の同定

10 量体 F L P W H R L F L L ( 配列番号 1 ) は、有用なエピトープとして同定される。この配列に基づいて、多数の変異体が作製される。H L A 結合アッセイで活性を示す変異体 ( 実施例 3、セクション 6 を参照 ) が有用であると同定され、続いてワクチンに配合される。

#### 【0145】

F L P W H R L F L L の長さ変異体の H L A - A 2 結合を評価した。プロテアソーム消化解析は、9 量体 F L P W H R L F L ( 配列番号 8 ) の C 末端も産生されることを示す。さらに、9 量体 L P W H R L F L L ( 配列番号 9 ) は、10 量体の N 末端トリミングから生じ得る。ともに H L A - A \* 0 2 0 1 分子に結合すると予測されるが、これら 2 つの 9 量体のうち、F L P W H R L F L がより有意な結合を示し、好ましい ( 図 3 A および図 3 B を参照 ) 。

#### 【0146】

i n v i t r o プロテアソーム消化および N 末端プールシーケンシングは、チロシナーゼ<sub>207~216</sub> ( 配列番号 1 ) がチロシナーゼ<sub>207~215</sub> ( 配列番号 8 ) よりも一般的に産生されることを示すが、後者のペプチドは、最適なワクチン設計に到達する際に潜在的に重要である優れた免疫原性を示す。F L P W H R L F L、すなわちチロシナーゼ<sub>207~215</sub> ( 配列番号 8 ) を、H L A - A 2<sup>+</sup>血液の i n v i t r o 免疫で使用して、C T L を生成させた ( 以下の C T L 誘発培養を参照 ) 。標準的クロム放出アッセイにおける標的として、ペプチドパルス化 T 2 細胞を用いて、チロシナーゼ<sub>207~215</sub> ( 配列番号 8 ) により誘発される C T L が同様にチロシナーゼ<sub>207~216</sub> ( 配列番号 1 ) を認識することを見出した ( 図 3 C を参照 ) 。これらの C T L はまた、H L A - A 2<sup>+</sup>のチロシナーゼ<sup>+</sup>腫瘍細胞系 6 2 4 . 3 8 および H T B 6 4 を認識するが、6 2 4 . 3 8 の H L A - A 2<sup>-</sup>誘導体である 6 2 4 . 2 8 を認識しない ( 図 3 C ) 。したがって、i n v i v o で産生されるこれらの 2 つのエピトープの相対量は、ワクチン設計において重要とならない。

#### 【0147】

##### C T L 誘導培養

正常ドナー由来の P B M C を、バフィーコートから、Ficoll-Hypaque における遠心分離により精製した。すべての培養が自家血漿 ( A P ) を用いて実施され、潜在的異種病原体への暴露および F B S ペプチドの認識を回避した。ペプチド特異的 C T L の i n v i t r o 生成を選ぶために、本発明者等は、A P C として自己樹状細胞 ( D C ) を使用した。記載される ( Keogh et al., 2001 ) ように、D C が生成され、D C および P B M C 由来のペプチドを用いて C T L が誘発された。すなわち、単球が富化された細胞画分を G M - C S F および I L - 4 とともに 5 日間培養して、2 μ g / m l の C D 4 0 を有する培地中でさらに 2 日間培養して、成熟させた。2 × 10<sup>6</sup> 個の C D 8<sup>+</sup> が富化された T リンパ球 / ウェル、および 2 × 10<sup>5</sup> 個のペプチドパルス化 D C / ウェルを、10 % A P、10 n g / m l I L - 7、および 20 I U / m l I L - 2 を添加した R P M I 2 m l 中で、24 ウェルプレートで共存培養した。7 日目および 14 日目に、自家照射ペプチドパルス化 D C で培養物を再刺激した。

#### 【0148】

F L P W H R L F L の配列変異体を以下のように構築する。N I H / B I M A S M H C 結合予測プログラム ( 以下の実施例 3 における参考文献を参照 ) からの結合係数表 ( 表 3 を参照 ) と一貫して、結合は、アンカー位置である位置 9 にある L を V に変更することにより改善することができる。結合はまた、一般により少ない程度ではあるが、非アンカー位置での変化により変更することができる。概して表 3 を参照して、結合は、比較的大

10

20

30

40

50

きな係数を有する残基を使用することにより増大させることができる。配列中の変化もまた、MHCへの結合に対するそれらの影響に関係なく、免疫原性を変更させることができる。したがって、結合および/または免疫原性は、以下のように改善させることができる。

【0149】

位置3にあるPを、F、L、M、W、またはYで置換することによるもの：これらはすべて、結合に対する影響に関係なく、免疫原性を改良することもできる嵩高い(bulkier)残基である。それぞれアミンおよびヒドロキシ保有残基であるQおよびN、ならびにSおよびTもまた、より強力な交差反応性応答を誘起することができる。

【0150】

位置4にあるWをDまたはEで置換することにより、結合を改善するもの：陰電荷のこの付加もまた、エピトープをより免疫原性とさせることができる一方で、場合によっては、天然エピトープとの交差反応性を減少させる。あるいは、FまたはYの保存的置換は交差反応性応答を誘起することができる。

【0151】

位置5にあるHをFで置換することにより、結合を改善するもの：Hは、部分的に荷電されるとみなすことができ、したがって場合によっては電荷の損失が交差反応性を妨害し得る。この位置での完全に荷電された残基RまたはKの置換は、電荷依存的交差反応性を崩壊することなく、免疫原性を高めることができる。

【0152】

位置6にあるRを、I、L、M、V、F、W、またはYで置換することによるもの：同じ注意および代替法が位置5と同様にここでも適用される。

【0153】

位置7にあるLをWまたはFで置換することにより、結合を改善するもの：この位置でのV、I、S、T、Q、またはNの置換は一般に、このモデルにより結合親和性を減少させると予測されず(NIHアルゴリズム)、依然として上記のように好適であり得る。

【0154】

位置1および8にあるFとして同様に好ましいYおよびWは、有用な交差反応性を誘起することができる。最終的に、嵩高さの方向における置換が一般に免疫原性を改善するのに好まれる一方で、位置3～7でのA、S、およびCのようなより小さな残基の置換は、本来嵩高さというよりはサイズの対比が免疫原性において重要な要因であるという理論に従って有用であり得る。Cにおけるチオール基の反応性は、Chen, J.-L., et al. J. Immunol. 165:948-955, 2000で議論されるように、他の特性を導入することができる。

【0155】

10

20

30

## 【表 3】

表3 HLA-A\*0201\*に関する9量体係数表

ファイル「A_0201_標準」に関するHLA係数表									
アミノ酸 タイプ	1 <sup>st</sup>	2 <sup>nd</sup>	3 <sup>rd</sup>	4 <sup>th</sup>	5 <sup>th</sup>	6 <sup>th</sup>	7 <sup>th</sup>	8 <sup>th</sup>	9 <sup>th</sup>
A	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
C	1.000	0.470	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
D	0.075	0.100	0.400	4.100	1.000	1.000	0.490	1.000	0.003
E	0.075	1.400	0.064	4.100	1.000	1.000	0.490	1.000	0.003
F	4.600	0.050	3.700	1.000	3.800	1.900	5.800	5.500	0.015
G	1.000	0.470	1.000	1.000	1.000	1.000	0.130	1.000	0.015
H	0.034	0.050	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.015
I	1.700	9.900	1.000	1.000	1.000	2.300	1.000	0.410	2.100
K	3.500	0.100	0.035	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.003
L	1.700	72.000	3.700	1.000	1.000	2.300	1.000	1.000	4.300
M	1.700	52.000	3.700	1.000	1.000	2.300	1.000	1.000	1.000
N	1.000	0.470	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.015
P	0.022	0.470	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.003
Q	1.000	7.300	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.003
R	1.000	0.010	0.076	1.000	1.000	1.000	0.200	1.000	0.003
S	1.000	0.470	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.015
T	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.500
V	1.700	6.300	1.000	1.000	1.000	2.300	1.000	0.410	14.000
W	4.600	0.010	8.300	1.000	1.000	1.700	7.500	5.500	0.015
Y	4.600	0.010	3.200	1.000	1.000	1.500	1.000	5.500	0.015

\*公的に利用可能であるこの表および他の匹敵するデータは、エピトープ変異体を設計する際に、そして特定の変異体を実質的に類似しているか、または機能的に類似しているかどうかを決定する際に有用である。

## 【0156】

## 実施例 3

クラスター解析 (SSX-2<sub>31~68</sub>)

## 1. エピトープクラスター領域予測:

H.G.Rammensee, J.Bachmann and S.Stevanovicによる書籍「MHCリガンドおよびペプチドモチーフ」に基づいたコンピュータアルゴリズム: SYFPEITHI (インターネット <http://syfpeithi.bmi-heidelberg.com/Scripts/MHCServer.dll/EpPredict.htm>にアクセス)、およびParker, K.C., et al., J. Immunol. 152:163, 1994に記載されるHLAペプチド結合予測 (NIH) (インターネット [http://bimas.dcrt.nih.gov/molbio/hla\\_bin](http://bimas.dcrt.nih.gov/molbio/hla_bin)にアクセス)を用いて、SSX-2 (GI: 10337583)のタンパク質配列を解析した。エピトープクラスター (高予測MHC親和性を有するペプチド断片の平均密度よりも広い領域)を、2000年4月28日に出願された「エピトープクラスター (EPITOPE CLUSTERS)」という表題の米国特許出願第09/561, 571号に完全に記載されるように規定した。エピトープ密度比カットオフ2を用いて、5個のクラスターおよび

2 個のクラスターを、それぞれ S Y F P E T H I および N I H アルゴリズムを用いて規定し、ペプチドは 16 ( S Y F P E T H I ) および 5 ( N I H ) のカットオフを得る。1000 分を超える解離の推定半減期を有する、N I H アルゴリズムを用いた場合の最高のスコアリングのペプチドである S S X - 2<sub>41~49</sub> は、任意の他の予測エピトープと重複しないが、N I H 解析において S S X - 2<sub>57~65</sub> を有するクラスターと重複する。

#### 【0157】

##### 2. ペプチド合成および特性化:

S S X - 2<sub>31~68</sub>、すなわち Y F S K E E W E K M K A S E K I F Y V Y M K R K Y E A M T K L G F K A T L P ( 配列番号 10 ) は、標準的な固相化学を用いて M P S ( Multiple Peptide Sytems, San Diego, CA 92121) により合成された。添付の「解析証明書」によれば、このペプチドの純度は 95 % であった。

10

#### 【0158】

##### 3. プロテアソーム消化:

プロテアソームは、2000 年 4 月 28 日に出願された「エピトープの発見方法 (METHOD OF EPITOPE DISCOVERY)」という表題の米国特許出願第 09 / 561, 074 号に記載されるプロテアソーム単離プロトコルを用いて、ヒト赤血球から単離した。S D S - P A G E、ウェスタンブロッティング、および E L I S A を、品質制御アッセイとして使用した。プロテアソームの最終濃度は 4 m g / m l であり、これは非妨害タンパク質アッセイにより決定された (Geno Technologies Inc.)。プロテアソームは、25  $\mu$  l のアリコートで - 70 で保管した。

20

#### 【0159】

S S X - 2<sub>31~68</sub> をミリ Q 水に溶解し、2 m M のストック溶液を調製し、20  $\mu$  l のアリコートを - 20 で保管した。

#### 【0160】

プロテアソームの 1 つのチューブ ( 25  $\mu$  l ) を - 70 の保管から取り出し、氷上で解凍した。続いて、それを再度ピペッティングすることにより 2 m M のペプチド 12.5  $\mu$  l と、完全に混合した ( 試料は氷上に保ったままであった )。混合した後、試料 5  $\mu$  l を即座に取り出して混合し、10 % T F A 1.25  $\mu$  l を含有するチューブに移した ( T F A の最終濃度は 2 % であった ) T = 0 分の試料)。次に、プロテアソーム消化反応を開始させ、プログラム可能な熱制御計において 37 で実施した。さらに 5  $\mu$  l の試料を、それぞれ 15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、および 240 分に取り出した。反応は、上述と同様に試料を 10 % T F A 1.25  $\mu$  l に添加することにより停止させた。M A L D I - M S で解析するまで、試料を氷上に保つか、または凍結させた。H P L C 解析および N 末端シーケンシングのために、試料はすべて - 20 で保存および保管された。ペプチドのみ ( プロテアソームなし ) をブランク対照として使用した ( ペプチド 2  $\mu$  l + トリス緩衝液 ( 20 m M、p H 7.6 ) 4  $\mu$  l + T F A 1.5  $\mu$  l )。

30

#### 【0161】

##### 4. M A L D I - T O F M S 測定:

各時点に関して、マトリックス溶液 ( 10 m g / m l A c C N / H<sub>2</sub>O ( 70 : 30 ) 中の - シアノ - 4 - ヒドロキシケイ皮酸 ) 0.3  $\mu$  l をまず試料スライド上に適用し、続いて等容量の消化した試料をスライド上でマトリックス溶液と穏やかに混合した。スライドを周辺空気中で 3 ~ 5 分間乾燥させた後、質量スペクトルを得た。M S は、ペプチド / タンパク質標準物質を用いて較正される L a s e r m a t 2000 M A L D I - T O F 質量分析計で実施した。測定の精度を向上させるために、ペプチド基質の分子イオン重量 ( M H<sup>+</sup> ) を内部較正標準として使用した。T = 120 分の消化試料の質量スペクトルを図 4 に示す。

40

#### 【0162】

##### 5. M S データ解析およびエピトープの同定:

測定した質量ピークを帰属するために、UCSF Mass Spectrometry Facility からのツールであるコンピュータプログラム M S - P r o d u c t ( <http://prospector.ucsf.edu/u> )

50

csfhtml3.4/msprod.htmlにアクセス可能)を用いて、すべての考え得る断片(NおよびC末端イオン、および内部断片)、およびそれらの相当する分子量を生成した。質量分析計の感度に起因して、平均分子量を使用した。消化の行程で観察される質量ピークを表4に概要するように同定した。

【0163】

S Y F P E I T H IまたはN I HアルゴリズムによりH L Aを結合すると予測される8~10アミノ酸長の配列が同時にC末端にある断片をさらなる研究用に選択した。手順の消化工程および予測工程は任意の順序で有用に実施することができる。ここで記載されるプロテアソーム消化に使用される基質ペプチドは予測H L A - A 2 . 1結合配列を包含するように特異的に設計されたが、消化の実際の産物は、他のM H C分子への実際の結合または予測結合に関する事実の後に試験することができる。選択した結果を表5に示す。

【0164】

【表 4 - 1】

表 4

SSX-2<sub>31~68</sub>質量ピーク同定

MS ピーク (測定値)	ペプチド	配列	計算質量 (MH <sup>+</sup> )
988.23	31-37	<b>YFSKEEW</b>	989.08
1377.68±2.3 8	31-40	<b>YFSKEEWEKM</b>	1377.68
1662.45±1.3 0	31-43	<b>YFSKEEWEKMKAS</b>	1663.90
2181.72±0.8 5	31-47	<b>YFSKEEWEKMKASEKIF</b>	2181.52
2346.6	31-48	<b>YFSKEEWEKMKASEKIFY</b>	2344.71
1472.16±1.5 4	38-49	<b>EKMKASEKIFYV</b>	1473.77
2445.78±1.1 8	31-49*	<b>YFSKEEWEKMKASEKIFYV</b>	2443.84
2607.	31-50	<b>YFSKEEWEKMKASEKIFYVY</b>	2607.02
1563.3	50-61	<b>YMKRKYEAMTKL</b>	1562.93
3989.9	31-61	<b>YFSKEEWEKMKASEKIFYVYMKRKYE AMTKL</b>	3987.77
1603.74±1.5 3	51-63	<b>MKRKYEAMTKLGF</b>	1603.98
1766.45±1.5	50-63	<b>YMKRKYEAMTKLGF</b>	1767.16

10

20

30

40



【表 4 - 2】

1866.32±1.2 2	49-63	<b>VYMKRKYEAMTKLGF</b>	1866.29
4192.6	31-63	<b>YFSKEEWEKMKASEKIFYVYMKRKYE AMTKLGF</b>	4192.00
4392.1	31-65**	<b>YFSKEEWEKMKASEKIFYVYMKRKYE AMTKLGFKA</b>	4391.25

太字体の配列は、MHCに結合すると予測されるペプチドに相当する。

\*質量のみに基づけば、このピークはペプチド32～50に帰属させることもできたが、N末端アミノ酸近位のプロテアソーム除去が起こる可能性は低い。N末端シーケンシング（以下）は31～49への帰属を確証する。

\*\*質量に基づけば、この断片は33～68も表し得る。以下のN末端シーケンシングは31～65への帰属と一致している。

【 0 1 6 5 】

10

20

## 【表 5】

表5

プロテアソームにより生成した断片による予測HLA結合

配列番号	ペプチド	HLA	SYFPEITHI	NIH
11	FSKEEWEKM	B*3501	NP†	90
12	KMKASEKIF	B*08	17	<5
13 & (14)	(K)MKASEKI FY	A1	19 (19)	<5
15 & (16)	(M)KASEKIF YV	A*0201	22 (16)	1017
		B*08	17	<5
		B*5101	22 (13)	60
		B*5102	NP	133
		B*5103	NP	121
17 & (18)	(K)ASEKIFY VY	A1	34 (19)	14
19 & (20)	(K)RKYEAMT KL	A*0201	15	<5
		A26	15	NP
		B14	NP	45 (60)
		B*2705	21	15
		B*2709	16	NP
		B*5101	15	<5
21	KYEAMTKLGF	A1	16	<5
		A24	NP	300
22	YEAMTKLGF	B*4403	NP	80
23	EAMTKLGF	B*08	22	<5

†予測なし

## 【0166】

表5にみられるように、エピトープへの確証的配列のN末端付加は、同じか、または異なるMHC制限要素に関するエピトープを生成することができる。特に、(K)RKYEAMTKL(配列番号19および(20))のHLA-B14との対形成(ここでは10量体は同時C末端の9量体よりも長い解離の予測半減期を有する)に留意されたい。また、HLA-B\*4403およびHLA-B\*08に関するエピトープを創出するために、N末端トリミングに依存することにより、幾つかのMHC型とともに有用なワクチンとして使用することができる10量体KYEAMTKLGF(配列番号21)の場合にも留意されたい。

## 【0167】

## 6. HLA-A0201結合アッセイ:

候補エピトープKASEKIFYV、すなわちSSX-2<sub>41~49</sub>(配列番号15)のHLA-A2.1への結合を、Stauss等の方法(Proc Natl Acad Sci USA 89(17):7871-5 (1992))の変法を用いてアッセイした。具体的には、表面上で空のMHC分子または不安定なMHC分子を発現するT2細胞を、Iscove改変Dulbecco培地(IMDM)で2度洗浄し

て、 $3 \mu\text{g}/\text{ml}$ でヒト 2 - ミクログロブリン (Sigma, St. Louis, MO) を添加した無血清 A I M 培地 (Life Technologies, Inc., Rockville, MD) 中で一晚培養して、96 ウェル平底プレート中で、 $3 \times 10^5$  個の細胞 /  $200 \mu\text{l}$  / ウェルで、800、400、200、100、50、25、12.5、および  $6.25 \mu\text{g}/\text{ml}$  でペプチドを添加した。再度ピペッティングすることによりペプチドを細胞と混合した後、プレートに分配し (あるいは、ペプチドを個々のウェルに添加することができる)、プレートを2分間穏やかに振とうした。インキュベーションは、37 で5%  $\text{CO}_2$  インキュベータ中で行った。翌日、無血清 R P M I 培地で2度洗浄することにより、未結合のペプチドを除去し、飽和量の抗クラス I H L A モノクローナル抗体であるフルオレセインイソチオシアネート (F I T C) - 結合抗 H L A A 2, A 2 8 (One Lambda, Canoga Park, CA) を添加した。4 で30分間インキュベーションした後、0.5% B S A、0.05% (w/v) アジ化ナトリウムを添加した P B S (pH 7.4 ~ 7.6、染色緩衝液) で3回洗浄した。(あるいは、W 6 / 3 2 (Sigma) を抗クラス I H L A モノクローナル抗体として使用することができ、細胞を染色緩衝液で洗浄した後、フルオレセインイソチオシアネート (F I T C) 結合ヤギ F (a b') 抗マウス - I g G (Sigma) とともに4 で30分間インキュベートし、上述のように3回洗浄することができる)。細胞を染色緩衝液 0.5 ml 中の再懸濁させた。ペプチド結合により安定化される表面 H L A - A 2.1 分子の解析は、F A C S c a n (Becton Dickinson, San Jose, CA) を用いて、フローサイトメトリーにより実施した。フローサイトメトリーがすぐに実施されない場合は、1/4 容量の2% パラホルムアルデヒドを添加して、暗所において4 で保管することにより、細胞を固定することができる。

10

20

#### 【0168】

実験結果を図5に示す。S S X - 2<sub>41~49</sub> (配列番号15) は、陽性対照として使用される既知の A 2.1 バインダー E L P S D Y F P S V (H B V<sub>18~27</sub>、配列番号24) と同程度に、H L A - A 2.1 に結合することがわかった。H L A - B 4 4 結合ペプチドである A E M G K Y S F Y (配列番号25) を陰性対照として使用した。陰性対照から得られる蛍光は、アッセイでペプチドを使用しない場合に得られるシグナルと類似していた。陽性および陰性対照ペプチドは、Current Protocols in Immunology p.18.3.2, John Wiley and Sons, New York, 1998中の表18.3.1から選択した。

30

#### 【0169】

##### 7. 免疫原性:

##### A. マウスの *in vivo* 免疫

H H D 1 トランスジェニック A\*0201 マウス (Pascolo, S., et al. J. Exp. Med. 185:2043-2051, 1997) を麻酔して、I F A (不完全フロイントアジュバント)  $50 \mu\text{l}$  を乳化させた P B S 中に S S X - 2<sub>41~49</sub> (配列番号15)  $100 \text{ nmol}$  および H T L エピトープペプチド  $20 \mu\text{g}$  を含有する  $100 \mu\text{l}$  を用いて、外側尾静脈を避けて、尾の基部に皮下注射した。

#### 【0170】

##### B. 刺激用細胞 (L B S 芽細胞) の調製

免疫したマウスの各群に関して2匹のナイーブマウスからの脾臓を用いて、非免疫マウスを屠殺して、死体をアルコール中に入れた。滅菌器具を用いて、マウスの左側 (中央下部) 上に皮膚の最上皮層を切り出し、腹膜を露出させた。腹膜をアルコールに浸し、脾臓を無菌で摘出した。脾臓を無血清培地の入ったペトリ皿に入れた。3 ml シリンジからの滅菌プランジャーを用いて脾臓をつぶして、脾細胞を単離した。細胞を  $50 \text{ ml}$  コニカル管中で無血清培地中に回収して、皿を十分にすすいだ。細胞を遠心分離して ( $1200 \text{ rpm}$ 、7分)、R P M I で一度洗浄した。新鮮な脾臓細胞を R P M I - 10% F C S (ウシ胎児血清) 中に、1 ml 当たり  $1 \times 10^6$  個の細胞の濃度で再懸濁させた。25 g / ml のリボ多糖および  $7 \mu\text{g}/\text{ml}$  の硫酸デキストランを添加した。細胞を、T - 75 フラスコ中で37 にて3日間、5%  $\text{CO}_2$  とともにインキュベートした。脾臓芽細胞を  $50 \text{ ml}$  管に回収し、ペレット化し ( $1200 \text{ rpm}$ 、7分)、R P M I 中に  $3 \times 10^7$

40

50

/mlへと再懸濁した。芽細胞を、 $50 \mu\text{g/ml}$ で初回刺激用ペプチドにより、室温で4時間パルス標識し、 $25 \mu\text{g/ml}$ で、37℃にて20分間、マイトマイシンCで処理して、DMEMで3回洗浄した。

#### 【0171】

##### C. in vitro 刺激

芽細胞のLPS刺激の3日後、およびペプチド負荷と同日に、初回刺激したマウスを屠殺して（免疫後14日目）上述のように脾臓を取り出した。 $3 \times 10^6$ 個の脾細胞を、10% FCS、 $5 \times 10^{-5} \text{M}$  -メルカプトエタノール、 $100 \mu\text{g/ml}$ ストレプトマイシン、および $100 \text{IU/ml}$ ペニシリンを添加したDMEM培地中、5%  $\text{CO}_2$ で、24ウェルプレート中で37℃にて $1 \times 10^6$ 個のLPS芽細胞/ウェルと共存培養した。3日目に培養物に5% (vol/vol) ConA上清を供給し、7日目に、 $^{51}\text{Cr}$ -放出アッセイにおいて細胞溶解活性に関してアッセイした。

10

#### 【0172】

##### D. CTL活性を測定するクロム放出アッセイ

ペプチド特異的溶解を評価するために、 $2 \times 10^6$ 個のT2細胞を、 $50 \mu\text{g/ml}$ のペプチドと一緒に $100 \mu\text{Ci}$ のクロム酸ナトリウムとともに37℃にて1時間インキュベートした。インキュベーション中、それらを15分毎に穏やかに振とうした。標識および負荷後、DMEM - 10% FCS  $10 \text{ml}$ で細胞を3回洗浄し、上清を捨てた後、新しいキムワイプで各チューブを拭いた。標的細胞を、DMEM - 10% FBS中に $1 \times 10^5 / \text{ml}$ で再懸濁させた。エフェクター細胞をDMEM - 10% FCS中に $1 \times 10^7 / \text{ml}$ に調節し、エフェクターの段階3倍希釈物 $100 \mu\text{l}$ をU底96ウェルプレート中に調製した。ウェル1つ当たり標的細胞 $100 \mu\text{l}$ を添加した。自発的放出および最大放出を決定するために、標的細胞 $100 \mu\text{l}$ を含有する6つのさらなるウェルを各標的に関して調製した。自発的放出は、標的細胞を培地 $100 \mu\text{l}$ とインキュベートすることにより明らかとなり、最大放出は、標的細胞を2% SDS  $100 \mu\text{l}$ とインキュベートすることにより明らかとなった。続いて、プレートを $600 \text{rpm}$ で5分間遠心分離して、5%  $\text{CO}_2$ および80%湿度中、37℃で4時間インキュベートした。インキュベーション後、プレートを $1200 \text{rpm}$ で5分間遠心分離した。上清を回収して、カウンターを用いて計数した。特異的溶解は以下のように決定した：特異的放出% = [(実験放出 - 自発的放出) / (最大放出 - 自発的放出)]  $\times 100$ 。

20

30

#### 【0173】

ペプチドでパルス標識した標的細胞の特異的溶解を示すクロム放出アッセイの結果を図6に示す。

#### 【0174】

##### 8. 他のSSXタンパク質との交差反応性：

SSX -  $2_{41 \sim 49}$  (配列番号15)は、他のSSXタンパク質の同じ領域と高度の配列同一性を共有する。周辺領域もまた一般に十分に保存されていた。したがって、ハウスキープングプロテアソームは、5個すべての配列において $V_{49}$ 後に切断することができる。さらに、SSX $_{41 \sim 49}$ はHLA - A\*0201を結合すると予測される(表6を参照)。SSX -  $2_{41 \sim 49}$ による免疫により生成されるCTLは、他のSSXタンパク質を発現する腫瘍細胞と交差反応する。

40

#### 【0175】

## 【表 6】

表 6

SSX<sub>41~49</sub>-A\*0201 予測結合

配列番号	ファミリー 成員	配列	SYFPEITHI スコア	NIH スコア
15	SSX-2	KASEKIFYV	22	1017
26	SSX-1	KYSEKISYV	18	1.7
27	SSX-3	KVSEKIVYV	24	1105
28	SSX-4	KSSEKIVYV	20	82
29	SSX-5	KASEKIIYV	22	175

10

## 【0176】

## 実施例 4

20

クラスター解析 (PSMA<sub>163~192</sub>)

前立腺特異的膜抗原由来の A1 エピトープクラスターである PSMA<sub>168~190</sub> (配列番号 31) を含有するペプチド AFSPQGMPEGDLVYVN YARTEDFFKLE RDM、すなわち PSMA<sub>163~192</sub> (配列番号 30) を、433A ABI ペプチド合成機で、標準的な固相 Fmoc 化学を用いて合成した。側鎖脱保護および樹脂からの切り出し後、まずギ酸中に溶解し続いて 30% 酢酸へ希釈したペプチドを、以下の条件: 4 ml / 分の流速で線形 AB 勾配 (5% B / 分) (ここで、溶離液 A は 0.1% TFA 水溶液であり、溶離液 B はアセトニトリル中の 0.1% TFA である) で、逆相分取 HPLC C4 カラムに流した。質量分析により判断されるように、予測ペプチドを含有する 16.642 分時点での画分をプールして、凍結乾燥した。次に、本質的に上述のように、ペプチドをプロテアソーム消化および質量スペクトル解析に付した。質量スペクトルからの顕著なピークを表 7 に要約する。

30

## 【0177】

## 【表 7】

表 7

P S M A<sub>163~192</sub> 質量ピーク同定

ペプチド	配列	計算質量 (MH <sup>+</sup> )
163-177	<b>AFSPQGMPEGDLVYV</b>	1610.0
178-189	<b>NYARTEDFFKLE</b>	1533.68
170-189	<b>PEGDLVYVNYARTEDFFKLE</b>	2406.66
178-191	<b>NYARTEDFFKLERD</b>	1804.95
170-191	<b>PEGDLVYVNYARTEDFFKLERD</b>	2677.93
178-192	<b>NYARTEDFFKLERDM</b>	1936.17
163-176	<b>AFSPQGMPEGDLVY</b>	1511.70
177-192	<b>VNYARTEDFFKLERDM</b>	2035.30
163-179	<b>AFSPQGMPEGDLVYVNY</b>	1888.12
180-192	<b>ARTEDFFKLERDM</b>	1658.89
163-183	<b>AFSPQGMPEGDLVYVNYARTE</b>	2345.61
184-192	<b>DFFKLERDM</b>	1201.40
176-192	<b>YVNYARTEDFFKLERDM</b>	2198.48
167-185	<b>QGMPEGDLVYVNYARTEDF</b>	2205.41
178-186	<b>NYARTEDFF</b>	1163.22

太字体の配列は、MHCに結合すると予測されるペプチドに相当する。

表 8 を参照。

## 【 0 1 7 8 】

## N 末端 プール 配列 解析

プロテアソーム消化の 1 時間目のアリコート の 1 つ ( 上記実施例 3 のパート 3 を参照 ) を、ABI 473A タンパク質シーケンサー (Applied Biosystems, Foster City, CA) により N 末端 アミノ酸配列解析に付した。切断の部位および効率の決定は、配列サイクル、タンパク質シーケンサーの反復収率、および解析した配列中に特有のアミノ酸の相対収率の考慮に基づいていた。すなわち、特有 ( 解析した配列中の ) 残基 X が n 番目のサイクルのみに出現する場合、切断部位は、N 末端方向でその前の n - 1 残基に存在する。配列

に対する質量の帰属における任意の曖昧性を解決するのを助長するほかに、これらのデータはまた質量分析よりも、様々な断片の相対収率のより信頼性の高い徴候を提供する。

#### 【0179】

P S M A<sub>163~192</sub> (配列番号30)に関して、このプールシーケンシングは、V<sub>177</sub>後の単一の主要な切断部位、および幾つかの少量の切断部位 (特にY<sub>179</sub>後のもの) を支持する。図7A~図7Cに提示した結果を参照することにより以下のことが明らかとなる：

3番目のサイクルにあるSは、基質のN末端の存在を示す。

5番目のサイクルにあるQは、基質のN末端の存在を示す。

1番目のサイクルにあるNは、V<sub>177</sub>後の切断を示す。

3番目のサイクルにあるNは、V<sub>175</sub>後の切断を示す。表7の断片176~192を留意されたい。

5番目のサイクルにあるTは、V<sub>177</sub>後の切断を示す。

1番目~3番目のサイクルにあるTは、R<sub>181</sub>、A<sub>180</sub>、およびY<sub>179</sub>後のより一般的な切断を示す。これらのうちの最後のみが、質量分析により検出されるピーク、163~179および180~192に相当する。表7を参照。他のものが存在しないことは、それらが質量スペクトルにおいて検査されたものよりも小さい断片上に存在することを示すことができる。

4番目、8番目、および10番目のサイクルにあるKは、それぞれE<sub>183</sub>、Y<sub>179</sub>、およびV<sub>177</sub>後の切断を示し、そのすべてが、質量分析により観察される断片に相当する。表7を参照。

1番目および3番目のサイクルにあるAは、それぞれ基質のN末端の存在、およびV<sub>177</sub>後の切断を示す。

4番目および8番目のサイクルにあるPは、基質のN末端の存在を示す。

6番目および10番目のサイクルにあるGは、基質のN末端の存在を示す。

7番目のサイクルにあるMは、基質のN末端の存在、および/またはF<sub>185</sub>後の切断を示す。

15番目のサイクルにあるMは、V<sub>177</sub>後の切断を示す。

1番目のサイクルは、D<sub>191</sub>後の切断を示し得る。表7を参照。

4番目および13番目のサイクルにあるRは、V<sub>177</sub>後の切断を示す。

2番目および11番目のサイクルにあるRは、Y<sub>179</sub>後の切断を示す。

2番目、6番目、および13番目のサイクルにあるVは、それぞれV<sub>175</sub>、M<sub>169</sub>後の切断、および基質のN末端の存在を示す。表7の176および170で始まる断片に留意されたい。

1番目、2番目、および14番目のサイクルにあるYは、それぞれV<sub>175</sub>、V<sub>177</sub>後の切断、および基質のN末端の存在を示す。

11番目および12番目のサイクルにあるLは、それぞれV<sub>177</sub>後の切断、および基質のN末端の存在を示し、他のデータと最も一致した解釈である。質量分析と比較して、本発明者等は、2番目、5番目、および9番目のサイクルにあるLは、それぞれF<sub>186</sub>、E<sub>183</sub>またはM<sub>169</sub>、およびY<sub>179</sub>後の切断と一致している。表7を参照。

#### 【0180】

##### エピトープ同定

S Y F P E I T H IまたはN I HアルゴリズムによりH L Aを結合することが予測される8~10アミノ酸長の配列が同時にC末端にある断片をさらなる解析用に選択した。手順の消化工程および予測工程は任意の順序で有用に実施することができる。ここで記載されるプロテアソーム消化に使用される基質ペプチドは予測H L A - A 1結合配列を包含するように特異的に設計されたが、消化の実際の産物は、他のM H C分子への実際の結合または予測結合に関する事実の後に試験することができる。選択した結果を表8に示す。

#### 【0181】

10

20

30

40

## 【表 8】

表 8

プロテアソームにより生成した断片による予測 H L A 結合

配列番号	ペプチド	HLA	SYFPEITHI	NIH
32 & (33)	(G)MPEGDL VYV	A*0201	17 (27)	(2605)
		B*0702	20	<5
		B*5101	22	314
34 & (35)	(Q)GMPEGD LVY	A1	24 (26)	<5
		A3	16 (18)	36
		B*2705	17	25
	36 MPEGDLVY	B*5101	15	NP†
37 & (38)	(P)EGDLVY VNY	A1	27 (15)	12
		A26	23 (17)	NP
39	LVYVNYART E	A3	21	<5
40 & (41)	(Y)VNYART EDF	A26	(20)	NP
		B*08	15	<5
		B*2705	12	50
42	NYARTEDFF	A24	NP†	100
		Cw*0401	NP	120
43	YARTEDFF	B*08	16	<5
44	RTEDFFKLE	A1	21	<5
		A26	15	NP

†予測なし

## 【0182】

H L A - A \* 0 2 0 1 結合アッセイ：

H L A - A \* 0 2 0 1 結合研究を、本質的に上記実施例 3 に記載するように、P S M A<sub>168</sub> ~ 177、すなわち G M P E G D L V Y V (配列番号 33) を用いて実施した。図 8 に見られるように、このエピートープは、陽性対照ペプチドよりもはるかに低濃度で、有意な結合を示す。このアッセイ (およびこの開示全体にわたって) 対照として使用される M e l a n - A ペプチドである E L A G I G I L T V は、実際に天然配列 (E A A G I G I L T V) の変異体であり、このアッセイにおいて高親和性を示す。

## 【0183】

実施例 5

クラスター解析 (P S M A<sub>281</sub> ~ 310)

前立腺特異的膜抗原由来の A 1 エピートープクラスターである P S M A<sub>283</sub> ~ 307 (配列番号 46) を含有する別のペプチドである R G I A E A V G L P S I P V H P I G Y Y D A Q K L L E K M G、すなわち P S M A<sub>281</sub> ~ 310 (配列番号 45) を、433A A B I ペプチド合成機で、標準的な固相 F - m o c 化学を用いて合成した。側鎖脱保護および樹脂



からの切り出し後、 $\text{ddH}_2\text{O}$ 中のペプチドを、以下の条件：4 ml / 分の流速で線形 A B 勾配（5 % B / 分）（ここで、溶離液 A は 0 . 1 % T F A 水溶液であり、溶離液 B はアセトニトリル中の 0 . 1 % T F A である）で、逆相分取 H P L C C 1 8 カラムに流した。質量分析により判断されるように、予測ペプチドを含有する 1 7 . 0 6 1 分時点での画分をプールして、凍結乾燥した。次に、本質的に上述のように、ペプチドをプロテアソーム消化および質量スペクトル解析に付した。質量スペクトルからの顕著なピークを表 9 に要約する。

【 0 1 8 4 】

【表 9 - 1】

表 9

P S M A<sub>281~310</sub>質量ピーク同定

ペプチド	配列	計算質量 (MH <sup>+</sup> )
281-297	<b>RGIAEAVGLPSIPVHPI *</b>	1727.07
286-297	<b>AVGLPSIPVHPI **</b>	1200.46
287-297	<b>VGLPSIPVHPI</b>	1129.38
288-297	<b>GLPSIPVHPI</b>	1030.25
298-310	<b>GYDDAQKLLEKMG</b>	1516.5
298-305	<b>GYDDAQKLS</b>	958.05
281-305	<b>RGIAEAVGLPSIPVHPIGYDDAQL</b>	2666.12
281-307	<b>RGIAEAVGLPSIPVHPIGYDDAQL LE</b>	2908.39
286-307	<b>AVGLPSIPVHPIGYDDAQLLE†</b>	2381.78
287-307	<b>VGLPSIPVHPIGYDDAQLLE</b>	2310.70
288-307	<b>GLPSIPVHPIGYDDAQLLE#</b>	2211.57
281-299	<b>RGIAEAVGLPSIPVHPIGY</b>	1947
286-299	<b>AVGLPSIPVHPIGY</b>	1420.69
287-299	<b>VGLPSIPVHPIGY</b>	1349.61
288-299	<b>GLPSIPVHPIGY</b>	1250.48
287-310	<b>VGLPSIPVHPIGYDDAQLLEKMG</b>	2627.14

10

20

30

40

【表 9 - 2】

288-310	GLPSIPVHPIGYYDAQKLLKMG	2528.01
---------	------------------------	---------

太字体の配列は、MH Cに結合すると予測されるペプチドに相当する。

表 10 を参照。

\*質量のみに基づけば、このピークは 296～310 または 288～303 であり得る。

10

\*\*質量のみに基づけば、このピークは 298～307 でもあり得る。HPLC および質量分析の組合せは、幾つか後の時点で、このピークは両方の種の混合物であることを示す。

†質量のみに基づけば、このピークは 289～298 でもあり得る。

‡質量のみに基づけば、このピークは 281～295 または 294～306 でもあり得る。

§質量のみに基づけば、このピークは 297～303 でもあり得る。

¶質量のみに基づけば、このピークは 285～306 でもあり得る。

20

#質量のみに基づけば、このピークは 288～303 でもあり得る。

これらの代替的帰属のいずれも N 末端プール配列分析で支持されない。

## 【0185】

## N 末端プール配列解析

プロテアソーム消化の 1 時間目のアリコートの一つ（上記実施例 3 のパート 3 を参照）を、ABI 473A タンパク質シーケンサー (Applied Biosystems, Foster City, CA) により N 末端アミノ酸配列解析に付した。切断の部位および効率の決定は、配列サイクル、タンパク質シーケンサーの反復収率、および解析した配列中に特有のアミノ酸の相対収率の考慮に基づいていた。すなわち、特有（解析した配列中の）残基 X が n 番目のサイクルのみに出現する場合、切断部位は、N 末端方向でその前の n - 1 残基に存在する。配列に対する質量の帰属における任意の曖昧性を解決するのを助長するほかに、これらのデータはまた質量分析よりも、様々な断片の相対収率のより信頼性高い徴候を提供する。

30

## 【0186】

PSMA<sub>281~310</sub>（配列番号 45）に関して、このプールシーケンシングは、他の少量の切断部位の中でも、V<sub>287</sub> および I<sub>297</sub> 後の 2 つの主要な切断部位を支持する。図 9 に提示した結果を参照することにより以下のことが明らかとなる：

4 番目および 11 番目のサイクルにある S は、それぞれ V<sub>287</sub> 後の切断、および基質の N 末端の存在を示す。

8 番目のサイクルにある H は、V<sub>287</sub> 後の切断を示す。10～11 にかけて存在する高さの低下に対して、位置 9 および位置 10 のピーク高さの衰退の欠如は、シーケンシング反応における潜伏期を表すピークではなく、同様に A<sub>286</sub> および E<sub>285</sub> 後の切断を示唆し得る。

40

2 番目、4 番目、および 7 番目のサイクルにある D は、それぞれ Y<sub>299</sub>、I<sub>297</sub>、および V<sub>294</sub> 後の切断を示す。この最後の切断は、表 10 中の断片にいずれにおいても、あるいは以下の注釈における代替的帰属においても観察されない。

6 番目のサイクルにある Q は、I<sub>297</sub> 後の切断を示す。

10 番目および 12 番目のサイクルにある M は、それぞれ Y<sub>299</sub>、および I<sub>297</sub> 後の切断を示す。

## 【0187】

50

## エピトープ同定

SYFPEITHIまたはNIHアルゴリズムによりHLAを結合することが予測される8～10アミノ酸長の配列が同時にC末端にある断片をさらなる研究用に選択した。手順の消化工程および予測工程は任意の順序で有用に実施することができる。ここで記載されるプロテアソーム消化に使用される基質ペプチドは予測HLA-A1結合配列を包含するように特異的に設計されたが、消化の実際の産物は、他のMHC分子への実際の結合または予測結合に関する事実の後に試験することができる。選択した結果を表10に示す。

【0188】

【表10】

表10

プロテアソームにより生成した断片：PSMA<sub>281~310</sub>による予測HLA結合

配列番号	ペプチド	HLA	SYFPEITHI	NIH
47 & (48)	(G)LPSIP VHPI	A*0201	16 (24)	(24)
		B*0702/B7	23	12
		B*5101	24	572
		Cw*0401	NP†	20
49 & (50)	(P)IGYYD AQKL	A*0201	(16)	<5
		A26	(20)	NP
		B*2705	16	25
		B*2709	15	NP
		B*5101	21	57
		Cw*0301	NP	24
51 & (52)  53	(P)SIPVH PIGY  IPVHPIGY	A1	21 (27)	<5
		A26	22	NP
		A3	16	<5
		B*5101	16	NP
54	YYDAQKLL E	A1	22	<5

†予測なし

【0189】

表10に見られるように、エピトープへの確証的配列のN末端付加は、同じかまたは異なるMHC制限要素に関するさらに有用な一層優れたエピトープを生成することができる。例えば、(G)LPSIPVHPIのHLA-A\*0201との対形成（ここでは10量体はHLA-B7、HLA-B\*5101、およびHLA-Cw\*0401に関するエピトープを創出するために、N末端トリミングに依存することにより、幾つかのMHC型とともに有用なワクチンとして使用することができる）に留意されたい。

【0190】

HLA-A\*0201結合アッセイ：

HLA-A\*0201結合研究を、本質的に上記実施例3および実施例4に記載するよ

うに、P S M A<sub>288~297</sub>、すなわちG L P S I P V H P I（配列番号48）を用いて実施した。図8に見られるように、このエピーブは、陽性対照ペプチドよりもはるかに低濃度で、有意な結合を示す。

# 【0191】

## 実施例6

### クラスター解析（P S M A<sub>454~481</sub>）

前立腺特異的膜抗原由来のエピーブクラスターを含有する別のペプチドであるS S I E G N Y T L R V D C T P L M Y S L V H L T K E L、すなわちP S M A<sub>454~481</sub>（配列番号55）を、M P Sにより合成し（純度95%を上回る）、上述のように、プロテアソーム消化および質量スペクトル解析に付した。質量スペクトルからの顕著なピークを表11に要約する。

# 【0192】

## 【表11】

表11

### P S M A<sub>454~481</sub>質量ピーク同定

MS ピーク (測定値)	ペプチド	配列	計算質量 (MH <sup>+</sup> )
1238.5	454-464	<b>SSIEGNYTLRV</b>	1239.78
1768.38±0.60	454-469	<b>SSIEGNYTLRV DCTPL</b>	1768.99
1899.8	454-470	<b>SSIEGNYTLRV DCTPLM</b>	1900.19
1097.63±0.91	463-471	<b>RVDCTPLMY</b>	1098.32
2062.87±0.68	454-471*	<b>SSIEGNYTLRV DCTPLMY</b>	2063.36
1153	472-481**	<b>SLVHNLTKEL</b>	1154.36
1449.93±1.79	470-481	<b>MYSLVHNLTKEL</b>	1448.73

太字体の配列は、M H Cに結合すると予測されるペプチドに相当する。表12を参照。

\*質量のみに基づけば、このピークは同様にペプチド455~472に帰属させることができたが、N末端アミノ酸近位のプロテアソーム除去が起こる可能性は低いとみなされる。この問題が重要である場合は、N末端シーケンシングにより解決することができる。

\*\*質量に基づけば、この断片は455~464も表し得る。

# 【0193】

## エピーブ同定

S Y F P E I T H IまたはN I HアルゴリズムによりH L Aを結合することが予測される8~10アミノ酸長の配列が同時にC末端にある断片をさらなる研究用に選択した。手順の消化工程および予測工程は任意の順序で有用に実施することができる。ここで記載されるプロテアソーム消化に使用される基質ペプチドは予測H L A - A 2 . 1結合配列を包含するように特異的に設計されたが、消化の実際の産物は、他のM H C分子への実際の結合または予測結合に関する事実の後に試験することができる。選択した結果を表12に示す。

# 【0194】

## 【表 1 2】

表 1 2

プロテアソームにより生成した断片による予測HLA結合

配列番号	ペプチド	HLA	SYFPEITHI	NIH
56 & (57)	(S) IEGNYTLRV	A1	(19)	<5
58	EGNYTLRV	A*0201	16 (22)	<5
		B*5101	15	NP†
59 & (60)	(Y) TLRVDCTPL	A*0201	20 (18)	(5)
		A26	16 (18)	NP
		B7	14	40
		B8	23	<5
		B*2705	12	30
		Cw*0301	NP	(30)
61	LRVDCTPLM	B*2705	20	600
		B*2709	20	NP
62 & (63)	(L) RVDCTPLMY	A1	32 (22)	125 (13.5)
		A3	25	<5
		A26	22	NP
		B*2702	NP	(200)
		B*2705	13 (NP)	(1000)

†予測なし

## 【0195】

表 1 2に見られるように、エピトープへの確証的配列のN末端付加は、同じか、または異なるMHC制限要素に関する、さらに有用な一層優れたエピトープを生成することができることが多い。例えば、(L) RVDCTPLMY (配列番号 62 および (63)) のHLA-B\*2702/5 との対形成 (ここでは10量体は解離の実質的予測半減期を有し、同時C末端の9量体はそれを有さない) に留意されたい。また、エピトープを創出するために、N末端トリミングに依存することにより、HLA-B\*5101とともに有用なワクチンとして使用することができる予測HLA-A\*0201エピトープであるSIEGNYTLRV (配列番号 57) の場合にも留意されたい。

## 【0196】

HLA-A\*0201 結合アッセイ:

HLA-A\*0201 結合研究を、本質的に上記実施例 3 に記載するように、PSMA<sub>460~469</sub>、すなわちTLRVDC TPL (配列番号 60) を用いて実施した。図 10に見られるように、このエピトープは、陽性対照として使用される既知のA2.1 バインダーFLPSDYFPSV (HBV<sub>18~27</sub>、配列番号 24) と同程度に、HLA-A2.1 を結合することがわかった。さらに、PSMA<sub>461~469</sub> (配列番号 59) はほぼ同様に結合する。

## 【0197】

ELISPOT 解析: PSMA<sub>463~471</sub> (配列番号 62)

10

20

30

40

50

ニトロセルロースをコートしたマイクロタイタープレートのウェルを、 $4 \mu\text{g}/\text{ml}$ のコーティング緩衝液（ $35 \text{ mM}$  炭酸水素ナトリウム、 $15 \text{ mM}$  炭酸ナトリウム、 $\text{pH } 9.5$ ）中のマウス抗ヒト - IFNモノクローナル抗体 $50 \mu\text{l}$ /ウェルを用いて、4で一晩インキュベートすることにより、捕捉抗体でコーティングした。未結合の抗体を、PBSで5分間4回洗浄することにより除去した。続いて、膜上の未結合部位を、 $10\%$ 血清を含有するRPMI培地 $200 \mu\text{l}$ /ウェルを添加して、室温で1時間インキュベートすることによりブロックした。1:3の段階希釈物の抗原刺激 $\text{CD}8^+\text{T}$ 細胞を、 $100 \mu\text{l}$ /ウェルを用いてマイクロタイタープレートのウェルに播種して、 $2 \times 10^5$ 個の細胞/ウェルから開始した（先立っての抗原刺激は、本質的にScheibenbogen, C. et al. Int. J. Cancer 71:932-936, 1997に記載される通りであった）。PSMA<sub>462~471</sub>（配列番号62）を、最終濃度 $10 \mu\text{g}/\text{ml}$ となるように、IL-2を $100 \text{ U}/\text{ml}$ となるように添加して、細胞を $5\% \text{ CO}_2$ の水飽和雰囲気中で $37^\circ\text{C}$ で4時間培養した。このインキュベーション後、プレートを、 $0.05\%$ ツイーン20を含有するPBS（PBS - ツイーン） $200 \mu\text{l}$ /ウェルで6回洗浄した。検出抗体である、 $2 \text{ g}/\text{ml}$ のPBS +  $10\%$ ウシ胎児血清中のビオチン化マウス抗ヒト - IFNモノクローナル抗体 $50 \mu\text{l}$ /ウェルを添加して、プレートを室温で2時間インキュベートした。未結合の検出抗体を、PBS - ツイーン $200 \mu\text{l}$ で4回洗浄することにより除去した。アビジン結合ホースラディッシュペルオキシダーゼ(Pharmingen, San Diego, CA)  $100 \mu\text{l}$ を各ウェルに添加して、室温で1時間インキュベートした。未結合の酵素を、PBS - ツイーン $200 \mu\text{l}$ で6回洗浄することにより除去した。N, N - ジメチルホルムアミド $2.5 \text{ ml}$ 中に3 - アミノ - 9 - エチルカルバゾールの $20 \text{ mg}$ の錠剤を溶解させて、その溶液に $0.05 \text{ M}$  リン酸 - クエン酸緩衝液（ $\text{pH } 5.0$ ） $47.5 \text{ ml}$ を添加することにより基質を調製した。 $30\% \text{ H}_2\text{O}_2$   $25 \mu\text{l}$ を基質溶液に添加した直後に、 $100 \mu\text{l}$ /ウェルで基質を分配して、プレートを室温でインキュベートした。着色後（一般に $15 \sim 30$ 分）、プレートを水で洗浄することにより、反応を停止させた。プレートを風乾させて、立体顕微鏡を用いて、スポットを計数した。

#### 【0198】

図11は、自己樹状細胞 + ペプチドとのHLA - A $1^+\text{CD}8^+\text{T}$ 細胞の培養物において予め生成されたPSMA<sub>463~471</sub>（配列番号62）反応性HLA - A $1^+\text{CD}8^+\text{T}$ 細胞の検出を示す。ペプチドなしの培養物からは反応性は検出されない（データは示さず）。この場合、ペプチド反応性T細胞が $2.2 \times 10^4$ 分の1 ~  $6.7 \times 10^4$ 分の1の頻度で培養物中に存在することが理解され得る。これが本当にHLA - A1制限応答であることは、抗HLA - A1モノクローナル抗体の、- IFN産生を阻止する能力により実証される。図12を参照されたい。

#### 【0199】

##### 実施例7

##### クラスター解析（PSMA<sub>653~687</sub>）

前立腺特異的膜抗原由来のA2エピトープクラスターであるPSMA<sub>660~681</sub>（配列番号65）を含有する別のペプチドであるFDKSNPIVLRMMNDQLMFLERAFIDPLGLPDRPFY、すなわちPSMA<sub>653~687</sub>（配列番号64）を、MPSにより合成し（純度 $95\%$ を上回る）、上述のように、プロテアソーム消化および質量スペクトル解析に付した。質量スペクトルからの顕著なピークを表13に要約する。

#### 【0200】

## 【表 1 3】

表 1 3

P S M A<sub>653~687</sub>質量ピーク同定

MS ピーク (測定値)	ペプチド	配列	計算質量 (MH <sup>+</sup> )
906.17±0.65	681-687**	<b>LPDRPFY</b>	908.05
1287.73±0.76	677-687**	<b>DPLGLPDRPFY</b>	1290.47
1400.3±1.79	676-687	<b>IDPLGLPDRPFY</b>	1403.63
1548.0±1.37	675-687	<b>FIDPLGLPDRPFY</b>	1550.80
1619.5±1.51	674-687**	<b>AFIDPLGLPDRPFY</b>	1621.88
1775.48±1.32	673-687*	<b>RAFIDPLGLPDRPFY</b>	1778.07
2440.2±1.3	653-672	<b>FDKSNPIVLRMMNDQLMFLE</b>	2442.93
1904.63±1.56	672-687*	<b>ERAFIDPLGLPDRPFY</b>	1907.19
2310.6±2.5	653-671	<b>FDKSNPIVLRMMNDQLMFL</b>	2313.82
2017.4±1.94	671-687	<b>LERAFIDPLGLPDRPFY</b>	2020.35
2197.43±1.78	653-670	<b>FDKSNPIVLRMMNDQLMF</b>	2200.66

太字体の配列は、MHCに結合すると予測されるペプチドに相当する。表 1 3 を参照。

\*質量のみに基づけば、このピークは同様に 6 5 4 から始まるペプチドに帰属させることができたが、N末端アミノ酸近位のプロテアソーム除去が起こる可能性は低いとみなされる。この問題が重要である場合は、N末端シーケンシングにより解決することができる。

\*\*質量のみに基づけば、これらのピークは内部断片にも帰属させることができたが、消化の全体的なパターンを考慮すると、それは可能性が低いとみなされた。

## 【0 2 0 1】

エピトープ同定



SYFPEITHIまたはNIHアルゴリズムによりHLAを結合することが予測される8～10アミノ酸長の配列が同時にC末端にある断片をさらなる研究用に選択した。手順の消化工程および予測工程は任意の順序で有用に実施することができる。ここで記載されるプロテアソーム消化に使用される基質ペプチドは予測HLA-A2.1結合配列を包含するように特異的に設計されたが、消化の実際の産物は、他のMHC分子への実際の結合または予測結合に関する事実の後に試験することができる。選択した結果を表14に示す。

【0202】

【表14】

表14

プロテアソームにより生成した断片による予測HLA結合

配列番号	ペプチド	HLA	SYFPEITHI	NIH
66 & (67)	(R)MMNDQLMFL	A*0201	24 (23)	1360 (722)
		A*0205	NP†	71 (42)
		A26	15	NP
		B*2705	12	50
68	RMMNDQLMFL	B*2705	17	75

†予測なし

【0203】

表14に見られるように、エピトープへの確証的配列のN末端付加は、同じか、または異なるMHC制限要素に関する、さらに有用な一層優れたエピトープを生成することができる。例えば、(R)MMNDQLMFL(配列番号66および(67))のHLA-A\*02との対形成(ここでは10量体は実質的予測結合ポテンシャルを有する)に留意されたい。

【0204】

HLA-A\*0201結合アッセイ:

HLA-A\*0201結合研究を、本質的に上記実施例3に記載するように、PSMA<sub>663~671</sub>(配列番号66)、およびPSMA<sub>662~671</sub>、すなわちRMMNDQLMFL(配列番号67)を用いて実施した。図10、図13および図14に見られるように、このエピトープは、陽性対照ペプチド(FLPSDYFPSV(HBV<sub>18~27</sub>))、配列番号24よりもはるかに低濃度で、有意な結合を示す。並行して実施してはしないが、対照との比較は、PSMA<sub>662~671</sub>(これは親和性においてMe1anAペプチドに近い)はこれらの2つのPSMAペプチドの優れた結合活性を有することを示唆する。

【0205】

実施例8

エピトープワクチンによるワクチン接種

1. ペプチドワクチンによるワクチン接種:

A. 結節内送達

抗菌剤、酸化防止剤、および免疫調節性サイトカインを有する緩衝水溶液中にペプチドを含有する配合物を、インスリン送達用を開発された小型ポンピングシステム(MiniMed; Northridge, CA)を用いて単径リンパ節へ、数日かけて連続的に注入した。この注入周期は、自然感染中の抗原提示の動態を模倣するために選択された。

【0206】

B. 徐放

ペプチド配合物を、当該技術分野で既知であるように制御PLGAミクロスフェアを用いて送達する。これは、ペプチドの薬物動態を変更し、免疫原性を改善させる。この配合

物は、注射されるか、または経口摂取される。

【0207】

C．遺伝子銃送達

当該技術分野で既知であるようにペプチドが金微粒子に接着されたペプチド配合物を調製する。粒子は遺伝子銃で送達され、皮膚を浸透するように高速に加速されることにより、pAPCを含有する皮膚組織へ粒子を運搬する。

【0208】

D．エアロゾル送達

肺中の適切な血管組織またはリンパ組織への取り込みのために、当該技術分野で既知であるように、ペプチド配合物をエアロゾルとして吸入する。

10

【0209】

2．核酸ワクチンによるワクチン接種：

核酸ワクチンを、MiniMedインスリンポンプのような小型ポンピングシステムを用いて、リンパ節に注入する。抗菌剤、酸化防止剤、および免疫調節性サイトカインを含有する緩衝水溶液中に配合された核酸構築物を、天然感染中の抗原提示の動態を模倣するために、数日の注入周期にわたって送達する。

【0210】

核酸構築物は、PLGAマイクロスフェアまたは他の生分解性物質のような徐放性物質を用いて任意に送達される。これらの物質は、注射されるかまたは経口摂取される。核酸ワクチンは、経口送達を用いて付与され、GALT組織への取り込みを通じて免疫応答を初回刺激する。あるいは、核酸ワクチンは遺伝子銃を用いて送達され、ここでは核酸ワクチンは微小金粒子に接着される。核酸構築物はまた、肺中の適切な血管組織またはリンパ組織への取り込みのためにエアロゾルとして吸入することができる。

20

【0211】

実施例9

エピトープワクチンに関する有効性に関するアッセイ

1．四量体解析：

クラスI四量体解析を用いて、ハウスキーピングエピトープの投与前および後の動物におけるT細胞頻度を測定する。エピトープに応答したT細胞のクローン増殖は、エピトープがpAPCによりT細胞に提示されることを示す。特異的T細胞頻度を動物へのエピトープの投与前および後にハウスキーピングエピトープに対して測定して、エピトープがpAPC上に存在するかどうかを測定する。投与後のエピトープに特異的なT細胞の頻度の増加は、エピトープがpAPC上に提示されたことを示す。

30

【0212】

2．増殖アッセイ：

動物をハウスキーピングエピトープでワクチン接種したおよそ24時間後に、アフィニティ精製の磁気ビーズに固定した、pAPC上に存在する特定マーカーに対するモノクローナル抗体を用いて、PBMC、脾細胞、またはリンパ節細胞からpAPCを回収する。粗製血液または脾細胞調製物に、この技法を用いてpAPCを富化させる。次に、富化したpAPCを、生成され、かつ所定のハウスキーピングエピトープに特異的なT細胞クローンに対する増殖アッセイに使用する。pAPCを、T細胞クローンと同時インキュベートし、T細胞による放射標識チミジンの組み込みを測定することにより増殖活性に関してT細胞をモニタリングする。増殖は、ハウスキーピングエピトープに特異的なT細胞がpAPC上のそのエピトープにより刺激されることを示す。

40

【0213】

3．クロム放出アッセイ：

ヒト患者、またはヒトクラスI MHCを発現するように遺伝子操作した非ヒト動物を、ハウスキーピングエピトープを用いて免疫する。免疫した被験体からのT細胞を、同じクラスI MHCを発現するように操作したヒト腫瘍標的（単数または複数）を用いた標準的なクロム放出アッセイで使用する。標的のT細胞による死滅は、患者におけるT細胞

50

刺激が類似の T u A A を発現する腫瘍を死滅させるのに効果的であることを示す。

#### 【 0 2 1 4 】

##### 実施例 1 0

裸の D N A による C T L 応答の誘発は、リンパ節内免疫により効果的である

種々の免疫経路により誘発される C D 8 + C T L 応答を定量的に比較するために、以下の系は抗ウイルス C I L 応答の包括的な評価が可能であるため、L C M V - 糖タンパク質 ( G ) 由来の十分に特性化された免疫優性 C T L エピトープ ( g p 3 3 、アミノ酸 3 3 ~ 4 1 ) (Oehen, S., et al. Immunology 99, 163-169 2000) を含有するプラスミド D N A ワクチン ( p E G F P L 3 3 A ) を使用した。2匹の C 5 7 B L / 6 マウスの群を、i . m . ( 筋内 ) 、 i . d . ( 皮内 ) 、 i . s p l . ( 脾臓内 ) 、または i . l n . ( リンパ節内 ) に投与して、滴定用量 ( 2 0 0 ~ 0 . 0 2 μ g ) の p E G F P L 3 3 A D N A 、または対照プラスミド p E G F P - N 3 で一度免疫した。陽性対象マウスには、5 0 0 p f u の L C M V を i . v . ( 静脈内 ) に施した。免疫の 1 0 日後、脾臓細胞を単離して、二次 i n v i t r o 再刺激後に g p 3 3 特異的 C T L 活性を決定した。図 1 5 に示すように、筋内または皮内免疫は、高用量の p E F G P L 3 3 A D N A ( 2 0 0 μ g ) を投与した場合に、弱々しく検出可能な C T L 応答を誘発した。対照的に、ほんの 2 μ g の p E F G P L C 3 3 D N A を脾臓内で免疫することにより、またリンパ節内に付与した 0 . 2 μ g 程度と少ない p E F G P L 3 3 A D N A で免疫することにより、強力な g p 3 3 特異的 C T L 応答が誘発された ( 図 1 5 、記号は個々のマウスを表し、これらの類似の実験のうちの 1 つを示している ) 。対照 p E G F P - N 3 D N A による免疫は、いかなる検出可能な g p 3 3 特異的 C T L 応答も誘発しなかった ( データは示さず ) 。

#### 【 0 2 1 5 】

##### 実施例 1 1

リンパ節内 D N A 免疫は抗腫瘍免疫性を誘発する

リンパ節内での免疫後に誘発される強力な C T L 応答は末梢腫瘍に対する防御を付与することが可能であるかどうかを調べるために、6匹の C 5 7 B L / 6 マウスの群を、p E F G P L 3 3 A D N A または対照 p E G F P - N 3 D N A 1 0 μ g で、6 日間隔で 3 回免疫した。最後の免疫の 5 日後に、g p 3 3 エピトープを発現する固形腫瘍 ( E L 4 - 3 3 ) の小片を、両側腹部に皮下移植して、3 ~ 4 日毎に腫瘍成長を測定した。E L 4 - 3 3 腫瘍は、対照 p E G F P - N 3 D N A で繰り返して免疫したマウスにおいて十分に成長した ( 図 1 6 ) が、p E F G P L 3 3 A D N A でリンパ節内に免疫したマウスは、末梢 E L 4 - 3 3 腫瘍を迅速に根絶した ( 図 1 6 ) 。

#### 【 0 2 1 6 】

##### 実施例 1 2

リンパ節 D N A 含有量の差は、リンパ節内および筋内注射後の C T L 応答の差を反映する

p E F G P L 3 3 A D N A をリンパ節内または筋内注射して、注射リンパ節または排出リンパ節のプラスミド含有量を、6 時間、1 2 時間、2 4 時間、4 8 時間、ならびに 4 日および 3 0 日後に、リアルタイム P C R により評価した。6 時間目、1 2 時間目、および 2 4 時間目に、注射リンパ節のプラスミド D N A 含有量は、筋内注射後の排出リンパ節の含有量よりもおよそ 3 桁大きかった。プラスミド D N A は、次の時点では排出リンパ節において検出されなかった ( 図 1 7 ) 。これは、同様のレベルの C T L 活性を達成するのに、リンパ節内注射と比較して筋内を用いて必要とされる 3 桁多い用量と一致する。このエピトープに対する C T L 応答を発現させない C D 8 + ノックアウトマウスにもリンパ節内注射し、リンパ節からの D N A のクリアランスは、リンパ節における細胞の C D 8 + C T L 殺傷に起因しないことを示した。この観察はまた、リンパ節内投与が、リンパ節に対する免疫病理学的損傷を誘起しないという結論を支持する。

#### 【 0 2 1 7 】

##### 実施例 1 3

黒色腫瘍の治療用ワクチンの D N A プラスミド配合物のヒトへの投与

H L A - A 2 制限チロシナーゼエピトープ配列番号 1 およびエピトープクラスター配列

番号 69 をコードする黒色腫ワクチンである SYNCHROTOPE TA2M を、1 % ベンジルアルコール、1 % エチルアルコール、0.5 mM EDTA、クエン酸 - リン酸 (pH 7.6) 中に配合した。80、160 および 320  $\mu\text{g DNA/ml}$  のアリコート を、MINIMED 407C 注入ポンプへの負荷用に調製した。SILHOUTTE 注入セットのカテーテルを、超音波イメージングにより可視化した単径リンパ節に入れた。ポンプおよび注入セットの組立品は本来、糖尿病患者にインスリンを送達するために設計され、通常 17 mm のカテーテルを、この用途のために 31 mm のカテーテルで代用した。約 25  $\mu\text{l}$  / 時間の注入速度で、注入セットを 4 日間 (およそ 96 時間) 患者に保持させ、総注入容量はおよそ 2.4 ml となった。したがって、注入 1 回当たりの総投与容量は、上述の 3 つの濃度に関して、それぞれおよそ 200  $\mu\text{g}$ 、および 400  $\mu\text{g}$ 、および 800  $\mu\text{g}$  であり得る。注入後、被験体には、次の注入を開始する前に、10 日の休息期間をもうけた。投与後のリンパ節中のプラスミド DNA の連続残留 (実施例 12 で見られるような)、および抗原の消失後の CTL 応答の通常の動態を考慮して、このスケジュールは、免疫原性 CTL 応答を維持するのに十分である。

10

【0218】

## 実施例 14

## さらなるエピトープ

上記、および特に実施例 3 ~ 7 に記載される方法論をさらなる合成ペプチド基質に適用し、以下の表 15 ~ 36 に記載するようにさらなるエピトープの同定へと導いた。ここで使用される基質は、HLA-A\*0201 結合エピトープを生じるハウスキーピングプロテアソームプロセシングの産物を同定するように設計したが、さらなる MHC 結合反応性を、上述のように予測することができる。多くのかかる反応性が開示されるが、これらの列挙は、例示的であることを意味し、包括的または限定的であることを意味しない。また上述のように、解析の個々の成分を、組合せおよび順序を変更させる際に使用することができる。NY-ESO-1 基質 136 ~ 163 および 150 ~ 177 (それぞれ、配列番号 254 および 255) の消化物は、MALDI-TOF 質量分析において十分に飛行しない断片を生じた。しかしながら、それらは、N 末端ペプチドブールシーケンシングに実に順応しやすく、それにより切断部位の同定が可能であった。基質すべてが必ずしも、実施例 3 で言及したエピトープクラスターの形式上の定義を満たすとは限らない。クラスターによっては、非常に大きくて (例えば、NY-ESO-1<sub>86~171</sub>)、このクラスターの一部のみにかかる基質を使用することがより利便性が高かった。他の場合では、基質は、隣接した予測エピトープを包含するために、形式上の定義を満たすクラスターを超えて伸長された。場合によっては、実際の結合活性は、例えばここで報告される MAGE エピトープと同様にどの基質が作製されたかということに影響し、ここで HLA 結合活性は、合成基質が設計される前に、予測親和性を有するペプチドの選択に関して決定された。

20

30

【0219】

表 1 5

**GP100:** ハウスキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ  
†スコアは、上述の 2 つの結合予測プログラムから付与される（実施例 3 を参照）。

基質	エピトープ	配列	配列		HLA 結合予測 (SYFPEITHI /NIH)†					コメント
			番号		A*0201	A1	A3	B7	B8	
609-644	630-638*	LPHSSSHWL	88					20/80	16/<5	* 609-644 および 622-650 の消化 は、同じエピトー プを生成した。
	629-638*	QLPHSSSHWL	89		21/117					
	614-622	LIYRRRLMK	90				32/20			
	613-622	SLIYRRRLMK	91		14/<5		29/60			
622-650	615-622	IYRRRLMK	92						15/<5	
	630-638*	LPHSSSHWL	93					20/80	16/<5	
	629-638*	QLPHSSSHWL	94		21/117					

【表 1 6 A】

表 16A

MAGE-1 : ハウスキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	HLA 結合予測 (SYFPEITHI/NIH) <sup>†</sup>					その他
				A*0201	A1	A3	B7	B8	
86-109	95-102	ESLFRAVI	95					16/<5	
	93-102	ILESFRVI	96	21/<5		20/<5			
	93-101	ILESFRV	97	23/<5					
	92-101	CILESFRV	98	23/55					
	92-100	CILESFR	99	20/138					
263-292	263-271	EFLWGPRAL	100						A26 (R 21), A24 (NIH 30)
	264-271	FLWGPRAL	101					17/<5	
	264-273	FLWGPRALAE	102	16/<5		19/<5			
	265-274	LWGPRALAE	103	16/<5					
	268-276	PRALAE	104	15/<5					
	267-276	GPRALAE	105	15/<5			<15/<5		B4403 (NIH 7); B3501 (NIH 120)
	269-277	RALAE	106	18/20					
	271-279	LAETSYVKV	107	19/<5					
	270-279	ALAETSYVKV	108	30/427		19/<5<5			
	272-280	AETSYVKVL	109	15/<5					B4403 (NIH 36)
	271-280	LAETSYVKVL	110	18/<5			<15/<5		
	274-282	TSYVKVLEY	111		26/<5				B4403 (NIH 14)
	273-282	ETSYVKVLEY	112		28/6				A26 (R 31), B4403 (NIH 14)
	278-286	KVLEYVVKV	113	26/743		16/<5			

【 0 2 2 1 】

10

20

30

40

【表 1 6 B】

表 16B

MAGE-1: ハウススキーパーンテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	HLA 結合予測 (SYFPEITHI/NIH) <sup>†</sup>					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
168-193	168-177	SYVLVTCLGL	114						A24 (NIH 300)
	169-177	YVLVTCLGL	115	20/32		15/<5	<15/20		
	170-177	VLVTCLGL	116					17/<5	
229-258	240-248	TQDLVQEKY	117		29/<5				
	239-248	LTQDLVQEKY	118		23/<5				A26 (R 22)
	232-240	YGEPRKLLT	119		24/11				
	243-251	LVQEKYLEY	120		21/<5	21/<5			A26 (R 28)
	242-251	DLVQEKYLEY	121		22/<5	19/<5			A26 (R 30)
	230-238	SAYGEPRKL	122	21/<5					B5101 (25/121)
	278-286	KVLEYVIVK	123	26/743		16/<5			
272-297	277-286	VKVLEYVIVK	124	17/<5					
	276-284	YVKVLEYVI	125	15/<5		15/<5		17/<5	
	274-282	TSYVKVLEY	126		26/<5				
	273-282	ETSYVKVLEY	127		28/6				
	283-291	VIKVSARVR	128			20/<5			
	282-291	YVIKVSARVR	129			24/<5			

<sup>†</sup>スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。Rは、SYFPEITHIスコアを示す。

【表 17 A】

表 17A M A G E - 2 : ハウススキープینگプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピートープ

基質	エピートープ	配列	配列番号	HLA 結合予測 (SYFPEITHI /NIH)†					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
107-126	115-122	ELVHFLLL	130					18/<5	
	113-122	MVELVHFLLL	131		21/<5				A26 (R 22)
	109-116	ISRKMVEL	132					17/<5	
	108-116	AISRKMVEL	133	25/7		19/<5	16/12	26/<5	
	107-116	AISRKMVEL	134	22/<5			14/36	n.p./16	
	112-120	KMVELVHFL	135	27/2800					
	109-117	ISRKMVELV	136	16/<5					
	108-117	AISRKMVELV	137	24/11					
	116-124	LVHFLLLKY	138		23/<5	19/<5			A26 (R 26)
	115-124	ELVHFLLLKY	139		24/<5	19/5			A26 (R 29)
145-175	111-119	RKMVELVHF	140						
	158-166	LQLVFGIEV	141	17/168					
	157-166	YLQLVFGIEV	142	24/1215					
	159-167	QLVFGIEVV	143	25/32		18/<5			
	158-167	LQLVFGIEVV	144	18/20					
	164-172	IEVVVEVPPI	145	16/<5					
	163-172	GIEVVVEVPPI	146	22/<5					
	162-170	FGIEVVVEVV	147	19/<5					B5101(24/69.212)
	154-162	ASEYLQLVF	148		22/68				
	153-162	KASEYLQLVF	149			15/<5			

† スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。Rは、SYFPEITHI スコアを示す。



【表 17 B】

表 17B

MAGE-2 : ハウスキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	HLA 結合予測 (SYFPEITHI /NIH)†					
			A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
213-233	218-225	EEKIWEEL					22/<5	
	216-225	APEEKIWEEL	15/<5			22/72		
	216-223	APEEKIWE					18/<5	
	220-228	KIWEELSML	26/804		16/<5		16/<5	A26 (R 26)
	219-228	EKIWEELSML						A26 (R 22)
271-291	271-278	FLWGPRAL					17/<5	
	271-279	FLWGPRALI	25/398		16/7			
	278-286	LIETSYVKV	23/<5					
	277-286	ALIETSYVKV	30/427		21/<5			
	276-284	RALIETSYV	18/19					B5101 (20/55)
	279-287	IETSYVKVL	15/<5					
	278-287	LIETSYVKVL	22/<5					A26 (R 22)

† スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。Rは、SYFPEITHIスコアを示す。

表 1 8

MAGE-3 : ハウスキープینگプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピートープ

基質	エピートープ	配列	配列番号	HLA 結合予測(SYFPEITHI/NIH) <sup>†</sup>					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
267-286	271-278	FLWGPRAL	162					17/<5	
	270-278	EFLWGPRAL	163						A26 (R 21); A24 (NIH 30)
	271-279	FLWGPRALV	164	27/2655		16/<5			
	276-284	RALVETSYV	165	18/19					B5101 (20/55)
	272-280	LWGPRALVE	166			15/<5			
	271-280	FLWGPRALVE	167	15/<5		22/<5			
	272-281	LWGPRALVET	168	16/<5					

<sup>†</sup>スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。Rは、SYFPEITHIスコアを示す。

【表 19 A】

表 19A

NY-E S O-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	HLA 結合予測 (SYFPEITHI /NIH)†					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
81-113	82-90	GPESRLLEF	169		16/11		18/<5	22/<5	
	83-91	PESRLLEFY	170		15/<5				B4403 (NIH 18)
	82-91	GPESRLLEFY	171		25/11				
	84-92	ESRLLEFY	172					19/8	
	86-94	RLLEFYLAM	173	21/430		21/<5			
	88-96	LEFYLAMPF	174						B4403 (NIH 60)
	87-96	LLEFYLAMPF	175		<15/45	18/<5			
	93-102	AMPFATPMEA	176	15/<5					
	94-102	MPFATPMEA	177				17/<5		
101-133	115-123	PLPVPGVLL	178	20/<5		17/<5	16/<5	18/<5	
	114-123	PPLPVPGVLL	179				23/12		
	116-123*	LPVPGVLL	180					16/<5	コメント *2つの消化物から得られる同じエピトープの徴候
	103-112	ELARRSLAQD	181	15/<5		20/<5			
	118-126*	VPGVLLKEF	182				17/<5	16/<5	
	117-126*	PVPGVLLKEF	183			16/<5			
116-145	116-123*	LPVPGVLL	184					16/<5	
	127-135	TVSGNILTI	185	21/<5		19/<5			
	126-135	FTVSGNILTI	186	20/<5					
	120-128	GVLLKEFTV	187	20/130		18/<5			
	121-130	VLLKEFTVSG	188	17/<5		18/<5			
	122-130	LLKEFTVSG	189	20/<5		18/<5			
	118-126*	VPGVLLKEF	190				17/<5	16/<5	
	117-126*	PVPGVLLKEF	191			16/<5			

†スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。

【表 19B】

表 19B

NY-ESO-1 : ハウスキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	HLA 結合予測(SYFPEITHI/NIH) <sup>†</sup>					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
136-163 (配列番号 254)	139-147	AADHRQLQL	192	17/<5	17/<5			22/<5	
	148-156	SISSCLQQL	193	24/7					A26 (R 25)
	147-156	LSISSCLQQL	194	18/<5					
	138-147	TAADHRQLQL	195	18/<5					
150-177 (配列番号 255)	161-169	WITQCFLPV	196	18/84					
	157-165	SLLMWITQC	197	18/42		17/<5			
	150-158	SSCLQQLSL	198	15/<5					
	154-162	QQLSLLMWI	199	15/50					
	151-159	SCLOQLSLL	200	18/<5					
	150-159	SSCLQQLSLL	201	16/<5					
	163-171	TQCFLPVFL	202	<15/12					
	162-171	ITQCFLPVFL	203	18/<5					A26 (R 19)

<sup>†</sup>スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。Rは、SYFPEITHIスコアを示す。

表 20

PRAME : ハウスキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピートープ

基質	エピートープ	配列	配列番号	HLA 結合予測(SYFPEITHI /NIH)†					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
211-245	219-227	PMQDIKMIL	204	16/<5				16/n.d.	A26 (R 20)
	218-227	MPMQDIKMIL	205				<15/240		
411-446	428-436	QHLIGLSNL	206	18/<5					
	427-436	LQHLIGLSNL	207	16/8					
	429-436	HLIGLSNL	208					17/<5	B15 (R 21)
	431-439	IGLSNLTHV	209	18/7					B*5101 (R 22)
	430-439	LIGLSNLTHV	210	24/37					

†スコアは、上述の 2 つの結合予測プログラムから付与される（実施例 3 を参照）。R は、SYFPEITHI スコアを示す。

【表 2 1】

表 21

P S A : ハウスキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピートープ

基質	エピートープ	配列	配列番号	HLA 結合予測 (SYFPEITHI /NIH) <sup>†</sup>					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
42-77	53-61	VLVHPQWVL	211	22/112			<15/6	17/<5	
	52-61	GVLVHPQWVL	212	17/21		16/<5	<15/30		A26 (R 18)
	52-60	GVLVHPQWV	213	17/124					
	59-67	WVLTAHCI	214	15/16					
	54-63	LVHPQWVLT	215	19/<5		20/<5			A26 (R 16)
	53-62	VLVHPQWVLT	216	17/22					
	54-62	LVHPQWVLT	217			17/n.d.			
55-95	66-73	CIRNKSVI	218					26/20	
	65-73	HCIRNKSVI	219					<15/16	
	56-64	HPQWVLTAA	220				18/<5		
	63-72	AAHCIRNKSV	221	17/<5					

<sup>†</sup> スコアは、上述の 2 つの結合予測プログラムから付与される (実施例 3 を参照)。R は、SYFPEITHI スコアを示す。

【表 2 2】

表 22

PSCA：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピートープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	HLA 結合予測 (SYFPEITHI /NIH) <sup>†</sup>					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
93-123*	116-123	LLWGPQQL	222					16/<5	
	115-123	LLLWGPQQL	223	<15/18					
	114-123	GLLLWGPQQL	224	<15/10					
	99-107	ALQPAAAIL	225	26/9		22/<5	<15/12	16/<5	A26 (R 19)
	98-107	HALQPAAAIL	226	18/<5			<15/12		

\*L 1 2 3は、天然タンパク質のC末端である。

<sup>†</sup>スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。

【表 2 3】

表 23

チロシナーゼ：ハウススキーパーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	HLA 結合予測(SYFPEITHI /NIH) <sup>†</sup>					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
128-157	128-137	APEKDKFFAY	227		29/6		15/<5		B4403 (NIH 14)
	129-137	PEKDKFFAY	228		18/<5			21/<5	
	130-138	EKDKFFAYL	229				15/<5		
	131-138	KDKFFAYL	230					20/<5	
197-228	205-213	PAFLPWHRL	231					15/<5	
	204-213	APAFLPWHRL	232				23/360		
	207-216	FLPWHLFL	1	25/1310				<15/8	
	208-216	LPWHLFL	9	17/26			20/80	24/16	
	214-223	FLLRWEQEIQ	233			15/<5			
	212-220	RLFLLRWEQ	234			16/<5			
191-211	191-200	GSEIWRDIDF	235		18/68				
	192-200	SEIWRDIDF	236					16/<5	B4403 (NIH 400)
207-230	207-215	FLWHLFL	8	22/540			<15/6	17/<5	
466-484	473-481	RIWSWLLGA	237	19/13		15/<5			
476-497	476-484	SWLLGAAMV	238	18/<5					
	477-486	WLLGAAMVGA	239	21/194		18/<5			
	478-486	LLGAAMVGA	240	19/19		16/<5			

<sup>†</sup> スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。

10

20

30

40



【表 2 4】

表 24

P S M A : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	HLA 結合予測 (SYFPEITHI /NIH) <sup>†</sup>					
				A*0201	A1	A3	B7	B8	その他
1-30	4-12	LLHETDSAV	241	25/485		15/<5			
	13-21	ATARRPRWL	242	18/<5				18/<5	A26 (R 19)
53-80	53-61	TPKHNMKAF	243					24/<5	
	64-73	ELKAENIKKF	244			17/<5			A26 (R 30)
	69-77	NIKKFLH <sup>1</sup> NF	245						A26 (R 27)
	68-77	ENIKKFLH <sup>1</sup> NF	246						A26 (R 24)
215-244	220-228	AGAKGVILY	247		25/<5				
457-489	468-477	PLMYSLVHNL	248	22/<5					
	469-477	LMYSLVHNL	249	27/193		<15/9			
	463-471	RVDCTPLMY	250		32/125	25/<5			A26 (R 22)
	465-473	DCTPLMYSL	251						A26 (R 22)
503-533	507-515	SGMPRISKL	252	21/<5				21/<5	
	506-515	FSGMPRISKL	253	17/<5					

<sup>1</sup> このHは、SWISSPROTデータベースではYとして報告された。

<sup>†</sup> スコアは、上述の2つの結合予測プログラムから付与される（実施例3を参照）。

## 【表 2 5 A】

表 25A

MAGE-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
Mage-1 119-146	125-132	KAEMLESV	256	B5101	19	該当なし
	124-132	TKAEMLESV	257	A0201	20	<5
	123-132	VTKAEMLESV	258	A0201	20	<5
	128-136	MLESVIKNY	259	A1	28	45
				A26	24	該当なし
				A3	17	5
	127-136	EMLESVIKNY	260	A1	15	<1.0
				A26	23	<1.0
	125-133	KAEMLESVI	261	B5101	23	100
				A24	N.A.	4
Mage-1 143-170	146-153	KASESLQL	262	B08	16	<1.0
				B5101	17	該当なし
	145-153	GKASESLQL	263	B2705	17	1
				B2709	16	該当なし
	147-155	ASESLQLVF	264	A1	22	68
	153-161	LVFGIDVKE	265	A26	16	該当なし
				A3	16	<1.0

## 【 0 2 3 3 】

10

20

30

## 【表 2 5 B】

表 25B

MAGE-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
Mage-1 99-125	114-121	LLKYRARE	266	B8	25	<1.0
	106-113	VADLVGFL	267	B8	16	<1.0
				B5101	21	該当なし
	105-113	KVADLVGFL	268	A0201	23	44
				A26	25	該当なし
				A3	16	<5
				B0702	14	20
				B2705	14	30
	107-115	ADLVGFLLL	269	A0201	17	<5
				B0702	15	<5
				B2705	16	1
	106-115	VADLVGFLLL	270	A0201	16	<5
				A1	22	3
	114-123	LLKYRAREPV	271	A0201	20	2

10

20

## 【 0 2 3 4 】

## 【表 2 6】

表 26

MAGE-3 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
Mage-3 267-295	271-278	FLWGPRAL	162	B08	17	<5
	270-278	EFLWGPRAL	163	A26	21	該当なし
				A24	N.A.	30
				B1510	16	該当なし
	271-279	FLWGPRALV	164	A0201	27	2655
				A3	16	2
	278-286	LVETSYVKV	272	A0201	19	<1.0
				A26	17	該当なし
	277-286	ALVETSYVKV	273	A0201	28	428
				A26	16	<5
				A3	18	<5
	285-293	KVLHHMVKI	274	A0201	19	27
				A3	19	<5
	276-284	RALVETSYV	165	A0201	18	20
	283-291	YVKVLHHMV	275	A0201	17	<1.0
	275-283	PRALVETSY	276	A1	17	<1.0
	274-283	GPRALVETSY	277	A1	15	<1.0
	278-287	LVETSYVKVL	278	A0201	18	<1.0
	272-281	LWGPRALVET	168	A0201	16	<1.0
	271-280	FLWGPRALVE	167	A3	22	<5

10

20

30

## 【 0 2 3 5 】

【表 2 7 A】

表 27A

フィブロネクチンED-B：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
ED-B 14'-21*	4'-5**	TIIPEVPQL <sup>†</sup>	279	A0201	27	7
				A26	28	該当なし
				A3	17	<5
				B8	15	<5
				B1510	15	該当なし
	5'-5**	DTIIPEVPQL <sup>†</sup>	280	B2705	17	10
				B2709	15	該当なし
				A0201	20	<5
	1-10	EVPQLDLSF	281	A26	32	該当なし
				A26	29	該当なし

\* この基質は、フィブロネクチンフランキンゲンED-BからN末端側までの14個のアミノ酸を含有する。

\*\* これらのペプチドは、ED-BドメインのN末端とフィブロネクチンの残部との間の接合部にまたがる。

<sup>†</sup>イタリック体文字は、ED-Bドメインの外側の配列を示す。

【表 2 7 B】

表 27B

フィブロネクチンED-B：ハウスキーパーピンングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
ED-B 8-35	23-30	TPLNSSTI	282	B5101	22	該当なし
	18-25	IGLRWTPL	283	B5101	18	該当なし
	17-25	SIGLRWTPL	284	A0201	20	5
				A26	18	該当なし
				B08	25	<5
	25-33	LNSSTIIGY	285	A1	19	<5
				A26	16	<5
	24-33	PLNSSTIIGY	286	A1	20	<5
				A26	24	該当なし
				A3	16	<5
	23-31	TPLNSSTII	287	B0702	17	8
				B5101	25	440

【 0 2 3 7 】

10

20

30

40

【表 27C】

表 27C

ファイブロネクチンED-B：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
ED-B 20-49	31-38	IGYRITVV	288	B5101	25	該当なし
	30-38	IIGYRITVV	289	A0201	23	15
				A3	17	<1.0
				B08	15	<1.0
				B5101	15	3
	29-38	TIIGYRITVV	290	A0201	26	9
				A26	18	該当なし
				A3	18	<5
	23-30	TPLNSSTI	282	B5101	22	該当なし
	25-33	LNSSTIIGY	285	A1	19	<5
				A26	16	該当なし
	24-33	PLNSSTIIGY	286	A26	24	該当なし
				A3	16	<5
	31-39	IGYRITVVA	291	A3	17	<5
	30-39	IIGYRITVVA	292	A0201	15	<5
				A3	18	<5
	23-31	TPLNSSTII	287	B0702	17	8
				B5101	25	440

【 0 2 3 8 】

10

20

30

40

## 【表 2 8 A】

表 28A

CEA：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましい  
エピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
CEA 176-202	184-191	SLPVSPRL	293	B08	19	<5
	183-191	QSLPVSPRL	294	A0201	15	<5
				B1510	15	
				B2705	18	10
				B2709	15	
	186-193	PVSPRLQL	295	B08	18	<5
	185-193	LPVSPRLQL	296	B0702	26	180
				B08	16	<5
				B5101	19	130
	184-193	SLPVSPRLQL	297	A0201	23	21
				A26	18	該当なし
				A3	18	<5
	185-192	LPVSPRLQ	298	B5101	17	該当なし
	192-200	QLSNGNRTL	299	A0201	21	4
				A26	16	該当なし
				A3	19	<5
				B08	17	<5
				B1510	15	
	191-200	LQLSNGNRTL	300	A0201	16	3
	179-187	WVNNQSLPV	301	A0201	16	28
	186-194	PVSPRLQLS	302	A26	17	該当なし
				A3	15	<5

10

20

30

## 【 0 2 3 9 】



## 【表 2 8 B】

表 28B

CEA：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましい  
エピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
CEA 354 -380	362-369	SLPVSPRL	303	B08	19	<1.0
	361-369	QSLPVSPRL	304	A0201	15	<1.0
				B2705	18	10
				B2709	15	
	364-371	PVSPRLQL	305	B08	18	<1.0
	363-371	LPVSPRLQL	306	B0702	26	180
				B08	16	<1.0
				B5101	19	130
	362-371	SLPVSPRLQL	307	A0201	23	21
				A26	18	該当なし
				A24	該当なし	6
				A3	18	<5
	363-370	LPVSPRLQ	308	B5101	17	該当なし
	370-378	QLSNDNRTL	309	A0201	22	4
				A26	16	該当なし
				A3	17	<1.0
				B08	17	<1.0
	369-378	LQLSNDNRTL	310	A0201	16	3
	357-365	WVNNQSLPV	311	A0201	16	28
	360-368	NQSLPVSPR	312	B2705	14	100

10

20

30

【 0 2 4 0 】

【表 2 8 C】

表 28C

CEA：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましい  
エピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
CEA 532- 558	540-547	SLPVSPRL	313	B08	19	<5
	539-547	QSLPVSPRL	314	A0201	15	<5
				B1510	15	<5
				B2705	18	10
				B2709	15	
	542-549	PVSPRLQL	315	B08	18	<5
	541-549	LPVSPRLQL	316	B0702	26	180
				B08	16	<1.0
				B5101	19	130
	540-549	SLPVSPRLQL	317	A0201	23	21
				A26	18	該当なし
				A3	18	<5
	541-548	LPVSPRLQ	318	B5101	17	該当なし
	548-556	QLSNGNRTL	319	A0201	24	4
				A26	16	該当なし
				A3	19	<1.0
				B08	17	<1.0
				B1510	15	
	547-556	LQLSNGNRTL	320	A0201	16	3
	535-543	WVNGQSLPV	321	A0201	18	28
				A3	15	<1.0
	533-541	LWWVNGQSL	322	A0201	15	<5

【 0 2 4 1 】

【表 2 8 D】

表 28D

CEA：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましい  
エピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
CEA 532 -558 (続き)	532-541	YLWWVNGQSL	323	A0201	25	816
				A26	18	該当なし
	538-546	GQSLPVSPR	324	B2705	17	100

【 0 2 4 2 】

## 【表 2 9 A】

表 29A

HER2/NEU：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
Her-2 25-52	30-37	DMKLRLPA	325	B08	19	8
	28-37	GTDMKLRLPA	326	A1	23	6
	42-49	HLDMLRHL	327	B08	17	<5
	41-49	THLDMLRHL	328	A0201	17	<5
				B1510	24	該当なし
	40-49	ETHLDMLRHL	329	A26	29	該当なし
	36-43	PASPETHL	330	B5101	17	該当なし
	35-43	LPASPETHL	331	A0201	15	<5
				B5101	20	130
				B5102	該当なし	100
	34-43	RLPASPETHL	332	A0201	20	21
	38-46	SPETHLDML	333	A0201	15	<5
				B0702	20	24
				B08	18	<5
				B5101	18	110
	37-46	ASPETHLDML	334	A0201	18	<5
	42-50	HLDMLRHLY	335	A1	29	25
				A26	20	該当なし
				A3	17	4
	41-50	THLDMLRHLY	336	A1	18	<1.0

10

20

30

【 0 2 4 3 】

【表 2 9 B】

表 29B

HER 2／NEU：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
Her-2 705 -732	719-726	ELRKVKVL	337	B08	24	16
	718-726	TEL RKVKVL	338	A0201	16	1
				B08	22	<5
				B5101	16	<5
	717-726	ETEL RKVKVL	339	A1	18	2
				A26	28	6
	715-723	LKETELRKV	340	A0201	17	<5
				B5101	15	<5
	714-723	ILKETELRKV	341	A0201	29	8
	712-720	MRILKETEL	342	A0201	15	<5
				B08	22	<5
				B2705	27	2000
				B2709	21	該当なし
	711-720	QMRILKETEL	343	A0201	20	2
				B0702	13	40
	717-725	ETEL RKVKV	344	A1	18	5
				A26	18	該当なし
	716-725	KETEL RKVKV	345	A0201	16	19
	706-714	MPNQAQMRI	346	B0702	16	8
				B5101	22	629
	705-714	AMPNQAQMRI	347	A0201	18	8
	706-715	MPNQAQMRIL	348	B0702	20	80

10

20

30

【 0 2 4 4 】

【表 2 9 C】

表 29C  
HER 2 / NEU : ハウスキープینگプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
Her-2 954-982	966-973	RPRFRELV	349	B08	20	24
				B5101	18	該当なし
	965-973	CRPRFRELV	350	B2709	18	
				A26	25	該当なし
				A24	N.A.	32
	968-976	RFRELVSEF	351	A3	15	<5
				B08	16	<5
				B2705	19	
	967-976	PRFRELVSEF	352	A26	18	該当なし
				A26	21	該当なし
				A24	N.A.	6
	964-972	ECRPRFREL	353	B0702	15	40
				B8	27	640
				B1510	16	<5

【表 3 0】

表 30  
NY-ESO-1 : ハウスキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLAタイプ	SYFPEITHI	NIH
NY-ESO-1 51-77	67-75	GAASGLNGC	354	A0201	15	<5
	52-60	RASGPGGGA	355	B0702	15	<5
	64-72	PHGGAASGL	356	B1510	21	該当なし
	63-72	GPHGGAASGL	357	B0702	22	80
	60-69	APRGPHGGAA	358	B0702	23	60

【表 3 1 A】

表 31A

PRAME：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PRAME 103-135	112-119	VRPRRWKL	359	B08	19	
	111-119	EVRPRRWKL	360	A26	27	該当なし
				A24	該当なし	5
				A3	19	該当なし
				B0702	15	(B7) 300.00
				B08	26	160
	113-121	RPRRWKLQV	361	B0702	21	(B7) 40.00
				B5101	19	110
	114-122	PRRWKLQVL	362	B08	26	<5
				B2705	23	200
	113-122	RPRRWKLQVL	363	B0702	24	(B7) 800.00
				B8	該当なし	160
				B5101	該当なし	61
				B5102	該当なし	61
				A24	該当なし	10
	116-124	RWKLQVLDL	364	B08	22	<5
				B2705	17	3
	115-124	RRWKLQVLDL	365	A0201	16	<5
PRAME 161-187	174-182	PVEVLVDLF	366	A26	25	該当なし

10

20

30

【 0 2 4 7 】

【表 3 1 B】

表 31B

PRAME：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PRAME 185-215	199-206	VKRKKNVL	367	B08	27	8
	198-206	KVKRKKNVL	368	A0201	16	<1.0
				A26	20	該当なし
				A3	22	<1.0
				B08	30	40
				B2705	16	
	197-206	EKVKRKKNVL	369	A26	15	該当なし
	198-205	KVKRKKNV	370	B08	20	6
	201-208	RKKNVLRL	371	B08	20	<5
	200-208	KRKKNVLRL	372	A0201	15	<1.0
				A26	15	該当なし
				B0702	15	<1.0
				B08	21	<1.0
				B2705	28	
				B2709	25	
	199-208	VKRKKNVLRL	373	A0201	16	<1.0
				B0702	16	4
	189-196	DELF SYLI	374	B5101	15	該当なし
	205-213	VLRLCCKKL	375	A0201	22	3
				A26	17	該当なし
				B08	25	8
	204-213	NVLRLCCKKL	376	A0201	17	7
				A26	19	該当なし

10

20

30

【 0 2 4 8 】



## 【表 3 1 C】

表 31C

PRAME : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PRAME 185-215 (続き)	194-202	YLIEKVKRK	377	A0201	20	<1.0
				A26	18	該当なし
				A3	25	68
				B08	20	<1.0
				B2705	17	
PRAME 71-98	74-81	QAWPFTCL	378	B5101	17	該当なし
	73-81	VQAWPFTCL	379	A0201	14	7
				A24	該当なし	5
				B0702	16	6
	72-81	MVQAWPFTCL	380	A26	22	該当なし
				A24	該当なし	7
				B0702	13	30
	81-88	LPLGVLMK	381	B5101	18	該当なし
	80-88	CLPLGVLMK	382	A0201	17	<1.0
				A3	27	120
	79-88	TCLPLGVLMK	383	A1	12	10
				A3	19	3
	84-92	GVLMKGQHL	384	A0201	18	7
				A26	21	該当なし
				B08	21	4
	81-89	LPLGVLMKG	385	B5101	20	2
	80-89	CLPLGVLMKG	386	A0201	16	<1.0
	76-85	WPFTCLPLGV	387	B0702	18	4

10

20

30

【 0 2 4 9 】

## 【表 3 1 D】

表 31D

P R A M E : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PRAME 39-65	51-59	ELFPPLFMA	388	A0201	19	18
				A26	23	該当なし
	49-57	PRELFPPLF	389	B2705	22	
				B2709	19	
	48-57	LPRELFPPLF	390	B0702	19	4
	50-58	RELFPPLFM	391	B2705	16	
				B2705	15	
	49-58	PRELFPPLFM	392	A1	16	<1.0

10

## 【 0 2 5 0 】

【表 3 2】

表 32  
PSA：ハウスキーパーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PSA 232-258	239-246	RPSLYTKV	393	B5101	21	該当なし
	238-246	ERPSLYTKV	394	B2705	15	60
	236-243	LPERPSLY	395	B5101	18	該当なし
	235-243	ALPERPSLY	396	A1	19	<1.0
				A26	22	該当なし
				A3	26	6
				B08	16	<1.0
				B2705	11	15
	241-249	SLYTKVVHY	397	B2709	19	該当なし
				A0201	20	<1.0
				A1	19	<1.0
				A26	25	該当なし
				A3	26	60
	240-249	PSLYTKVVHY	398	B08	20	<1.0
				B2705	13	75
				A1	20	<1.0
	239-247	RPSLYTKVV	399	A26	16	該当なし
				B0702	21	4
				B5101	23	110

## 【表 3 3 A】

表 33A

P S M A : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PSMA 202 -228	211-218	GNKVKNAQ	400	B08	22	<5
	202-209	IARYGKVF	401	B08	18	<5
	217-225	AQLAGAKGV	402	A0201	16	26
	207-215	KVFRGNKVK	403	A3	32	15
	211-219	GNKVKNAQL	404	B8	33	80
				B2705	17	20
PSMA 255 -282	269-277	TPGYPANEY	405	A1	16	<5
	268-277	LTPGYPANEY	406	A1	21	1
				A26	24	該当なし
	271-279	GYPANEYAY	407	A1	15	<5
	270-279	PGYPANEYAY	408	A1	19	<5
	266-274	DPLTPGYPA	409	B0702	21	3
B5101				17	20	
PSMA 483 -509	492-500	SLYESWTKK	410	A0201	17	<5
				A3	27	150
				B2705	18	150
	491-500	KSLYESWTKK	411	A3	16	<5
	486-494	EGFEGKSLY	412	A1	19	<5
				A26	21	該当なし
				B2705	16	<5
	485-494	DEGFEGKSLY	413	A1	17	<5
				A26	17	該当なし
498-506	TKKSPSPEF	414	B08	17	<5	

10

20

30

## 【 0 2 5 2 】

## 【表 3 3 B】

表 33B

P S M A : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PSMA 483-509 (続き)	497-506	WTKKSPSPEF	415	A26	24	該当なし
	492-501	SLYESWTKKS	416	A0201	16	<5
				A3	16	<5
PSMA 721-749	725-732	WGEVKRQI	417	B08	17	<5
				B5101	17	該当なし
	724-732	AWGEVKRQI	418	B5101	15	6
	723-732	KAWGEVKRQI	419	A0201	16	<1.0
	723-730	KAWGEVKR	420	B5101	15	該当なし
	722-730	SKAWGEVKR	421	B2705	15	<5
	731-739	QIYVAAFTV	422	A0201	21	177
				A3	21	<1.0
				B5101	15	5
	733-741	YVAAFTVQA	423	A0201	17	6
				A3	20	<1.0
	725-733	WGEVKRQIY	424	A1	26	11
	727-735	EVKRQIYVA	425	A26	22	該当なし
				A3	18	<1.0
	738-746	TVQAAAETL	426	A26	18	該当なし
				A3	19	<1.0
	737-746	FTVQAAAETL	427	A0201	17	<1.0
				A26	19	該当なし

10

20

30

## 【 0 2 5 3 】

【表 3 3 C】

表 33C

PSMA：ハウススキープイングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
PSMA 721-749 (continued)	729-737	KRQIYVAAF	428	A26	16	該当なし
				B2705	24	3000
				B2709	21	該当なし
	721-729	PSKAWGEVK	429	A3	20	<1.0
PSMA 95-122	723-731	KAWGEVKRQ	430	B5101	16	<1.0
	100-108	WKEFGLDV	431	A0201	16	<5
	99-108	QWKEFGLDV	432	A0201	17	<5
	102-111	EFGLDSVELA	433	A26	16	該当なし

【表 3 4 A】

表 34A

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 117 -143	126-134	ELRQKESKL	434	A0201	20	<5
				A26	26	該当なし
				A3	17	<5
				B0702	13	(B7) 40.00
				B8	34	320
	125-134	AELRQKESKL	435	A0201	16	<5
	133-141	KLQENRKII	436	A0201	20	61
SCP-1 281 -308	298-305	QLEEKTKL	437	B08	28	2
	297-305	NQLEEKTKL	438	A0201	16	33
				B2705	19	200
	288-296	LLEESRDKV	439	A0201	25	15
				B5101	15	3
	287-296	FLLEESRDKV	440	A0201	27	2378
	291-299	ESRDKVNQL	441	A26	21	該当なし
				B08	29	240
290-299	EESRDKVNQL	442	A26	19	該当なし	
SCP-1 471 -498	475-483	EKEVHDLEY	443	A1	31	11
				A26	17	該当なし
	474-483	REKEVHDLEY	444	A1	21	<1.0
	480-488	DLEYSYCHY	445	A1	26	45
				A26	30	該当なし
		A3	16	<5		
477-485	EVHDLEYSY	446	A1	15	1	

10

20

30

【 0 2 5 5 】

## 【表 3 4 B】

表 34B

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 471 -498 (続き)	477-485	EVHDLEYSY		A26	29	該当なし
				A3	19	<1.0
	477-486	EVHDLEYSYC	447	A26	22	該当なし
SCP-1 493 -520	502-509	KLSSKREL	448	B08	26	4
	508-515	ELKNTEYF	449	B08	24	<1.0
	507-515	RELKNTEYF	450	B2705	18	45
				B4403	該当なし	120
	496-503	KRGQRPKL	451	B08	18	<1.0
	494-503	LPKRGQRPKL	452	B0702	22	120
				B8	該当なし	16
				B5101	該当なし	130
				B3501	該当なし	60
	509-517	LKNTEYFTL	453	A0201	15	<5
	508-517	ELKNTEYFTL	454	A0201	18	<1.0
				A26	27	該当なし
				A3	16	<1.0
	506-514	KRELKNTEY	455	A1	26	2
				B2705	26	3000
	502-510	KLSSKRELK	456	A3	25	60
	498-506	GQRPKLSSK	457	A3	22	4
				B2705	18	200
	497-506	RGQRPKLSSK	458	A3	22	<1.0
	500-508	RPKLSSKRE	459	B08	18	<1.0

10

20

30

## 【 0 2 5 6 】



## 【表 3 4 C】

表 34C

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 570 -596	573-580	LEYVREEL	460	B08	19	<5
	572-580	ELEYVREEL	461	A0201	17	<1.0
				A26	23	該当なし
				A24	該当なし	9
				B08	20	該当なし
	571-580	N ELEYVREEL	462	A0201	16	4
	579-587	ELKQKRDEV	463	A0201	19	<1.0
				A26	18	該当なし
				B08	29	48
	575-583	YVREELKQK	464	A26	17	該当なし
				A3	27	2
SCP-1 618 -645	632-640	QLNVYEIKV	465	A0201	24	70
	630-638	SKQLNVYEI	466	A0201	17	<5
	628-636	AESKQLNVY	467	A1	19	<5
				A26	16	該当なし
	627-636	TAESKQLNVY	468	A1	26	45
				A26	15	該当なし

10

20

## 【 0 2 5 7 】

30

## 【表 3 4 D】

表 34D

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった  
好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 633 -660	638-645	IKV NKLEL	469	B08	21	<1.0
	637-645	EIKV NKLEL	470	A0201	17	<1.0
				A26	26	該当なし
				B08	28	8
				B1510	15	該当なし
	636-645	YEIKV NKLEL	471	A0201	17	2
	642-650	KLELELESA	472	A0201	20	1
				A3	16	<1.0
	635-643	VYEIKV NKL	473	A0201	18	<1.0
				A24	該当なし	396
				B08	22	<1.0
	634-643	NVYEIKV NKL	474	A0201	24	56
				A26	25	該当なし
				A24	該当なし	6
				A3	15	<5
				B0702	11	(B7) 20
				B08	該当なし	6
	646-654	ELESAKQKF	475	A26	27	該当なし
SCP-1 640 -668	642-650	KLELELESA	476	A0201	20	1
				A3	16	<1.0
	646-654	ELESAKQKF	477	A26	27	該当なし

10

20

30

## 【表 3 4 E】

表 34E

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった  
好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 768 -796	771-778	KEKLRKREA	478	B08	21	<5
	777-785	EAKENTATL	479	A0201	18	<5
				A26	18	該当なし
				A24	該当なし	5
				B0702	13	12
				B08	28	48
				B5101	20	121
	776-785	REAKENTATL	480	A0201	16	<5
SCP-1 92-125	773-782	KLKREAKENT	481	A3	17	<5
	112-119	EAEKIKKW	482	B5101	17	該当なし
	101-109	GLSRVYSKL	483	A0201	23	32
				A26	22	該当なし
				A24	該当なし	6
				A3	17	3
				B08	17	<1.0
	100-109	EGLSRVYSKL	484	A26	21	該当なし
				A24	該当なし	9
	108-116	KLYKEAEKI	485	A0201	22	57
				A3	20	9
				B5101	18	5
	98-106	NSEGLSRVY	486	A1	31	68
	97-106	ENSEGLSRVY	487	A26	18	該当なし
	102-110	LSRVYSKLY	488	A1	22	<1.0

【 0 2 5 9 】

10

20

30

## 【表 3 4 F】

表 34F

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 92-125 (続き)	101-110	GLSRVYSKLY	489	A1	18	<1.0
				A26	18	該当なし
				A3	19	18
	96-105	LENSEGLSRV	490	A0201	17	5
	108-117	KLYKEAEKIK	491	A3	27	150
SCP-1 931 -958	949-956	REDRWAVI	492	B5101	15	該当なし
	948-956	MREDRWAVI	493	B2705	18	600
				B2709	18	該当なし
				B5101	15	1
	947-956	KMREDRWAVI	494	A0201	21	6
				B08	該当なし	15
	947-955	KMREDRWAV	495	A0201	22	411
	934-942	TTPGSTLKF	496	A26	25	該当なし
	933-942	LTPGSTLKF	497	A26	23	該当なし
	937-945	GSTLKFGAI	498	B08	19	1
SCP-1 232 -259	945-953	IRKMREDRW	499	B08	19	<5
	236-243	RLEMHFKL	500	B08	16	<5
	235-243	SRLEMHFKL	501	A0201	18	<5
				B2705	25	2000
				B2709	22	
	242-250	KLKEDYEKI	502	A0201	22	4

【 0 2 6 0 】

【表 3 4 G】

表 34G

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 232 -259 (続き)				A26	16	該当なし
				A3	15	3
				B08	24	<5
				B5101	14	2
	249-257	KIQHLEQEY	503	A1	15	<5
				A26	23	該当なし
				A3	17	<5
	248-257	EKIQHLEQEY	504	A1	15	<5
				A26	21	該当なし
	233-242	ENSRLEMHF	505	A26	19	該当なし
	236-245	RLEMHFKLKE	506	A1	19	<5
				A3	17	<5
SCP-1 310 -340	324-331	LEDIKVSL	507	B08	20	<1.0
	323-331	ELEDIKVSL	508	A0201	21	<1.0
				A26	25	該当なし
				A24	該当なし	10
				A3	17	<1.0
				B08	19	<1.0
				B1510	16	該当なし
	322-331	KELEDIKVSL	509	A0201	19	22
	320-327	LTKELEDI	500	B08	18	<5
	319-327	HLTKELEDI	511	A0201	21	<1.0
	330-338	SLQRSVSTQ	512	A0201	18	<1.0

10

20

30

【 0 2 6 1 】

## 【表 3 4 H】

表 34H

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 310 -340 (続き)	321-329	TKELEDIKV	513	A1	16	<1.0
	320-329	LTKELEDIKV	514	A0201	19	<1.0
	326-335	DIKVS LQRSV	515	A26	18	該当なし
SCP-1 272 -305	281-288	KMKDLTFL	516	B08	20	3
	280-288	NKMKDLTFL	517	A0201	15	1
	279-288	ENKMKDLTFL	518	A26	19	該当なし
	288-296	LLEESRDKV	519	A0201	25	15
				B5101	15	3
	287-296	FLLEESRDKV	520	A0201	27	2378
	291-299	ESRDKNQL	521	A26	21	該当なし
				B08	29	240
	290-299	EESRDKNQL	522	A26	19	該当なし
	277-285	EKENMKDL	523	A26	19	該当なし
				B08	23	<1.0
	276-285	TEKENMKDL	524	A26	15	該当なし
SCP-1 211 -239	279-287	ENKMKDLTF	525	A26	18	該当なし
				B08	28	4
	218-225	IEKMITAF	526	B08	17	<5
	217-225	NIEKMITAF	527	A26	26	該当なし
	216-225	SNIEKMITAF	528	A26	19	該当なし
	223-230	TAFEELRV	529	B5101	23	該当なし
	222-230	ITAFEELRV	530	A0201	18	2
	221-230	MITAFEELRV	531	A0201	18	16

10

20

30

## 【表 3 4 I】

表 34I

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 211 -239 (続き)	220-228	KMITAFEEL	532	A0201	23	50
				A26	15	該当なし
				A24	該当なし	16
	219-228	EKMITAFEEL	533	A26	19	該当なし
	227-235	ELRVQAENS	534	A3	16	<1.0
				B08	15	<1.0
	213-222	DLNSNIEKMI	535	A0201	17	<1.0
A26				16	該当なし	
SCP-1 836 -863	837-844	WTSAKNTL	536	B08	20	4
	846-854	TPLPKAYTV	537	A0201	18	2
				B0702	17	4
				B08	16	2
				B5101	25	220
	845-854	STPLPKAYTV	538	A0201	19	<5
	844-852	LSTPLPKAY	539	A1	23	8
	843-852	TLSTPLPKAY	540	A1	16	<1.0
				A26	19	該当なし
				A3	18	2
	842-850	NTLSTPLPK	541	A3	16	3
	841-850	KNTLSTPLPK	542	A3	18	<1.0

10

20

30

## 【 0 2 6 3 】

## 【表 3 4 J】

表 34J

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 819 -845	828-835	ISKDKRDY	543	B08	21	3
				A26	21	該当なし
	826-835	HGISKDKRDY	544	A1	15	<5
	832-840	KRDYLTSA	545	B2705	16	600
SCP-1 260 -288	829-838	SKDKRDYLT	546	A1	18	<5
	279-286	ENKMKDLT	547	B08	22	8
	260-268	EINDKEKQV	548	A0201	17	3
				A26	19	該当なし
				B08	17	<5
	274-282	QITEKENKM	549	A0201	17	3
				A26	22	該当なし
				B08	16	<5
	269-277	SLLLIQITE	550	A0201	16	<1.0
				A3	18	<1.0
SCP-1 437 -464	453-460	FEKIAEEL	551	B08	21	<1.0
	452-460	QFEKIAEEL	552	B2705	15	
	451-460	KQFEKIAEEL	553	A0201	16	56
	449-456	DNKQFEKI	554	B08	16	2
				B5101	16	該当なし
	448-456	YDNKQFEKI	555	B5101	16	1
	447-456	LYDNKQFEKI	556	A1	15	<1.0

10

20

30

## 【 0 2 6 4 】



## 【表 3 4 K】

表 34K

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 437-464 (続き)	440-447	LGEKETLL	557	B5101	16	該当なし
	439-447	VLGEKETLL	558	A0201	24	149
				A26	19	該当なし
				B08	29	12
	438-447	KVLGEKETLL	559	A0201	19	24
				A26	20	該当なし
				A24	該当なし	12
				A3	18	<1.0
				B0702	14	20
SCP-1 383-412	390-398	LLRTEQQRL	560	A0201	22	3
				A26	18	該当なし
				B08	22	1.6
				B2705	15	30
	389-398	ELLRTEQQRL	561	A0201	19	6
				A26	24	該当なし
				A3	15	<1.0
	393-401	TEQQRLNY	562	A1	15	<5
				A26	16	該当なし
	392-401	RTEQQRLNY	563	A1	31	113
				A26	26	該当なし
	402-410	EDQLIILTM	564	A26	18	該当なし
	397-406	RLENYEDQLI	565	A0201	17	<1.0
				A3	15	<1.0

10

20

30

## 【 0 2 6 5 】

## 【表 3 4 L】

表 34L

SCP-1 : ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SCP-1 366 -394	368-375	KARAAHSF	566	B08	16	<1.0
	376-384	VVTEFETTV	567	A0201	19	161
				A3	16	<1.0
	375-384	FVVTEFETTV	568	A0201	17	106
	377-385	VTEFETTV	569	A1	18	2
SCP-1 331 -357	376-385	VVTEFETTV	570	A3	16	<5
	344-352	DLQIATNTI	571	A0201	22	<5
				A3	15	<1.0
				B5101	17	11
	347-355	IATNTICQL	572	A0201	19	1
				B08	16	<1.0
				B5101	20	79
	346-355	QIATNTICQL	573	A0201	24	7

10

20

## 【 0 2 6 6 】

## 【表 3 5】

表 35

SSX-4：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
SSX4 45-76	57-65	VMTKLGFKV	574	A0201	21	495
	53-61	LNIEVMTKL	575	A0201	17	7
	52-61	KLNIEVMTKL	576	A0201	23	172
				A26	21	該当なし
				A24	該当なし	18
				A3	14	4
				B7	該当なし	4
	66-74	TLPPFMRSK	577	A26	16	該当なし
				A3	25	14
SSX4 98-124	110-118	KIMPKKPAE	578	A0201	15	<5
				A26	15	該当なし
				A3	16	<5
	103-112	SLQRIFFKIM	579	A0201	15	8
				A26	16	該当なし
				A3	15	<5

10

20

## 【 0 2 6 7 】

## 【表 3 6】

表 36

チロシナーゼ：ハウスキーピングプロテアソーム消化により明らかとなった好ましいエピトープ

基質	エピトープ	配列	配列番号	結合予測		
				HLA タイプ	SYFPEITHI	NIH
チロシン 445-474	463-471	YIKSYLEQA	580	A0201	18	<5
				A26	17	該当なし
	459-467	SFQDYIKSY	581	A1	18	<5
				A26	22	該当なし
	458-467	DSFQDYIKSY	582	A1	19	<5
				A26	24	該当なし
チロシン 490-518	507-514	LPEEKQPL	583	B08	28	5
				B5101	18	該当なし
	506-514	QLPEEKQPL	584	A0201	22	88
				A26	20	該当なし
				A24	該当なし	9
				B08	18	<5
	505-514	KQLPEEKQPL	585	A0201	15	28
				A24	該当なし	17
	507-515	LPEEKQPLL	586	A0201	15	<5
				B0702	21	24
				B08	28	5
				B5101	21	157
	506-515	QLPEEKQPLL	587	A0201	23	88
				A26	20	該当なし
				A24	該当なし	7
	497-505	SLLCRHKRK	588	A3	25	15

10

20

30

40

50

## 【 0 2 6 8 】

## 実施例 1 5

非標的組織に対するエピトープ交差反応性の可能性の評価

上述のように、P S A は、カリクレインファミリーのプロテアーゼの成員であり、それ自体がセリンプロテアーゼファミリーのサブセットである。P S A との最大度の配列同一性を共有するこのファミリーの成員もまた類似の発現プロファイルを共有すると同時に、個々のエピトープ配列が明確に異なる発現プロファイルを有するタンパク質と共有され得ることが依然として可能である。望ましくない交差反応性の可能性を評価する際の第 1 の工程は、共有される配列の同定である。これを達成するための方法の 1 つは、「短いほぼ正確なマッチに関する検索(Search for short nearly exact matches)」オプション；「ncbi.nlm.nih.gov/blast/index.html」にあるワールドワイドウェブにアクセス可能なハイパーテキストトランスファープロトコル(http://www)を用いて、S W I S S P R O T または E n t r e z 非重複ペプチド配列データベースに対するエピトープ配列の B L A S T 検索を実施することである。したがって、S W I S S P R O T (ホモサピエンスに関するエ

ントリーに限定)に対して、配列番号214、すなわちWVLTAAHCIを検索することにより、PSAを含む4つの正確なマッチが見出される。他の3つは、カリクレイン1(組織カリクレイン)、およびエラスターゼ2Aおよび2B由来である。これらの9個のアミノ酸セグメントが同一である一方で、フランキング配列は、特にC末端側で全く異なっており、プロセッシングは異なって進行し得て、したがってこれらの他のタンパク質から同じエピトープが遊離され得ないことを示唆している。(カリクレインの命名が混同されていることに留意されたい)。したがって、カリクレイン1[アクセッション番号P06870]は、腫瘍関連抗原に関する節における上記PSAに関するパラグラフに記載するもの[アクセッション番号AAD13817]とは異なるタンパク質である。

【0269】

10

幾つかの方法でこの可能性を試験することが可能である。これらのタンパク質のそれぞれの状況で包埋されたエピトープ配列を含有する合成ペプチドを、上述のように*in vitro*プロテアソーム消化および解析に付すことができる。あるいは、エピトープがプロセッシングされて、提示されるかどうかを決定するために、天然発現によるものであるかと組換え発現によるものであるかと、これらの他のタンパク質を発現する細胞を、エピトープを認識するCD8<sup>+</sup>T細胞を用いた細胞傷害性(または類似の)アッセイにおける標的として使用することができる。

【0270】

実施例16

エピトープクラスター

20

既知のエピトープおよび予測エピトープは概して、タンパク質抗原の配列にわたって均等に分布しない。上述のように、本発明者等は、エピトープクラスターとして(既知または予測)エピトープの平均密度よりも高い密度を含有する配列のセグメントを定義してきた。なかでも、エピトープクラスターの使用は、本明細書中に記載するように、プロテアソーム消化解析で使用される基質ペプチドにそれらの配列を組み込むことである。エピトープクラスターはまた、ワクチン成分としても有用であり得る。エピトープクラスターの定義および使用のより完全な説明は、エピトープクラスター(EPITOPE CLUSTER)という表題の米国特許出願第09/561,571号に見出される。

【0271】

30

以下の表(37~60)は、SYFPEITHIおよびNIHアルゴリズムの両方を用いたHLA-A2結合に関して予測される9量体エピトープ、ならびに重複エピトープの領域のエピトープ密度、および全タンパク質中の密度、およびこれら2つの密度の比を示す。(比は、上述の定義によりそれらがクラスターであるためには1を超えなくてはならない;この比のより高い値は好ましい実施形態を反映することを要する)。個々の9量体は、スコアによりランク付けされ、完全タンパク質配列中のそれらの最初のアミノの位置により同定される。タンパク質由来の各潜在的クラスターを番号付けする。クラスターが網羅する完全配列内のアミノ酸位置の範囲は、クラスターが構成される個々の予測エピトープの順位と同様に示される。

【0272】

【表 3 7】

表 37

gp100に関するBIMAS-NIH/Parkerアルゴリズムの結果

ランク	開始	スコア	ランク	開始	スコア
1	619	1493	21	416	19
2	602	413	22	25	18
3	162	226	23	566	17
4	18	118	24	603	15
5	178	118	25	384	14
6	273	117	26	13	14
7	601	81	27	290	12
8	243	63	28	637	10
9	606	60	29	639	9
10	373	50	30	485	9
11	544	36	31	453	8
12	291	29	32	102	8
13	592	29	33	399	8
14	268	29	34	456	7
15	47	27	35	113	7
16	585	26	36	622	7
17	576	21	37	69	7
18	465	21	38	604	6
19	570	20	39	350	6
20	9	19	40	583	5

10

20

30

【 0 2 7 3 】

【表 3 8】

表 38

gp100に関するSYFPEITHI (Rammenseeアルゴリズム) の結果

ランク	開始	スコア	ランク	開始	スコア	ランク	開始	スコア
1	606	30	37	291	20	73	60	18
2	162	29	38	269	20	74	17	18
3	456	28	39	2	20	75	613	17
4	18	28	40	610	19	76	599	17
5	602	27	41	594	19	77	572	17
6	598	27	42	591	19	78	557	17
7	601	26	43	583	19	79	556	17
8	597	26	44	570	19	80	512	17
9	13	26	45	488	19	81	406	17
10	585	25	46	446	19	82	324	17
11	449	25	47	322	19	83	290	17
12	4	25	48	267	19	84	101	17
13	603	24	49	250	19	85	95	17
14	576	24	50	205	19	86	635	16
15	453	24	51	180	19	87	588	16
16	178	24	52	169	19	88	584	16
17	171	24	53	88	19	89	577	16
18	11	24	54	47	19	90	559	16
19	619	23	55	10	19	91	539	16
20	280	23	56	648	18	92	494	16
21	268	23	57	605	18	93	482	16
22	592	22	58	604	18	94	468	16
23	544	22	59	595	18	95	442	16
24	465	22	60	571	18	96	413	16
25	399	22	61	569	18	97	408	16
26	373	22	62	450	18	98	402	16
27	273	22	63	409	18	99	286	16
28	243	22	64	400	18	100	234	16
29	566	21	65	371	18	101	217	16
30	563	21	66	343	18	102	211	16
31	485	21	67	298	18	103	176	16
32	384	21	68	209	18	104	107	16
33	350	21	69	102	18	105	96	16
34	9	21	70	97	18	106	80	16
35	463	20	71	76	18	107	16	16
36	397	20	72	69	18	108	14	16
						109	7	16

10

20

30

40

【表 3 9 - 1】

表 39

g p 1 0 0に関するクラスターの予測

総アミノ酸: 661

総 9 量体: 653

SYFPEITHI  $\geq 16$ : 109 9 量体NIH  $\geq 5$ : 40 9 量体

	クラス 番号	アミノ酸	エピトープ (ランクによる)	エピトープ/アミノ酸 クラス 全タン 比 ター パク質		
SYFPEITHI	1	2から26	39, 12, 109, 34, 55, 11, 9, 108, 107, 74, 4	0.440	0.165	2.668
	2	69-115	72, 71, 106, 53, 85, 105, 70, 84, 69, 104	0.213	0.165	1.290
	3	95-115	85, 105, 70, 84, 69	0.238	0.165	1.444
	4	162-188	2, 52, 17, 103, 16, 51	0.222	0.165	1.348
	5	205-225	50, 68, 102, 101	0.190	0.165	1.155
	6	243-258	28, 49	0.125	0.165	0.758
	7	267-306	48, 21, 38, 27, 20, 99, 83, 37, 67	0.225	0.165	1.364
	8	322-332	47, 82	0.182	0.165	1.103
	9	343-358	66, 33	0.125	0.165	0.758
	10	371-381	65, 26	0.182	0.165	1.103
	11	397-421	36, 25, 64, 98, 81, 97, 63, 96	0.320	0.165	1.941
	12	442-476	95, 46, 11, 62, 15, 3, 35, 24, 94	0.257	0.165	1.559
	13	482-502	93, 31, 45, 93	0.190	0.165	1.155
	14	539-552	91, 23	0.143	0.165	0.866
	15	556-627	79, 78, 90, 30, 29, 61, 44, 60, 77, 14, 89, 43, 88, 10, 87, 42, 22, 41, 59, 8, 6, 76, 7, 5, 13, 58, 57, 1, 40, 75, 19	0.431	0.165	2.611
NIH	1	9 to 33	20, 26, 4, 22	0.160	0.061	2.644
	2	268-281	14, 6	0.143	0.061	2.361
	3	290-299	27, 12	0.200	0.061	3.305
	4*	102-121	32, 35	0.100	0.061	1.653

10

20

30

40



【表 3 9 - 2】

5*	373-392	10, 25	0.100	0.061	1.653
6	453-473	31, 34, 18	0.143	0.061	2.361
7	566-600	23, 19, 17, 40, 16, 13	0.171	0.061	2.833
8	601-614	7, 2, 24, 38, 9	0.357	0.061	5.902
9	619-630	1, 36	0.17	0.061	2.754
10	637-647	28, 29	0.18	0.061	3.005

\*隣接しているが、重複していないエピソード

【 0 2 7 5 】

【表 4 0】

表 40

PSMAに関するBIMAS-NIH/Parkerアルゴリズムの結果

ランク	開始	スコア
1	663	1360
2	711	1055
3	4	485
4	27	400
5	26	375
6	668	261
7	707	251
8	469	193
9	731	177
10	35	67
11	33	64
12	554	59
13	427	50
14	115	47
15	20	40
16	217	26
17	583	24
18	415	19
19	193	14
20	240	12
21	627	11
22	260	10
23	130	10
24	741	9
25	3	9
26	733	8
27	726	7
28	286	6
29	174	5
30	700	5

10

20

30

40

【0276】

【表 4 1】

表 41

PSMAに関するSYFPEITHI (Rammenseeアルゴリズム) の結果

ランク	開始	スコア	ランク	開始	スコア	ランク	開始	スコア
1	469	27	31	26	20	61	305	17
2	27	27	32	3	20	62	304	17
3	741	26	33	583	19	63	286	17
4	711	26	34	579	19	64	282	17
5	354	25	35	554	19	65	169	17
6	4	25	36	550	19	66	142	17
7	663	24	37	547	19	67	122	17
8	130	24	38	390	19	68	738	16
9	57	24	39	219	19	69	634	16
10	707	23	40	193	19	70	631	16
11	260	23	41	700	18	71	515	16
12	20	23	42	472	18	72	456	16
13	603	22	43	364	18	73	440	16
14	218	22	44	317	18	74	385	16
15	109	22	45	253	18	75	373	16
16	731	21	46	91	18	76	365	16
17	668	21	47	61	18	77	361	16
18	660	21	48	13	18	78	289	16
19	507	21	49	733	17	79	278	16
20	454	21	50	673	17	80	258	16
21	427	21	51	671	17	81	247	16
22	358	21	52	642	17	82	217	16
23	284	21	53	571	17	83	107	16
24	115	21	54	492	17	84	100	16
25	33	21	55	442	17	85	75	16
26	606	20	56	441	17	86	37	16
27	568	20	57	397	17	87	30	16
28	473	20	58	391	17	88	21	16
29	461	20	59	357	17			
30	200	20	60	344	17			

10

20

30

40

【 0 2 7 7 】

## 【表 4 2】

表 42

前立腺特異的膜抗原 (P S M A) に関するクラスターの予測

総アミノ酸: 750

総 9 量体: 742

SYFPEITHI  $\geq 16$ : 88 9 量体NIH  $\geq 5$ : 30 9 量体

	クラス 番号	アミノ酸	エпитープ(ランクによる)	エピトープ/アミノ酸		
				クラス ター	全タン パク質	比
SYFPEITHI	1	3 から12	32, 6	0.200	0.117	1.705
	2	13-45	13, 12, 88, 31, 2, 87, 25, 86	0.242	0.117	2.066
	3	57-69	9, 47	0.154	0.117	1.311
	4	100-138	84, 83, 15, 24, 67, 8	0.154	0.117	1.311
	5	193-208	40, 30	0.111	0.117	0.947
	6	217-227	82, 14, 39	0.273	0.117	2.324
	7	247-268	81, 45, 80, 11	0.182	0.117	1.550
	8	278-297	79, 64, 23, 63, 78	0.250	0.117	2.131
	9	354-381	5, 59, 22, 77, 43, 76, 75	0.250	0.117	2.131
	10	385-405	74, 38, 58, 57	0.190	0.117	1.623
	11	440-450	73, 56, 55	0.273	0.117	2.324
	12	454-481	20, 72, 29, 1, 42, 28	0.214	0.117	1.826
	13	507-523	17, 71	0.118	0.117	1.003
	14	547-562	37, 36, 35	0.188	0.117	1.598
	15	568-591	27, 53, 34, 33	0.167	0.117	1.420
	16	603-614	13, 26	0.167	0.117	1.420
	17	631-650	70, 69, 52	0.150	0.117	1.278
	18	660-681	18, 7, 17, 51, 50	0.227	0.117	1.937
	19	700-719	41, 10, 4	0.150	0.117	1.278
	20	731-749	16, 49, 68, 3	0.211	0.117	1.794
NIH	1	3 to 12	25, 3	0.200	0.040	5.000
	2	20-43	15, 5, 4, 11, 10	0.208	0.040	5.208
	3*	415-435	18, 13	0.095	0.040	2.381
	4	663-676	1, 6	0.143	0.040	3.571
	5	700-715	30, 7, 3	0.188	0.040	4.688
	6	726-749	27, 9, 26, 24	0.167	0.040	4.167

\*隣接しているが、重複していないエピトープ

【 0 2 7 8 】

【表 4 3】

表 43

P S Aに関するB I M A S－N I H／P a r k e rアルゴリズムの結果

ランク	開始	スコア
1	7	607
2	170	243
3	52	124
4	53	112
5	195	101
6	165	23
7	72	18
8	245	18
9	2	16
10	59	16
11	122	15
12	125	15
13	191	13
14	9	8
15	14	6
16	175	5
17	130	5

10

20

【 0 2 7 9 】

30

【表 4 4】

表 44

P S Aに関するSYFPEITHI (Rammenseeアルゴリズム) の結果

ランク	開始	スコア
1	72	26
2	170	22
3	53	22
4	7	22
5	234	21
6	166	21
7	140	21
8	66	21
9	241	20
10	175	20
11	12	20
12	41	19
13	20	19
14	14	19
15	130	18
16	124	18
17	121	18
18	47	18
19	17	18
20	218	17
21	133	17
22	125	17
23	122	17
24	118	17
25	110	17
26	67	17
27	52	17
28	21	17
29	16	17
30	2	17
31	184	16
32	179	16
33	158	16
34	79	16
35	73	16
36	4	16

10

20

30

40

【 0 2 8 0 】

50

## 【表 4 5】

表 45

前立腺特異的抗原 (P S A) に関するクラスターの予測

総アミノ酸: 261

総 9 量体: 253

SYFPEITHI  $\geq 16$ : 36 9 量体NIH $\geq 5$ : 17 9 量体

	クラスター 番号	アミノ酸	エпитープ (ランクによる)	エイトープ/アミノ酸		
				クラス ター	全タン パク質	比
SYFPEITHI	1	2から29	30, 36, 4, 11, 14, 29, 19, 13, 28	0.321	0.138	2.330
	2	41-61	12, 18, 27, 3	0.190	0.138	1.381
	3	66-87	8, 26, 1, 35, 34	0.227	0.138	1.648
	4	110-148	25, 24, 17, 23, 16, 22, 15, 21, 7	0.184	0.138	1.332
	5	158-192	33, 6, 2, 10, 32, 31	0.171	0.138	1.243
	6	234-249	5, 9	0.125	0.138	0.906
	7*	118-133	24, 17, 23, 16, 22	0.313	0.138	2.266
	8*	118-138	24, 17, 23, 16, 22, 15	0.286	0.138	2.071
NIH	1	2-22	9, 1, 14, 15	0.190	0.065	2.924
	2	52-67	3, 4, 10	0.188	0.065	2.879
	3	122-138	11, 12, 17	0.176	0.065	2.709
	4	165-183	6, 2, 16	0.158	0.065	2.424
	5	191-203	13, 5	0.154	0.065	2.362
	6**	52-80	3, 4, 10, 7	0.138	0.065	2.118

\*これらのクラスターは、あまり好ましくないクラスター番号4の内部にある。

\*\*隣接しているが、重複していないエイトープを含む。

【 0 2 8 1 】

【表 4 6】

表 46

PSCAに関するBIMAS-NIH/Parkerアルゴリズムの結果

Rank	Start	Score
1	43	153
2	5	84
3	7	79
4	109	36
5	105	25
6	108	24
7	14	21
8	20	18
9	115	17
10	42	15
11	36	15
12	99	9
13	58	8

10

20

30

【 0 2 8 2 】



【表 4 7】

表 47

PSCAに関するSYFPEITHI (Rammenseeアルゴリズム) の結果

ランク	開始	スコア	ランク	開始	スコア
1	108	30	17	54	19
2	14	30	18	12	19
3	105	29	19	4	19
4	5	28	20	1	19
5	115	26	21	112	18
6	99	26	22	101	18
7	7	26	23	98	18
8	109	24	24	51	18
9	53	23	25	43	18
10	107	21	26	106	17
11	20	21	27	104	17
12	8	21	28	83	17
13	13	20	29	63	17
14	102	19	30	50	17
15	60	19	31	3	17
16	57	19	32	9	16
			33	92	16

10

20

【 0 2 8 3 】

【表 4 8】

表 48

前立腺幹細胞抗原 (P S C A) に関するクラスターの予測

総アミノ酸: 123

総 9 量体: 115

SYFPEITHI ≥16: 33;

SYFPEITHI ≥20: 13

NIH≥5: 13

クラスター 番号		アミノ酸	エピトープ(ランクによる)	エピトープ/アミノ酸 クラスター全タンパク質 比	
SYFPEITHI >16	1	1から28	20, 31, 19, 4, 7, 12, 33, 18, 13, 2, 11	0.393	0.268
	2	43-71	25, 30, 24, 9, 17, 16, 15, 29	0.276	0.268
	3	92-123	32, 23, 6, 27, 14, 22, 3, 26, 10, 1, 8, 21, 5	0.406	0.268
SYFPEITHI >20	1	5から28	4, 7, 12, 13, 2, 11	0.250	0.106
	2	99-123	6, 3, 10, 1, 8, 5	0.240	0.106
NIH	1	5から28	2, 3, 7, 8	0.167	0.106
	2	36-51	11, 10, 1	0.188	0.106
	3	99-123	12, 5, 6, 4, 9	0.200	0.106
	4*	105-116	5, 6, 4	0.250	0.106

\*このクラスターは、あまり好ましくないクラスター番号3の内部にある

【 0 2 8 4 】

表 4 9 ~ 6 0 では、各アルゴリズムに関するエピトープ予測およびクラスター解析は、  
単一の表において一緒に示している。

【 0 2 8 5 】

## 【表 4 9】

## 表 49

MAGE-1に関するクラスターの予測 (NIHアルゴリズム)

総アミノ酸: 309

総 9 量体: 301

NIH ≥ 5:19 9 量体

10

クラスター 番号	アミノ酸	エピトープ ランク	開始 位置	NIH スコア	エピトープ/アミノ酸 クラスター 全タンパク質	比	
1	18-32	16	18	9	0.133	0.063	2.112
		19	24	7			
2	101-113	14	101	11	0.154	0.063	2.442
		7	105	44			
3	146-159	9	146	32	0.143	0.063	2.263
		3	151	169			
4	169-202	10	169	32	0.176	0.063	2.796
		13	174	16			
		18	181	8			
		17	187	8			
		6	188	74			
		5	194	110			
5	264-277	2	264	190	0.143	0.063	2.263
		12	269	20			
6	278-290	1	278	743	0.154	0.063	2.437
		11	282	28			

20

30

【 0 2 8 6 】

## 【表 5 0 - 1】

## 表 50

MAGE-1に関するクラスターの予測 (SYFPEITHI アルゴリズム)

総アミノ酸: 309

総 9 量体: 301

SYFPEITHI  $\geq 16$ : 46 9 量体

クラスター	アミノ酸	エピトープ	開始	SYFPEITHI	エピトープ/アミノ酸 全タン		
番号		ランク	位置	スコア	クラスター	バック質	比
1	7-49	22	7	19	0.233	0.153	1.522
		9	15	22			
		27	18	18			
		16	20	20			
		28	22	18			
		29	24	18			
		33	31	17			
		30	35	18			
		2	38	26			
		17	41	20			
2	89-132	10	89	22	0.273	0.153	1.783
		18	92	20			
		7	93	23			
		23	96	19			
		43	98	16			
		4	101	25			
		8	105	23			
		34	107	17			
		35	108	17			
		36	113	17			
		37	118	17			
		19	124	20			
3	167-203	44	167	16	0.270	0.153	1.766
		20	169	20			
		12	174	21			
		24	181	19			
		6	187	24			

10

20

30

40

【表 5 0 - 2】

		31	188	18			
		25	191	19			
		38	192	17			
		1	194	27			
		13	195	21			
4	230-246	14	230	21	0.118	0.153	0.769
		39	238	17			
5	264-297	15	264	21	0.235	0.153	1.538
		32	269	18			
		40	270	17			
		26	271	19			
		46	275	16			
		3	278	26			
		21	282	20			
		41	289	17			

10

20

【 0 2 8 7 】

## 【表 5 1】

## 表 51

MAGE-2に関するクラスターの予測 (NIHアルゴリズム)

総アミノ酸: 314

総 9 量体: 308

NIH &gt;= 5: 20 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	エピトープ ランク	開始 位置	NIH スコア	クラスター	エピトープ/ アミノ酸 全タンパク質 比	比
1	101-120	18	101	5.373	0.150	0.065	2.310
		16	108	6.756			
		1	112	2800.697			
2	153-167	8	153	31.883	0.200	0.065	3.080
		4	158	168.552			
		7	159	32.138			
3	169-211	14	169	8.535	0.209	0.065	3.223
		19	174	5.346			
		6	176	49.993			
		11	181	15.701			
		15	188	7.536			
		12	195	12.809			
		5	200	88.783			
		10	201	16.725			
		17	203	5.609			
4	271-284	3	271	398.324	0.143	0.065	2.200
		9	276	19.658			

【 0 2 8 8 】

## 【表 5 2 - 1】

表 52

MAGE-2に関するクラスターの予測 (SYFPEITHI アルゴリズム)

総アミノ酸: 314

総 9 量体: 308

SYFPEITHI  $\geq 16$ : 52 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	エпитープ ランク	開始 位置	SYFPEITHI スコア	エпитープ/ア ミノ酸 クラス ター 全タンパク質 比		
1	15-32	13	15	21	0.278	0.169	1.645
		29	18	18			
		43	20	16			
		30	22	18			
		21	24	19			
2	37-56	31	37	18	0.250	0.169	1.481
		16	40	20			
		44	44	16			
		14	45	21			
		22	48	19			
3	96-133	36	96	17	0.211	0.169	1.247
		46	101	16			
		6	108	25			
		47	109	16			
		2	112	27			
		37	120	17			
		38	125	17			
		17	131	20			
4	153-216	12	153	22	0.344	0.169	2.036
		39	158	17			
		7	159	25			
		23	161	19			
		24	162	19			

10

20

30

40

【表 5 2 - 2】

		48	164	16					
		49	167	16					
		32	170	18					
		50	171	16					
		4	174	26					
		9	176	24					10
		51	177	16					
		15	181	21					
		25	188	19					
		18	194	20					
		33	195	18					
		19	198	20					
		3	200	27					
		1	201	28					20
		40	202	17					
		10	203	23					
		52	208	16					
5	237-254	26	237	19	0.167	0.169	0.987		
		27	245	19					
		34	246	18					
6	271-299	8	271	25	0.241	0.169	1.430		
		35	276	18					30
		41	277	17					
		11	278	23					
		28	283	19					
		20	285	20					
		42	291	17					

【 0 2 8 9 】



## 【表 5 3】

表 53

MAGE-3に関するクラスターの予測 (NIHアルゴリズム)

総アミノ酸: 314

総 9 量体: 308

NIH≥ 5: 22 9 量体

クラスター	アミノ酸	エпитープ	開始	NIH	エпитープ/ アミノ酸		
番号		ランク	位置	スコア	クラスター	全タンパク質	比
1	101-120	15	101	11.002	0.200	0.071	2.800
		21	105	6.488			
		8	108	49.134			
		2	112	339.313			
2	153-167	18	153	7.776	0.200	0.071	2.800
		6	158	51.77			
		22	159	5.599			
3	174-209	17	174	8.832	0.194	0.071	2.722
		7	176	49.993			
		13	181	15.701			
		19	188	7.536			
		14	195	12.809			
		5	200	88.783			
		12	201	16.725			
4	237-251	16	237	10.868	0.200	0.071	2.800
		4	238	148.896			
		20	243	6.88			
5	271-284	1	271	2655.495	0.143	0.071	2.000
		11	276	19.658			

【 0 2 9 0 】

## 【表 5 4 - 1】

表 54

MAGE-3に関するクラスターの予測 (SYFPEITHIアルゴリズム)

総アミノ酸: 314

総 9 量体: 308

SYFPEITHI  $\geq 16$ : 47 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	エピトープ ランク	開始 位置	SYFPEITHI スコア	エピトープ/アミ ノ酸 全タンパク質 比		
					クラスター	全タンパク質	比
1	15-32	12	15	21	0.278	0.153	1.820
		26	18	18			
		37	20	16			
		27	22	18			
		18	24	19			
2	38-56	38	38	16	0.263	0.153	1.725
		15	40	20			
		39	44	16			
		13	45	21			
		19	48	19			
3	101-142	28	101	18	0.190	0.153	1.248
		40	105	16			
		1	108	31			
		6	112	25			
		31	120	17			
		32	125	17			
		16	131	20			
		41	134	16			
4	153-216	20	153	19	0.313	0.153	2.048
		29	156	18			
		33	158	17			
		21	159	19			
		34	161	17			
		42	164	16			
		43	167	16			
		10	174	22			
		8	176	23			

10

20

30

40

【表 5 4 - 2】

		14	181	21			
		22	188	19			
		44	193	16			
		11	194	22			
		23	195	19			
		45	197	16			
		17	198	20			
		3	200	27			
		2	201	28			
		35	202	17			
		46	208	16			
5	220-230	5	220	26	0.182	0.153	1.191
		47	222	16			
6	237-246	7	237	25	0.200	0.153	1.311
		9	238	23			
7	271-293	4	271	27	0.217	0.153	1.425
		30	276	18			
		24	278	19			
		36	283	17			
		25	285	19			

10

20

【 0 2 9 1 】

## 【表 5 5 - 1】

表 55

PRAMEに関するクラスターの予測 (NIHアルゴリズム)

総アミノ酸: 509

総 9 量体: 501

NIH  $\geq$  5: 40 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	エピトープ ランク	開始 位置	NIH スコア	クラスター	エピトープ/ アミノ酸 全タンパク質	比
1	33-47	20	33	18	0.133	0.080	1.670
		17	39	21			
2	71-81	9	71	50	0.2	0.07984	2.505
		32	73	7			
3	99-108	23	100	15	0.2	0.07984	2.505
		24	99	13			
4	126-135	38	126	5	0.2	0.07984	2.505
		35	127	6			
5	224-246	5	224	124	0.130	0.080	1.634
		8	230	63			
		39	238	5			
6	290-303	18	290	18	0.214	0.080	2.684
		14	292	23			
		7	295	66			
7	305-324	28	305	10	0.200	0.080	2.505
		30	308	8			
		25	312	13			
		36	316	6			
8	394-409	2	394	182	0.188	0.080	2.348
		12	397	42			
		31	401	7			
9	422-443	10	422	49	0.227	0.080	2.847
		3	425	182			
		34	431	7			
		29	432	9			

10

20

30

40

【表 5 5 - 2】

		4	435	160			
10	459-487	15	459	21	0.172	0.080	2.159
		11	462	45			
		22	466	15			
		40	472	5			
		37	479	6			

【 0 2 9 2 】

## 【表 5 6 - 1】

表 56

PRAMEに関するクラスターの予測 (SYFPEITHI アルゴリズム)

総アミノ酸: 509

総 9 量体: 501

SYFPEITHI  $\geq 17$ : 80 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	エピトープ ランク	開始 位置	SYFPEITHI		エピトープ/ アミノ酸	
				スコア	クラスター	総タンパク質	比
1	18-59	65	18	17	0.238	0.160	1.491
		50	21	18			
		66	26	17			
		35	33	20			
		22	34	22			
		51	37	18			
		5	39	27			
		23	40	22			
		13	44	24			
		46	51	19			
2	78-115	36	78	20	0.263	0.160	1.648
		67	80	17			
		52	84	18			
		24	86	22			
		53	91	18			
		25	93	22			
		9	99	25			
		8	100	26			
		54	103	18			
		55	107	18			
3	191-202	56	191	18	0.167	0.160	1.044
		38	194	20			
4	205-215	26	205	22	0.182	0.160	1.139
		27	207	22			
5	222-238	47	222	19	0.235	0.160	1.474
		14	224	24			
		69	227	17			

10

20

30

40

【表 5 6 - 2】

PRAMEに関するクラスターの予測 (SYFPEITHIアルゴリズム)

総アミノ酸: 509

総 9 量体: 501

SYFPEITHI  $\geq 17$ : 80 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	エピトープ ランク	開始 位置	SYFPEITHI		エピトープ/ アミノ酸 総タンパク質	
				スコア	クラスター	比	
		57	230	18			
6	241-273	70	241	17	0.212	0.160	1.328
		15	248	24			
		71	255	17			
		30	258	21			
		39	259	20			
		58	261	18			
		40	265	20			
7	290-342	72	290	17	0.208	0.160	1.300
		48	293	19			
		31	298	21			
		73	301	17			
		18	305	23			
		6	308	27			
		10	312	25			
		19	316	23			
		28	319	22			
		41	326	20			
		74	334	17			
8	343-363	59	343	18	0.238	0.160	1.491
		60	348	18			
		75	351	17			
		20	353	23			
		76	355	17			
9	364-447	49	364	19	0.250	0.160	1.566
		32	371	21			
		11	372	25			
		61	375	18			

10

20

30

40

【表 5 6 - 3】

PRAMEに関するクラスターの予測 (SYFPEITHIアルゴリズム)

総アミノ酸: 509

総 9 量体: 501

SYFPEITHI  $\geq 17$ : 80 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	エピトープ ランク	開始 位置	SYFPEITHI		エピトープ/ アミノ酸	
				スコア	クラスター	総タンパク質	比
		77	382	17			
		21	390	23			
		78	391	17			
		1	394	30			
		42	397	20			
		62	403	18			
		33	410	21			
		43	418	20			
		34	419	21			
		7	422	27			
		2	425	29			
		79	426	17			
		63	428	18			
		64	431	18			
		12	432	25			
		16	435	24			
		80	439	17			
10	455-474	29	455	22	0.200	0.160	1.253
		17	459	24			
		4	462	28			
		3	466	29			

【 0 2 9 3 】



## 【表 5 7】

表 57

C E Aに関するクラスターの予測 (N I Hアルゴリズム)

総アミノ酸:702

総 9 量体: 694

NIH ≥ 5: 30 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	ペプチド ランク	開始 位置	スコア	ペプチド/アミノ 酸		
					クラスター	全タンパク質	比
1	17-32	5	17	79.041	0.188	0.043	4.388
		7	18	46.873			
		20	24	12.668			
2	113-129	2	113	167.991	0.118	0.043	2.753
		15	121	21.362			
3	172-187	25	172	9.165	0.125	0.043	2.925
		14	179	27.995			
4	278-291	30	278	5.818	0.143	0.043	3.343
		17	283	19.301			
5	350-365	9	350	43.075	0.125	0.043	2.925
		12	357	27.995			
6	528-543	8	528	43.075	0.125	0.043	2.925
		13	535	27.995			
7	631-645	23	631	9.563	0.200	0.043	4.680
		19	634	13.381			
		24	637	9.245			
8	691-702	1	691	196.407	0.167	0.043	3.900
		27	694	7.769			

10

20

30

【 0 2 9 4 】

## 【表 5 8 - 1】

表 58

CEAに関するクラスターの予測 (SYFPEITHIアルゴリズム)

総アミノ酸:702

総 9 量体: 694

SYFPEITHI  $\geq 16$ : 81 9 量体

10

クラスター 番号	アミノ酸 ペプチド ランク	開始 位置	スコア	ペプチド/ アミノ酸 全タンパク質 比			
				クラスター	全タンパク質	比	
1	5-36	67	5	16	0.250	0.117	2.140
		23	12	19			
		24	16	19			
		9	17	22			
		25	18	19			
		32	19	18			
		68	23	16			
		33	28	18			
2	37-62	41	37	17	0.269	0.117	2.305
		20	44	20			
		26	45	19			
		42	46	17			
		27	50	19			
		43	53	17			
		44	54	17			
		3	99-115	14			
5	100			23			
45	104			17			
34	107			18			
4	116-129	69	116	16	0.143	0.117	1.223
		21	121	20			
5	172-187	46	172	17	0.125	0.117	1.070
		70	179	16			
6	192-202	3	192	24	0.182	0.117	1.557

20

30

40

【表 5 8 - 2】

		47	194	17			
7	226-241	48	226	17	0.188	0.117	1.605
		49	229	17			
		15	233	21			
8	307-318	11	307	22	0.250	0.117	2.140
		71	308	16			
		51	310	17			
9	319-349	52	319	17	0.129	0.117	1.105
		53	327	17			
		72	335	16			
		35	341	18			
10	370-388	12	370	22	0.211	0.117	1.802
		54	372	17			
		74	375	16			
		6	380	23			
11	403-419	56	403	17	0.235	0.117	2.014
		57	404	17			
		58	407	17			
		28	411	19			
12	427-442	59	427	17	0.188	0.117	1.605
		75	432	16			
		76	434	16			
13	450-462	77	450	16	0.154	0.117	1.317
		13	454	22			
14	488-505	36	488	18	0.167	0.117	1.427
		18	492	21			
		60	497	17			
15	548-558	4	548	24	0.182	0.117	1.557
		61	550	17			
16	565-577	62	565	17	0.154	0.117	1.317
		19	569	21			
17	579-597	78	579	16	0.143	0.117	1.223
		79	582	16			
		7	589	23			
18	605-618	2	605	25	0.143	0.117	1.223
		38	610	18			

10

20

30

40

【表 5 8 - 3】

19	631-669	29	631	19	0.154	0.117	1.317
		63	637	17			
		80	644	16			
		64	652	17			
		39	660	18			
		81	661	16			
20	675-702	22	675	20	0.286	0.117	2.446
		30	683	19			
		31	687	19			
		40	688	18			
		65	690	17			
		1	691	31			
		66	692	17			
		8	694	23			

10

【 0 2 9 5】

20

## 【表 5 9】

表 59

SCP-1に関するクラスターの予測 (NIHアルゴリズム)

総アミノ酸: 976

総 9 量体: 968

NIH  $\geq 5$ : 37 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	ペプチド ランク	開始 位置	スコア	ペプチド/ アミノ酸		
					クラスター	全タンパク質	比
1	101-116	15	101	40.589	0.125	0.038	3.270
		13	108	57.255			
2*	281-305	14	281	44.944	0.12	0.038	3.139
		24	288	15.203			
		17	297	32.857			
3	431-447	8	431	80.217	0.073	0.038	1.914
		26	438	11.861			
		4	439	148.896			
4	557-579	11	557	64.335	0.174	0.038	4.550
		19	560	24.937			
		6	564	87.586			
		18	571	32.765			
5	635-650	10	635	69.552	0.125	0.038	3.270
		34	642	6.542			
6	755-767	36	755	5.599	0.154	0.038	4.025
		35	759	5.928			
7	838-854	2	838	284.517	0.118	0.038	3.078
		28	846	11.426			

【 0 2 9 6 】

【表 6 0 - 1】

表 60

SCP-1に関するクラスターの予測

総アミノ酸: 976

総 9 量体: 968

Rammensee  $\geq 16$ : 118 9 量体

クラスター 番号	アミノ酸	ペプチド ランク	開始 位置	スコア	ペプチド/ アミノ酸		
					クラスター	全タンパク質	比
1	8-28	99	8	16	0.143	0.121	1.182
		77	15	17			
		100	20	16			
2	63-80	78	63	17	0.222	0.121	1.838
		50	66	19			
		102	69	16			
		60	72	18			
3	94-123	79	94	17	0.133	0.121	1.103
		12	101	23			
		17	108	22			
		103	115	16			
4	126-158	35	126	20	0.182	0.121	1.504
		36	133	20			
		51	139	19			
		80	140	17			
		61	143	18			
		37	150	20			
5	161-189	38	161	20	0.207	0.121	1.711
		52	165	19			
		81	171	17			
		82	177	17			
		62	178	18			
		39	181	20			
6	213-230	40	213	20	0.167	0.121	1.379
		13	220	23			
		28	222	21			

10

20

30

40

【表 6 0 - 2】

7	235-250	63	235	18	0.125	0.121	1.034
		18	242	22			
8	260-296	83	260	17	0.243	0.121	2.012
		105	262	16			
		84	267	17			
		106	269	16			
		41	270	20			
		64	271	18			
		85	274	17			
		19	281	22			
		3	288	25			
9	312-338	108	312	16	0.148	0.121	1.225
		29	319	21			
		30	323	21			
		65	330	18			
10	339-355	66	339	18	0.235	0.121	1.946
		31	340	21			
		42	344	20			
		53	347	19			
11	376-447	54	376	19	0.194	0.121	1.608
		43	382	20			
		44	386	20			
		20	390	22			
		55	397	19			
		6	404	24			
		86	407	17			
		45	411	20			
		67	417	18			
		21	425	22			
		46	431	20			
		68	432	18			
		32	438	21			
		7	439	24			
12	455-488	33	455	21	0.235	0.121	1.946
		47	459	20			
		56	462	19			

10

20

30

40

【表 6 0 - 3】

		87	463	17			
		88	466	17			
		14	470	23			
		109	473	16			
		34	480	21			
13	515-530	57	515	19	0.125	0.121	1.034
		22	522	22			
14	557-590	8	557	24	0.147	0.121	1.216
		23	564	22			
		9	571	24			
		90	575	17			
		58	582	19			
15	610-625	69	610	18	0.125	0.121	1.034
		91	617	17			
16	633-668	92	633	17	0.222		
		10	635	24			
		70	638	18			
		93	640	17			
		48	642	20			
		49	645	20			
		111	652	16			
		112	660	16			
17	674-685	71	674	18	0.167	0.121	1.379
		11	677	24			
18	687-702	1	687	26	0.125	0.121	1.034
		94	694	17			
19	744-767	113	744	16	0.250	0.121	2.068
		95	745	17			
		4	745	25			
		24	752	22			
		2	755	26			
		72	759	18			
20	812-827	97	812	17	0.125	0.121	1.034
		115	819	16			
21	838-857	116	838	16	0.150	0.121	1.241
		25	846	22			

10

20

30

40



【表 6 0 - 4】

		74	849	18			
22	896-913	117	896	16	0.222	0.121	1.838
		98	899	17			
		26	902	22			
		76	905	18			

【 0 2 9 7】

本発明の実施形態は、ワールドワイドウェブによりアクセス可能である様々なデータベースにおいて開示されるものを含む、本明細書中に提供する標的抗原の配列における変更  
10  
に適用可能であり、かつそれらを意図する。具体的には、本明細書中に開示する特定の配  
列に関して、配列中の変更は、各抗原に関する情報にアクセスするための添付のアクセッ  
ション番号を使用することにより見出すことができる。

(表 6 1)

TYROSINASE PROTEIN; SEQ ID NO 2

```

1 MLLAVLYCLL WSFQTSAGHF PRACVSSKNL MEKECCPPWS GDRSPCGQLS GRGSCQNILL
61 SNAPLGPQFP FTGVDDRESW PSVFYNRTCQ CSGNFMGFNC GNCKFGFWGP NCTERRLLVR
121 RNIFDLSAPE KDKFFAYLTL AKHTISSDYV IPIGTYGQMK NGSTPMFNDI NIYDLFVWMH
181 YYVSMALLG GSEIWRDIDF AHEAPAFLPW HRLFLLRWEQ EIQLTGDEN FTIPYWDWRD
241 AEKCDICTDE YMGGQHPTNP NLLSPASFFS SWQIVCSRLE EYNHQSLCN GTPEGPLRRN
301 PGNHDKSRTP RLPSSADVEF CLSLTQYESG SMDKAANFSF RNTLEGFASP LTGIADASQS
361 SMHNALHIYM NGTMSQVQGS ANDPIFLLHH AFVDSIFEQW LRRHRPLQEV YPEANAPIGH
421 NRESYMPVFI PLYRNGDFFI SSKDLGYDYS YLQSDPDPSF QDYIKSYLEQ ASRIWSWLLG
481 AAMVGAVLTA LLAGLVSLLC RHKQRQLPEE KQPLLMEKED YHSLYQSHL

```

20

SSX-2 PROTEIN; SEQ ID NO 3

```

1 MNGDDAFARR PTVGAQIPEK IQKAFDDIAK YFSKEEWEKM KASEKIFYVY MKRKYEAMTK
61 LGFKATLPPF MCNKRAEDFQ GNDLDNDPNR GNQVERPQMT FGRLQGISPQ IMPKKPAEEG
121 NDSEEVPEAS GPQNDGKELC PPGKPTTSEK IHERSGPKRG EHAWTHRLRE RKQLVIYEEI
181 SDPEEDDE

```

30

PSMA PROTEIN; SEQ ID NO 4

```

1 MWNLLHETDS AVATARRPRW LCAGALVLAG GFFLLGFLFG WFIKSSNEAT NITPKHNMKA
61 FLDELKAENI KKFLYNFTQI PHLAGTEQNF QLAKQIQSQW KEFGLDSVEL AHYDVLLSYP
121 NKTHPNYISI INEDGNEIFN TSLFEP PPPG YENVSDIVPP FSAFSPQGM EGDLYVNYA
181 RTEDFFKLER DMKINCSGKI VIARYGKVFR GNKVKNQLA GAKGVILYSD PADYFAPGVK
241 SYPDGWNLP GGVQRGNILN LNGAGDPLTP GYPANEYAYR RGIAEAVGLP SIPVHPIGYY
301 DAQKLLLEKMG GSAPPDSSWR GSLKVPYNVG PGFTGNFSTQ KVKMHIHSTN EVTRIYNVIG
361 TLRGAVEPDR YVILGGHRDS WVFGGIDPQS GAAVVHEIVR SFGTLKKEGW RPRRTILFAS
421 WDAEEFGLLG STEWAEENSR LLQERGVAYI NADSSIEGNY TLRVDCTPLM YSLVHNLTK
481 LKSPDEGFEG KSLYESWTKK SPSPEFSGMP RISKLGSGND FEVFFQRLGI ASGRARYTKN
541 WETNKFSGYP LYHSVYETYE LVEKFYDPMF KYHLTVAQVR GGMVFELANS IVLPFDCRDY
601 AVVLRKYADK IYSISMHPQ EMKTYSVSFD SLFSAVKNFT EIASKFSERL QDFDKSNPIV
661 LRMMNDQLMF LERAFIDPLG LPDRPFYRHV IYAPSSH NKY AGESFPGIYD ALFDIESKVD

```

40

50

721 PSKAWGEVKR QIYVAAFTVQ AAAETLSEVA

Homo sapiens tyrosinase (oculocutaneous albinism IA) (TYR), mRNA.;

ACCESSION NM\_000372

VERSION NM\_000372.1 GI:4507752

SEQ ID NO 2

/translation="MLLAVLYCLLWSFQTSAGHFPRACVSSKNLMEKE

CCPPWSGDRS

10

PCGQLSGRGSCQNILLSNAPLGPQFPFTGVDDRESWPSVFYNRTCQCSCGNFMGFNCGN  
 CKFGFWGPNCTERRLLVRRNIFDLSAPEKDKFFAYLTLAKHTISSDYVIPIGTYGQMK  
 NGSTPMFNDINIYDLFVWMHYVVSMDALLGGSEIWRDIDFAHEAPAFLPWHRLFLLRW  
 EQEIQKLTGDENFTIPYWDWRDAEKCDICTDEYMGGQHPTNPNNLSPASFFSSWQIVC  
 SRLEEYNHQSLCNGTPEGPLRRNPGNHDKSRTPLRPSSADVEFCLSLTQYESGSMDK  
 AANFSFRNTLEGFASPLTGADASQSSMHNALHIYMNGTMSQVQGSANDPIFLLHHAF  
 VDSIFEQWLRRHRPLQEVYPEANAPIGHNRESYMPFIPLYRNGDFFISSKDLGYDYS  
 YLQDSDPDSFQDYIKSYLEQASRIWSWLLGAAMVGAVLTALLAGLVSLLCRHKRQQLP  
 EEKQPLLMEKEDYHSLYQSHL"

20

SEQ ID NO 5

ORIGIN

1 atcactgtag tagtagctgg aaagagaaat ctgtgactcc aattagccag ttcctgcaga  
 61 ccttgtagagg actagaggaa gaatgctcct ggctgttttg tactgcctgc tgtggagttt  
 121 ccagacctcc gctggccatt tccctagagc ctgtgtctcc tctaagaacc tgatggagaa  
 181 ggaatgctgt ccaccgtgga gcggggacag gagtccctgt ggccagcttt caggcagagg  
 241 ttcctgtcag aatatccttc tgtccaatgc accacttggg cctcaatttc ccttcacagg  
 301 ggtggatgac cgggagtcgt ggccttccgt cttttataat aggacctgcc agtgctctgg  
 361 caacttcatg ggattcaact gtggaaaactg caagtttggc ttttggggac caaactgcac  
 421 agagagacga ctcttggtga gaagaaacat cttcgatttg agtgccccag agaaggacaa  
 481 attttttgcc tacctcactt tagcaaagca taccatcagc tcagactatg tcatcccat  
 541 agggacctat ggccaaatga aaaatggatc aacacccatg tttaacgaca tcaatattta  
 601 tgacctcttt gtctggatgc attattatgt gtcaatggat gcactgcttg ggggatctga  
 661 aatctggaga gacattgatt ttgccatga agcaccagct tttctgcctt ggcatagact  
 721 ctctctgttg cggtggaac aagaaatcca gaagctgaca ggagatgaaa acttcactat  
 781 tccatatagg gactggcggg atgcagaaaa gtgtgacatt tgcacagatg agtacatggg  
 841 aggtcagcac ccacaaaatc ctaacttact cagcccagca tcattcttct cctcttggca  
 901 gattgtctgt agccgattgg aggagtacaa cagccatcag tctttatgca atggaacgcc  
 961 cgagggacct ttacggcgta atcctggaaa ccatgacaaa tccagaaccc caaggctccc  
 1021 ctcttcagct gatgtagaat ttgacctgag ttgacccaa tatgaatctg gtccatgga  
 1081 taaagctgcc aatttcagct ttagaaatac actggaagga ttgtctagtc cacttactgg  
 1141 gatagcggat gcctctcaaa gcagcatgca caatgccttg cacatctata tgaatggaac  
 1201 aatgtcccag gtacagggat ctgccaacga tcctatcttc ctcttcacc atgcatttgt  
 1261 tgacagtatt tttgagcagt ggctccgaag gcaccgtcct ctcaagaag tttatccaga  
 1321 agccaatgca cccattggac ataaccggga atcctacatg gtccctttta taccactgta  
 1381 cagaaatggt gatttcttta tttcatccaa agatctgggc tatgactata gctatctaca  
 1441 agattcagac ccagactctt ttcaagacta cattaagtcc tatttggaac aagcgagtgc  
 1501 gatctggtca tggctccttg gggcgccgat ggtaggggcc gtccctactg ccctgctggc  
 1561 agggcttgtg agcttgctgt gtcgtcacia gagaaagcag ctccctgaag aaaagcagcc  
 1621 actcctcatg gagaaagagg attaccacag ctgttatcag agccatttat aaaaggctta

30

40

50

1681 ggcaatagag tagggccaaa aagcctgacc tcactctaac tcaaagtaat gtccagggtc  
 1741 ccagagaata tctgctggta tttttctgta aagaccattt gcaaaattgt aacctaatc  
 1801 aaagtgtagc cttcttccaa ctacaggtaga acacacctgt ctttgtcttg ctgttttcac  
 1861 tcagcccctt taacattttc ccctaagccc atatgtctaa ggaaaggatg ctatttggtg  
 1921 atgaggaact gttatttgta tgtgaattaa agtgctctta tttt

Homo sapiens synovial sarcoma, X breakpoint 2 (SSX2), mRNA.

ACCESSION NM\_003147

10

VERSION NM\_003147.1 GI:10337582

SEQ ID NO 3

/translation="MNGDDAFARRPTVGAQIPEKIQKAFDDIAKYFSKEEWEKMKASE  
 KIFVYVMKRKYEAMTKLGFKATLPPFMCNKRAEDFQGNLDNDPNRGNQVERPQMTFG  
 RLQGISPKIMPKKPAEEGNDSEEVPEASGPQNDGKELCPPGKPTTSEKIHRS GPKRG  
 EAWTHRLRERKQLVIYEEISDPEEDDE"

SEQ ID NO 6

ORIGIN

1 ctctctttcg attcttccat actcagagta cgcacgggtct gatcttctct ttggattctt  
 61 ccaaaatcag agtcagactg ctcccgggtgc catgaacgga gacgacgcct ttgcaaggag  
 121 acccacggtt ggtgctcaaa taccagagaa gatccaaaag gccttcgatg atattgccaa  
 181 atacttctct aaggaagagt gggaaaagat gaaagcctcg gagaaaaatct tctatgtgta  
 241 tatgaagaga aagtatgagg ctatgactaa actagggtttc aaggccaccc tcccaccttt  
 301 catgtgtaat aaacggggccg aagacttcca ggggaatgat ttggataatg accctaaccg  
 361 tgggaatcag gttgaacgtc ctacagatgac ttctggcagg ctccaggga tctccccgaa  
 421 gatcatgccc aagaagccag cagaggaagg aaatgatctg gaggaagtgc cagaagcatc  
 481 tggcccacaa aatgatggga aagagctgtg cccccggga aaaccaacta cctctgagaa  
 541 gattcacgag agatctggac ccaaaagggg ggaacatgcc tggaccaca gactgcgtga  
 601 gagaaaacag ctggtgatit atgaagagat cagcgaccct gaggaagatg acgagtaact  
 661 cccctcaggg atacgacaca tgcccatgat gagaagcaga acgtggtgac ctttcacgaa  
 721 catgggcatg gctgcggacc cctcgtcatc aggtgcatag caagtg

20

30

Homo sapiens folate hydrolase (prostate-specific membrane antigen)

1 (FOLH1), mRNA.

ACCESSION NM\_004476

VERSION NM\_004476.1 GI:4758397

/translation="MWNLHETDSAVATARRPRWLCAGALVLAGGFFLLGFLFGWFIK  
 SSNEATNITPKHNMKAFLDELKAENIKKFLYNFTQIPHLAGTEQNFQLAKQIQSQWKE  
 FGLDSVELAHYDVLLSYPNKTHPNYISINEDGNEIFNTSLFEPPPPGYENVSDIVPP  
 FSAFSPQGMPEGDLVYVNYARTEDFFKLERDMKINC SGKIVIARYGKVFRGNKVNAQ  
 LAGAKGVI LYSDPADYFAPGVKSYPDGWNLPGGGVQRGNI LNLNAGADPLTPGYPANE  
 YAYRRGI AEAVGLPSIPVHPIGYYDAQKLLLEKMGSAPPDSSWRGSLKVPYNVGPFGFT  
 GNFTSQVKMHIHSTNEVTRIYNVIGTLRGAVEPDRYVILGGHRDSWVFGGIDPQSGA  
 AVVHEIVRSFGTLKKEGWRPRRTILFASWDAEEFGLLGSTEWAEENSRLQLQERGVAI  
 NADSSI EGNVTLRVDCTPLMYSLVHNLTKEKSPDEGFEGKSLYESWTKKSPSPEFSG  
 MPRISKLGSGNDFEVFFQRLGIASGRARYTKNWETNKFSGYPLYHVSVEYELVEKFY  
 DPMFKYHLTVAQVRGGMVFELANSIVLPFDCRDYAVVLRKYADKIYSISMKHPQEMKT

40

50

YVSFDSLFSAVKNFTE I ASKFSERLQDFDKSNP I VLRMMNDQLMFLERAF I DPLGLP  
 DRPFYRHV I YAPSSH NKYAGESFPG I YDALFD I ESKVDPSKAWGEVKRQ I YVAAFTVQ  
 AAAETLSEVA"

SEQ ID NO 7

ORIGIN

```

1 ctcaaaaggg gccggatttc ctctctcctgg aggcagatgt tgcctctctc tctcgctcgg
61 attggttcag tgcactctag aaacactgct gtggtggaga aactggaccc caggctctgga
121 gcgaattcca gcctgcaggg ctgataagcg aggcattagt gagattgaga gagactttac
181 cccgccgtgg tgggtggagg gcgcgcagta gagcagcagc acaggcgcgg gtcccgaggag
241 gccggctctg ctgcgcgccg gatgtggaat ctctctcacg aaaccgactc ggctgtggcc
301 accgcgcgcc gccgcgcgtg gctgtgcgct ggggcgcgtg tgctggcggg tggcttcttt
361 ctctcgggct tcctcttcgg gtggtttata aaatcctcca atgaagctac taacattact
421 ccaaagcata atatgaaagc atttttggat gaattgaaag ctgagaacat caagaagttc
481 ttatataaatt ttacacagat accacattta gcaggaacag aacaaaactt tcagcttgca
541 aagcaaattc aatcccagtg gaaagaattt ggccctggatt ctgttgagct agcacattat
601 gatgtcctgt tgcctaccc aaataagact catcccaact acatctcaat aattaatgaa
661 gatggaaatg agattttcaa cacatcatta ttgaaccac ctctccagg atatgaaaat
721 gtttcggata ttgtaccacc ttctcagtgt tctctctctc aagggaatgcc agagggcgat
781 ctagtgtatg ttaactatgc acgaactgaa gacttcttta aattggaacg ggacatgaaa
841 atcaattgct ctgggaaaaat tgaattgcc agatatggga aagttttcag aggaaataag
901 gttaaaaatg cccagctggc agggggccaaa ggagtcattc tctactccga ccctgctgac
961 tactttgctc ctggggtgaa gtccatccca gatggttgga atcttctctg aggtggtgtc
1021 cagcgtggaa atatcctaaa tctgaatggt gcaggagacc ctctcacacc aggttaccca
1081 gcaaatgaat atgcttatag gcgtggaatt gcagaggctg ttggtcttcc aagtattcct
1141 gttcatccaa ttggatacta tgatgcacag aagctcctag aaaaaatggg tggctcagca
1201 ccaccagata gcagctggag aggaagtctc aaagtgccct acaatgttg accctggcttt
1261 actggaaact ttctacaca aaaagtcaag atgcacatcc actctacca tgaagtgaca
1321 agaatttaca atgtgatagg tactctcaga ggagcagtgg aaccagacag atatgtcatt
1381 ctgggaggtc accgggactc atgggtgttt ggtggtattg accctcagag tggagcagct
1441 gttgttcatt aaattgtgag gagctttgga aactgaaaa aggaaggggt gagacctaga
1501 agaacaattt tgtttgcaag ctgggatgca gaagaatttg gtcttcttgg ttctactgag
1561 tgggcagagg agaattcaag actccttcaa gagcgtggcg tggcttata taatgtgac
1621 tcatctatag aaggaaacta cactctgaga gtgatgtga caccgctgat gtacagcttg
1681 gtacacaacc taacaaaaga gctgaaaagc cctgatgaag gctttgaagg caaatctctt
1741 tatgaaagt ggactaaaaa aagtccttcc ccagagttca gtggcatgcc caggataagc
1801 aaattgggat ctggaaatga ttttgagggt tcttccaac gacttgaat tgcttcaggc
1861 agagcacggt atactaaaaa ttgggaaaca aacaaattca gcggctatcc actgtatcac
1921 agtgtctatg aaacatatga gtggtggaa aagttttatg atccaatgtt taaatatcac
1981 ctactgtgg cccaggttcg aggagggatg gtgtttgagc tagccaattc catagtgtc
2041 ccttttgatt gtcgagatta tgctgtagtt ttaagaaagt atgctgacaa aatctacagt
2101 atttctatga aacatccaca ggaaatgaag acatacagtg tatcatttga ttacttttt
2161 tctgcagtaa agaattttac agaaattgct tccaagttca gtgagagact ccaggacttt
2221 gacaaaagca acccaatagt attaagaatg atgaatgatc aactcatgtt tctggaaaga
2281 gcatttattg atccattagg gttaccagac aggccttttt ataggcatgt catctatgct
2341 ccaagcagcc acaacaagta tgcaggggag tcattcccag gaatttatga tgctctgttt
2401 gatattgaaa gcaaagtgga ccttccaag gcctggggag aagtgaagag acagatttat
2461 gttgcagcct tcacagtgca ggcagctgca gagactttga gtgaagtagc ctaagaggat
2521 tctttagaga atccgtattg aatttgtgtg gtatgtcact cagaaagaat cgtaatgggt
2581 atattgataa attttaaaat tggatatatt gaaataaagt tgaatatatt atataaaaaa

```

10

20

30

40

50

2641 aaaaaaaaaa aaa

Human melanocyte-specific (pmel 17) gene, exons 2-5, and complete cds.

ACCESSION U20093

VERSION U20093.1 GI:1142634

SEQ ID NO 70

/translation="MDLVLRCLLHLAVIGALLAVGATKVPNRQDWLGVSRLRTKAWN  
 RQLYPEWTEAQRLLDCWRGGQVSLKVSNDGPTLIGANASFSIALNFPQSQKVLDPGQVIVWNNTIINGSQVWGGQPVYPQE  
 TDDACIFPDGGPCPSGSWSQKRSFVYVWKTWQQYVQVLGGPVSGLSIGTGRAMLGHTMEVTVYHRRGSRSYVPLAHSS  
 AFTITDQVPFSVSVSQLRALDGGNKHFLRNQPLTFALQLHDPGSLAEADLSYTWDFGDSSGTLISRAPVVTHTYLEPGP  
 VTAQVVLQAAIPLTSCGSSPVPGTDDGHRPTAEAPNTTAGQVPTTEVVGTTTPGQAPTAEPSTTSVQVPTTEVISTAPVQ  
 MPTAESTGMTPEKVPVSEVMGTTLAEMSTPEATGMTPAEVSIVVLSGTTAAQVTTTEWVETTARELPPEPEGPDASSIM  
 STESITGSLGPLLDGTATLRLVKRQVPLDCVLYRYGSFVSITLDIVQGI ESAELQAVPSGEGDAFELTVSCQGGLPKEAC  
 MEISSPGCQPPAQRCLCPVLPSPACQLVLHQILKGGSGTYCLNVSLADTNSLAVVSTQLIMPGQEAGLGQVPLIVGILLV  
 LMAVVLASLIYRRRLMKQDFSVPQLPHSSSHWLRLPRIFCSCPGENSPLLSGQQV"

10

SEQ ID NO 80

ORIGIN

20

1 gtgctaaaaa gatgccttct tcatitggct gtgatagggtg ctttgtggct gtgggggcta  
 61 caaaagtacc cagaaaccag gactggcttg gtgtctcaag gcaactcaga accaaagcct  
 121 ggaacaggca gctgtatcca gagtggacag aagcccagag acttgactgc tggagagggtg  
 181 gtcaagtgtc cctcaaggtc agtaatgatg ggccctacact gattgggtgca aatgcctcct  
 241 tctctattgc ctitgaacttc cctggaagcc aaaagggtatt gccagatggg cagggttatct  
 301 gggtaacaa taccatcatc aatgggagcc aggtgtgggg aggacagcca gtgtatcccc  
 361 aggaaactga cgatgcctgc atcttccctg atggtggacc ttgcccatct ggctcttggg  
 421 ctcaagaag aagctttgtt tatgtctgga agacctgggg tgagggactc ctttctcagc  
 481 ctatcatcca cacttgtgtt tacttcttct tacctgatca ctttctttt ggccgcccct  
 541 tccaccttaa ctctgtgat ttctctaat ctcattttc ctcttagatc ttttctcttt  
 601 cttagcacct agcccccttc aagctctatc ataattcttt ctggcaactc ttggcctcaa  
 661 ttgtagtccct accccatgga atgcctcatt aggacccctt cctgtcccc ccatatcaca  
 721 gccttccaaa caccctcaga agtaatcata ctctctgacc tcccatctcc agtgccgttt  
 781 cgaagcctgt ccctcagtc cctttgacca gtaatctctt ctctcttgct tttcattcca  
 841 aaaatgcttc aggccaatac tggcaagtgc tagggggccc agtgtctggg ctgagcattg  
 901 ggacaggcag ggcaatgctg ggcacacaca ccatggaagt gactgtctac catcgccggg  
 961 gatcccgag ctatgtgcct ctgtctcatt ccagctcagc ctccaccatt actggtaagg  
 1021 gttcaggaag ggcaaggcca gtgttagggc aaagagaagg caggagggtt tggatggact  
 1081 gcaaaggaga aagggtgaaat gctgtgcaaa cttaaagtag aagggccagg aagacctagg  
 1141 cagagaaatg tgaggcttag tgccagtga gggccagcca gtcagcttgg agttggaggg  
 1201 tgtggctgtg aaaggagaag ctgtggctca ggccctgttc tcaccttttc tggctccaat  
 1261 ccagaccag gtgcctttct ccgtgagcgt gtcccagttg cgggccttgg atggagggaa  
 1321 caagcacttc ctgagaaatc agcctctgac ctttgccctc cagctccatg accccagtgg  
 1381 ctatctggct gaagctgacc tctctacac ctgggacttt ggagacagta gtggaaccct  
 1441 gatctctcgg gcacctgtgg tcaactatc ttacctggag cctggcccag tcaactgcca  
 1501 ggtggtcctg caggctgcca ttctctcac ctctgtggc tctccccag ttccaggcac  
 1561 cacagatggg cacaggccaa ctgcagaggc ccctaaccac acagctggcc aagtgcctac  
 1621 tacagaagt gtgggtacta cacctgttca ggcgccaact gcagagccct ctggaaccac  
 1681 atctgtgcag gtgccaacca ctgaagtcat aagcactgca cctgtgcaga tgccaactgc  
 1741 agagagcaca ggtatgacac ctgagaagggt gccagtttca gaggctcatgg gtaccacact

30

40

50

```

1801 ggcagagatg tcaactccag aggctacagg tatgacacct gcagaggat caattgtggt
1861 gctttctgga accacagctg cacaggtaac aactacagag tgggtggaga ccacagctag
1921 agagctacct atccctgagc ctgaagggtcc agatgccagc tcaatcatgt ctacggaaag
1981 tattacaggt tccctgggcc cctgtctgga tggtagagcc accttaaggc tggtagagag
2041 acaagtcccc ctggattgtg ttctgtatcg atatggttcc ttttccgtca ccctggacat
2101 tgtccagggt attgaaagt ccgagatcct gcaggctgtg ccgtccgggt aggggggatgc
2161 atttgagctg actgtgtcct gccaaaggcg gctgccaag gaagcctgca tggagatctc
2221 atcgccaggg tgccagcccc ctgccagcg gctgtgccag cctgtgtctac ccagcccagc
2281 ctgccagctg gtctgtcacc agatactgaa gggtagctcg gggacatact gcctcaatgt
2341 gtctctggct gataccaaca gcctggcagt ggtcagcacc cagcttatca tgcctggtag
2401 gtccttgga agagactaag tgaggaggga agtggataga ggggacagct ggcaagcagc
2461 agacatgagt gaagcagtgc ctgggattct tctcacaggt caagaagcag gccttgggca
2521 ggttccgctg atcgtgggca tcttgctggt gttgatggct gtggtccttg catctctgat
2581 atataggcgc agacttatga agcaagactt ctccgtacct cagttgccac atagcagcag
2641 tctctggctg cgtctacccc gcatcttctg ctcttgtccc attggtgaga atagccccct
2701 cctcagtggg cagcagggtct gactactctc atatgatgct gtgattttcc tggagttgac
2761 agaaacacct atatttcccc cagtcttccc tgggagacta ctattaactg aaataaa

```

//

10

20

Homo sapiens kallikrein 3, (prostate specific antigen) (KLK3), mRNA.

ACCESSION NM\_001648

VERSION NM\_001648.1 GI:4502172

SEQ ID NO 78

```

/translation="MWVPVFLTSLVTWIGAAPLILSRIVGGWECEKHSQPWQVLVAS
RGRAVCGGVLVHPQWVLTAAHCIRNKSVIDLLGRHSLFHPEDTGQVFQVSHSFPHPPLYDMSLLKNRFLRPGDDSSHDMLLL
RLSEPAELTDVAVK/MDLPTQEPALGTTCYASGWGSIEPEEFLTPKKLQCVDLHVISNDVCAQVHPQKVTKFMLCAGRWTG
GKSTCSGDSGGPLVCNGVLQGITSWGSEPCALPERPSLYTKV/VHYRKWIKDTIVANP"

```

30

SEQ ID NO 86

ORIGIN

```

1 agccccaagc ttaccacctg cccccggaga gctgtgtgtc accatgtggg tcccggttgt
61 cttcctcacc ctgtccgtga cgtggattgg tgctgcaccc ctcatcctgt ctcgattgt
121 gggaggctgg gactgagaga agcatctcca accctggcag gtgcttgtgg cctctcgtgg
181 cagggcagtc tgcggcgggtg ttctgggtgca ccccgagtgg gtccctcacag ctgcccactg
241 catcaggaac aaaagcgtga tcttgctggg tcggcacagc ctgtttcatc ctgaagacac
301 aggccaggta ttccaggta gccacagctt cccacacccg ctctacgata tgagcctcct
361 gaagaatcga ttccctcaggc caggatgatga ctccagccac gacctcatgc tgctccgcct
421 gtcagagcct gccgagctca cggatgctgt gaaggatcatg gacctgcca cccaggagcc
481 agcactgggg accacctgct acgcctcagg ctggggcagc attgaaccag aggagtctt
541 gaccccaaa aaacttcagt gtgtggacct ccatgttatt tccaatgacg tgtgtgcgca
601 agttcacctc cagaaggatga ccaagttcat gctgtgtgct ggacgctgga cagggggcaa
661 aagcacctgc tcgggtgatt ctgggggccc actgtgtgtg aatggtgtgc ttcaaggat
721 cacgtcatgg ggcagtgaac catgtgccct gcccgaaagg ccttccctgt acaccaaggt
781 ggtgcattac cggaagtga tcaaggacac catcgtggcc aacccttgag caccctatc
841 aacccttat ttagtaaac ttggaacctt ggaaatgacc aggccaagac tcaagcctcc
901 ccagtcttac tgaccttgt ccttaggtgt gagggtccagg gtgcttagga aaagaaatca
961 gcagacacag gtgtagacca gactgtttct taaatggtgt aattttgtcc tctctgtgtc
1021 ctggggaata ctggccatgc ctggagacat atcactcaat ttctctgagg acacagatag
1081 gatggggtgt ctgtgttatt tgtgggttac agagatgaaa gaggggtggg atccacactg

```

40

50

```

1141 agagagtgga gagtgacatg tgctggacac tgtccatgaa gcactgagca gaagctggag
1201 gcacaacgca ccagacactc acagcaagga tggagctgaa aacataaccc actctgtcct
1261 ggaggcactg ggaagcctag agaaggctgt gagccaagga gggaggggtct tcctttggca
1321 tgggatgggg atgaagtaag gagagggact ggacccccctg gaagctgatt cactatgggg
1381 ggagggttat tgaagtcctc cagacaaccc tcagatttga tgatttccta gtagaactca
1441 cagaaataaa gagctgttat actgtg

```

//

Human autoimmunogenic cancer/testis antigen NY-ESO-1 mRNA, complete cds.

10

ACCESSION U87459

VERSION U87459.1 GI:1890098

SEQ ID NO 74

```

/translation="MQAEGRGTGGSTGDADGPGGPGIPDGPGGNAGG
PGEAGATGGRGPRGAGAARASGPGGGAPRGPHGGAASGLNGCCRCGARGPESRLLEFYLAMPFATPME
AELARRSLAQDAPPLPVPVGVLLKEFTVSGN|LT|RLTAADHRQLQLS|SSCLQQLSLLMWITQCFLPV
FLAQPPSGQRR"

```

SEQ ID NO 84

ORIGIN

20

```

1 atcctcgtgg gccctgacct tctctctgag agccgggcag aggctccgga gccatgcagg
61 ccgaaggccg gggcacaggg ggttcgacgg gcgatgctga tggccagga ggccctggca
121 ttctgatgg ccaggggggc aatgctggcg gcccaggaga ggcgggtgcc acgggcggca
181 gaggtccccg gggcgcaggg gcagcaaggg cctcggggcc gggaggaggc gccccgcggg
241 gtccgcatgg cggcgcggct tcagggtcga atggatgctg cagatgcggg gccagggggc
301 cggagagccg cctgcttgag ttctacctcg ccatgccttt cgcgacaccc atggaagcag
361 agctggcccc caggagcctg gcccaggatg ccccaccgct tcccgtgcca ggggtgcttc
421 tgaaggagt t cactgtgtcc ggcaacatac tgactatccg actgactgct gcagaccacc
481 gccaaactgca gctctccatc agctcctgtc tccagcagct ttccctgttg atgtggatca
541 cgcagtgc t tctgcccgtg tttttggctc agcctccctc agggcagagg cgctaagccc
601 agcctggcgc cccttcctag gtcatgcctc ctcccctagg gaatgggtccc agcacgagtg
661 gccagttcat tgtggggggc tgattgtttg tcgctggagg aggacggctt acatgtttgt
721 ttctgtagaa aataaaactg agctacgaaa aa

```

30

//

LAGE-1a protein [Homo sapiens].

ACCESSION CAA11116

PID g3255959

VERSION CAA11116.1 GI:3255959

40

SEQ ID NO 75

ORIGIN

```

1 mqaegr tgg stgdadgpgg pgipdgpggn aggpgeagat ggrgprgaga arasgprgga
61 prgphggaas aqdgrcpcga rrpdsrll el hitmpfsspm ea elvrrils rdaaplprpg
121 avlkdf tvsg nllfirltaa dhrqlqlsis sclqqlsl lm witqcflpvf laqapsqrr
181

```

//

LAGE-1b protein [Homo sapiens].

50

ACCESSION CAA11117  
 PID g3255960  
 VERSION CAA11117.1 GI:3255960

SEQ ID NO 76

ORIGIN

1 mqaegrctgg stgdadgpgg pgipdgpggn aggpgeagat ggrgprgaga arasgprgga  
 61 prgphggaas aqdgrcpcga rrpdsrllel hitmpfsspm eaelvrrils rdaaplprpg  
 121 avlkdfvtvg nllfmsvwdq dregagrmmv vgwglgsasp egqkardlrt pkhkvsegrp  
 181 gtpgpppppeg aqgdgcrava fnvmfsaphi

10

//

Human antigen (MAGE-1) gene, complete cds.

ACCESSION M77481  
 VERSION M77481.1 GI:416114  
 SEQ ID NO 71

/translation="MSLEQRSLHCKPEEALQAQAEALGLVCVQAATS

SSSPLVLGTLEEVPTAGSTDPPQSPQGASAFPTTINFRQRQPSEGSSSREEEGPSTSCILESLFRAV  
 ITKKVADLVGFLLLKYRAREPVTKAEMLESVINKYKHCPEIFGKASESLQLVFGIDVKEADPTGHSY  
 VLVTCLGLSYDGLLDGNQIMPKTGFLIIVLVMIAMEGGHAPEEEIWEELSVMEVYDGREHSAYGEPRK  
 LLTQDLVQEKYLEYRQVPDSDPARYEFLWGPRLAETSIVKYLEYVIVKSARVRFFFPSLREAALREE

20

EEGV"

SEQ ID NO 81

ORIGIN

1 ggatccaggc cctgccagga aaaatataag ggccctgcgt gagaacagag ggggtcatcc  
 61 actgcatgag agtggggatg tcacagagtc cagcccaccc tcctggtagc actgagaagc  
 121 cagggctgtg cttgcggctc gcaccctgag ggcccggtga ttctctctcc tggagctcca  
 181 ggaaccaggc agtgaggcct tggctcgaga cagtatctc aggtcacaga gcagaggatg  
 241 cacaggggtg gccagcagtg aatgtttgcc ctgaatgcac accaagggcc ccacctgcca  
 301 caggacacat aggactccac agagtctggc ctacacctcc tactgtcagt cctgtagaat  
 361 cgacctctgc tggccggctg taccctgagt accctctcac ttctctcttc aggttttcag  
 421 gggacaggcc aaccagagg acaggattcc ctggaggcca cagaggagca ccaaggagaa  
 481 gatctgtaag taggcctttg ttagagtcct caaggttcag ttctcagctg aggcctctca  
 541 cacactccct ctctccccag gcctgtgggt ctctattgcc cagctcctgc ccacactcct  
 601 gcctgctgcc ctgacgagag tcatcatgtc tcttgagcag aggagtctgc actgcaagcc  
 661 tgaggaagcc ctgaggccc aacaagaggc cctgggcctg gtgtgtgtgc aggcctgccac  
 721 ctctctctcc tctctcttgg tcttgggcac cctggaggag gtgcccactg ctgggtcaac  
 781 agatcctccc cagagtcctc agggagcctc cgcctttccc actaccatca acttcactcg  
 841 acagaggcaa cccagtgagg gtccagcag ccgtgaagag gaggggcca gcacctcttg  
 901 tatcttgag tccttggttc gagcagtaat cactaagaag gtggctgatt tgggtgggtt  
 961 tctgtctctc aaatatcgag ccaggagacc agtcacaaag gcagaaatgc tggagagtgt  
 1021 catcaaaaat tacaagcact gtcttcttga gatcttcggc aaagcctctg agtccttgca  
 1081 gctggctctt ggcatgacg tgaaggaagc agacccacc ggccactcct atgtccttgt  
 1141 cacctgccta ggtctctcct atgatggcct gctgggtgat aatcagatca tgcccaagac  
 1201 aggccttctg ataattgtcc tggcatgat tgcaatggag ggcgggccatg ctcttgagga  
 1261 ggaaatctgg gaggagctga gtgtgatgga ggtgtatgat gggaggagc acagtgccta  
 1321 tggggagccc aggaagctgc tcaccaaga ttgtgtgcag gaaaagtacc tggagtaccg  
 1381 gcaggtgccg gacagtgat ccgcacgcta tgagttcctg tggggtccaa gggccctcgc

30

40

50



```

1441 tgaaccagc tatgtgaaag tccttgagta tgtgatcaag gtcagtgcaa gagttcgctt
1501 tttcttccca tccctgcgtg aagcagcttt gagagaggag gaagagggag tctgagcatg
1561 agttgcagcc aaggccagtg ggagggggac tgggccagtg caccttccag ggccgcgtcc
1621 agcagcttcc cctgcctcgt gtgacatgag gcccatctct cactctgaag agagcgggtca
1681 gtgttctcag tagtaggttt ctgttctatt gggtgacttg gagatttata ttgttctct
1741 tttggaattg ttcaaatgtt tttttttaag ggatggttga atgaacttca gcatccaagt
1801 ttatgaatga cagcagtcac acagtcttgt gtatatagtt taagggttaag agtcttgtgt
1861 tttattcaga ttgggaaatc cattctatit tgtgaattgg gataataaca gcagtggaat
1921 aagtacttag aaatgtgaaa aatgagcagt aaaatagatg agataaagaa ctaaagaaat
1981 taagagatag tcaattcttg ccttatacct cagtctattc tgtaaaattt ttaaagatat
2041 atgcatacct ggatttctct ggcttctttg agaattgaag agaaattaaa tctgaataaa
2101 gaattcttcc tgttacttgg ctcttttctt ctccatgcac tgagcatctg ctttttgga
2161 ggccctgggt tagtagtgga gatgctaagg taagccagac tcataccac ccatagggc
2221 gtagagtcta ggagctgcag tcacgtaatc gaggtggcaa gatgtcctct aaagatgtag
2281 ggaaaagtga gagaggggtg aggggtgtgg gctccgggtg agagtgggtg agtgtcaatg
2341 ccctgagctg gggcatittg ggctttggga aactgcagtt ccttctgggg gagctgattg
2401 taatgatctt ggtggatcc

```

//

Human MAGE-2 gene exons 1-4, complete cds.

ACCESSION L18920

VERSION L18920.1 GI:436180

SEQ ID NO 72

```

/translation="MPLEQRSQHCKPEEGLEARGEALGLVGAQAPATEEQQTASSSSTL
VEVTLGEVPAADSPSPHPSPQGASSFSTTINYTLWRQSDGSSNQEEGPRMFPDLE
QAAISRKMVELVHFLLLKYRAREPVTKAEMLESVLRNCQDFFPVIFSKASEYLQLVFGIEVVEVPI
SHLYILVTCLGLSYDGLLDGNQVMPKGTLLIIVLAIIAIEGDCAPEEKIWEELSMLEVFEGREDSV
FAHPRKLLMQDLVQENYLEYRQVPGSDPACYEFLWGPRALietsykvLHHTLKI
GGEPHISYPPLHERALREGEE"

```

SEQ ID NO 82

ORIGIN

```

1 attccttcat caaacagcca ggagtgagga agaggaccct cctgagttag gactgaggat
61 ccaccctcac cacatagtgg gaccacagaa tccagctcag cccctcttgt cagccctggg
121 acacactggc aatgatctca ccccgagcac acccctcccc ccaatgccac ttcgggccga
181 ctgagagtca gagacttggg ctgaggggag cagacacaaat cggcagagga tggcgggtcca
241 ggctcagctt ggcatccaag tcaggacctt gagggatgac caaaggcccc tcccaccccc
301 aactcccccg accccaccag gatctacagc ctgaggatcc ccgtcccaat ccctaccctt
361 acaccaacac catcttcatg ctaccacca ccccccatc cagatcccca tccgggcaga
421 atccgggttcc acccttgccg tgaaccagga gaagtcacgg gcccggatgt gacgccactg
481 acttgacat tggaggtcag aggacagcga gattctcgcc ctgagcaacg gcctgacgtc
541 ggcggaggga agcagggcga ggctccgtga ggaggcaagg taagacgccg agggaggact
601 gaggcgggcc tcacccaga cagagggccc ccaataatcc agcgctgcct ctgctgccgg
661 gcctggacca ccctgcaggg gaagacttct caggctcagt cgccaccacc tcacccgcc
721 acccccgcc gctttaaccg cagggaactc tggcgtaaga gcttttgttg accagggcag
781 ggctggttag aagtgtcag ggcccagact cagccaggaa tcaaggctag gacccaaga
841 ggggacttag ggcaaccac cccctaccct cactaccaat cccatcccc aacaccaacc
901 ccaccccat cctcaaaca ccaaccac ccccaaacc cattcccatc tcctcccca
961 ccacatcct ggcagaatcc ggctttgccc ctgcaatcaa cccacggaag ctccgggaat
1021 ggcggccaag cacgcggatc ctgacgttca catgtacggc taaggaggag aaggggttgg
1081 gtctcgtgag tatggccttt gggatgcaga ggaagggccc aggcctcctg gaagacagtg

```

1141 gagtccttag gggacccagc atgccaggac agggggccca ctgtacccct gtctcaaaact  
 1201 gagccacctt ttcattcagc cgagggaatc ctagggatgc agaccacctt cagcaggggg  
 1261 ttggggccca gcctgcgagg agtcaagggg aggaagaaga gggaggactg aggggacctt  
 1321 ggagtccaga tcagtggcaa ccttgggctg ggggatcctg ggcacagtgg ccgaatgtgc  
 1381 cccgtgctca ttgcacctc aggggtgacag agagttagag gctgtggtct gagggctggg  
 1441 acttcaggtc agcagaggga ggaatcccag gatctgccg acccaagggtg tgccttctc  
 1501 atgaggactg gggatacccc cggcccagaa agaagggatg ccacagagtc tggaaagtccc  
 1561 ttgttcttag ctctggggga acctgatcag ggatggccct aagtgacaat ctcatittga  
 1621 ccacaggcag gaggttgggg aacctcagg gagataagggt gtgtgtgtaa agaggagctg  
 1681 tctgtctatt tcaggggggtt gggggttgag aaagggcagt ccctggcagg agtaaagatg  
 1741 agtaaccac aggaggccat cataacgttc acctagaac caaaggggtc agccctggac  
 1801 aacgcacgtg ggggtaacag gatgtggccc ctctcactt gtctttccag atctcaggga  
 1861 gttgatgacc ttgttttcag aagggtgactc aggtcaacac agggggccca tctggctgac  
 1921 agatgcagtg gtcttaggat ctgccaagca tccagggtga gagcctgagg taggattgag  
 1981 ggtacccctg ggccagaatg cagcaagggg gcccataga aatctgccct gccctgagg  
 2041 ttacttcaga gacctgggc agggctgtca gctgaagtcc ctccattatc ctgggatctt  
 2101 tgatgtcagg gaaggggagg ccttgggtctg aaggggctgg agtcagggtca gtagaggag  
 2161 ggtctcaggc cctgccagga gtggacgtga ggaccaagcg gactcgtcac ccaggacacc  
 2221 tggactccaa tgaatttga catctctcgt tgtccttcgc gggaggacct ggtcacgtat  
 2281 ggccagatgt ggggtccctc atatccttct gtaccatata agggatgtga gtcttgaca  
 2341 tgagagattc tcaagccagc aaaaggggtg gattaggccc tacaaggaga aaggtagagg  
 2401 ccctgagtga gcacagaggg gacctccac ccaagtagag tggggacctc acggagtctg  
 2461 gccaacctg ctgagacttc tgggaatccg tggctgtgct tgcagtctgc acactgaagg  
 2521 cccgtgcatt cctctcccag gaatcaggag ctccagggaac caggcagtga ggcttggtc  
 2581 tgagtacgtg tcctcaggtc acagagcaga ggggacgcag acagtgccaa cactgaagggt  
 2641 ttgcctggaa tgcacaccaa gggcccacc cgcccagaac aaatgggact ccagagggcc  
 2701 tggcctcacc ctccctattc tcagtcctgc agcctgagca tgtgtggcc ggctgtaccc  
 2761 tgagggtccc tccacttcc tcttcagggt tctgaggggg acaggctgac aagtaggacc  
 2821 cgaggcactg gaggagcatt gaaggagaag atctgtaagt aagcctttgt cagagcctcc  
 2881 aagggtcagt tcagttctca cctaaggcct cacacacgct ccttctctcc ccaggcctgt  
 2941 gggcttctat tggccagctc ctgcccgcac tcttgcctgc tggcctgacc agagtcatca  
 3001 tgccctctga gcagaggagt cagcactgca agcctgaaga aggccttgag gcccaggag  
 3061 aggccttggg cctggtgggt gcgcaggctc ctgctactga ggagcagcag accgcttctt  
 3121 cctcttctac tctagtggaa gtacccttg gggagggtgc tgtgtccgac tcaccgagtc  
 3181 ctccccacag tcctcaggga gcctccagct tctcgactac catcaactac actctttgga  
 3241 gacaatccga tgagggtccc agcaaccaag aagaggaggg gccagaatg ttcccagacc  
 3301 tggagtccga gttccaagca gcaatcagta ggaagatgggt tgagttgggt cattttctgc  
 3361 tcctcaagta tcgagccagg gagccgtca caaaggcaga aatgctggag agtgtcctca  
 3421 gaaattgcca ggacttcttt cccgtgatct tcagcaaaag ctccgagtac ttgcagctgg  
 3481 tctttggcat cgagggtgtg gaagtgggtc ccatcagcca ctgtacatc ctgtcacct  
 3541 gcctgggctt ctctacgat ggctgtgtg gcgacaatca ggtcatgccc aagacaggcc  
 3601 tcttgataat cgtcctggcc ataatcgcaa tagagggcga ctgtgccccct gaggagaaaa  
 3661 tctgggagga gctgagtatg ttggagggtt ttgaggggag ggaggacagt gtcttcgcac  
 3721 atcccaggaa gctgctcatg caagatctgg tgcaggaaaa ctacctggag taccggcagg  
 3781 tggccggcag tgatcctgca tgctacgagt tctgtgggg tccaagggcc ctcattgaaa  
 3841 ccagctatgt gaaagtctg caccatacac taaagatcgg tggagaacct cacatttctt  
 3901 acccaccctt gcatgaacgg gctttgagag agggagaaga gtgagtctca gcacatgttg  
 3961 cagccagggc cagtgggagg gggcttgggc cagtgcacct tccaggggcc catccattag  
 4021 ctccactgct ctgtgtgat atgaggccca ttcctgcctc ttgaagaga gcagtcagca  
 4081 ttcttagcag tgagtttctg ttctgttga tgactttgag atttatcttt ctctcctgtt

10

20

30

40

50

```

4141 ggaattgttc aaatgttcct tttacaaaat ggttggatga acttcagcat ccaagtttat
4201 gaatgacagt agtcacacat agtgcgtgtt atatagttaa ggggtaagag tcctgttttt
4261 tattcagatt gggaaatcca ttccattttg tgagtgtca cataataaca gcagtggaaat
4321 atgtatttgc ctatatgtg aacgaattag cagtaaaata catgatacaa ggaactcaaa
4381 agatagttaa ttcttgcctt atacctcagt ctattatgta aaattaaaaa tatgtgtatg
4441 tttttgcttc tttgagaatg caaaagaaat taaatctgaa taaattcttc ctgttcactg
4501 gctcatttct ttaccattca ctacagcatct gctctgtgga aggccctggg agtagtggg

```

//

10

Human MAGE-3 antigen (MAGE-3) gene, complete cds.

ACCESSION U03735

VERSION U03735.1 GI:468825

SEQ ID NO 73

```

/translation="MPLEQRSQHCKPEEGLEARGEALGLVGAQAPATEEQEAASSSSTL
VEVTLGEVPAESPDPQPSPQGASSLPTTMNYPLWSQSYEDSSNQEEEGPSTFPDLESEFQAALSRKVAELVHFLLLKYR
AREPVTKAEMLGSVVGNWQYFFPVIFSKASSSLQLVFGIELMEVDPIGHLYIFATCLGLSYDGLLDGNQIMPKAGLLIIV
LAI IAREGDCAPEEKIWEELSVLEVFEGREDSILGDPKKLLTQHFVQENYLEYRQVPGSDPACYEFLWGPRALVETSYVK
VLHBMVKISGGPHISYPPLHEWVLREGEE"

```

20

SEQ ID NO 83

ORIGIN

```

1 acgcaggcag tgatgtcacc cagaccacac cccttcccc aatgccactt caggggggtac
61 tcagagtcag agacttggtc tgagggggagc agaagcaatc tgcagaggat ggcgggtccag
121 gctcagccag gcatcaactt caggaccctg agggatgacc gaaggccccc cccacccacc
181 cccaactccc ccgacccccc caggatctac agcctcagga ccccggtccc aatccttacc
241 ccttgcccca tcaccatctt catgcttacc tccaccccca tccgatcccc atccaggcag
301 aatccagttc caccctgcc cggaaccagc ggtagtaccg tggccaggat gtgacgccac
361 tgacttgcgc attggaggtc agaagaccgc gagattctcg ccctgagcaa cgagcgacgg
421 cctgacgtcg gcggagggaa gccggcccag gctcggtgag gaggcaaggc aagacgctga
481 gggaggactg aggcgggcct cacctcagac agagggcctc aaataatcca gtgctgcctc
541 tgctgccggg cctggggccac cccgcagggg aagacttcca ggctgggtcg ccactacctc
601 acccgcgga ccccgccgc tttagccacg gggaactctg gggacagagc ttaatgtggc
661 cagggcaggg ctggttagaa gaggtcaggg cccacgctgt ggcaggaatc aaggtcagga
721 ccccgagagg gaactgaggg cagcctaacc accacccctc ccacattcc cgtcccccaa
781 caccacacc cacccccac cccattccc atccccacc ccacccctat cctggcagaa
841 tccgggcttt gcccctggta tcaagtcacg gaagctccg gaatggcggc caggcacgtg
901 agtcttgagg ttacatcta cggctaaggg agggaagggg ttcggtatcg cgagtatggc
961 cgttgggagg cagcgaaaag gcccaggcct cctggaagac agtggagtcc tgaggggacc
1021 cagcatgcca ggacaggggg cccactgtac ccctgtctca aaccgaggca ccttttcatt
1081 cggctacggg aatcctaggg atgcagaccc acttcagcag ggggttgggg ccagccctg
1141 cgaggagtca tggggaggaa gaagaggagg gactgagggg acctggagt ccagatcagt
1201 ggcaaccttg ggctggggga tgctgggcac agtggccaaa tgtgctctgt gctcattgag
1261 ccttcagggt gaccagagag ttgagggtcg tggctgaag agtgggactt caggtcagca
1321 gagggaggaa tcccaggatc tgcaggggcc aagggtgtacc cccaaggggc ccctatgtgg
1381 tggacagatg cagtgttcct aggatctgcc aagcatccag gtgaagagac tgagggagga
1441 ttgagggtag ccctgggaca gaatgcggac tggggggccc ataaaaatct gccctgctcc
1501 tgctgttacc tcagagagcc tgggcagggc tgtcagctga ggtccctcca ttatcctagg
1561 atcactgatg tcaggaaggg ggaagccttg gtctgagggg gctgcactca gggcagtaga
1621 gggaggctct cagaccctac taggagtggg ggtgaggacc aagcagtctc ctacccagg

```

30

40

50

```

1681 gtacatggac ttcaataaat ttggacatct ctcgttgtcc ttccgggag gacctgggaa
1741 tgtatggcca gatgtgggtc cctcatgtt ttctgtacc atatcaggta tgtgagttct
1801 tgacatgaga gattctcagg ccagcagaag ggagggatta ggccctataa ggagaaaggt
1861 gagggccctg agtgagcaca gaggggatcc tccaccccag tagagtgggg acctcacaga
1921 gtctggccaa cctcctgac agttctggga atccgtggct gcgtttgctg tctgcacatt
1981 gggggcccgt ggattcctct cccaggaatc aggagctcca ggaacaaggc agtgaggact
2041 tggctgagg cagtgtcctc aggtcacaga gtagaggggg ctcagatagt gccaacggtg
2101 aagggtttgcc ttggattcaa accaagggcc ccacctgccc cagaacacat ggactccaga
2161 gcgcctggcc tcaccccaa tactttcagt cctgcagcct cagcatgcgc tggccggatg
2221 taccctgagg tgcctctca ctctcctctt caggttctga ggggacaggc tgacctggag
2281 gaccagaggc ccccgaggga gcactgaagg agaagatctg taagtaagcc ttgttagag
2341 cctccaaggt tccattcagt actcagctga ggtctctcac atgctccctc tctcccagg
2401 ccagtgggtc tccattgccc agctcctgcc cacactcccg cctgttgccc tgaccagagt
2461 catcatgcct ctgagcaga ggagtcagca ctgcaagcct gaagaaggcc ttgaggcccg
2521 aggagaggcc ctgggcctgg tgggtgcgca ggctcctgct actgaggagc aggaggctgc
2581 ctctcctct tctactctag ttgaagtcac cctgggggag gtgcctgctg ccgagtcacc
2641 agatcctccc cagagtcctc agggagcctc cagcctcccc actaccatga actaccctct
2701 ctggagccaa tcctatgagg actccagcaa ccaagaagag gaggggccaa gcaccttccc
2761 tgacctggag tccgagttcc aagcagcact cagtaggaag gtggccgagt tggttcatit
2821 tctgtcctc aagtatcgag ccagggagcc ggtcacaaag gcagaaatgc tggggagtgt
2881 cgtcggaat tggcagtatt tctttcctgt gatcttcagc aaagcttcca gtctcttga
2941 gctgggtctt ggcatcgagc tgatggaagt ggaccccatc ggccacttgt acatctttgc
3001 cacctgcctg ggctctcct acgatggcct gctgggtgac aatcagatca tgcccaaggc
3061 aggcctcctg ataatcgtcc tggccataat cgcaagagag ggcgactgtg cccctgagga
3121 gaaaatctgg gaggagctga gtgtgttaga ggtgtttgag gggagggaag acagtatctt
3181 ggggatccc aagaagctgc tcaccaaca ttctgtgcag gaaaactacc tggagtaccg
3241 gcaggtcccc ggcagtgatc ctgcatgta tgaattcctg tgggttccaa gggccctcgt
3301 tgaaccagc tatgtgaaag tctgcacca tatggtaaag atcagtggag gacctacat
3361 ttcttaccca cccctgcatg agtgggtttt gagagagggg gaagagttag tctgagcacg
3421 agttgcagcc agggccagtg ggaggggggtc tgggccagtg caccttccgg ggccgcatcc
3481 cttagtttcc actgcctcct gtgacgtgag gccattctt cactctttga agcgagcagt
3541 cagcatcttt agtagtgggt ttctgttctg ttggatgact ttgagattat tctttgtttc
3601 ctgttggagt tgttcaaatg ttctttttaa cggtgggttg aatgagcgtc agcatccagg
3661 tttatgaatg acagtagtca cacatagtgc tgtttatata gtttaggagt aagagtcttg
3721 ttttttactc aaattgggaa atccattcca ttttgtgaat tgtgacataa taatagcagt
3781 ggtaaaaagta ttgtctaaa atgtgtgagcg aattagcaat aacatacatg agataactca
3841 agaaatcaaa agatagttag ttcttgccct gtacctcaat ctattctgta aaatataaca
3901 aatatgcaaa ccaggatttc ctgacttct ttgagaatgc aagcgaaatt aaatctgaat
3961 aaataattct tcctcttcac tggctcgttt cttttccgtt cactcagcat ctgctctgtg
4021 ggaggccctg ggttagtagt ggggatgcta aggtaagcca gactcacgcc tacccatagg
4081 gctgtagagc ctaggacctg cagtcatata attaagggtg tgagaagtc tgtaagatgt
4141 agaggaaatg taagagaggg gtgaggggtg ggcgctccgg gtgagagttag tggagtgtca
4201 gtgc

```

10

20

30

40

//

Homo sapiens prostate stem cell antigen (PSCA) mRNA, complete cds.

ACCESSION AF043498

VERSION AF043498.1 GI:2909843

SEQ ID NO 79

/translation="MKAVLLALLMAGLALQPGTALLCYSCKAQVSNEDCLQVENCTQLG

50

EQCWTARIRAVGLLTVISKGCSLNCVDDSDYYVGKKNITCCDTDLCNASGAHALQPAAAIALLLPALGLLLWGPQQL"

SEQ ID NO 87

ORIGIN

```
1 agggagaggc agtgaccatg aaggctgtgc tgcttgccct gtgatggca ggcttggccc
61 tgcagccagg cactgccctg ctgtgctact cctgcaaagc ccaggtgagc aacgaggact
121 gcctgcaggt ggagaactgc acccagctgg gggagcagtg ctggaccgcg cgcattccgcg
181 cagttggcct cctgaccgtc atcagcaaag gctgcagctt gaactgcgtg gatgactcac
241 aggactacta cgtgggcaag aagaacatca cgtgctgtga caccgacttg tgcaacgcca
301 gcggggccca tggcctgcag ccggctgccg ccatccttgc gctgctccct gcactcggcc
361 tgctgctctg gggacccggc cagctatagg ctctgggggg ccccgctgca gcccacactg
421 ggtgtggtgc cccaggcctt tgtgccactc ctacagaaac ctggcccagt gggagcctgt
481 cctggttcct gaggcacatc ctaacgcaag tttgaccatg tatgtttgca ccccttttcc
541 ccnaaccctg accttcccat gggccttttc caggattccn accnggcaga tcagttttag
601 tganacanat ccgcntgcag atggcccctc caaccntttn tgttgnrtgt tccatggccc
661 agcattttcc acccttaacc ctgtgttcag gcacttnttc cccaggaag ccttccctgc
721 ccaccccat tattaattga gccaggtttg gtccgtggtg tccccgcac ccagcagggg
781 acaggcaatc aggagggccc agtaaaggct gagatgaagt ggactgagta gaactggagg
841 acaagagttg acgtgagttc ctgggagttt ccagagatgg ggccctggagg cctggaggaa
901 ggggccaggc ctacatttg tgggntccc gaatggcagc ctgagcacag cgtaggccct
961 taataaacac ctgttgata agccaaaaaa
```

10

20

//

GLANDULAR KALLIKREIN 1 PRECURSOR (TISSUE KALLIKREIN)

(KIDNEY/PANCREAS/SALIVARY GLAND KALLIKREIN).

ACCESSION P06870

PID g125170

VERSION P06870 GI:125170

30

SEQ ID NO 600

ORIGIN

```
1 mwflvlclal slggtgaapp iqsrieggwe ceqhsqpwwa alyhfstfqc ggilvhrqww
61 ltaahcisdn yqlwlgrhnl fddentaqfv hvsesfphpg fnmsllenht rqadedyshd
121 lmlrlrtepa dtitdavkvv elptqepevg stclasgwgs iepenfsfpd dlqcvdikil
181 pndecakahv qkvtdfmlcv ghleggkdtc vgdsggpimc dgvlqgvtsw gyvpcgtpnk
241 psvavrvlsy vkwiedtie ns
```

//

40

ELASTASE 2A PRECURSOR.

ACCESSION P08217

PID g119255

VERSION P08217 GI:119255

SEQ ID NO 601

ORIGIN

```
1 mirtlllstl vagalscgdp typyvtrvv ggeearpns pwqvslyqss ngkwyhtcgg
61 slianswvlt aahciassrt yrvglgrhnl yvaesgslav svskivvhkd wnsnqiskgn
121 diallklanp vsldkiqla clppagtilp nnypcyvtgw grlqtngavp dvlqqgrllv
```

50

181 vdyatcsssa wwgssvktsm icaggdgvis scngdsggpl ncqasgrwq vhgivsfgr  
241 lgcnyyhkps vftrvsnyid winsviann

//

pancreatic elastase IIB [Homo sapiens].

ACCESSION NP\_056933

PID g7705648

VERSION NP\_056933.1 GI:7705648

SEQ ID NO 602

10

ORIGIN

1 mirtlllstl vagalscgvs tyapdmsrml ggeearpns pwqvslyqyss ngqwyhtcgg  
61 slianswvlt aahciyssri yrvmlgqhnI yvaesgslav svskivvhkd wnsnqvskgn  
121 diallklap vsldkiqla clppagtilp nnypcyvtgw grlqtngalp ddlkqgrllv  
181 vdyatcsssg wwgstvktnm icaggdgvic tcngdsggpl ncqasgrwe vhgigsltsv  
241 lgcnyyykps iftrvsnynd winsviann

//

PRAME Homo sapiens preferentially expressed antigen in melanoma (PRAME), mRNA.

20

ACCESSION NM\_006115

VERSION NM\_006115.1 GI:5174640

SEQ ID NO 77

/translation="MERRRLWGSIQSRYISMSVWTSPRRLVELAGQSLLKDEALAI AAL  
ELLPRELFPPLFMAAFDGRHSQTLKAMVQAWPFTCLPLGVLMKGQHLHLETFKAVLDGLDVLLAQEVRPRRWKLQVLDLR  
KNSHQDFWTWVSGNRASLYSFPEPEAAQPMTKKRKVDGLSTEAEPFIPVEVLVDLFLKEGACDELF SYLIEKVKRKKNV  
LRLCCKKLKIFAMPMDIKMILKMVQLDSIEDLEV TCTWKPLTLAKFSPYLGQMINLRRLLLSH IHASSYISPEKEEQYI  
AQFTSQFLSLQCLQALYVDSLFFLRGRLDQLLRHVMNPLETLSITNCRLSEGDVMHLSQSPSVSQLSVLSLSGVMLTDVS  
PEPLQALLERASATLQDLVFDECGITDDQLLALLPSLSHCSQLTTLSFYGNSISISALQSLLQHLIGLSNLTHVLYPVPL  
ESYEDIHGTLHLERLAYLHARLRELLCELGRPSMWLSANPCPHCGDRTFYDPEPILCPCFMPN"

30

SEQ ID NO 85

ORIGIN

1 gcttcagggt acagctcccc cgcagccaga agccgggcct gcagcccctc agcaccgctc  
61 cgggacaccc caccgccttc ccaggcgtga cctgtcaaca gcaacttcgc ggtgtggtga  
121 actctctgag gaaaaacat tttgattatt actctcagac gtgcgtggca acaagtgact  
181 gagacctaga aatccaagcg ttggagggtcc tgaggccagc ctaagtcgct tcaaaatgga  
241 acgaaggcgt ttgtggggtt ccatcagag ccgatacatc agcatgagtg tgtggacaag  
301 cccacggaga cttgtggagc tggcagggca gagcctgctg aaggatgagg ccctggccat  
361 tgccgccctg gaggttgctgc ccaggagcct cttcccgcc cttctcatgg cagcctttga  
421 cgggagacac agccagaccc tgaaggcaat ggtgcaggcc tggcccttca cctgcctccc  
481 tctgggagtg ctgatgaagg gacaacatct tcacctggag accttcaaag ctgtgcttga  
541 tggacttgat gtgctccttg cccaggagggt tcgcccagg aggtggaaac ttcaagtgct  
601 ggatttacgg aagaactctc atcaggactt ctggactgta tggctctggaa acaggggccag  
661 tctgtactca tttccagagc cagaagcagc tcagcccatg acaaagaagc gaaaagtaga  
721 tggtttgagc acagaggcag agcagccctt cattccagta gagggtgctcg tagacctgtt  
781 cctcaaggaa ggtgcctgtg atgaattgtt ctctacctc attgagaaag tgaagcgaaa  
841 gaaaaatgta ctacgcctgt gctgtaagaa gctgaagatt ttgcaatgc ccatgcagga  
901 tatcaagatg atcctgaaaa tgggtgcagct ggactctatt gaagatttgg aagtgacttg  
961 tacctggaag ctaccacac tggcgaaatt ttctccttac ctgggcccaga tgattaatct

40

50

```

1021 gcgtagactc ctcctctccc acatccatgc atcttcctac atttccccgg agaaggaaga
1081 gcagtataat gccaggttca cctctcagtt cctcagtcgt cagtgccctgc aggcctctcta
1141 tgtggactct ttatttttcc ttagaggccg cctggatcag ttgctcaggc acgtgatgaa
1201 ccccttggaa accctctcaa taactaactg cgggctttcg gaaggggatg tgatgcatct
1261 gtcccagagt cccagcgtca gtcagctaag tgtcctgagt ctaagtgggg tcatgctgac
1321 cgatgtaagt cccgagcccc tccaagctct gctggagaga gcctctgcca ccctccagga
1381 cctggctttt gatgagtgtg ggatcacgga tgatcagctc ctggccctcc tgccttcctt
1441 gagccactgc tcccagctta caaccttaag ctctacggg aattccatct ccatatctgc
1501 ctgacagagt ctctgcagc acctcatcgg gctgagcaat ctgaccacag tgcgttatcc
1561 tgtccccctg gagagtattg aggacatcca tggtagcctc cacctggaga ggcttgccta
1621 tctgcatgcc aggcctcagg agttgctgtg tgagtgggg cggccagca tggcttggct
1681 tagtgccaac ccctgtcctc actgtgggga cagaaccttc tatgaccggg agcccatcct
1741 gtgccccgtt tcatgccta actagctggg tgcacatata aaatgcttca ttctgcatac
1801 ttggacacta aagccaggat gtgcatgcat ctgaagcaa caaagcagcc acagtttcag
1861 acaaatgttc agtgtgagtg aggaatacat gttcagttag gaaaaaacat tcagacaaat
1921 gttcagttag gaaaaaagg ggaagtggg gataggcaga tgttgacttg aggagttaat
1981 gtgatctttg gggagataca tcttatagag ttagaaatag aatctgaatt tctaaaggga
2041 gattctggct tgggaagtac atgtaggagt taatccctgt gtagactgtt gtaaagaaac
2101 tgttgaaaat aaagagaagc aatgtgaagc aaaaaaaaaa aaaaaaaa

```

10

20

ED-B domain of Fibronectin

Human fibronectin gene ED-B region.

ACCESSION X07717

VERSION X07717.1 GI:31406

SEQ ID NO 590

```

/translation="CTFDNLSPGLEYNVSVYTVKDDKESVPI SDTI IPEVPQLTDLSF
VDITDSSI GLRWTP LNSSTI IGYRITVVAAGEGIP IFEDFVDSSVGYTVTGLEPGID
YDISVITL INGGE SAP TLTQQTA VPPPTDL RFTN IGPDTMRVTW"

```

30

SEQ ID NO 591

ORIGIN

```

1 ctgcactttt gataacctga gtcccgccct ggagtacaat gtcagtgttt acactgtcaa
61 ggatgacaag gaaagtgtcc ctatctctga taccatcatc ccaggtaata gaaaataagc
121 tgctatcctg agagtgacat tccaataaga gtggggatta gcatcttaat ccccagatgc
181 ttaaggggtt caactatatt tgggatttaa ttccgatctc ccagctgcac ttccaataac
241 caagaagtca aagcagcgat ttggacaaaa tgcctgctgt taacactgct ttactgtctg
301 tgcttcactg ggatgctgtg tgttgcagcg agtatgtaat ggagtggcag ccatggcttt
361 aactctgtat tgtctgctca catggaagta tgactaaaaac actgtcacgt gtctgtactc
421 agtactgata ggctcaaagt aatatggtaa atgcatccca tcagtacatt tctgcccgat
481 ttacaatcc atatcaattt ccaacagctg cctatttcat ctgacagttt caaatccttc
541 tttttgaaaa ttggatttta aaaaaaagt taaagaaagt cacaccttca gggttgttct
601 ttcttgtggc ctgaaagac aacattgcaa aggcctgtcc taaggatagg ctgtttgtc
661 cattgggtta taacataatg aaagcattgg acagatcgtg tccccctttg gactcttcag
721 tagaatgctt ttactaacgc taattacatg ttttgattat gaatgaacct aaaatagtgg
781 caatggcctt aacctaggcc tgcctttcct cagcctgaat gtgcttttga atggcacatt
841 tcacaccata cattcataat gcattagcgt tatggccatg atgttgtcat gaggttttgta
901 tgggagaaaa aaaaatcaatt tatcaccat ttattatttt ttccggttgt tcatgcaagc
961 ttatttttcta ctaaaacagt ttggaatta taaaagcat tgcgtgatac tacttcagat
1021 attatgtcta ggctctaaga atggtttcga catcctaaac agccatatga tttttaggaa

```

40

50

1081 tctgaacagt tcaaatgtta ccctttaagg atgttttcaa aatgtaaaaa atatatatat  
 1141 atatatatat tccctaaaag aatattcctg tttattcttc tagggaagca aactgttcat  
 1201 gatgcttagg aagtcttttc agagaattta aaacagattg catattacca tcattgcttt  
 1261 aacattccac caattttact actagtaacc tgatatacac tgctttatit tttcctcttt  
 1321 ttttccctct attttccttt tgccctcccc tccctttgct ttgtaactca atagagggtgc  
 1381 cccaactcac tgacctaacg tttgttgata taaccgattc aagcatcggc ctgagggtgga  
 1441 ccccgctaaa ctcttccacc attattgggt accgcatcac agtagttgcg gcaggagaag  
 1501 gtatccctat ttttgaagat tttgtggact cctcagtagg atactacaca gtcacagggc  
 1561 tggagccggg cattgactat gatatcagcg ttatcactct cattaatggc ggcgagagtg  
 1621 cccctactac actgacacaa caaacgggtg aattttgaaa acttctgcgt ttgagacata  
 1681 gatgggtgtg catgctgccca ccagttactc cggttaaata tggatgtttc atgggggaag  
 1741 tcagcaattg gccaaagatt cagatagggt gaattggggg gataaggaat caaatgcac  
 1801 tgctaaactg attggagaaa aacacatgca atatcttcag tacactctca tttaaaccac  
 1861 aagtagatat aaagcctaga gaaatacaga tgtctgctct gttaaataata aaatagcaaa  
 1921 tgttcattca atttgaagac ctagaatttt tcttcttaaa tacciaaacac gaataccaaa  
 1981 ttgcgtaagt accaattgat aagaatata caccaaaatg taccatcatg ctcttccttc  
 2041 taccctttga taaactctac catgctcctt cttttagctg aaaaacccat caaattttag  
 2101 ggtagagtgg atgggcattg ttttgaggta ggagaaaagt aaacttggga ccattctagg  
 2161 ttttgttgct gtcactagg aaagaaacac ctctttaacc acagtctggg gacaagcatg  
 2221 caacatttta aagggttctt gctgtgcatg ggaaaagaaa catgctgaga accaatttgc  
 2281 atgaacatgt tcacttgtaa gtagaattca ctgaatggaa ctgtagctct agatatctca  
 2341 catgggggga agtttaggac cctcttgtct ttttgtctgt gtgcatgtat ttctttgtaa  
 2401 agtactgcta tgtttctctt tgctgtgtgg caacttaagc ctcttcggcc tgggataaaa  
 2461 taatctgcag tggatttaat aatgtacata aagtcaacat atttgaaagt agattaaaat  
 2521 cttttttaaa tatatcaatg atggcaaaaa ggttaaaggg ggcctaacag tactgtgtgt  
 2581 agtgttttat ttttaacagt agtacactat aacttaaaat agacttagat tagactgttt  
 2641 gcatgattat gattctgttt cctttatgca tgaaatattg attttacctt tccagctact  
 2701 tcgtagctt taattttaaa atacattaac tgagtcttcc ttcttgttcg aaaccagctg  
 2761 ttccctcctc cactgacctg cgattcacca acattgggtc agacaccatg cgtgtcacct  
 2821 ggg

10

20

30

//

CEA Homo sapiens carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 5 (CEACAM5), mRNA.

ACCESSION NM\_004363

VERSION NM\_004363.1 GI:11386170

SEQ ID NO 592

/translation="MESPSAPPHRWCIPWQRLLLTASLLTFWNPPTTAKLTIESTPFN

VAEGKEVLLL VHNLPQHLFGYSWYKGERVDGNRQII GYVIGTQQATPGPAYSGREII Y  
 PNASLLIQNI IQNDTGfYTLHVIKSDLVNEEATGQFRVYPELPKPSISSNNSKPVEDK  
 DAVAFtCEPETQDATYLWWWNNQSLPVSPRLQLSNGNRTLTLFNVTRNDTASYKCETQ  
 NPVSARRSDSVILNVLYGPDAPTISPLNTSYRSGENLNLSCHAASNPPAQYSWfVNGT  
 FQQTQELFI PNITVNNSGSYTCQAHNSDTGLNRTTVTTITVYAEPPKPFITSNNSNP  
 VEDEDAVALTCEPEIQNTTYLWWWNNQSLPVSPRLQLSNDNRTLTLSSVTRNDVGPYE  
 CGIQNELSDVHSDPVI LNVLYGPDPTISPSYTYRPGVNLSSLSCHAASNPPAQYSWL  
 IDGNIQQHTQELFI SNI TEKNSGLYTCQANNSASGHSRTTVKTI TVSAELPKPSISSN  
 NSKPVEDKDAVAFtCEPEAQNTTYLWWWNGQSLPVSPRLQLSNGNRTLTLFNVTRNDA  
 RAYVCGIQNSVSANRSDPVTLDVLYGPDPTIISPDDSSYLSGANLNLSCHSASNPS PQ  
 YSWRINGIPQHTQVLFIAKIPNNNGTYACFVSNLATGRNNSIVKSI TVSASGTSPG  
 LSAGATVGIMIGVLVGVALI "

40

50



SEQ ID NO 593

ORIGIN

```

1  ctcagggcag agggaggaag gacagcagac cagacagtca cagcagcctt gacaaaacgt
61  tcctggaact caagctcttc tccacagagg aggacagagc agacagcaga gaccatggag
121 tctccctcgg cccctcccca cagatgggtgc atcccttggc agaggctcct gctcacagcc
181 tcacttctaa ccttctggaa cccgcccacc actgccaagc tcactattga atccacgccg
241 ttcaatgtcg cagaggggaa ggagggtgctt ctacttgtcc acaatctgcc ccagcatctt
301 ttgggtaca gctggtacaa aggtgaaaga gtggatggca accgtcaaat tataggatat
361 gtaataggaa ctcaacaagc taccacaggg cccgcataca gtggtcgaga gataatatac
421 cccaatgcat ccctgctgat ccagaacatc atccagaatg acacaggatt ctacacccta
481 cagctcataa agtcagatct tgtgaatgaa gaagcaactg gccagttccg ggtatacccg
541 gagctgcca agccctccat ctccagcaac aactccaaac cctggaggga caaggatgct
601 gtggccttca cctgtgaacc tgagactcag gacgcaacct acctgtgggtg ggtaaacaat
661 cagagcctcc cggtcagtcc caggctgcag ctgtccaatg gcaacaggac cctcactcta
721 ttcaatgtca caagaaatga cacagcaagc tacaatatgt aaaccagaa cccagttagt
781 gccaggcgca gtgattcagt catcctgaat gtcctctatg gcccggatgc cccaccatt
841 tccctctaa acacatctta cagatcaggg gaaaatctga acctctcctg ccacgcagcc
901 tctaaccac ctgcacagta ctcttggttt gtcaatggga ctttccagca atccaccaa
961 gagctcttta tcccaacat cactgtgaat aatagtggat cctatacgtg ccaagcccat
1021 aactcagaca ctggcctcaa taggaccaca gtcacgacga tcacagtcta tgcagagcca
1081 cccaaaccc tcatcaccag caacaactcc aaccccgagg aggatgagga tgcgttagcc
1141 ttaacctgtg aacctgagat tcagaacaca acctacctgt ggtgggtaaa taatcagagc
1201 ctcccgttca gtcccaggct gcagctgtcc aatgacaaca ggaccctcac tctactcagt
1261 gtcacaagga atgatgtagg accctatgag tgtggaatcc agaacgaatt aagtgttgac
1321 cacagcgacc cagtcacctt gaatgtcctc tatggcccag acgacccac catttcccc
1381 tcatacacct attaccgtcc aggggtgaac ctacagcctc cctgccatgc agcctctaac
1441 ccacctgcac agtatctctg gctgattgat ggaacatcc agcaacacac acaagagctc
1501 tttatctcca acatcactga gaagaacagc ggactctata cctgccaggc caataactca
1561 gccagtggcc acagcaggac tacagtcaag acaatcacag tctctgcgga gctgccaag
1621 ccctccatct ccagcaacaa ctccaaaccc gtggaggaca aggatgctgt ggccctcacc
1681 tgtgaacctg aggtcagaa cacaacctac ctgtggtggg taaatggta gagcctccca
1741 gtcagtcca ggctgcagct gtccaatggc aacaggaccc tcactctatt caatgtcaca
1801 agaaatgacg caagagccta tgtatgtgga atccagaact cagttagtgc aaaccgcagt
1861 gaccagtca ccctggatgt cctctatggg ccggacaccc ccatcatctc cccccagac
1921 tcgtcttacc tttcgggagc gaacctcaac ctctcctgcc actcggcctc taacccatcc
1981 ccgcagtatt ctggcgat caatgggata ccgcagcaac acacacaagt tctctttatc
2041 gccaaaatca cgccaaataa taacgggacc tatgcctgtt ttgtctctaa ctgggtact
2101 ggccgcaata attccatagt caagagcatc acagtctctg catctggaac ttctcctggt
2161 ctctcagctg gggccactgt cggcatcatg attggagtgc tggttgggtg tgctctgata
2221 tagcagccct ggtgtagttt ctctatttca ggaagactga cagtgtttt gcttcttctt
2281 taaagcattt gcaacagcta cagtctaaaa ttgcttcttt accaaggata ttacagaaa
2341 agactctgac cagagatcga gaccatccta gccaacatcg tgaaaccca tctctactaa
2401 aaatacaaaa atgagctggg ctgggtggcg cgcacctgta gtcccagtta ctggggaggc
2461 tgaggcagga gaatcgcttg aacccgggag gtggagattg cagttagccc agatcgacc
2521 actgcactcc agtctggcaa cagagcaaga ctccatctca aaaagaaaag aaaagaagac
2581 tctgacctgt actcttgaat acaagtttct gataccactg cactgtctga gaatttccaa
2641 aactttaatg aactaactga cagcttcatg aaactgtcca ccaagatcaa gcagagaaaa
2701 taattaattt catgggacta aatgaactaa tgaggattgc tgattcttta aatgtcttgt
2761 ttcccagatt tcaggaaact ttttttcttt taagctatcc actcttacag caatttgata

```

10

20

30

40

50

2821 aaatatactt ttgtgaacaa aaattgagac atttacattt tctccctatg tggtcgctcc  
 2881 agacttggga aactattcat gaatatitatt attgtatggg aatatagtta ttgcacaagt  
 2941 tcaataaaaa tctgctcttt gtataacaga aaaa

//

Her2/Neu Human tyrosine kinase-type receptor (HER2) mRNA, complete cds.

ACCESSION M11730

VERSION M11730.1 GI:183986

SEQ ID NO 594

/translation="MELAALCRWGLLLALLPPGAASTQVCTGTDMKLRLPASPETHLD

10

MLRHLYQGCQVVQGNLELTYPNLSLFLQDIQEYQGYVLI AHNQVRQVPLQRLRIV  
 RGTQLFEDNYALAVLDNGDPLNNTTPVTGASPGGLRELQLRSLTEILKGGVLIQRNPQ  
 LCYQDTILWKDIFHKNNQLALTLIDTNRSRACHPCSPMCKGSRGWGESSEDCQSLTRT  
 VCAGGCARCKGPLPTDCCHEQCAAGCTGPKHSDCLACLFHNHSGICELHCPALVTYNT  
 DTFESMPNPEGRTYFGASCVTACPYNYLSTDVGSCITVCPLHNQEVTAEDGTQRCEKC  
 SKPCARVCYGLGMEHLREVRAVTSANI QEFAGCKKIFGSLAFLPESFDGDPASNTAPL  
 QPEQLQVFETLEEITGYLYISAWPDSLPLDSVFQNLQVIRGRILHNGAYSLTLQGLGI  
 SWLGLRSLRELGSGLALIHNNHLCFVHTVPWDQLFRNPHQALLHTANRPEDECVGEG  
 LACHQLCARGHCWGPPTQCVNCSQFLRGQECVEECRVLQGLPREYVNARHCLPCHPE  
 QPQNGSVTCFGPEADQCVACAHYKDPPFCVARCPSGVKPDLSYMPWKFPDEEGACQ  
 PCPINCTHSCVDLDDKGCPAEQRASPLTSIVSAVVGILLVVVLGVVFGILIKRRQKKI  
 RKYTMRRLLQETELVEPLTPSGAMPNQAQMRILKETELRKVKVLGSGAFGTVYKGIWI  
 PDGENVKIPVAIKVLRENTSPKANKEILDEAYVMAGVGSPYVSRLLGICLTSTVQLVT  
 QLMPYGCLLDHVRENRLGSLDQDLLNWCMIKAGMSYLEDVRLVHRDLAARNVLVKSP  
 NHVKITDFGLARLLDIDETEHADGGKVPKWMALLESILRRRFTHQSDVWSYGVTVWE  
 LMTFGAKPYDGPAREIPDLLEKGERLPQPPICTIDVYIMVVKCWMIDSECRPRFREL  
 VSEFSRMARDPQRFVVIQNEDLGASPLDSTFYRSLLEDDDMGDLVDAEEYLVPQQGF  
 FCPDPAPGAGGMVHHRHRSSTRSGGGDLTLGLEPSEEEAPRSPLAPSEGAGSDVFDG  
 DLGMAAKGLQSLPHTDPSPLQRYSEDPTVPLPSETDGYVAPLTCSPQPEYVNQPDVR  
 PQPPSPREGPLPAARPAGATLERAKTSLSPGKNGVVKDVFAGGAVENPEYLTPQGGA  
 PQPHPPPAFSPAFDNLYYWDQDPPERGAPPSTFKGTPTAENPEYLGLDVPV"

C

20

30

SEQ ID NO 595

ORIGIN Chromosome 17q21-q22.

1 aattctcgag ctctctgacc ggctcgacgag ctctgagggct gacgagctcg agggcgcgcg  
 61 cccggccccc acccctcgca gcaccccgcg ccccgcgccc tccagccgg gtccagccgg  
 121 agccatgggg ccggagccgc agtgagcacc atggagctgg cggccttggt cgcctggggg  
 181 ctctctctcg cctctctgcc ccccgagacc gcgagcacc aagtgtgcac cggcacagac  
 241 atgaagctgc ggctccctgc cagtcctcag acccacctgg acatgctccg ccacctctac  
 301 cagggctgcc aggtggtgca gggaaacctg gaactcacct acctgcccac caatgccagc  
 361 ctgtccttcc tgcaggatat ccaggagggt cagggctacg tgctcatcgc tcacaaccaa  
 421 gtgaggcagg tccactgca gaggctgcgg attgtgcgag gcacccagct ctttgaggac  
 481 aactatgccc tggcctgtct agacaatgga gaccgctga acaataccac cctgtcaca  
 541 ggggctccc caggaggcct gcgggagctg cagcttcgaa gcctcacaga gatcttgaaa  
 601 ggaggggtct tgatccagcg gaacccccag ctctgctacc aggacacgat ttgtggaag  
 661 gacatcttcc acaagaacaa ccagctggct ctacactga tagacaccaa ccgctctcgg  
 721 gcctgccacc cctgttctcc gatgtgtaag ggctcccgct gctggggaga gagtcttgag  
 781 gattgtcaga gcctgacgcg cactgtctgt gccggtggct gtgcccgtg caaggggcca  
 841 ctgcccactg actgctgcca tgagcagtg gctgccggct gcacggggcc caagcactct  
 901 gactgcctgg cctgcctcca ctcaaccac agtggcatct gtgagctgca ctgcccagcc

40

50

961 ctgggtcacct acaacacaga cacgtttgag tccatgcccc atccccgaggg ccggtataca  
 1021 ttccggcgcca gctgtgtgac tgccgtgtccc tacaactacc ttctctacgga cgtgggatcc  
 1081 tgcacccctcg tctgccccct gcacaaccaa gaggtgacag cagaggatgg aacacagcgg  
 1141 tgtgagaagt gcagcaagcc ctgtgcccga gtgtgctatg gtctgggcat ggagcacttg  
 1201 cgagagggtga gggcagttac cagtgccaat atccaggagt ttgctggctg caagaagatc  
 1261 tttgggagcc tggcattttct gccggagagc tttgatgggg acccagcctc caacactgcc  
 1321 ccgctccagc cagagcagct ccaagtgttt gagactctgg aagagatcac aggttaccta  
 1381 tacatctcag catggccgga cagcctgcct gacctcagcg tcttccagaa cctgcaagta  
 1441 atccggggac gaattctgca caatggcgcc tactcgctga cctgcaagg gctgggcatc  
 1501 agctggctgg ggctgcgctc actgagggaa ctgggcagtg gactggccct catccaccat  
 1561 aacacccacc tctgcttcgt gcacacgggtg ccctgggacc agctctttcg gaacccgcac  
 1621 caagctctgc tccacactgc caaccggcca gaggacgagt gtgtgggcga gggcctggcc  
 1681 tgccaccagc tgtgcgcccg agggcactgc tggggtccag ggcccaccca gtgtgtcaac  
 1741 tgacagcagt tccttcgggg ccaggagtgc gtggaggaaat gccgagtact gcaggggctc  
 1801 cccagggagt atgtgaatgc caggcactgt ttgccgtgcc accctgagtg tcagccccag  
 1861 aatggctcag tgacctgttt tggaccggag gctgaccagt gtgtggcctg tggccactat  
 1921 aaggaccctc ccttctgcgt ggcccgtgc cccagcggtg tgaaacctga cctctcctac  
 1981 atgcccatct ggaagtittcc agatgaggag ggcgcatgcc agccttgccc catcaactgc  
 2041 acccactcct gtgtggacct ggatgacaag ggctgccccg ccgagcagag agccagccct  
 2101 ctgacgtcca tcgtctctgc ggtggttggc attctgctgg tcgtggtctt gggggtggtc  
 2161 tttgggatcc tcatcaagcg acggcagcag aagatccgga agtacacgat gcggagactg  
 2221 ctgcaggaaa cggagctggg ggagccgctg acacctagcg gagcgatgcc caaccaggcg  
 2281 cagatgcgga tcctgaaaga gacggagctg aggaagggtga aggtgcttgg atctggcgct  
 2341 tttggcacag tctacaaggg catctggatc cctgatgggg agaattgtga aattccagtg  
 2401 gccatcaaag tgttgaggga aaacacatcc cccaaagcca acaaagaaat cttagacgaa  
 2461 gcatactga tggctgggtg gggctcccca tatgtctccc gccttctggg catctgcctg  
 2521 acatccacgg tgcagctggg gacacagctt atgccctatg gctgcctctt agaccatgtc  
 2581 cgggaaaacc gcggacgcct gggctcccag gacctgctga actgggtgat gcagattgcc  
 2641 aaggggatga gctacctgga ggatgtgcgg ctctacaca gggacttggc cgctcggaac  
 2701 gtgctggtca agagtcccaa ccatgtcaaa attacagact tcgggctggc tcggctgctg  
 2761 gacattgacg agacagagta ccatgcagat gggggcaagg tgcccatcaa gtggatggcg  
 2821 ctggagtcca ttctccgccc gcggttcacc caccagagtg atgtgtggag ttatggtgtg  
 2881 actgtgtggg agctgatgac ttttggggcc aaaccttacg atgggatccc agcccgggag  
 2941 atccctgacc tgctggaaaa gggggagcgg ctgccccagc ccccatctg caccattgat  
 3001 gtctacatga tcatggtcaa atgttggatg attgactctg aatgtcggcc aagattccgg  
 3061 gagttggtgt ctgaattctc ccgcatggcc agggaccccc agcgctttgt ggtcatccag  
 3121 aatgaggact tgggcccagc cagtcccttg gacagcacct tctaccgctc actgctggag  
 3181 gacgatgaca tgggggacct ggtggatgct gaggagtatc tggtagccca gcagggttc  
 3241 ttctgtccag accctgcccc gggcgctggg ggcatgggtc accacaggca ccgcagctca  
 3301 tctaccagga gtggcggtgg ggacctgaca ctagggtgag agccctctga agaggaggcc  
 3361 cccaggctct cactggcacc ctccgaaggg gctggctccg atgtatttga tgggtgacctg  
 3421 ggaatggggg cagccaaggg gctgcaaagc ctccccacac atgacccag ccctctacag  
 3481 cggtagagtg aggacccac agtacccttg ccctctgaga ctgatggcta cgttgcctcc  
 3541 ctgacctgca gccccagcc tgaatatgtg aaccagccag atgttcggcc ccagccccct  
 3601 tcgccccgag agggccctct gcctgctgcc cgacctgctg gtgccactct ggaaagggcc  
 3661 aagactctct ccccagggaa gaatggggtc gtcaaagacg tttttgcctt tgggggtgcc  
 3721 gtggagaacc ccgagtactt gacacccag ggaggagctg cccctcagcc ccacctcct  
 3781 cctgccttca gcccagcctt cgacaacctc tattactggg accaggaccc accagagcgg  
 3841 ggggctccac ccagcacctt caaagggaca cctacggcag agaaccacga gtacctgggt  
 3901 ctggacgtgc cagtgtgaac cagaaggcca agtccgcaga agccctgatg tgtcctcagg

10

20

30

40

50

3961 gagcaggggaa ggcctgactt ctgctggcat caagaggtgg gagggccctc cgaccacttc  
 4021 caggggaacc tgccatgcca ggaacctgtc ctaaggaacc ttccttcctg cttgagttcc  
 4081 cagatggctg gaaggggtcc agcctcgttg gaagaggaac agcactgggg agtctttgtg  
 4141 gattctgagg ccctgccccaa tgagactcta ggggtccagt gatgccacag cccagcttgg  
 4201 ccctttcctt ccagatcctg ggtactgaaa gccttaggga agctggcctg agaggggaag  
 4261 cggccctaag ggagtgtcta agaacaaaag cgacccattc agagactgtc cctgaaacct  
 4321 agtactgccc cccatgagga aggaacagca atgggtgtcag tatccaggct ttgtacagag  
 4381 tgcttttctg tttagttttt actttttttg ttttgtttt ttaaagacga aataaagacc  
 4441 caggggagaa tgggtgttgt atggggaggc aagtgtgggg ggtccttctc cacaccact  
 4501 ttgtccattt gcaaatatat tttggaaaac

10

//

H.sapiens mRNA for SCP1 protein.

ACCESSION X95654

VERSION X95654.1 GI:1212982

SEQ ID NO 596

/translation="MEKQKPFALFVPPRSSSSQVSAVKPQTLGGDSTFFKSFNKCTED

DLEFPFAKTNLSKNGENIDSDPALQKVNFLPVLEQVGNSDCHYQEGLKDSLENSEGL  
 SRVFSKLYKEAEKIKKWKVSTEAELRQKESKLQENRKIEAQRKAIQELQFGNEKVSL  
 KLEEGIQENKDLKENNATRHLCNLLKETCARSAEKTKKYEYEREETRQVYMDLNNNI  
 EKMITAHGELRVQAENSRLMHFKLKEDYEKIQHLEQEYKKEINDKEKQVSLLLIQIT  
 EKENMKMDLTFLLLEESRDKNVQLEEKTKLQSENLKQSEKQHHLTKELEDIKVSLQRS  
 VSTQKALEEDLQIATKTCQLTEKETQMEESNKARAAHSFVTEFETTVCSEELLR  
 TEQQRLEKNEDQLKILTMELQKKSSSELEEMTKLTNNKEVELEELKKVLGEKETLLYEN  
 KQFEKIAEELKGTEQELIGLLQAREKEVHDLEIQLTAITTSEQYYSKEVKDLKTELEN  
 EKLKNTLTSCHNKLLENKELTQETSDMTLELKNQQEDINNNKKQEERMLKQIENLQ  
 ETETQLRNELEYVREELKQKRDEVKCKLKDSEENCNNLRKQVENKNKYIEELQQENKA  
 LKKKGTAESKQLNVYEIKVNKLELELESQKQFGEIDTYQKEIEDKKISEENLLEEV  
 EKAKVIADEAVKLQKEIDKRCQHKIAEMVALMEKHKHQYDKIEERDSELGLYKSKEQ  
 EQSSLRASLEIELSNLKAELLSVKKQLEIEREEKEKLKREKENTATLKEKKDKKTQT  
 FLLETPEIYWKLDKAVPSQTVSRNFTSVDHGISKDKRDYLWTSKNTLSTPLPKAYT  
 VKTPTKPKLQQRNENLPIEESKKKRKMAFEFDINSDSSETDLLSMVSEEETLKTLY  
 RNNNPPASHLCVKTPKKAPSSLTTPGPTLKFGAIRKMREDRWAVIAKMDRKKKLKEAE  
 KLFV"

20

30

SEQ ID NO 597

ORIGIN

1 gccctcatag accgtttgtt gtagttcgcg tgggaacagc aacccacggt tttccgatag  
 61 ttcttcaaag atatttacia ccgtaacaga gaaaatggaa aagcaaaagc cctttgcatt  
 121 gtctgtacca ccgagatcaa gcagcagtc ggtgtctgcg gtgaaacctc agaccctggg  
 181 aggcgattcc actttcttca agagtittcaa caaatgtact gaagatgatt tggagtttcc  
 241 atttgcaaag actaatctct ccaaaaatgg ggaaaacatt gattcagatc ctgctttaca  
 301 aaaagttaat ttcttgcccc tgcttgagca ggttggtaat tctgactgtc actatcagga  
 361 aggactaaaa gactctgatt tggagaattc agagggattg agcagagtggt tttaaact  
 421 gtataaggag gctgaaaaaga taaaaaatg gaaagtaagt acagaagctg aactgagaca  
 481 gaaagaaagt aagtigcaag aaaacagaaa gataattgaa gcacagcgaa aagccattca  
 541 ggaactgcaa ttgggaaatg aaaaagtaag tttgaaatta gaagaaggaa tacaagaaaa  
 601 taaagattta ataaaagaga ataatgccac aaggcattta tgtaatctac tcaaagaaac  
 661 ctgtgctaga tctgcagaaa agacaaagaa atatgaatat gaacgggaag aaaccaggca

40

50

```

721 agtttatatg gatctaaata ataacattga gaaaatgata acagctcatg gggaacttcg
781 tgtgcaagct gagaattcca gactggaaat gcatTTtaag ttaaaggaag attatgaaaa
841 aatccaacac cttgaacaag aatacaagaa ggaaataaat gacaaggaaa agcaggatatc
901 actactattg atccaaatca ctgagaaaga aaataaaatg aaagatttaa catttctgct
961 agaggaatcc agagataaag ttaatcaatt agaggaaaag acaaaattac agagtgaaaa
1021 cttaaaacaa tcaattgaga aacagcatca tttgactaaa gaactagaag atattaaagt
1081 gtcattacaa agaagtgtga gtactcaaaa ggcttttagag gaagatttac agatagcaac
1141 aaaaacaatt tgtcagctaa ctgaagaaaa agaaactcaa atggaagaat ctaataaagc
1201 tagagctgct cattcgtttg tggttactga atttgaaact actgtctgca gcttggaga
1261 attattgaga acagaacagc aaagattgga aaaaaatgaa gatcaattga aaatacttac
1321 catggagctt caaaagaaat caagttagct ggaagagatg actaagctta caaataacaa
1381 agaagtagaa cttgaagaat tgaaaaaagt cttgggagaa aaggaaacac ttttatatga
1441 aaataaaca tttgagaaga ttgctgaaga attaaaagga acagaacaag aactaattgg
1501 tcttctccaa gccagagaga aagaagtaca tgatttggaa atacagttaa ctgccattac
1561 cacaagtga cagtattatt caaaagaggt taaagatcta aaaactgagc ttgaaaacga
1621 gaagcttaag aatactgaat taacttcaca ctgcaacaag ctttactag aaaacaaga
1681 gctcacacag gaaacaagt atattgaccct agaactcaag aatcagcaag aagatattaa
1741 taataacaaa aagcaagaag aaaggatgtt gaaacaaaata gaaaatcttc aagaaacaga
1801 aacccaatta agaaatgaac tagaatatgt gagagaagag ctaaaacaga aaagagatga
1861 agttaaatgt aaattggaca agagtgaaga aaattgtaac aatttaagga aacaagttga
1921 aaataaaaac aagtatatig aagaacttca gcaggagaat aaggccttga aaaaaaagg
1981 tacagcagaa agcaagcaac tgaatgttta tgagataaag gtcaataaat tagagttaga
2041 actagaaagt gccaaacaga aatttggaga aatcacagac acctatcaga aagaaattga
2101 ggacaaaaag atatcagaag aaaatctttt ggaagagggt gagaaagcaa aagtaatagc
2161 tgatgaagca gtaaaattac agaaagaaat tgataagcga tgtcaacata aaatagctga
2221 aatggtagca cttatggaaa aacataagca ccaatatgat aagatcattg aagaaagaga
2281 ctcagaatta ggactttata agagcaaaga acaagaacag tcatcactga gagcatcttt
2341 ggagattgaa ctatccaatc tcaaagctga acttttgtct gttagaagc aacttgaaat
2401 agaaagagaa gagaaggaaa aactcaaaaag agaggcaaaa gaaaacacag ctactcttaa
2461 agaaaaaaaa gacaagaaaa cacaacattt tttattggaa acacctgaaa tttattggaa
2521 attggattct aaagcagttc ctccacaaac tgtatctcga aatttcacat cagttgatca
2581 tggcatatcc aaagataaaa gagactatct gtggacatct gccaaaaata ctttatctac
2641 accattgcca aaggcatata cagtgaagac accaacaaaa caaaactac agcaaagaga
2701 aaacttgaat ataccattg aagaaagtaa aaaaaagaga aaaatggcct ttgaatttga
2761 tattaattca gatagttcag aaactactga tcttttgagc atggtttcag aagaagagac
2821 attgaaaaca ctgtatagga acaataatcc accagcttct catctttgtg tcaaacacc
2881 aaaaaaggcc cttcatctc taacaacccc tggacctaca ctgaagtttg gagctataag
2941 aaaaatgcgg gaggaccgtt gggctgtaat tgctaaaatg gatagaaaaa aaaaactaaa
3001 agaagctgaa aagttatttg ttttaattca gagaatcagt gtagttaagg agcctaataa
3061 cgtgaaactt atagttaata ttttgttctt atttgccaga gccacatttt atctggaagt
3121 tgagacttaa aaaatacttg catgaatgat ttgtgttctt ttatatTTTT agcctaattg
3181 ttaactacat attgtctgga aacctgtcat tgtattcaga taattagatg attatataat
3241 gtgtgtactt tttcttgtat tcatgaaaac tgtttttact aagttttcaa atttgtaaag
3301 ttagcctttg aatgctagga atgcattatt gagggtcatt ctttatcttt tactattaaa
3361 atattttgga tgcaaaaaaa aaaaaaaaaa aaa

```

10

20

30

40

//

Homo sapiens synovial sarcoma, X breakpoint 4 (SSX4), mRNA.

ACCESSION NM\_005636

50

VERSION NM\_005636.1 GI:5032122

SEQ ID NO 598

/translation="MNGDDAFARRPRDDAQISEKLRKAFDDIAKYFSKKEWEKMKSSSEK

IVY

VYMKLNIEVMTKLGFKVTLPPFMRSKRAADFHGNDGNDNRNHRNQVERPQMTFG

SLQRIFPKIMPKKPAEEENGLKEVPEASGPQNDGKQLCPPGNPSTLEKINKTSGPKRG

KHAWTHRLRERKQLVVYEEISDPEEDDE"

SEQ ID NO 599

ORIGIN

10

1 atgaacggag acgacgcctt tgcaaggaga cccagggatg atgctcaaat atcagagaag  
 61 ttacgaaagg ccttcgatga tattgccaaa tacttctcta agaaagagtg ggaaaagatg  
 121 aaatcctcgg agaaaaatcgt ctatgtgtat atgaagctaa actatgaggt catgactaaa  
 181 ctaggtttca aggtcacctt cccaccttct atgcgtagta aacgggctgc agacttccac  
 241 gggaatgatt ttggtaacga tcgaaaccac aggaatcagg ttgaacgtcc tcagatgact  
 301 ttcggcagcc tccagagaat ctccccgaag atcatgcccc agaagccagc agaggaagaa  
 361 aatgggttga aggaagtgcc agaggcatct ggcccacaaa atgatgggaa acagctgtgc  
 421 cccccgggaa atccaagtac ctgggagaag attaacaaga catctggacc caaaaggggg  
 481 aaacatgcct ggaccacag actgcgtgag agaaagcagc tggtggttta tgaagagatc  
 541 agcgaccctg aggaagatga cgagtaactc ccctcg

20

## 【 0 2 9 8 】

明細書中に記載した特許および刊行物はすべて、本発明が関連する技術分野の当業者のレベルを示している。

## 【 0 2 9 9 】

本明細書中で適切に例示的に記載する本発明は、具体的に本明細書中に開示されない任意の要素（単数または複数）、限定物（単数または複数）の非存在下で実施され得る。使用した用語および表現は、説明の用語として使用されるものであり限定の用語として使用されるものではなく、かかる用語および表現の使用において、示して記載した形態の等価物、またはその一部の排除を示す意図はない。様々な変更が、特許請求した本発明の範囲内で可能であることが理解されよう。したがって、本発明を好ましい実施形態および任意の特徴により具体的に開示してきたが、開示した本明細書中の概念の変更および変形が当業者によりなされてもよく、かかる変更および変形は、添付の特許請求の範囲により規定するような本発明の範囲内であるとみなされることが理解されるべきである。

30

## 【 図面の簡単な説明 】

## 【 0 3 0 0 】

【 図 1 A 】 NY - ESO - 1 および幾つかの類似タンパク質配列の配列アラインメントである。

【 図 1 B 】 NY - ESO - 1 および幾つかの類似タンパク質配列の配列アラインメントである。

40

【 図 1 C 】 NY - ESO - 1 および幾つかの類似タンパク質配列の配列アラインメントである。

【 図 2 】 核酸コードエピトープを送達するのに有用なプラスミドワクチン骨格を図で表す。

【 図 3 A 】 チロシナーゼ<sub>208 ~ 216</sub>に関する HLA - A 2 結合アッセイの結果を示す FACS プロフィールである。

【 図 3 B 】 チロシナーゼ<sub>207 ~ 215</sub>に関する HLA - A 2 結合アッセイの結果を示す FACS プロフィールである。

【 図 3 C 】 in vitro 免疫により誘発されるヒトCTLによるチロシナーゼエピトープに対する細胞傷害活性を示す図である。

50

【図 4】SSX<sub>31~68</sub>のプロテアソーム切断により産生される断片のT = 120分の時点のマススペクトルである。

【図 5】対照とともにHLA - A2 : SSX - 2<sub>41~49</sub>に関する結合曲線を示す図である。

【図 6】SSX - 2<sub>41~49</sub>免疫HLA - A2トランスジェニックマウス由来のCTLによるSSX - 2<sub>41~49</sub>パルス標識標的の特異的溶解を示す図である。

【図 7 A】PSMA<sub>163~192</sub>プロテアソーム消化物のT = 60分の時点のアリコートのN末端プルシーケンシングの結果を示す図である。

【図 7 B】PSMA<sub>163~192</sub>プロテアソーム消化物のT = 60分の時点のアリコートのN末端プルシーケンシングの結果を示す図である。

【図 7 C】PSMA<sub>163~192</sub>プロテアソーム消化物のT = 60分の時点のアリコートのN末端プルシーケンシングの結果を示す図である。

【図 8】対照とともにHLA - A2 : PSMA<sub>168~177</sub>、およびHLA - A2 : PSMA<sub>288~297</sub>に関する結合曲線を示す。

【図 9】PSMA<sub>281~310</sub>プロテアソーム消化物のT = 60分の時点のアリコートのN末端プルシーケンシングの結果を示す図である。

【図 10】対照とともにHLA - A2 : PSMA<sub>461~469</sub>、HLA - A2 : PSMA<sub>460~469</sub>、およびHLA - A2 : PSMA<sub>663~671</sub>に関する結合曲線を示す図である。

【図 11】PSMA<sub>463~471</sub>反応性HLA - A1<sup>+</sup>CD8<sup>+</sup>T細胞を検出する - IFN $\gamma$ ベースのELISPOTアッセイの結果を示す図である。

【図 12】抗HLA - A1 mAbによる図 10で使用されるT細胞の反応性の阻止を示し、HLA - A1制限認識を示す図である。

【図 13】対照とのHLA - A2 : PSMA<sub>663~671</sub>に関する結合曲線を示す図である。

【図 14】対照とのHLA - A2 : PSMA<sub>662~671</sub>に関する結合曲線を示す図である。

【図 15】種々の注射経路により様々な用量のDNAで免疫した後の抗ペプチドCTL応答の比較の図である。

【図 16】gp33エピトープ発現プラスミド、または対照プラスミドのリンパ節内注入により免疫したマウスにおける移植gp33発現腫瘍の成長の図である。

【図 17】それぞれリンパ節内または筋内注射後の様々な時間での注入または排出リンパ節におけるリアルタイムPCRにより検出されるプラスミドDNA量の図である。

10

20

30

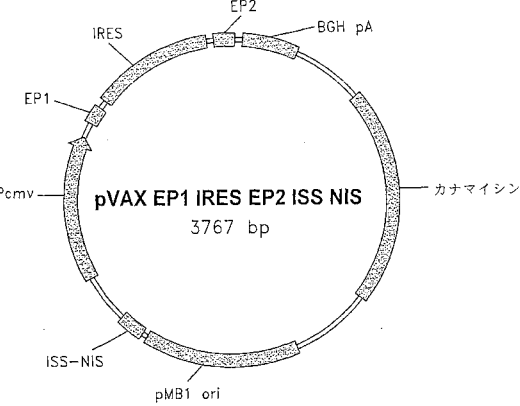
【 図 1 A 】

CTAG ヒト	NY-ESO	
AAD05202 - CAG-3		
CAA11044 - LAGE-1a		
CAA10194 - LAGE-1s		
CAA11043 - LAGE-1b		
CAA10196 - LAGE-1L		
AAH02833 CT-2		
コンセンサス		
CTAG ヒト	NY-ESO	
AAD05202 - CAG-3		
CAA11044 - LAGE-1a		
CAA10194 - LAGE-1s		
CAA11043 - LAGE-1b		
CAA10196 - LAGE-1L		
AAH02833 CT-2		
コンセンサス		

【 図 1 C 】

CTAG ヒト	NY-ESO	(181)	-----
AAD05202 - CAG-3		(181)	-----
CAA11044 - LAGE-1a		(181)	-----
CAA10194 - LAGE-1s		(181)	-----
CAA11043 - LAGE-1b	(201)	FNVMFSAPI	
CAA10196 - LAGE-1L	(201)	FNVMFSAPI	
AAH02833 CT-2	(201)	FNVMFSAPI	
コンセンサス	(201)		

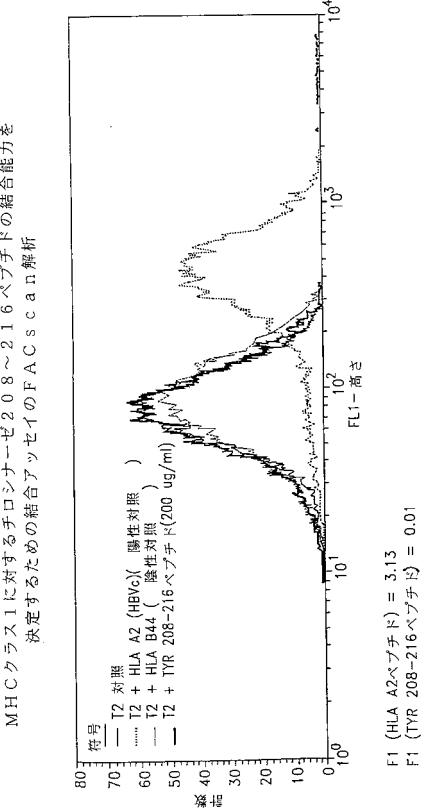
【 図 2 】



【 図 1 B 】

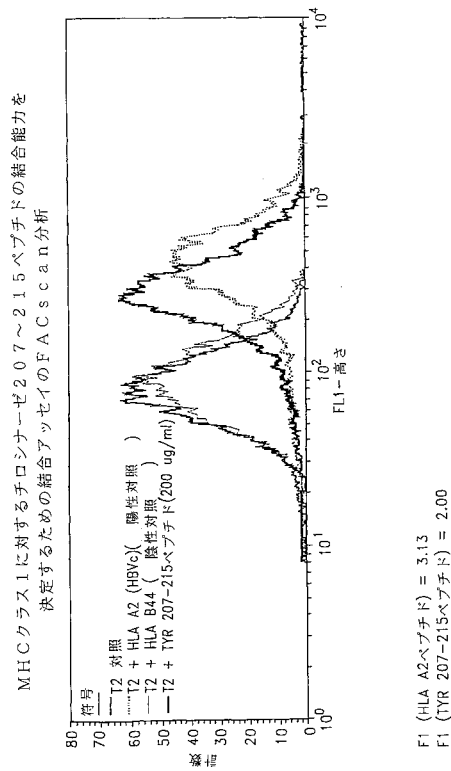
CTAG ヒト	NY-ESO	
AAD05202 - CAG-3		
CAA11044 - LAGE-1a		
CAA10194 - LAGE-1s		
CAA11043 - LAGE-1b		
CAA10196 - LAGE-1L		
AAH02833 CT-2		
コンセンサス		
CTAG ヒト	NY-ESO	
AAD05202 - CAG-3		
CAA11044 - LAGE-1a		
CAA10194 - LAGE-1s		
CAA11043 - LAGE-1b		
CAA10196 - LAGE-1L		
AAH02833 CT-2		
コンセンサス		

【 図 3 A 】

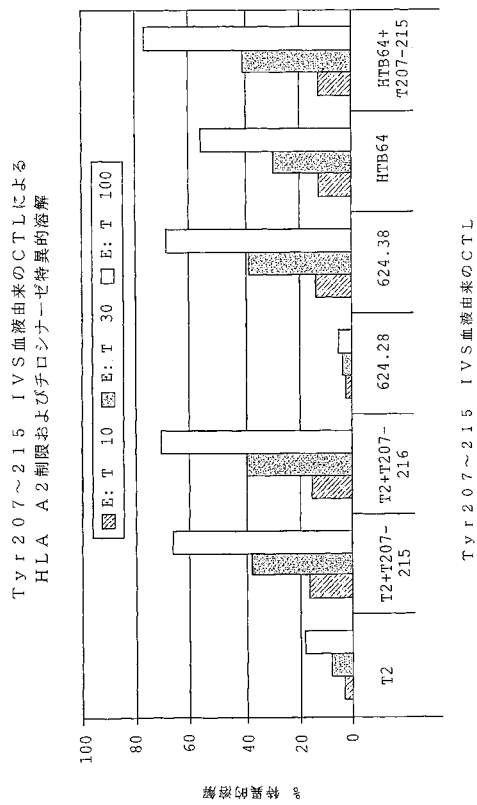




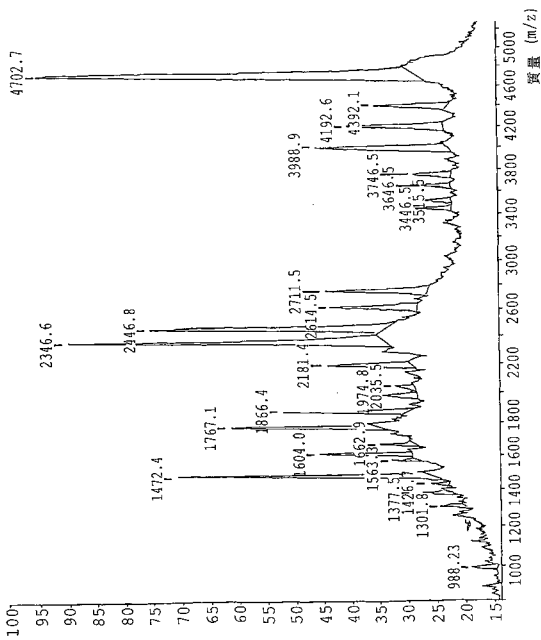
【図 3 B】



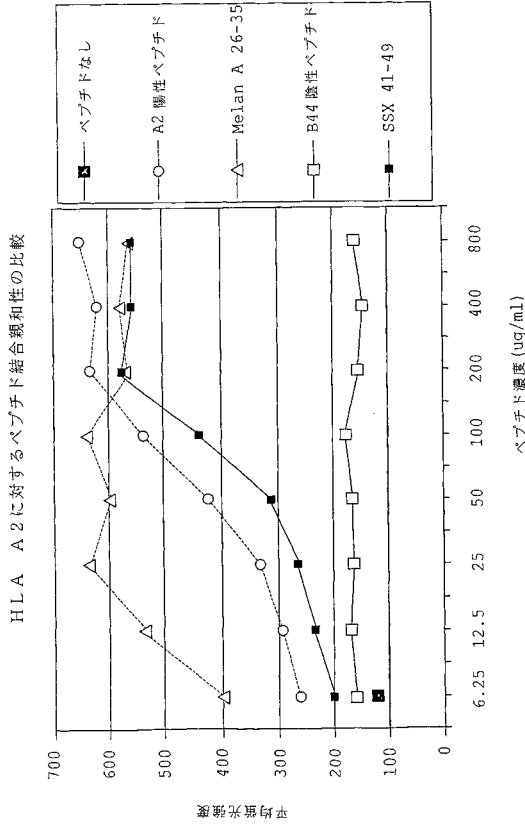
【図 3 C】



【図 4】

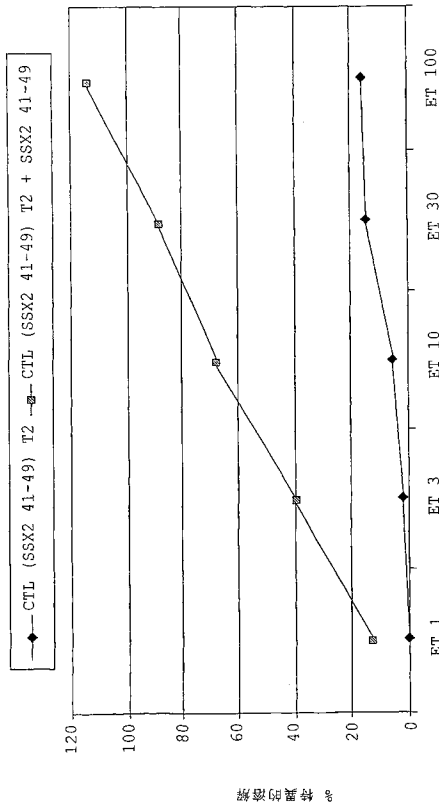


【図 5】

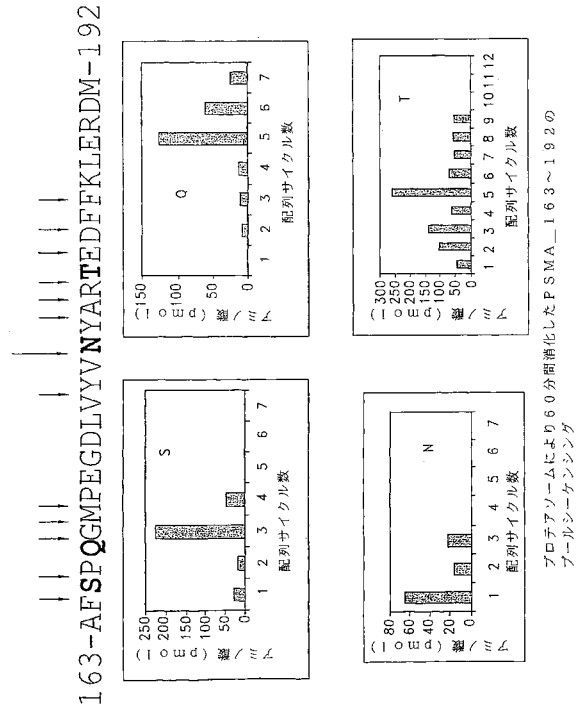


【図 6】

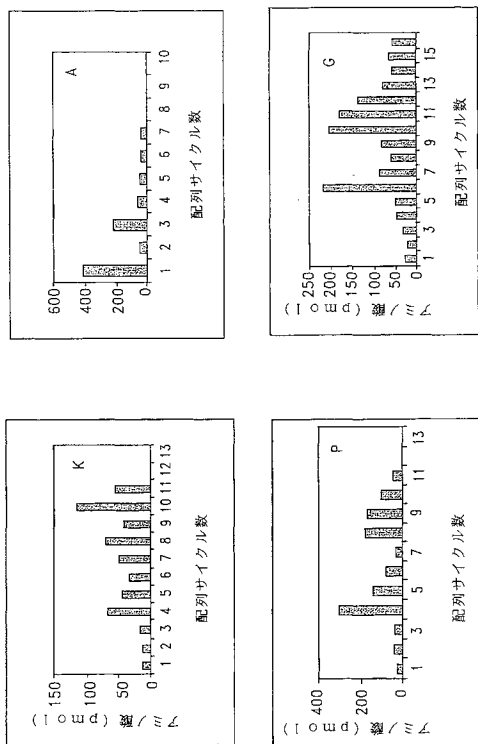
ペプチド注射HHD1マウス由来のCTLによるSSX2<sub>41~49</sub>特異的溶解



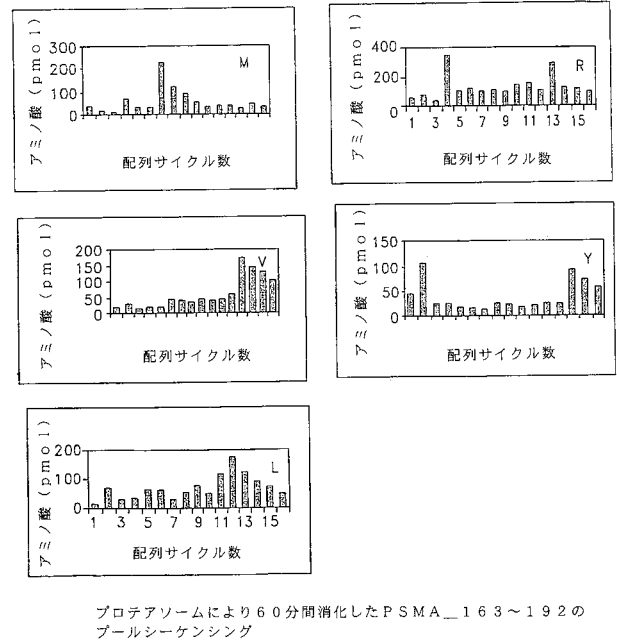
【図 7 A】



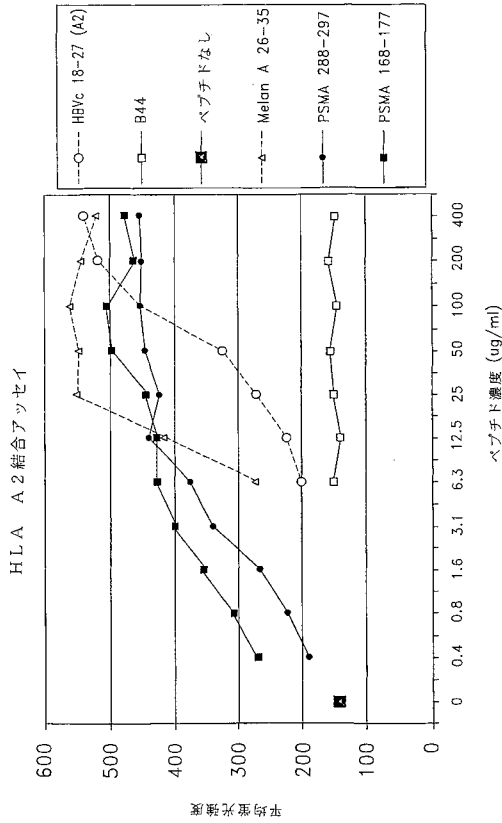
【図 7 B】



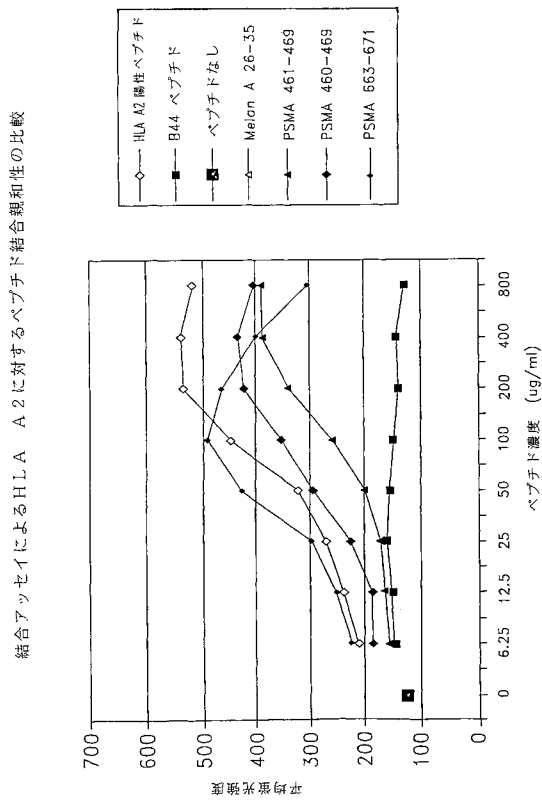
【図 7 C】



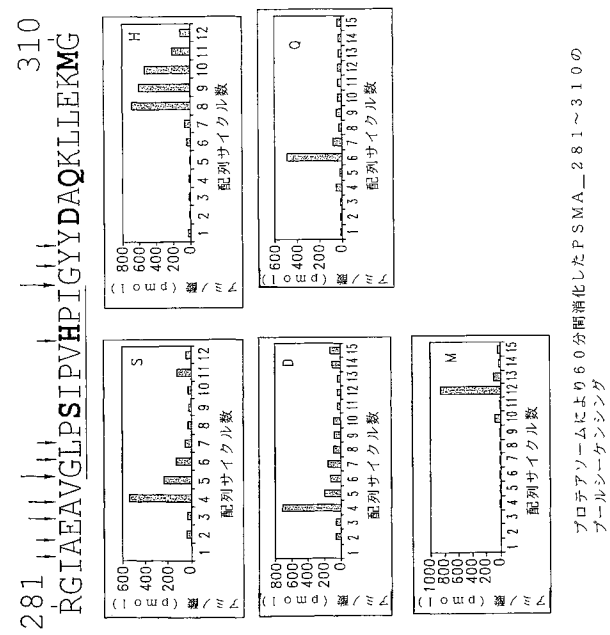
【図 8】



【図 10】

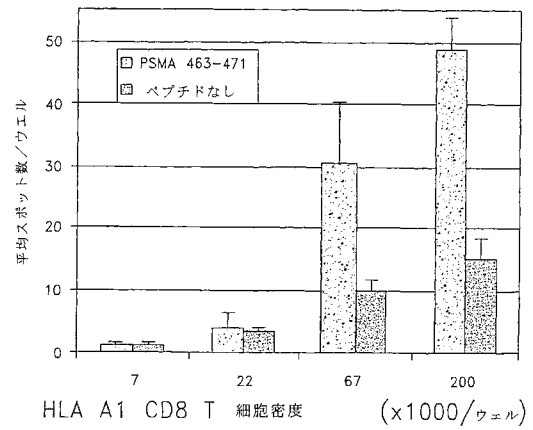


【図 9】

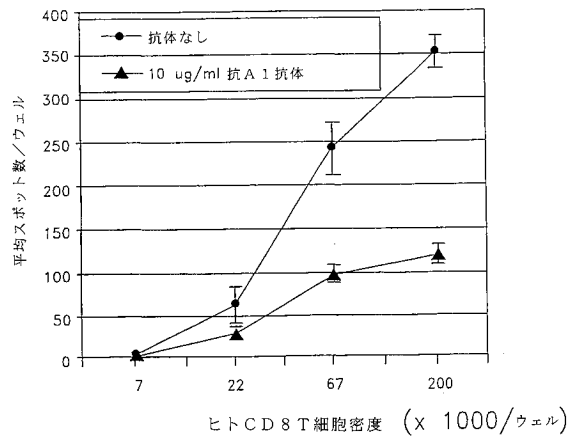


【図 11】

自己D CはCD8 T細胞に対してA1 ペプチドを提示する

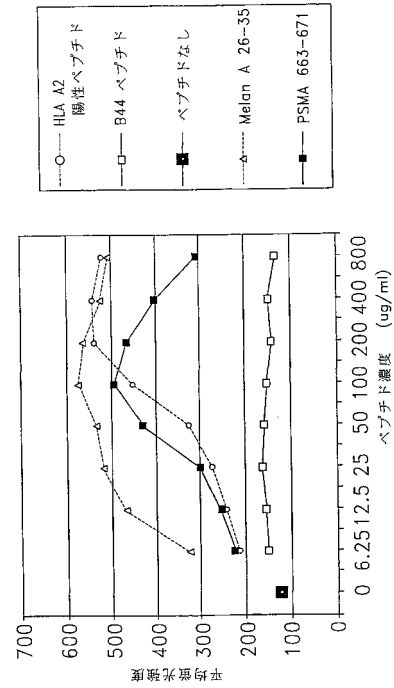


【図 1 2】

抗 A 1 抗体により阻止された I F N  $\gamma$  の分泌

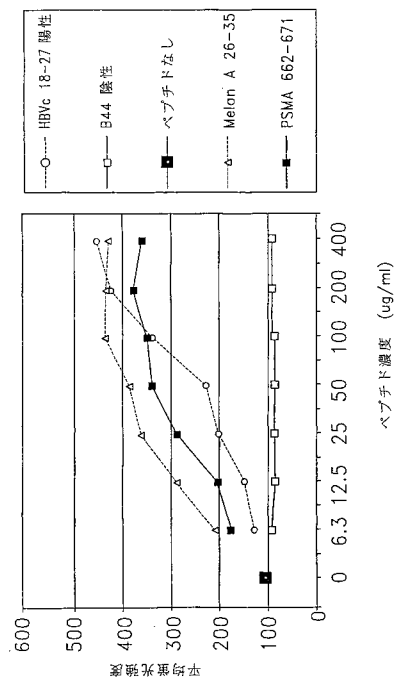
【図 1 3】

結合アッセイによる H L A A 2 に対するペプチド結合親和性の比較

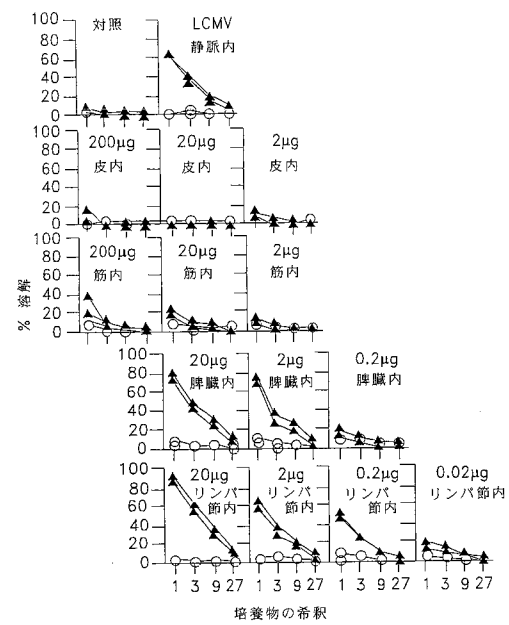


【図 1 4】

結合アッセイによる H L A A 2 に対するペプチド結合親和性の比較

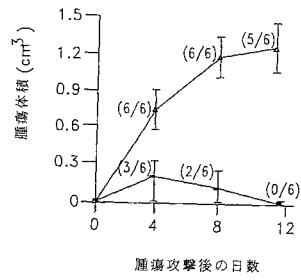


【図 1 5】



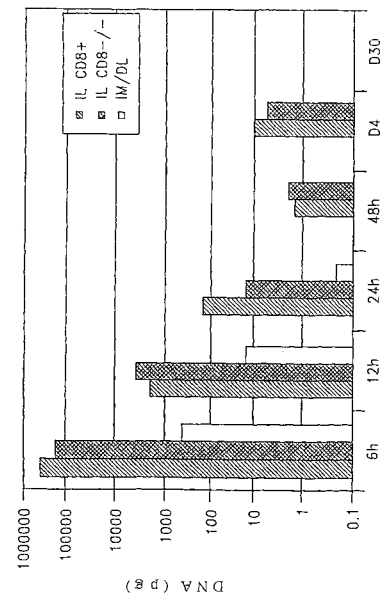
グラフは、非パルス標識 E L 4 細胞 (白丸)、および g p 3 3 ペプチドでパルス標識した E L 4 細胞 (黒三角) の溶解を示す。記号は個々のマウスを表し、3 回の同様の実験のうちの 1 つを示している。

【図 16】



平均腫瘍体積±1SDを、pEGFP-L33A DNA (黒丸) または対照 pEGFP-N3 DNA (白三角) で免疫したマウスに関して示している。括弧中の数字は、群中の腫瘍を伴うマウス数/マウスの総数を示す。2回の同様の実験のうちの1つを示している。

【図 17】



【配列表】

2009060910000001.app

## フロントページの続き

(51)Int.Cl.		F I	テーマコード(参考)
A 6 1 P 31/12	(2006.01)	A 6 1 P 31/12	
A 6 1 P 37/02	(2006.01)	A 6 1 P 37/02	

(72)発明者 シマード, ジョン ジェイ.エル.  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア 9 1 3 2 6 ノースリッジ ロートン ウェイ 1 1 9 1 8

(72)発明者 ダイヤモンド, デイビッド シー.  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア 9 1 3 0 4 ウェスト ヒルズシェーンボーン ストリート  
 2 3 1 3 5

(72)発明者 リウ, リビン  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア 9 1 3 6 7 ウッドランド ヒルズ エイチ - 1 1 1 ヴィク  
 トリー ブールバード 2 2 2 2 8

(72)発明者 シエ, ジドン  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア 9 1 3 6 7 ウッドランド ヒルズ エイチ - 1 1 1 ヴィク  
 トリー ブールバード 2 2 2 2 8

F ターム(参考) 4B024 AA01 BA31 CA04 DA06 DA12 EA04  
 4C085 AA03 BB11 CC21 DD88 EE01 GG01  
 4H045 AA11 AA30 BA10 BA40 CA40 DA86 EA22 EA28 FA33 FA74

专利名称(译)	表位序列		
公开(公告)号	<a href="#">JP2009060910A</a>	公开(公告)日	2009-03-26
申请号	JP2008251482	申请日	2008-09-29
[标]申请(专利权)人(译)	曼金德公司		
申请(专利权)人(译)	人类总公司		
[标]发明人	シマードジョンジェイエル ダイヤモンドデイビッドシー リウリピン シエジドン		
发明人	シマード,ジョン ジェイ.エル. ダイヤモンド,デイビッド シー. リウ,リピン シエ,ジドン		
IPC分类号	C12N15/09 C07K14/705 C07K19/00 A61K39/00 A61P35/00 A61P31/12 A61P37/02 G01N33/53 A61K35/12 A61K38/00 A61K39/395 A61K48/00 C07K7/06 C07K14/47 C07K14/74 C07K16/28 C12N1 /15 C12N1/19 C12N1/21 C12N5/06 C12N5/10 C12N9/02 C12P21/08 C12Q1/02 C12Q1/68		
CPC分类号	A61K39/00 A61P13/08 C07K14/4748 C12N9/0059		
FI分类号	C12N15/00.ZNA.A C07K14/705 C07K19/00 A61K39/00.H A61P35/00 A61P31/12 A61P37/02 A61K48 /00 C12N15/00.A C12N15/00.AZN.A		
F-TERM分类号	4B024/AA01 4B024/BA31 4B024/CA04 4B024/DA06 4B024/DA12 4B024/EA04 4C085/AA03 4C085 /BB11 4C085/CC21 4C085/DD88 4C085/EE01 4C085/GG01 4H045/AA11 4H045/AA30 4H045/BA10 4H045/BA40 4H045/CA40 4H045/DA86 4H045/EA22 4H045/EA28 4H045/FA33 4H045/FA74 4C084 /AA13 4C084/NA14 4C084/ZB052 4C084/ZB262		
代理人(译)	川口义行 远山 勉		
优先权	60/282211 2001-04-06 US 60/337017 2001-11-07 US 60/363210 2002-03-07 US		
其他公开文献	JP5135150B2		
外部链接	<a href="#">Espacenet</a>		

#### 摘要(译)

解决的问题：提供对I类MHC具有高亲和力并且是由靶标特异性蛋白酶体产生的表位的核酸或多肽，其可用于产生免疫试剂。肿瘤相关抗原PRAME编码一个或多个区段序列，每个区段具有表位簇，所述簇具有至少2个具有已知或预测的亲合力的相同MHC受体肽结合裂缝。具有或编码一个氨基酸序列的分离的核酸和包含所述序列的阅读框在启动子的控制下连接。[选择图]无

配列番号	性質	配列
1	チロシン 207-216	FLPWHRLFL
2	チロシナーゼタンパク質	アクセスセッション番号 **: P14679
3	SSX-2 タンパク質	アクセスセッション番号: NP_003138
4	PSMA タンパク質	アクセスセッション番号: NP_004467
5	チロシナーゼ cDNA	アクセスセッション番号: NM_000372
6	SSX-2 cDNA	アクセスセッション番号: NM_003147
7	PSMA cDNA	アクセスセッション番号: NM_004476
8	チロシン 207-215	FLPWHRLFL
9	チロシン 208-216	LPWHRLFL
10	SSX-2 31-68	YFSKEEWEKMKASEKIFYVYMKRKYEAMTKLGFKATLP
11	SSX-2 32-40	FSKEEWEKM
12	SSX-2 39-47	KMKASEKIF
13	SSX-2 40-48	MKASEKIFY
14	SSX-2 39-48	KMKASEKIFY
15	SSX-2 41-49	KASEKIFYV
16	SSX-2 40-49	MKASEKIFYV
17	SSX-2 41-50	KASEKIFYVY
18	SSX-2 42-49	ASEKIFYVY
19	SSX-2 53-61	RKYEAMTKL
20	SSX-2 52-61	KRKYEAMTKL
21	SSX-2 54-63	KYEAMTKLGF
22	SSX-2 55-63	YEAMTKLGF
23	SSX-2 56-63	EAMTKLGF
24	HBV18-27	FLPSDYFPSV
25	HLA-B44 バインダー	AEMGKYSEY
26	SSX-1 41-49	KYSEKISYV
27	SSX-3 41-49	KYSEKIVYV
28	SSX-4 41-49	KSSEKIVYV
29	SSX-5 41-49	KASEKITYV